

多くの人が召されている



クリスチャンは救いを失うことがあるのか
失って、滅びてしまうことがあるのか？

イエスの弟子は
失われることがあるのか？

インプリント

多くの人が召されている—クリスチヤンは救いを失い、失われることがあるのか？イエスの弟子たちは失われるのか？

レベル 1~6、外国语版。ドイツ語版から翻訳。言語注記。本版はドイツ語原典を DeepL で翻訳し、手作業で校閲しました。不明点がある場合はドイツ語版を基準としてください。翻訳上の問題を見つけた場合は <https://vielesindberufen.de> までお知らせください。

著者および編集者：ハイノ・ヴァイドマン、2025年9月20日

Copyright ©

ハイノ・ヴァイドマン。この著作物およびその一部は、著作権により保護されています。無断転載を禁じます。

ドイツ語版原書で使用されている聖書翻訳

- *Slt* – フランツ・オイゲン・シュラヒターによる聖書テキスト（2000）、著作権 © ジュネーブ聖書協会。ドイツ語から他の言語への自動翻訳の許可が与えられています。
- *Meng* – 1939 年の *Menge* 聖書翻訳（パブリックドメイン）
- *F* – 独自の自由翻訳

電子書籍版の聖書箇所リンクは、<https://www.bibleserver.com>

を参照しており、多くの外国语による聖書翻訳が掲載されています。

ギリシャ語の単語解説

www.csv-bibel.de/strongs で閲覧可能な CSV

出版社発行のストロンゲ・コンコーダンスに基づいています。

画像クレジット

- 人物像：© glopphy / Adobe Stock – 画像 ID : 51925552。Adobe Stock による標準ライセンスでライセンス供与
- 十字架のあるウェブサイトの背景画像 : Pixabay、フリーライセンス、Gerd Altmann
- レーザーの写真 : Steven Lelham / Unsplash、フリーライセンス

表紙デザイン : © Copyright Heino Weidmann

この本は、<https://vielesindberufen.de/downloads-links/> で以下の言語で PDF 形式の無料ダウンロードが可能です。

英語、スペイン語、ポルトガル語、簡体字中国語、繁体字中国語、アラビア語

(ar)、中国語（繁体字）(zh-Hant)、中国語（簡体字）(zh-Hans)、デンマーク語
(da)、英語(en)、フランス語(fr)、インドネシア語(id)、イタリア語(it)、日本語
(ja)、韓国語(ko)、オランダ語(nl)、ノルウェー語(nb)、ポルトガル語
(pt)、ルーマニア語(ro)、ロシア語(ru)、スウェーデン語(sv)、スペイン語
(es)、トルコ語(tr)、ウクライナ語(uk)。

AIによるコンテンツに関する注意

このウェブサイトの一部のコンテンツ、特に要約（レベル2および4）、第1.1章、編集上の修正、および表現の補助は、人工知能（AI）、特にOpenAIのChat-GPTを使用して、ドイツ語版のオリジナル版で作成または修正されています。コンテンツの最終的な責任は著者にあります。AIを利用したコンテンツはすべて、公開前に手作業で確認および調整されています。

ハイノ・ヴァイドマン
Götzenbergstr. 25
74889 ジンズハイム、ドイツ
<https://vielesindberufen.de>

恵みがあり、平和がありますように。
今おられ、かつておられ、また来るべき方、
御座の前にいる七つの御靈と、
、そして、死から最初に復活した者、
死から最初に甦った者、
地の王たちの王である方から。
私たちを愛し、
その血によって私たちの罪を洗い流し、
私たちを王とし、祭司とした方、
その神、父のために、
彼に、栄光と権威が
永遠に、アーメン。

黙示録 1:4-6 詩編

スタート

多くの者が召されている —
クリスチャンは救いを失い、失われることがあるのか?
イエス・キリストの弟子たちは失われるのか?

これらの質問は、キリスト教の信仰の核心を突くものであり、心からイエスに従いたいと願う者なら、誰しもが心を動かされるものです。

この本はユニークです。新約聖書にある救いに関する聖句、約545の証を、明確に整理し、深く考察し、わかりやすく説明しながら、徹底的な旅へと読者を誘います。ご自身で確かめてみてください。新約聖書が実際に何を述べているのか、ぜひご覧になってみてください。

生まれ変わったクリスチャンが救いを失い、最終的には失われる可能性があるかどうかという聖書的な議論は、神学的にも感情的にも、簡単なテーマではありません。結局のところ、離婚の可能性について読むよりも、結婚式について読むほうが楽しいでしょう。しかし、聖書を真剣に受け止める者なら、この問題を避けてはなりません。

神の愛を確信し、キリストにある救いを知っているなら、このテーマに自信を持って取り組むことができます。イエス様はあなたを愛しておられ、さらに深く掘り下げるようあなたを招いておられます。読んだ内容について、信仰の成熟した兄弟姉妹や、イエス様の弟子たちのグループで話し合ってみてください。意見交換することで、真理はより明確に、より励みになる形で明らかになることが多いのです。

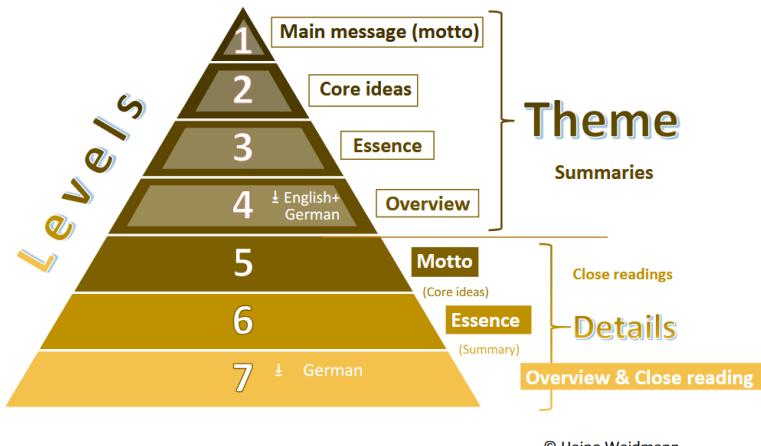
明確な構成がそれを助けます。

まず、主なメッセージから始めましょう。そこから、自分が望む限り、またできる限り、このテーマを深く掘り下げることができます。

ます。ウェブサイト <https://viele sind berufen.de> の 7 段階のピラミッドは、その構造化された道筋を示しています。

Figure 1: 図: 「多くの者が召されている」の 7 層構造 (レベル 1 - 7)

From:  [Many are called](#) – Can a Christian lose their salvation and be lost? Will a follower of Jesus be lost?



© Heino Weidmann

7 層のピラミッド図。プロジェクト構造を示す: レベル 1 - 4 = 要約（「主たるメッセージ」「主要ポイント」「エッセンス」「概観」）、レベル 5 - 7 = 詳細研究（「モットー」「エッセンス（要約）」「概観と精読」）。

最初の 4 つのレベルは、深みを増しながら、体系的な概要を示しています。レベル 5 からは、レベル 7 の詳細な聖句分析に至るまで、聖書を徹底的に研究しています。この本には、要約レベル 1、2、4、および研究レベル 6 が含まれています。

この著作の基礎は、非常に珍しいものです。人間の救いについて述べている新約聖書の箇所、合計 545 篇所、新約聖書の約 35% が、収集、整理、慎重に評価されています。したがって、レベル

1の主な主張は、確固たる基盤に基づいています。なぜなら、神の言葉は矛盾しないからです。新約聖書の個々の証言は、1つの大きな、支えとなる全体的な主張に統合されているのです。

この著作の基礎と使用された方法論の詳細については、次のページのイントロをご覧ください。

イントロ

この著作の背景にある動機

この本は、長年にわたる個人的な考察から生まれました。35年以前、私はローマ人への手紙 11 章 22 節について、神の慈愛と厳しさについて初めて初めての説教を行いました。その後、ある姉妹が、クリスチャンは救いを失うことなどないと信じていると私に話しました。この発言が、私がこのテーマについて生涯にわたって考察を続けるきっかけとなりました。

長い間、どちらの見解が真実に近いのか判断がつかなかった。どちらの側にも強力な議論があったからだ。しかし、一般的な議論は、ほとんどの場合、限られた聖書箇所（5～15 節）と、それを補完する神学的原則に基づいていた。私は、それだけでは不十分だと感じた。ごく一部の聖書箇所では、ほぼあらゆる見解を主張することができる。

そのため、私は、関連する新約聖書の聖句をすべて、省略も先入観もなしに調査したいという思いを抱くようになりました。3年間の集中的な作業を経て、2025 年 3 月、この夢は現実のものとなりました。**救いに関連する 545 箇所の聖句、つまり新約聖書全体の約 35%** を、すべて注意深く分析したのです。この本の主な主張は、あらゆるレベルで、そしてあらゆる深みを通して裏付けられ、明確に打ち出されています。

結局のところ、それは神の栄光、神を愛し、その生涯をもって神を喜ばせる民、そしてできるだけ多くの人々が救われ、真理と永遠の救いへと導かることに関するものです。

私と一緒に、神の恵み、誠実さ、愛、そして知恵を探求する旅に出かけましょう。神は、私たち、そして私たちとともに多くの者が、この世での救いと永遠の救いを確実に得ることができるよう、すべてを整えてくださいました。

問題

新約聖書は、イエス・キリストが私たちの罪から救い、私たちが今、神と和解して生きることができると宣言しています。そこから、死後、私たちは永遠の栄光に入るという確信と希望が生まれます。

ギリシャ語の *sōtēria*（「救い」、「救済」）という言葉は、現在の救いと将来の救いの両方の側面を表しています。この言葉には、赦し、解放、保護、そして神との交わりにおける永遠の命が含まれています。私たちはすでに救いを得ており、同時にその完成を待っています。

つまり、私たちの救いは神への回心から始まりますが、まだ完了はしていません。私たちは救われ、神と和解し、神の愛される子供たちとなっていますが、同時に、最終的に救われるまでの道のりを歩んでいるのです。神の御靈は私たちに保証として与えられましたが、永遠の栄光への道はまだ終わっていません。

そこから、この本の決定的な疑問が生まれます。回心後の、2度目の、最終的な救いは自動的に与えられるものなのか、それとも条件付きのものなのか？それを促進したり妨げたりする要因はあるのか？

新約聖書は、キリストが完全な贖いの業を成し遂げられたことを示しています。多くの人々は、信仰によってその贖いに与るよう召されています。しかし、同じ聖書は、私たちに深刻な疑問を投げかけています。イエスを信じるクリスチヤンは、それでもなお失われることがあるのか？

この矛盾を解明することが、この本の主題であり、目的です。

このテーマを研究する上でのアプローチ

調査の最初の1年間で、私は新約聖書から救いに関連する約545の聖句を特定しました。その際には、失われた状態からの救い、

永遠の救い、従順の道で失う可能性のあるもの、天国での報いといった中心的なテーマに焦点を当てました。各聖書箇所は、その原因（例えば、恵み、神の誠実さ、初期または継続的な信仰）と、それぞれの新約聖書の書物に関連付けられました。

各書について、救いに関連する聖句を主題別に分類し、神学的に解説し、その文脈の中で評価しました。その結果、各書について、それぞれの著者の「救いの神学」が明らかになりました。平均して、各書の聖書のテキストの約 35% がこの調査に組み込まれました（詳細については、「数字で見る救い」の章をご覧ください）。各節は解釈され、要約され、簡潔な要約文にまとめられました。

これに基づき、新約聖書の各書について、5つの体系的な要約レベルを作成しました。

- **概要:** 主題別に整理され、ニュアンスも反映された、より深い神学的考察に適した内容。
- **要約:** 冗長性を削減し、完全性を保ち、読みやすさを向上。
- **本質:** 中心的なテーマに焦点を当て、コンパクトで、明確、ニュアンスを反映。
- **核心的な考え方:** その書の主な主張に焦点を当て、明確な方向性を持ち、意図的に簡略化。
- **モットー:** 1冊の本につき 1 つの中心的なメッセージ - 凝縮された導入部、あるいは本の見解の比較として。

27 冊の新約聖書全書簡についてこれらのレベルを比較すると、さまざまな著者の救いの教義における神学的統一性が明らかになり、第 2 章の章構成の基礎となりました。

2 年目の調査では、新約聖書全体を通して、テーマを超えた結果の評価が行われました。同じテーマに関する主張はまとめられ、大テーマに分類され、そこから第 3 章の章構成が作成されました。

た。これはあらかじめ決められたものではなく、テキスト自体から導き出されたものです。ここでも、概要、要約、モットーという3つの要約レベルが使用されています。第4章（天国での報酬）、第5章（救いにおける保護）、およびその他の章でも同様です。

この方法論的かつ体系的な作業方法は、プロジェクト全体に影響を与えました。

3年目に、この本はまとめられ、完成、改訂され、ウェブサイトが開発されました。

基本的な信念

この本は、以下の基本信念に基づいています。これらの信念に同意する人だけが、この本を読んで有益な情報を得ることができ、建設的な意見を述べることができるでしょう。

この本の決定的な基礎は、聖書全体の神聖な靈感と無謬性に対する信頼です。66の正典、特にイエス・キリストにおける神の完全な啓示である新約聖書は、教義と生活における最高の権威とみなされています。したがって、神の言葉は真実であり、矛盾はありません。

聖書は、神学的な体系や教義的なモデルによってではなく、その文脈と、関連するすべての記述の相互作用によって、それ自体を

解釈するものです。そのため、この研究では、聖書の箇所を単独で考察するのではなく、

- 個々の聖書書物の直接的な関連性の中で考察します
(第2章)
- 新約聖書全体の啓示に照らして
(第3章)

その際、明確な聖書箇所が、そこから導き出された記述よりも優先されます。

個々の聖句を、他の聖句よりも「指針となる聖句」として優先してはならない。

真理は個々の断片ではなく、調和のとれた全体の中に現れます。そして、その全体には、恵みの約束と厳しい警告の両方が含まれています。

この本の読み方

この本とウェブサイト viele sind berufen.de を読む際のヒント

この本、および関連ウェブサイト viele sind berufen.de は、特別な構成になっています。それは、最も重要なことを最初に述べるピラミッドのような構造です。多くの神学書とは異なり、この本は主な主張（レベル1）から始まり、その根拠や考察を段階的に深く掘り下げていきます。ご希望の方は、すぐにレベル1から7まで深く読み進めることも、興味に応じて適切なレベルから直接読み始めることもできます。

概要ブロック： レベル1～4

最初の4レベルは概要部分で構成されています。調査結果を、深さと詳細度を増しながらまとめています。

- レベル1: この本の主な主張
- レベル2: 最も重要な基本結果と主要概念

- **レベル 3:** 調査対象となったすべての分野の概要 - 意図的に簡潔に、しかし体系的に
- **レベル 4:** 詳細で論証的なレベル。初めて会話や議論に適したもの

詳細ブロック： レベル 5～7

2 番目のブロックでは、3 つの詳細な調査レベルが続きます。

- **レベル 5（モットー）：**各書籍またはサブテーマに関する、非常にコンパクトでテーマに特化した概要
- **レベル 6（本質）：** 詳細度が高く、理解しやすい議論による最初の深い評価 - この書籍のレベル
- **レベル 7（概要）：**最も深いレベルで、完全な神学的調査 - 救いに関連する聖書の箇所（第 2 章）および新約聖書における救いに関連するテーマ（第 3 章）の解釈を含む。このレベルは、その範囲の広さから、関連するウェブサイト

<https://viele sind berufen.de> でのみ閲覧可能です。

この本の構成

この本は、このテーマの概要を素早く把握できるレベル 1 および 2、そしてすべての分野を網羅した体系的な包括的な要約であるレベル 4 で構成されています。その後に、詳細レベル 6 での調査結果を包括的に紹介しています。

この書籍の電子書籍版では、すべての見出しがウェブサイト <https://viele sind berufen.de> の NIV 聖書翻訳版にリンクされており、必要に応じて調査レベル 7 もすぐに利用できます。さらに、掲載されている聖書箇所はほぼすべて、bibleserver.comへのクリック可能なリンクが直接設定されています（この優れたプラットフォームを提供してくださった ERF Medien 社に感謝いたします）。テキストが記載されていない単なる参照であっても、各聖書箇所を素早く見つけ、理解することができます。

その他、独自に作成した資料も、電子書籍内でリンクされています。ペーパーバック版をお読みの方は、<https://vielesindberufen.de/downloads/>でご覧いただけます。

目次

はじめに

イントロ

レベル1 - 主なメッセージ (モットー) - テーマ

レベル2 - 核心的な考え方 - テーマ

レベル3 - 本質 - テーマ

レベル4 - 概要 - テーマ

1 多くの人が召されています: あなたは失われた者ですか、クリスチヤンですか、それとも永遠への道を進むイエス・キリストの弟子ですか?

2 新約聖書の全 27 冊と 545 の救いに関する聖書箇所をすべて評価

2.1 新約聖書全書の核心的な考え方

2.2 数字で見る救い: 新約聖書にある救いに関する 545 の聖句のすべてを評価

2.3 今、愛され、救われ、永遠に守られる: 新約聖書全書に見られる神の愛と畏れ

3 救いと救いの喪失の可能性: 新約聖書全体にわたる教え

4 天国での報酬と位階

5 永遠の救いへの救いの道における私の保護

6 救いの境界領域

7 要約、結論、展望

7.1-5 要約

7.6 結論

7.7 展望: 狹い道と目標 — 忠実かつ絶え間ない従順のために欠かせないステップ — 個人として、また教会として

付録：反論と聖書からの答え

レベル5-詳細/調査のモットー

レベル6-詳細/調査の本質

1 多くの人が召されている：あなたは失われた者、クリスチャン、それともイエスの弟子であり追隨者か？

1.1 用語の定義：クリスチャン、イエス・キリストの追隨者、そして（永遠の）救い

1.2 失われた者：当然のことながら、神の愛に届かない者

1.3 召された者：イエス・キリストにおける神の愛という唯一の真の福音は、あなたの救いの鍵である

1.4 神の愛に到達している：あなたは愛されている！

1.5 選ばれた者：今、救われている一神の恵み、信仰、そして深い悔い改めによってのみ

1.5.1 選ばれ、救われた

1.5.2 イエスの血によってのみ救われる

1.5.3 罪の赦し－救いの鍵

1.5.4 主であり救い主であるイエスを認めること - 唯一の救い

1.5.5 信仰によってのみ義と認められる

1.5.6 救いは今、真の信仰によって起こる

1.5.7 新生－キリストにおける新しい人生

1.5.8 御靈による清め－真の救い

1.5.9 私たちの救いの印としての聖靈

1.5.10 心の内なる更新によって救われる

1.5.11 信仰の従順は救いにつながる

1.5.12 救いは言葉以上のもの—それは悔い改めと人生に表れる

1.5.13 イエス様は何よりも大切－救いの真の証

1.5.14 イエスを信じる者は救われる

1.5.15 神の国に入る者は救われる

1.5.16

キリストにおけるあなたの新しいアイデンティティは、あなたの救いの大きさを示しています

1.5.17

まとめ：選ばれた者たち：今、救われている—恵みだけによって、生きた信仰と真の回心によって

1.6 見掛け倒し：名ばかりのクリスチヤン、偽りの弟子たち、眞の悔い改め、再生、キリストの追従がない者たち

1.7 死んだ行い：それは今でも、永遠にも救いをもたらさない

1.8 永遠から選ばれた者たち—神の誠実さによって守られ、永遠に救われる

1.8.1 永遠の救い：それはどのようなものか？

1.8.2 区別：永遠の罰、煉獄、全人類の贖罪

1.8.3

イエス・キリスト：彼は父への扉であり、天国への道である

1.8.4

私たちはすでに救われている—しかし、救いの目標はまだ先にある。

1.8.5 神の誠実さが、終わりまで私たちを守ってくださる

1.8.6 私たちの召命と選

1.8.7

永遠への道：多くの人々は、1) 今、イエスに従うこと、2) 永遠に到達すること、という召命を受けています。

1.8.8 永遠への道：眞の弟子であることの意味

1. 弟子としての歩みの基礎

2. 弟子となることはすべてを犠牲にする

3. 弟子としての性格

3. 弟子としての戦い

4. 弟子としての歩みの目標

5. 弟子としての生き方における力

6. 永遠に至る弟子としての道

1.8.9 永遠への道：ふさわしい責任

1.8.10 神は「今」の神である

1.8.11 イエスの追隨者は救われ、救われる

1.8.12

永遠に到達する：永遠に救われる者は多くいるが、その数は少ない

1.8.13

あなたの召命に従う：永遠への道には、すべての人にとって二つの道があり、キリストの追隨者にとって二つの道がある

2 新約聖書の全 27 冊と 545 の救いに関する聖書箇所をすべて評価

2.1 新約聖書の書物の焦点と救いに関する聖書箇所の解釈

2.1.1 マタイ

2.1.2 マルコ

2.1.3 ルカ

2.1.4 ヨハネ

2.1.5 使徒言行録

2.1.6 ローマ人への手紙

2.1.7 コリントの信徒への手紙一

2.1.8 コリントの信徒への手紙二

2.1.9 ガラテヤ

2.1.10 エペソ人への手紙

2.1.11 フィリピ

2.1.12 コロサイ人への手紙

2.1.13 テサロニケ人への手紙

2.1.14 テサロニケ人への手紙二

2.1.15 テモテへの手紙第一

- 2.1.16 テモテへの手紙二
- 2.1.17 テトス
- 2.1.18 ピレモン
- 2.1.19 ヘブライ人
- 2.1.20 ヤコブ
- 2.1.21 ペテロの手紙一
- 2.1.22 ペトロの手紙二
- 2.1.23 ヨハネの手紙一
- 2.1.24 ヨハネの手紙二
- 2.1.25 ヨハネの第三の手紙
- 2.1.26 ユダ
- 2.1.27 黙示録
- 2.1.31 結論

2.2 数字で見る救い：新約聖書にある救いに関する 545 の聖句をすべて分析

2.3 今、愛され、救われ、永遠に守られる：新約聖書全書に見られる神の愛と畏れ

- 2.3.1 マタイ
- 2.3.2 マルコ
- 2.3.3 ルカ
- 2.3.4 ヨハネ
- 2.3.5 使徒言行録
- 2.3.6 ローマ人への手紙
- 2.3.7 コリントの信徒への手紙一
- 2.3.8 コリントの信徒への手紙二
- 2.3.9 ガラテヤ
- 2.3.10 エペソ人への手紙
- 2.3.11 フィリピ

- 2.3.12 コロサイ人への手紙
- 2.3.13 テサロニケ人への手紙
- 2.3.14 テサロニケ人への手紙二
- 2.3.15 テモテへの手紙第一
- 2.3.16 テモテへの手紙二
- 2.3.17 テトス
- 2.3.18 ピレモン
- 2.3.19 ヘブライ人への手紙
- 2.3.20 ヤコブ
- 2.3.21 ペトロの手紙一
- 2.3.22 ペトロの手紙二
- 2.3.23 ヨハネの手紙一
- 2.3.24 ヨハネの手紙二
- 2.3.25 ヨハネの第三の手紙
- 2.3.26 ユダ
- 2.3.27 黙示録
- 2.3.28 要約：今、愛され、救われ、永遠に守られる：新約聖書全書に見られる神の愛と畏れ

3 救いと救いの喪失の可能性：新約聖書全体にわたる教え

3.1 御靈の道とキリストに従うことによる永遠の救い

3.1.1

救われていない人々は、救われた人々を通して救いを見つける：人々が救われるための鍵は、宣教と伝道である

3.1.2

私たちは、唯一の真の神の言葉、そして神の言葉以外の何ものによっても救われることはない

3.1.3

福音の正しい教えは絶対的であり、真に誠実な説教者は救いを得るための有益な条件である

3.1.4

信じる者は救われる：眞の福音を信じることは、救いを得るための主要な前提条件である

3.1.5

眞の回心による古い生活からの眞の改心は、救いを得るための前提条件である。

3.1.6 イエス・キリストの血による贖いだけが救いをもたらす

3.1.7

救われたい人は、イエスを王でありメシアとして受け入れ、これから忠実に従わなければなりません。

3.1.8

イエスを（再び）愛する者は救われる。イエスを愛することは、イエスを信じ、従うことの意味する。

3.1.9

受け取った恵みから生まれる人生の実は、眞の実りある救いのしるしである。

3.1.10

心からイエスに仕え、単に入々に喜ばれようとはしない者だけが、最終的には救われる。

3.1.11

弟子となる条件は、実際には、一時的かつ永遠の救いの条件である。

3.1.12

イエスのためにすべてを捧げることが、唯一の救いの生き方である。それは、自分の能力に応じて、主に完全に献身することを意味する。

3.1.13

（ただ）二本の足で歩く者だけが天国に到達する：恵みへの献身、永遠の救いへの戒めの順守

3.1.14

救いは、神への畏敬の念にあり、単なる敬虔さにあるの
ではない

3.1.15

この世からの分離は、あなたの救いの条件です。この世
よりも（天の父を）愛する者が救われるのです。

3.1.16

正義は死から救う：救いの正義は、単に評価されるだけ
でなく、神と正しい関係を保ち、神の御心を行う生き方でもある

3.1.17

天国の婚礼の宴への招待に応じる者だけが救われる。そ
して、その者が救いの衣と正義の衣をまとう場合にのみ救われる

3.1.18

（ただ）神の御言葉を聞き、それに従って行動する者だ
けが救われる

3.1.19 神に従順で、神の御心を行う者は救われる

3.1.20

塩の力を持ち、罪に抵抗する者は、最終的には救われる
。

3.1.21

イエスを通して、自分よりも神を愛し、隣人を自分と同
じように愛する者は救われる

3.1.22

（ただ）赦され、自らも赦す者だけが、神の救いを見る
。

3.1.23 信仰の兄弟姉妹を愛する者は、永遠に到達する

3.1.24

神の前で、自分自身と他の人たちに傷つけられない良心
を保つ者は救われる

3.1.25 神の目に性的に清く生きる者は、天国に到達する

3.1.26

お金との正しい付き合い方は、天国に到達するための重要な条件である

3.1.27 指導者として模範的な奉仕をする者は救われる

3.1.28 勤勉な者は救いを受け継ぐ

3.1.29 最後まで善行を貫く者は、神の救いを受け継ぐ

3.1.30 聖化と清めは天国への道である

3.1.31

適切な禁欲と、古い性質、欲望、情欲との戦いによって救われる

3.1.32

「キリストにある」ことに救いがある—そして、私が「キリストにある」限り、私は救いの中にあり、救いを持っている

3.1.33 正しい心構えによる救い：謙虚さと恵みが死から救う

3.1.34

将来の世界で尊ばれ、ふさわしいと認められるような生き方をしている者は救われる

3.1.35 留まる者は救われる

3.1.36 固く守った者は天国に到達する

3.1.37 忍耐強い者は幸いである

3.1.38 信仰を守り、忍耐する者は救いを受け継ぐ

3.1.39

試練は、守ることによってやってくる。そして、試練に耐えた者は、神に守られる。

3.1.40

警戒を怠らず、最も困難な状況でも瞬時に従順であることが救いとなる

3.1.41 見張りと祈りは、私たちの永遠の救いの鍵である

3.1.42

偽りのキリストや偽りの福音に惑わされない者は救われる

3.1.43

最後までイエスに留まる者は、救われる

3.1.44

死に至るまで、たとえ殉教であっても、イエスに忠実で
あり続ける者は救われる

3.1.45

獣とその像、その名の数字に打ち勝った者は、無傷で天
国に到達する

3.1.46

惑わされることなく、目を覚まし、自分の命を捧げて主
が来るまで待ち続ける者は、救われる

3.1.47

キリストの再臨の瞬間に、キリストを何よりも大切にす
る者は、永遠に主のもとにいる。

3.1.48

この世で、戦いのルールに従って善戦し、天国への信仰
の競争を走り抜けた者は、天国で勝利の冠を勝ち取る。

3.1.49 要約：靈の道とキリストに従う道、そして永遠の救い

3.2 救いから裁きと滅亡へと至る「肉」の道

3.2.1 神の恵みを無駄に受け取った者は死ぬ

3.2.2 悔い改めずに罪を犯し続ける者は死ぬ

3.2.3 イエスは生ぬるい者を吐き出す

3.2.4

新約聖書の死に至る罪のリストは、キリストの恵みの領域
の限界を私たちに示しています

3.2.5 あなたの赦されない心は、確実にあなたの救いを奪う

3.2.6

悔い改めずに性的罪の中で生きる者は、神とキリストの王国に入る資格はない

3.2.7

神の愛の恵みの場から離れる者は、神から容赦なく見捨てられる

3.2.8 偽りの福音は人を殺す

3.2.9

神の御言葉の教えに疑問を持ち、それを歪曲することは、滅びへと導きます。

3.2.10 誤った教えや些細な教えは、靈的な命を奪う。

3.2.11 [誘惑による] 肉欲は致命的である

3.2.12

人間の教えによってキリストから遠ざかる誘惑は、あなたの命を奪う

3.2.13 容認されたパン種と教会規律の欠如は死をもたらす

3.2.14 自分の快楽を追求することは死をもたらす

3.2.15

イエスを否定したり、その行動によってイエスへの信仰を否定したりする者は、天国の門でイエスに認められない

3.2.16

神の御言葉に耳を閉ざす者は、神の恵みと永遠への扉を閉ざすことになる

3.2.17

不誠実な者、姦淫を行う者、二心のある者、この世を愛する者は、神の敵であり、永遠の火の中で焼かれる

3.2.18 容赦のない者は、神を失う

3.2.19 この世を愛して死ね！

3.2.20

靈的に（再び）眠り、目を覚まさない者は、手遅れになったときに天国の外で目を覚ますことになる。

3.2.21 精神的な怠惰は滅亡の兄弟であり、必然的に死へと導く。

3.2.22

救いを失う道は、徐々に進行する。言葉の罪を例に、その前段階と最終段階を見てみよう。

3.2.23 疑念：あなたの魂をめぐる戦いが始まった

3.2.24 清めることなく汚れた者は、神の民から滅ぼされる

3.2.25

信仰からの離脱とは、自発的に救いを捨て去ることを意味します。

3.2.26 聖霊に対する罪と死に至る罪 —

それを恐れる者は、それを犯していない

3.2.27

他の人々が私によって救いを失うならば、私自身も救いを失う危険にさらされている

3.2.28 主を愛さない者は呪われる！

3.2.29 まとめ：私たちが神から離れ、救いを失う方法

3.2.30 まとめ：「肉」の道、つまり救いから離れて裁きと滅びへと至る道

3.3 キリストの追隨者たちが、命と冠へと確実に歩む道

4 天国での報酬と位階

5 永遠の救いへの救いの道における私の保護

5.1 神による保護

5.1.1 神は私たちを守ってくださる—私たちは神の御手の中にいる

5.1.2 神の恵みが私たちを支えている—私たち自身の力ではない

5.1.3 大祭司イエスが私たちのために執り成してください！

5.1.4

神は、その忠実さによって、選ばれた者たちを保護していく
ださる

5.1.5 神の教育は私たちの保護に役立つ

5.1.6 神は私たちを堅固にし、目標へと導いてくださる

5.2 神の御言葉による私たちの保護

5.2.1 神の御言葉に固執する者は守られる

5.2.2 善き羊飼いの声に耳を傾ける者は安全である

5.2.3 神の言葉による救いの修正によって守られる –
間違えないでください！

5.2.4 あらゆることに備える – 支えとなる希望！

5.2.5

イエス様は、私たちが揺るぎない信仰を保つことができる
よう、警告してくださっています。

5.3 キリストへの完全な献身によって守られる 今

5.3.1 神は、神に属し、神に仕える者たちを保護する

5.3.2

神は、これまで忠実に従ってきた者たちを特に守ってくださる

5.3.3 今日のあなたの献身は、明日の神の忠実さを経験する

5.3.4 私たちは、神の御言葉を守り、行うことによって守られる

5.3.5 神への畏敬の念による保護

5.3.6 積極的な愛による保護

5.3.7 勤勉さによる守られ

5.3.8 神との「チームワーク」による保護

5.3.9

祈りは、私たちと神をつなぐものです。今日、神を求める
者は、明日、試練に耐えることができるでしょう。

5.4 靈的な恵みの手段を用いることによって守られる

5.4.1 清くあり続けること—清めること—日々新たにすること

5.4.2 祈りの生活を通して神は守ってくださる

5.4.3 信仰－守られるための鍵

5.4.4 忍耐し、イエスを待つこと—堅く立つ術

5.4.5 靈的な戦い－悪に抵抗することによって守られる

5.4.6 試練と証明－試練によって強められる

5.5 悔い改めと時宜を得た回心による保護

5.6 キリストの教会による保護

5.6.1 励ましと戒めによる保護

5.6.2 困難な時期における慰めと励ましによる保護

5.6.3 あなたの信仰の従順は、他の人々にとっての救いである

5.6.4 教会による懲らしめによる保護—誤った道からの保護

5.6.5 相互の警戒による保護

5.6.6 靈的な指導者に従順であること

5.6.7 神の御言葉に基づく健全な教えと教師による保護

5.6.8 良い模範による保護

5.7 キリストの教会を守る

5.8 試練に打ち勝つこと—狭い道に堅く立つこと

5.8.1 神の愛は私たちの盾

5.8.2 主にある喜びは私たちの力

5.8.3

恐れることはありません。私たちは自分の力ではなく、神によってそれを成し遂げるのであります。

5.8.4 偽りの誇りと非難からの守り

5.8.5 敵に対する勝利—敵に立ち向かう

5.9 まとめ：永遠の救いへの道における私の保護

6 救いの限界

6.1 「安っぽい」恵みなど存在せず、真の恵みは命を犠牲にする

- 6.2 神の愛と計り知れないほど広い恵みの空間
- 6.3 聖靈を悲しませる人生、あるいは救いを失う人生
- 6.4 信仰（その行い）が必要な場合、永遠の救いには何が「十分」なのか？
- 6.5 救いの保証 - 救いの確信
- 6.6 救いを失い、再び得る：再び見つけた息子 - 再び見つけた娘
- 6.7 真に救われた者の識別記号
- 6.8 聖靈に対する罪
- 6.9 要約：救いの境界領域

7 要約、展望

- 7.1 失われた、見かけ上の、あるいは真の救い？
- 7.2 救いは、行ないによらず信仰によって「今」もたらされ、永遠の救いは、行ないによって表れる信仰によってもたらされる
- 7.3 永遠の救いも、神の恵みと忠実さ、そして憐れみによってのみ実現する
- 7.4 従順の報酬
- 7.5 これは厳しい言葉ですが、誰がそれを聞くことができるでしょうか？神の教育法と、現在の説教のバランスについて
- 7.6 結論
- 7.7 （緊急）忠実な、そして私たちの救いにとどまる弟子としての歩みのための実践的なステップ－個人とキリストの体にとって－を強くお勧めします。

付録 反論と聖書からの答え

- 1 反論：「救いは信仰によってのみもたらされ、行いによってではない」
- 2 反論：「私たちは聖靈によって封印されており、その封印を破ることができるのはイエスだけであり、イエスもそれを破ることはしない」

- 3 反論: 「旧約聖書における救いは不完全でしたが、新約聖書における救いは、私たちが失われることのないほど完全です」
- 4 反論: 「キリストの御業は完全である一私たちに何か追加すべきこと、あるいはしなければならないことがあるだろうか?」
- 5 反論: 「神の神殿はここにあります、神の神殿はここにあります!」
- 6 反論: 「救われた者は、一度で永遠に聖別される」
- 7 反論: 焼かれた行い、それでも救われた
- 8 反論: 「行いを誇ることの危険性、比較することの危険性、裁くことの危険性、絶望することの危険性、落胆することの危険性」
- 9 答え: 「私たちの救いは、常に、そしてもっぱら『キリストにある』ものです。あなたが『キリストにある』なら、あなたは安全です」
- 10まとめ: 神の言葉による反論と答え

レベル1 - 主なメッセージ（モットー） - テーマ

クリスチャンは
は失われることがある。

イエスに従う者は
は滅びることはない。

あなたはイエスの弟子ですか？
あなたはイエスの弟子ですか？

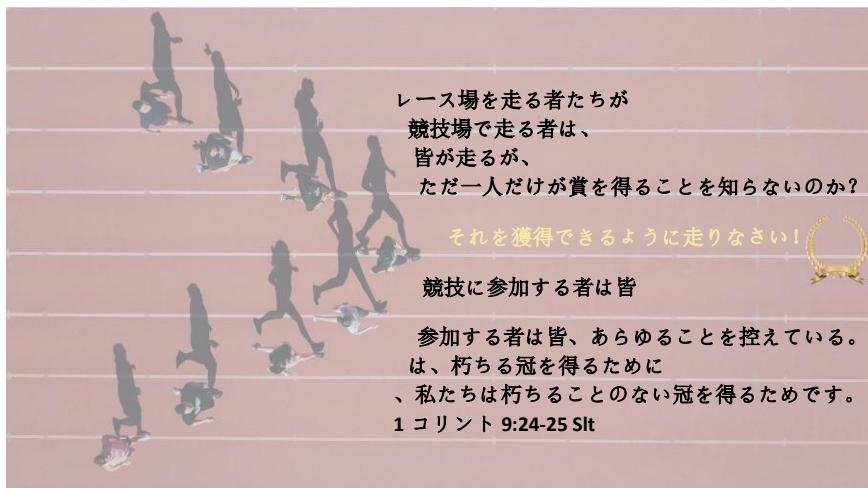
長距離走

イエスとの新しい人生は、マラソンのスタートの合図のようなものです。レースはそこから始まり、ゴールまで走り抜いた者たちが勝利を手にするのです。彼らだけが勝利の賞を受けるのです。

正しいスタートは重要ですが、ゴールすることが決定的です。

非キリスト教徒は、ただ傍観しているだけで、レースには参加していません。名ばかりのクリスチヤンは、実際に登録もせずに、数メートルだけコースに足を踏み入れます。偽りのクリスチヤンは、盗んだゼッケンを着て、楽な部分だけを選んで走ります。しかし、そのうちの誰も、永遠の勝利の冠を受けることはできません。

Figure 2: 1 コリ 9:24 – 25——賞を得るために、このように走りなさい。



パウロの「信仰の競走」の比喩（1コリ9:24-25）：勝ち取るために走る、現在の自制、朽ちない冠。

競技場で走る者は皆走るが、賞を得る者はただ一人であることを
、あなたがたは知らないのか。それを得るように走りなさい。競
技に参加する者は皆、あらゆることに節制している。彼らは朽ち
る冠を得るために、私たちは朽ちない冠を得るために。1コリン
ト9:24-25 SIt

レベル2 - 核心的な考え方 - テーマ

当然のことながら失われる

すべての人は罪を犯し、聖書にある神の基準に従って生きてはいません。誰も一律に罰せられることはありませんが、具体的な罪のために、神の前で失われることになります。イエスを救い主と認めない非キリスト教徒は、救われていません。

名ばかりのクリスチャンは、宗教的な儀式に参加しています。彼らの信仰は、内面的な刷新を伴わない、表面的なものに留まっています。形式を遵守しても、彼らは救われることはありません。彼らが神のために行っている（と思っている）ことは、力のない、死んだ行いに過ぎません。彼らも、深い悔い改めと、新生による人生の刷新なしには、失われるのです。

偽りのクリスチャンは、自分たちをイエスの弟子だと思っているけど、イエスを本当に知ったことは一度もない。彼らはイエスの名のもとで活動したかもしれないけど、本当の献身や従順はなかった。彼らは、神のために生きるために自分自身を死なせたわけではない。彼らは、自分の人生で自分自身を実現しただけで、神に仕えたわけではない。イエスは、最後の審判で彼らを認めないだろう。

救われる一恵みによって、信仰によって

真のクリスチャンは、自分の努力や宗教的な努力によって救われたのではなく、神の恵みによってのみ救われたのです。真のクリスチャンは、自分が神の前で罪を犯していること、そして自分だけでは救われることができないことを認識しています。彼らは、神の真理の光の中で自分の罪を告白し、イエス・キリストを唯一の救い主として受け入れたのです。イエスの愛が彼らの心に響き、その恵みが彼らの内面を変化させたのです。

真の回心によって、彼らは、碎かれた心で、しかし信頼に満ちて、神に立ち返ったのです。神は御靈によって彼らを新たに生まれさせ、希望に満ちた新しい人生へと導きました。それ以来、彼らはもはや敵ではなく、神の子供たち、すなわち愛され、受け入れられ、赦された者たちなのです。それは彼らがそれに値するからではなく、神の御子イエス・キリスト（）が彼らのために命を捧げたからです。彼らの救いは、キリストに根ざしているから確かなものです。そして、この確信から、義務ではなく愛から、キリストに従いたいという願望が生まれます。

愛されているから、感動する

真のクリスチャンは、神の愛を得るためにキリストに従うのではなく、すでに無限の愛を受けているから従うのです。神の恵みと愛は、彼らの人生を根本から形作っています。私たちが愛するのは、彼がまず私たちを愛してくださったからです。この愛は、私たちを熱狂させ、満たし、支え、感動させます。この愛は、真の信者の心に、神との交わりへの深い憧れを燃え立たせます。それは、この世でも、そして来たるべき世界では、完全な明瞭さをもって燃え立つでしょう。

この愛は、苦難の中で支えとなり、試練の中で勇気を与え、苦しみの中で慰めとなります。神は子供たちを支え、見守り、擁護してくださいます。何ものも、神の手から子供たちを引き離すことはできません。たとえ彼らが倒れたとしても、神の恵みは毎朝新たに与えられます。彼らはいつでも、喜びと感謝、そして不安や心配、弱さを持って、神の御前に来ることを許されています。神は彼らを守り、支え、保護し、最終的には彼らの最善のために役立つことだけを受け入れます。

真の従順 - 彼の愛の果実

この神聖な愛は、結果をもたらさないわけではありません。それは変化をもたらします。それは、真のクリスチャンたちに従順を促します。彼らはもはや自分のためではなく、主のために生きる

ことになります。彼らは、言葉だけでなく、献身、回心、聖化に満ちた人生をもって、主の御名を告白するのです。たとえつづいても、主の力によって再び立ち上がるのです。彼らは、良い時も困難な時も、主の愛を堅持するのです。

彼らの信仰は生き生きとしていて、実を結び、神と人々に仕える。彼らの救いは、過去の瞬間ではなく、継続的な変化、すなわちイエスへの愛、罪の回避、最後まで耐え抜くことで表れる。彼らの堅固さの源は、彼ら自身の努力ではなく、彼らの心に注がれた神の愛です。神の愛が彼らの忠実さをもたらします。そして、神の忠実さが彼らの支えとなります。

キリストの追随者としての二つの道

救いは賜物ですが、自動的に得られるものではありません。かつてイエス・キリストに従うことを始めた者すべてが、その目標に到達するわけではありません。聖書は、従う道を離れ、罪にふけり、神よりもこの世を愛し、偽りの福音に従う者は、自分の救いを深刻な危険にさらすことをはっきりと明らかにしています。悔い改めなければ、永遠の命は失われる可能性があります。

真の弟子たちは、自分の力だけで忠実であり続けるのではなく、神様の守ってくださる恵みによって忠実であり続けるのです。それでも、彼らは警戒を怠らず、戦い、忍耐し続けるよう求められています。狭い道は命へと通じ、広い道は滅びへと通じるのであります。救いへの道は、信仰、イエスへの告白、愛と献身の道であり、単なる口先だけの告白以上のものです。良心を絶えず無視し、言葉や行動で信仰を否定したり放棄したり、主や隣人よりも自分自身に奉仕したりする者は、イエスから背を向け、イエスとともに救いを失うのです。

神は、強制ではなく、真の愛が自然に表現された実を期待している。行動も変化も聖化も伴わない信仰は、死んでいる。受け取った恵みを軽視し、それを自分だけのものにしたり、活用しなかつ

たりすると、報いを失うだけでなく、永遠の目標も達成できなくなる恐れがある。

神の愛に満ちた保護

救われた者たちの共同体は永遠に存続しますが、その道程では、すべての信者は真の靈的な戦いに巻き込まれます。それは、キリストに従う上で、忠実さ、真実、そして堅固さをめぐる闘争であり、表面的なものではなく、永遠の意義を持つものです。イエスご自身が、導き、守り、保護する良き羊飼いです。イエスの羊たちは、イエスの手の中で安全です。外部の敵も、闇の勢力も、イエスから羊たちを引き離すことはできません。イエスの愛は力を与え、イエスの恵みは私たちを堅固にし、イエスの御靈は私たちの中で働きます。

イエス様は、私たちのために大祭司として立ち上がってくださいました。イエス様は、忍耐する力を与え、誘惑の中で守ってくださいり、選ばれた者たちのために困難な時期を短縮してくださいます。イエス様は、私たちを呼び、私たちが道から逸れたときは、悔い改める余地を与えてくださる方です。イエス様は、誰も失われることを望んでおられません。誰もが戻ることができ、誰もが新たなスタートを切ることができます。彼の導き、慰め、愛は、私たちが信頼して従うことができる羊飼いに彼をしています。

責任を持ち続けること—愛の中で成長すること

神は守ってくださるーしかし、それは私たちなしでは実現しません。神は、警戒、悔い改め、教え、祈り、そして生き方における忠実さといった、協力の呼びかけを私たちに求めています。神のそばに留まり、神の言葉を愛し、その言葉に従って生きる者は、神の愛の保護の内に留まることができます。キリストに近づくことは、理論上の概念ではなく、実践的な従順、すなわち日々の献身、自分の肉との戦い、信仰の堅持なのです。

私たちの救いは、業績に基づくものではなく、イエスの愛と贖いによるものです。しかし、この愛にとどまる者だけが、目標に到達するのです。父は、他の人の業績で私たちを評価するのではなく、私たちが父から受け取ったものをどう活用したかで評価します。警戒心、忠実さ、そして聖なる畏敬の念を持って生きることは、確実に目標へと導きます。一方、怠慢や無関心は、私たちを堕落の危険にさらします。

神の清めを忘れて、自分自身だけで満足している人は、危険な生活を送っている。しかし、イエスを愛し、その言葉を尊重し、実を結ぶ人は、守られる。

裁きと報い

一方、救われていない人々は、失われるだけでなく、具体的な罪によって、永遠に神の怒りを買います。彼らの過ちの程度によって、裁きの程度が決まります。

天国での報酬は、純粋な恵みによって救われた者たちにのみ与えられます。彼らは今、永遠の命を持っています。しかし、キリストとともに、キリストのために、（神に喜ばれる）生き方を実践する信者たちにとって、永遠の命は、キリストに従うことによる報酬でもあります。

ここで神に忠実に仕え、イエスに従うほど、永遠の命における私たちの報酬はより素晴らしいものになります。決定的なのは、神への愛と、その愛から生まれる行いです。自己の利益のために行うこととは、たとえそれが良いことのように見えても、天国で報酬をもたらすことはありません。

自分の才能を神のために忠実に用い、キリストのために苦しみ、敵を愛する者は、天国で豊かな報いを受けるでしょう。

自己を犠牲にして他者に奉仕し、自ら教えたことを実践する者は、天国で高く評価されるでしょう。

イエスを愛し、最後まで忠実であり続ける者は、イエスから命の冠を授かるでしょう。

結論：バランスのとれた弟子としての福音宣教

新約聖書が、新たに生まれ変わったイエスの弟子たちに伝えるメッセージは、励ましと要求を併せ持っています。神の愛だけ、あるいは神の裁きだけを一方的に強調することは、神の本質を歪め、人々を誤った方向に導いてしまいます。

キリストに新たに生まれ変わった信者たちでさえ、絶えず決断を迫られています。献身、忠実、愛という狭い道を進むか、それとも、自己意志、自己実現、怠惰な妥協という広い道に誘惑されるか、です。一方の道は永遠の栄光へと導き、もう一方の道は、時宜を得た回心なしには、キリストを真に知ることのなかった者たちとともに、命の喪失と裁きへと終わります。

私たちの永遠の救いは、キリストにとどまるににかかっています。そのためには、キリストを、愛に満ちた救い主であると同時に、公正な裁判官であると認識し、聖なる畏敬の念をもって、最後までキリストに従うことが必要です。その際に、私たちは次のことを知っておくべきでしょう。神は誠実な方です。神の恵みを信頼し、神から離れないすべての人を、神は守り、強め、導き、支え、その憐れみをもって、最終的な目標へと導いてくださるのです。

救い主の愛を確信し、その確信を奪われることのない者は、守られます。転んだときに立ち返る者は、救われたままです。永遠への狭い道で、聖なる畏敬の念をもってイエスに従い、最後まで実を結ぶ者は、必ず永遠の目標に到達するでしょう。

個人的な弟子としての歩みも、共同体としての弟子としての歩みも、忠実な弟子となるためには決定的に重要です。二人組、小グループ、あるいは教会全体において、深い交わり、互いに励まし合い、また戒め合うことによって、私たちは信仰の道を歩み続けることができるのです。愛に満ちた教会内の規律さえも、私たち

が道に迷うことを防ぎ、キリストにしっかりと留まるために役立つことがあります。

しかし、結局のところ、あらゆる困難を乗り越え、永遠の目標に到達するまで私たちを守ってくれるのは、不变の神の愛と誠実さに対する私たちの揺るぎない信頼なのです。

クリスチャンは確かに失われることがあります。
しかし、イエス・キリストの弟子たちは、永遠に失われることは
ありません。

レベル3 - 本質- テーマ

<https://vielesindberufen.de/ebene-3-essenz/>

レベル4 - 概要- テーマ

1

多くの人が召されています：あなたは、永遠への道を進むクリスチャン、あるいはイエス・キリストの弟子として、失われていませんか？

失われた者

すべての人は、生まれつき靈的に死んでおり、神から離れていません。すべての人は罪を犯し、聖書にある神の基準に従って生きてはいません。罪は人の心を支配し、神との生きた関係がなければ、人は神から離れ、永遠の滅びへと向かってしまうのです。誰も一律に罰せられるわけではありませんが、神の前では、それぞれの具体的な罪のために失われることになります。人間は自分自身を救うことはできません。道徳的な行動も、善行も、宗教的な儀式も、その罪深い状態を解消することはできないのです。イエスを救い主として認めない非クリスチャンは、救われていません。

希望

しかし、神は私たちが絶望的に失われたままであるのを許されませんでした。神の愛は私たちの失敗よりも大きいのです。神は、すべての人々が救われ、真理を知ることを望んでおられます。そのため、神は愛をもって私たちを創造されただけでなく、世界の創造前から、救いへの道、すなわちイエス・キリストだけを通して通じる唯一の道を用意しておられました。福音、すなわち良き知らせとは、神の御子であり真の神であるイエス・キリストが、私たちの罪のために十字架上で苦しみ、死なれ、三日目に死からよみがえられ、今も生きておられるという事実です。キリスト

は、キリストを通して神のもとに来るすべての人を、今、そして永遠に救うことができます。

すべての人にとっての二つの道

イエス・キリストを主であり救い主であると受け入れる者は、真の命を見出しますが、イエス・キリストを拒む者は、暗闇の中に留まります。すべての人は、この選択に直面しています。一方の道は永遠の命へと、もう一方の道は滅びへと続いています。

ヨハネ 3:36 *Slt*

御子を信じる者は永遠の命を得るが、御子に従わない者は命を見ることがなく、神の怒りがその上に留まる。

救い

真のクリスチャンとは、神の計り知れない愛と恵みによって救われた者です。この救いは、自分の行ないによってではなく、イエス・キリストへの信仰によってのみもたらされます。そのような信仰には、自分の罪を認識し、悔い改め、イエスを主であり救い主であると意識的に受け入れるという、深い回心が含まれます。この決断は、聖霊が信者に働きかけ、新しい人生へと導く、新生へとつながります。

真のクリスチャンは、自分よりも神を愛し、神の御霊に導かれる。彼らの信仰は、愛と従順、そして人生の変化によって表れる。

十字架のそばにいながら、それでも失われている

クリスチャンを名乗る者すべてが、イエスと真の関係の中で生きているわけではありません。外見上は敬虔であるように見えるものの、その心はキリストに属していない者もいます。

偽りのクリスチャンは、キリスト教の価値観を支持し、宗教的な慣習を実践しているかもしれません、彼らの生活は実際には神

に従順ではありません。彼らは、神に従順になるよりも、自分自身を実現したいと思っています。

一方、名ばかりのクリスチャンは、教会への所属、洗礼、伝統に頼って、イエスとの生きた関係を持たない。しかし、クリスチャンであるということは、単なる名称以上の意味がある。それは、イエスを知り、イエスに従うことを意味する。

救われ、救われ続ける

真のクリスチャンは、神の愛に触れ、新たに生まれ変わり、感動したためにイエスに従います。永遠の栄光への希望が彼らを引き寄せ、聖霊が彼らを導きます。神は誠実であり、その約束を堅持します。神は、永遠への道を進む子供たちを守ってくださいます。神は私たちを教育し、導き、強め、私たちの能力以上のこと試みることではなく、救いの道を開いてくださいます。愛から、私たちが道に迷ったときには、悔い改めるための時間と空間を与えてくださいます。なぜなら、神は、ただ一人も失われることを望まないからです。神の誠実さは、私たちに確信と保護、力と喜びを与え、揺るぎなく前進することを可能してくれます。そして、神は私たちを確実に目標へと導いてくださいます。

神の愛に支えられ、その誠実さによって守られる

弟子としての道は容易ではありませんが、孤独な道ではありません。イエスは、羊を知っており、導き、守ってくださる良き羊飼いです。イエスご自身が私たちのために立ち、私たちの弱さを担い、私たちが限界に達したときには力を与えてくださいます。神の愛は、救いへの最初のきっかけであるだけでなく、日々私たちを支える力であり続けます。

その愛を確信している者は、試練や誘惑、失敗の中でも、そこから新たな勇気を引き出すことができます。神の誠実さは、私たちの弱さよりも大きいものです。私たちが神のもとにとどまりたいと願う限り、神は私たちを見捨てません。繰り返し神に目を向ける者は、神の恵みが毎朝新たに与えられることを経験するでしょう。

う。神の愛は、無関心を促すものではなく、深い感謝と、誠実に生きようという願望を呼び起こすものです。

戦いの中でも確かなものー真の希望の力

クリスチャンの希望は不確かなものではなく、神の約束にしっかりと根ざしています。イエスを愛する者は、自分の力だけで目標に到達するわけではありません。イエスが忠実であるからなのです。イエスは、ご自身が始めたことを完成させてくださいます。疑問や戦い、挫折のある時でさえ、私たちは知ることができます。私たちの安全は、私たち自身にあるのではなく、イエスにあることを。

それは、安らぎをもたらしますが、軽薄さをもたらすものではありません。それは、忠実であることを求めるものです。しかし、それは恐れからではなく、愛からなのです。なぜなら、自分がどれほど深く愛されているかを認識した人は、主から逃げ出したりはせず、心を尽くして主に従うからです。

キリストの追隨者たちにも二つの道

ー明確な決断が必要

しかし、神の言葉はまた、最後まで信仰を貫く者だけが約束された目標に到達することを明らかにしています。クリスチャンとしての生活とは、決して諦めることなく、忠実であり続けることを意味します。命へと導く御靈の狭い道と、滅びへと導く肉の広い道があります。

イエスに従う者たちも、信仰生活においてこの決断に直面します。御靈に従うか、それとも肉に支配されるか。イエスに忠実であり続ける者だけが、最終的には永遠の命を受け継ぐのです。

ローマ 8:13 *Slt*

なぜなら、あなたがたが肉に従って生きるなら、死ぬことになるが、御靈によって肉の行いを殺すなら、生きるようになるからです。

永遠に到達する：

多くの人は救われるかもしれないが、忠実であり続ける者はごくわずかである

多くの人々が召されますが、選ばれた者はわずかです。良いスタートを切った者すべてが、最後まで忠実であり続けるわけではありません。イエスご自身が、救われたと信じている者たちの中には、いつの日か、狭い道から逸れたことに気づく者もいるだろうと警告しています。

マタイ 7:21 Slt

「わたしに向かって『主よ、主よ』と言う者すべてが、天の国に入るわけではない。天におられるわたしの父のみこころを行う者だけが、そこに入るのである。

しかし、神は多くの人々を救ってくださる—その恵みは、私たちが考えるよりもはるかに大きいのだ！

黙示録 7:9-10 F

誰も数えることができないほどの大群衆が、御座の前に立って、神を賛美していた。

2

27冊の書物すべてと、救いに関する545箇所の聖句を評

価

聖書箇所

2.1 新約聖書全書の核心的な考え方

マタイ

神に回心する過程で、あなたは自分の罪から離れ、救いのために清められなければなりません。従順と警戒の姿勢で、今も、そし

てこれからも、真の福音と、その福音を深く愛し、神に仕え、最後まで実を結ぶイエスに留まる者は、永遠に救われるでしょう。

マルコ

イエスに回心する者は救われます。しかし、イエスを何よりも大切にし、神の御言葉に耳を傾け、それを守り、実行し、実を結ぶ者だけが、最終的には永遠の救いを得るのです。神の選民は皆、天国に導こうとする神の誠実さを信頼することができます。

ルカ

イエスを通して自分の罪の赦しを得るために神に立ち返る者は、今ここで救われる。イエスに従う者、言葉と行いでイエスを偽りなく告白し、良き賢明な王であり主であるイエスの言うことをすべて聞き従う者、この世のものよりもイエスを愛し、最後まで隣人を自分と同じように愛する者は、永遠に救われる。

ヨハネ

善き羊飼いであるイエスの選ばれた羊たちは、今、永遠の命を持っています。イエスの真の弟子たちは、互いに愛し合い、イエスに留まり、イエスの御心を行うことによって、その弟子たちであると認識されます。そして、イエスは彼らを永遠の救いへと導きます。なぜなら、誰もイエスと、愛に満ちた父の御手から彼らを奪うことはできないからです。

使徒言行録

福音を信じることで、神から恵みと救いを受け、そして心から主に従い、忠実であり続けることが、永遠の命への救いの道です。

ローマ

イエス・キリストの福音は、人々を神の怒りの領域から、神に対する信仰の従順へと招きます。信じる者は、恵みによって救われ、神の前で義と認められ、神の愛される子供として受け入れられます。そして、救われた者として、古い人を断固として否定

し、神の御靈に従い、良い行いで栄光、誉れ、不滅を追い求める者は、神から永遠の命を与えられるでしょう。

1コリント

十字架の言葉は今、救いをもたらします。しかし、福音に固執し、罪に戾らない者だけが、永遠の命を受けるのです。堅く立ち続けることができない者は、無駄に信じたことになります。しかし、神は真実な方です。神は、私たちの能力を超えて試練を与えてはせず、その愛をもって、救いへと導く道を開いてくださいます。

コリントの信徒への手紙二

キリストは福音の中で私たちに「はい」と答え、私たちの回心とともに、永遠の命の保証として御靈を私たちに与えてくださいます。しかし、私たちの永遠の救いは、キリストへの純粋な献身と信仰の関係を継続的に維持することにかかっています。

ガラテヤ

良いスタートを切ったにもかかわらず、自分の力で神の前に立つことを試みて福音における神の恵みを拒絶し、自分の中にある神の御靈ではなく、古い人間の欲望に従う者は、キリストが無駄に死なれた者であり、彼らは失われるのです。

エペソ

キリストにおいて、私たちは永遠に選ばれています。神の愛と恵みの福音を信じることで、私たちはキリストの血によって罪から救われ、神の子として受け入れられます。救われた者として、私たちは赦しを受け、聖靈によって封印されています。それは、私たちの永遠の相続財産への頭金なのです。古い人を脱ぎ捨て、考えを新たにし、純粋な心と言葉をもって新しい人を着ることは、私たちの使命です。このように地上でキリストのために生きる者は、主によって永遠に報われるのです。

フィリピの信徒への手紙

永遠の命という勝利の賞は、私たちが人生の最期まで神の規則に従って歩んだときに（初めて）獲得できるものです。

コロサイ人への手紙

天国でイエスの御前に立ち、永遠の命という勝利の賞を授かるには、三つのことが必要です。それは、今、信仰にしっかりと立ち、心から主キリストに仕え、真の福音と、イエスと永遠に生きるという福音の希望から、決して離れないことです。

1 テサロニケ

神に守られた聖なる生活は、天国への鍵であり、イエス様の前に完璧に立つための鍵でもあります。しかし、イエス様の前に立ったときに、私たちについて非難されるべきこと、あるいは非難される可能性のあることのすべてが、私たちの永遠の救いを奪うわけではありません。

2. テサロニケ

すべてのクリスチヤンは、天国への道において、神の誠実さと悪からの神の保護を期待することができます。このように守られ、永遠の命への召命に最後まで忠実に従う者は、選ばれた者として、主とともに永遠を過ごすにふさわしい者と認められるのです。

1. テモテ

信仰の善戦を戦い、信仰の善行を行う者だけが、最終的には永遠の命を手に入れるのです。それは、私たちの生活の中で、聖書に従って、私たちの主イエス・キリストを第一と信じ、愛のうちに生き、聖なる生活を送ること、そして、神の御言葉によって研ぎ澄まされ、傷つけられていない良心と自制心をもって、聖なる生活を送ることです。

2. テモテ

(ただ) 真の福音に固執し、絶えず自らを清め、神の規則に従って、自分に課せられた信仰の戦いを、最後まで苦難に耐えて戦い抜く者だけが、永遠の命の勝利の冠を授かるのです。その道程において、私たちの忠実な神の守りとお助けが約束されています。

テトス

神の恵みの福音は、それによって、神への畏敬の念を持って、神への認識に従って生き始め、信仰と畏敬の念の道において永遠の命への希望を持つ人々を救います。キリストの追随者は皆、健全な説教によって励まされ、戒められ、永遠への道において多くの悪い習慣を捨て、新しい良い習慣を身につけ、実践しなければなりません。

フィレモン

今、イエスに従う者、今、信仰の兄弟姉妹を愛する者は、今、救われているのです。

ヘブライ人への手紙

私たちの救いは、条件付きの救いです。私たちは、主イエス・キリストへの信仰において、永遠の救いを得るために、聞いたことを（実行するために）最大限に注意を払わなければなりません。そうしなければ、私たちは、救いの島に漂着する遭難船のように、目標である永遠の命を見逃してしまうでしょう。

ヤコブ

ヤコブにとって、信仰に基づく行いは、真の救いの信仰の表現であり、その反映である。

神が彼らの人生に許した試練に耐え、あるいは、死に至る道から、神を愛しているからこそ、その道から立ち返った者たちが、栄冠、すなわち永遠の命を得るのです。そして、結局、神の御心を行うことによって神を愛する者たちが、永遠に救われるのです。

1. ペトロ

イエスへの信仰と愛は、試練の中で証明され、強固なものになります。試練に耐えた信仰は、真の信仰であり、金よりも貴重です。それは、言葉では言い表せない、栄光に満ちた喜びを知っています。それは永遠を継承するでしょう。私たちの信仰によって、主は私たちを守ってくださいます。主の恵みだけが、金のように試練に耐えた信仰を永遠に救うのです。

2. ペトロ

私たちの主であり救い主であるイエス・キリストを知ることで、この世の汚れや欲望から逃れ、愛に満ちた汚れのない、非の打ちどころのない人生を送るよう努め、それによって彼の召命と選択を確固たるものにし、偽預言者たちから身を守り、必要な時にはすぐに悔い改め、私たちの救いのために主の忍耐を信頼する。そうすれば、私たちの主であり救い主であるイエス・キリストの永遠の御国への入り口が、豊かに与えられます。

1 ヨハネ

人となった神の御子を信じ、光と真理のうちに生き、信仰の兄弟姉妹を愛し、神の戒めを守る者は、今、永遠の命を持っています。この天への道において、自分の古い性質と罪からますます清められていく者は、いつかイエスをそのまますべての姿で見るでしょう。

2 ヨハネ

キリストの受肉を信じ、信仰の兄弟姉妹を愛し、神の戒めに従って生きる者は、救われ、救われたままであり続ける。

3. ヨハネ

真理に忠実であるということは、真実に基づいて生きることです。善を行う者は、神の子です。悪を行う者は、神を知ったことがありません。

ユダ

良き知らせを受け入れ、信仰を持ち、揺るぎなく、汚れなく、惑わされることなく、神の戒めを守る敬虔な生活様式を貫き、神の愛と忠実さによって守られ、留まり、祈り、キリストの到来を待ち望むことによって、永遠に救われるのです。

黙示録

子羊の血は、信じる者たちを今、そして永遠に贖い、私たちを天国にふさわしい者、神の子供たちへと変えます。神は私たちを愛し、その誠実さと恵みをもって、神に忠実に従う者たちを保護してくださいます。神の愛と御言葉、そして神の戒めを、何一つ省くことも加えることもなく守り、死に至るまでイエスを証しとして忠実に歩む者は、永遠に救われるのです。

要約

新約聖書の個々の書物の評価

失われた状態

罪の堕落以来、すべての人間は神から切り離され、その罪深い性質によって神のいのちから疎遠になっています。彼らは、不従順と罪につながる、自らの堕落した本性に従っています。偶像崇拜、嘘、不道徳、貪欲、不信仰などの不敬虔な行為は、彼らを滅びへと導き、神の怒りにさらされる結果となります。神に立ち返り、神の御心に従うことによってのみ、この分離は克服されるのです。

靈的な失墜の兆候

神を創造主として認めず、良心に背き、神の真理を歪める者は、罪の中で生きています。十戒にある神の律法は、私たちの失われた状態を映し出しています。神の前でたった一つの分野でも罪を犯した者は、律法全体に対して罪を犯した者となり、裁きを受けることになります。人間による（自己）救いの試みは、私たちの

失われた状態を救うことはできません。特に危険なのは、自分の行いや外見によって救われる説く偽りの教師たちです。神の裁きと人間の責任を無視する福音は、命ではなく死へと導きます。

救い：今、そして永遠に

救いは、人類の罪のために十字架上で死なれ、復活されたイエス・キリストによってのみもたらされます。生ける救い主、主、救い主イエス・キリストとその愛を信じることで、赦し、新しい命、聖霊の受け入れがもたらされます。しかし、真の回心とは、古い生活を捨て、神の御心に従順と献身をもって新たに生まれ変わることも意味します。救いは、自分の行いではなく、信仰によって受け取る恵みの賜物なのです。

栄光への道における弟子たちへの要求

イエスに従う者は、自分の人生から罪を徹底的に取り除き、他の人を怒らせたり、つまずかせたりせず、実を結ぶべきである。真の弟子とは、私たちを深く愛し、今も愛してくださる神への愛に表れる。それは、神の御言葉を守り、隣人に仕えることに表れる。イエスを何よりも愛し、試練の中でも揺るぎない姿勢を保つことが重要である。

福音とその条件

福音とは、失われた罪人を救う、愛に満ちた神についての良き知らせです。この救いは、父である神と、その御子イエス・キリスト（）に、すべてを犠牲にすることになりました。そして、その愛をもって、神は救われた、愛される子供たち一人一人を導き、導き、永遠へと導いてくださいます。神はそれを保証してくださいました。永遠の栄光への道では、イエス・キリストの（真の）追随者だけが目標に到達します。それが、今そして永遠の私たちの救いの条件です。私たちの主を、この大きな人生の道筋で従順に従うこと、警戒を怠らないこと、そして神の愛の良き知らせを固く守ることが不可欠です。信仰を捨てたり、意識的に神の御心

に反して生きる者は、救いを危険にさらすことになります。神の御心を証しする行いのない信仰は、死んだものです。弟子となるには、忍耐力、自己規律、そして誘惑や苦難に耐える用意が必要です。

最後まで忠実であること

真の信者は、キリストへの献身を貫きます。彼らは聖靈に導かれ、純粋な生活を送ります。堅固さ、信仰への忠実さ、そして神の戒めを守ることは、永遠の救いへと導く人生の本質的な特徴です。

誤った道への警告

富の福音や誤った教えを広める偽りの教師たちは、永遠の救いを危険にさらしています。同様に、不道徳、貪欲、あるいは意識的に神を拒絶する生活は、神からの分離につながります。クリスチヤンは警戒し、そのような影響から遠ざかるよう求められています。

永遠の命への希望

救いの確信は、神の恵みと誠実さにある。信仰を堅持する者は、イエスによって守られ、命の勝利の冠を授かる。天国での報いは、この世での誠実さと献身によって決まる。結局のところ、神が御自分の追随者たちに求めるのは、神の御前にあって、神の御名を賛美する人生である。

2.2 数字で見る救い：新約聖書にある 545 の 救いに関連する聖書箇所

新約聖書では、545 節所すべての聖書箇所、つまり全文の約 35% を調査し、私たちの

- 時間的かつ
- 永遠の救い
- 、天国での報酬、そして
- 失われた魂と破滅について言及している聖書箇所をすべて調査しました。

そして、それらは、その最も重要な理由と原因、すなわち

- 選民と召命
- 神の恵みと忠実さ
- 初期の/最初の信仰と
- 信仰の行いに表れる継続的な信仰。

新約聖書における救いに関するすべての聖句の分布を示す最初で最も重要な表は、新約聖書における探求された主題の分布と集中、およびそれらの根底にある原因を単純に示しています。これにより、それぞれの主題について神がどれほど多くのことを語っているか、またその内容が明らかになります。この表は、神が御言葉の中で特に重点を置いている点に関して、最も意味のあるもののです。

新約聖書における救いの主題の分布

その根底にある原因とともに
救いに関連する 545 の聖書箇所すべての中で

		約	正確	数
因 原 テー マ	失われた & 呪われた	33	34	186
	今すぐ救われる	50	53	291
	永遠の救い	50	48	259
	選出 (E) による / 召命 (B)	10	11	60
	神の恵み (G) / 神の誠実さ (T)	40	41	221
	初期の信仰によって	33	35	189
	継続的なもの / 信仰の業	67 %	68%	369
	救いを失う	25	23	128
	天国での報酬/地位	10	9	48

聖書の箇所では、複数の主題が同時に触れられ、原因が挙げられている場合があるため、合計は 100% を超え、545 箇所になります。

救いの状態

新約聖書の中で、永遠と救いについて述べている聖書の一節の約 3 分の 1 は、人間の基本的な失墜と、神の裁きによる永遠の罰を題材としています。

ほぼ半分の聖書箇所は、堕落した人間である私たちが、神に対する自然な敵意、神からの遠ざかり、そして罪から、悔い改めと再生によって神との健全な関係へと至る、今この瞬間ににおける救いの可能性を主題としています。

聖書の節の残りの約半分は、信者が信仰から視覚へと至り、永遠の栄光に入る時に、神がイエスの追随者たちに約束した永遠の救いを主題としています。

聖書の約4分の1は、真の信者が天国に到達する道程で、神の御心と救いを失う可能性について述べています。彼らは、神の最後の審判で自分の人生が明らかになった後、天国に到達することはできないのです。

聖書の節の約10%は、天国における信者の報酬、あるいは彼らが天国で得る地位について述べています。

救いの状態の原因

永遠に神に受け入れられるか、受け入れられないかの原因の分類は、特定のテーマに割り当てられることなく、以下の通りです。

新約聖書の中で、永遠と私たちの現在または永遠の救いについて述べている聖書箇所の約10%は、神の選択（57%）と召命（43%）に関連しています。

聖書の一節の約40%は、それぞれの出来事の原因として、神の恵み（2/3）と忠実さ（1/3）を挙げています。

聖書の節の約3分の1は、神との健全な関係に入るための、救いをもたらす最初の信仰について述べています。

聖書の約3分の2の箇所は、永遠への道において信仰の行いで表現される、最初の信仰に続く継続的な信仰について述べています。

明らかなことは、

新約聖書では、失われた状態と破滅が大きなテーマ（33%）ですが、それ以上に、神が失われた世界に対して、この人生において与えようとしている救い（53%）が大きなテーマとなっています。しかし、神は、今救われている者たちが永遠の救いを得ることに、ほぼ同じくらい（47%）の注意を払っています。

そう、人間として、私たちがどのようにして神との健全な関係に入ることができるかについては、その言及の頻度から見て、私たちが今救われている者として、最終的に天国に到達することができるという重要な救いの領域と同じくらい、神にとって重要な問題なのです。

あらゆる種類の救いにおいて、神は行動する者です。これは、聖書の全箇所の半分（神の恵みと忠実さ 40% + 神の選と召 10%）で明らかにされています。

しかし、神が私たち人間に対して行う救いの行為には、信仰という非常に重要な要素が含まれています（33% の初期信仰 +67% の継続的な信仰、それは行いに表れます）。そのため、あらゆる種類の救いは、私たち側の信仰と切り離せないものとなっています。この信仰が、神から与えられたもの、神によって引き起こされたもの、あるいは神が私たちに救いの条件として要求するものなのかは、定かではありません。

驚くほど多くの聖書箇所（約 25%）は、初期の信仰によって神との健全な関係に入った人々が、救いを失う可能性について述べています。これらの箇所は、実際には回心していないにもかかわらず、自分が回心したと信じている人々についてではなく、かつてイエスと良い関係を築き始めた人々について明確に述べている。実際には、神との健全な関係に一度も入らなかった他の人々は、聖書の「失われた者、呪われた者」の箇所に見られる。

注目すべきは、回心後の継続的な信仰について、神は、回心と救いをもたらした最初の信仰の約 2 倍の注意を払っていることです。神は、私たちが神を信じ続けることを非常に重要視しているのです。

イエス様は、天国での地位をあまり気にするよりも、この地上で自分自身や他の人々に奉仕すべきだと繰り返し強調されました。そのため、天国での後の報酬や地位に関する聖書の箇所は、神様自身の重視度から言えば、重要ではあるものの、控えめな約 10% に留まっています。

関連性のまとめ

新約聖書では、失われた者たちや罰を受ける者たちが大きなテーマとなっています（33%）。神を知らず、私たちの現世と永遠の救いについて、神の愛によってさまざまな形で提供されている福音を信じない者は、失われ、罰を受けることになります。神が、失われた世界に対して、この人生で与えようとしている救いは、救いに関する聖書箇所全体の 53% に登場します。

永遠の救いと、信仰の行いに表れる継続的な信仰の間には、ほぼ 1 対 1 の関連性があります。

次に大きい値は 46% で、これは「神の恵み/忠実さ」に割り当てられており、この継続的な信仰の行いの源がどこにあるかを明らかにしています。それは、この信仰を可能にし、支え、保護し、促進する神ご自身です。

「救いを失う」こと自体と「継続的な信仰 / 継続的な信仰の行い」との間にも、ほぼ 1 対 1 の高い相関関係があります。神は、その御言葉の中で、継続的な「信仰の行い」、すなわち実践的な信仰の継続が、私たちの永遠の救いを得るために不可欠であることをはっきりと示しています。

天国での報酬や地位だけを単独で考察すると、予想通り、継続的な信仰の行いと 79% という最高の相関関係があります。私たちは、この人生で神の御心に従って行動し、その御心を行うことによって蒔いたものを、天国で刈り取ることになるのです。

神の選と召命についてのみ聖書の箇所を見ると、現在の救いとも永遠の救いとも、ほぼ同程度の高く関連性があります（いずれも 66~67%）。このことから、私たちの最初の回心も、その後の救いも、どちらも神の召命と選民の行為に依存しており、今この世での救いも、永遠の救いも、最終的には自分自身に帰するものではなく、神に帰するものであることが明らかになります。神が召命し、選民として選ばなかった者には、この世で何も得ることができないのです。

しかし、神は私たちの存在、本質、意志を、神の救いの働きに組み込んでいます。なぜなら、次にはほぼ同程度の関連性を持つ「選民と召命」は、再び「継続的な信仰 / 継続的な信仰の行ない」（65%）と関連しているからです。神の召命と選民には、常に特定の使命と影響があります。それは、まず私たちの回心、そして継続的な信仰の行ないです。

選ばれた者たちにとって、継続的な信仰の行いはまったく無関係であると思われるかもしれません。しかし、まったく逆です。神の選と継続的な信仰の行いとの間には、最も大きな関連性があります（70%）。神に選ばれた者は、神に従うべきであり、継続的な信仰の行いに特徴づけられる生活を送るべきです。なぜなら、神の選は決して結果のないものではないからです。

私たちは、天国にたどり着く道で、信仰を実践して、永遠の命を本当に受け継ぐように召されているんだ。そして、結局のところ、神の恵みと誠実さによってのみ、それを実現できるんだ。

もちろん、「初期の信仰」は、「今の救い」と 86% でほぼ 1 対 1 の関係にあります。私たちは、神の恵みと信仰によってのみ、救われることができるのです。

神の恵みだけを考えてみると、それは何よりも、初期信仰（70%）による「今の救い」（83%）を目指している。そう、恵みだけによって、私たちは回心によって救われるんだ。それは、神からの賜物である信仰によって。

そして、真の初期の信仰は影響力があります。神は、その恵みと誠実さ（64%）をもって、信仰によって神の子供となった者たちを天国への道に付き添い、その結果として、継続的な信仰と継続的な信仰の行ない（59%）をもたらします。

私たちが主に神の忠実さに注目すると、主に継続的な信仰とその働きとの関連性が前面に出てきます（78%）。神の忠実さによって、救われた私たちは神が望むように生きることができ、その結果として永遠の救いを得ることになります（69%）。

救いの喪失の可能性というテーマに関しては、継続的な信仰、すなわち継続的な信仰の働きと絶対的な1対1の関係があることが注目されます。救いの喪失があるならば、それはまずここで探し、見つけるべきものです。イエスを積極的に信じ、従うことをやめた者は、救いを失います。聖書の証人たちは、その後に自動的に影響する永遠の命について、常に（71%）注目しているわけではありませんが、多くの場合注目しています。

永遠の救いは、100% 選民/召命と関連しています。

永遠の救いを受ける者は、あらかじめ神によって召され、選ばれた者である、と少なくとも言えるでしょう。しかし、イエスから、召された者すべてが天国に入るわけではないことを私たちは知っています。その理由は何でしょうか？ 63%が、神の恵みと忠実さの欠如によるものではないと確信しています。同じ割合（63%）で、継続的な信仰の行いは、永遠の救いと召命に関連しています。これは2つのことを示しています。天国に入る者は、一方では召され、選ばれた者（100%）です。他方では、天国に入るには、神の恵みと忠実さが、継続的な信仰の行いと同様に重要な役割を果たしています。むしろ、前者が後者を可能にするもののように思われます。なぜなら、神の恵みと忠実さは、永遠の救いとも、実に100%という印象的な1対1の関係にあるからです。

驚くべきことは、私たちの救いは、今、継続的な信仰の行いと100%結びついているということです。しかし、それが今、私たちの救いの目標なのです。つまり、神との信仰と愛の関係によって可能になった、私たちの生活を通して、これからも神を敬うことです。

今、救いは、選/召とほぼ同じくらい、他のすべての重要な分野と密接に関連している。

- 初期の信仰
- 継続的な信仰の行い:
- 神の恵みと忠実さ
- 永遠の救い

天国にたどり着くには、これらすべてが必要です。

2.3

今、愛され、救われ、永遠に守られる：新約聖書全書に見られる神の愛と畏れ

新約聖書の 27 冊の書物を調査すると、神の愛、今この瞬間における救い、神への畏敬の重要性、そして永遠の救いの条件について、驚くべき一貫性が見られます。27 冊のうち 26 冊が、神の愛、信仰による救い、健全な神への畏敬の必要性、そして永遠の救いへの道という 3 つの側面すべてを取り上げています。この一致は、聖書の神聖な靈感について印象的な証しとなり、新約聖書の中心的なメッセージを強調しています。

福音書

4 つの福音書（マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネ）は、イエス・キリストに表れている神の愛を一貫して強調しています。それらは、悔い改め、信仰、そして神の恵みを受け入れることによって、現在の救いがもたらされるということを示しています。同時に、神を畏れることを知らない生活に対して警告し、聖さと従順に特徴づけられる生き方を奨励しています。すべての福音書は、永遠の救いはキリストへの忠実さにかかっており、一貫した従順が必要であることを強調しています。

手紙

使徒たちの手紙、特にパウロの手紙は、福音書のテーマを取り上げ、それをさらに深めています。それらは、神の愛が救いの基礎であるだけでなく、救いは信仰によって保たれるべきであることを明らかにしています。神への畏敬の念は、キリストに従う生活のために不可欠であると述べられています。手紙は、永遠の命は単なる賜物ではなく、忍耐、従順、忠実さによって達成される目標でもあることを強調しています。重点が異なる点があります。

例えば、コリントの信徒への手紙は、自己過信の危険性を警告して強調しているのに対し、ローマの信徒への手紙は、信仰のみによる義認と、真に新しくなった人生の実りとしての行いに焦点を当てています。

黙示録

聖書の最後の書である黙示録は、新約聖書の中心的なテーマを、終末論的な枠組みの中でまとめています。この書は、神への畏敬の念を強く訴え、罪深い生活を送った結果、救いを失うことまで示しています。同時に、信仰を持ち、勝利し、忠実であり続ける者たちの最終的な救いを通して、神の愛が明らかにされています。黙示録は、永遠の救いには、信仰による積極的で勝利に満ちた生活が必要であることを強調しています。

3 救いと救いの喪失の可能性：

新約聖書全体にわたる教え

3.1 永遠の救いへの御靈の道とキリストに従う道

新約聖書全体にわたる教えを考察すると、これまでの結論が裏付けられます。

イエス・キリストへの信仰は、永遠の命の勝利の冠へと私たちを導く、長く困難な道です。この道は、良いスタートだけでなく、絶え間ない忍耐と忍耐も要求します。聖靈によって与えられる神の超自然的な助けによって、私たちは信仰の困難を乗り越え、目標を達成することができるのです。最も重要なテーマは次のとおりです。

動機となる神の圧倒的な愛

回心の中で出会う神の愛は、私たちの信仰の基盤です。それは私たちに罪の赦しを与え、信仰の道を歩み続ける動機となります。

たとえつまずき、倒れたとしても、私たちはいつでも神のもとに来て、清められることができる事を知っています。神の計り知れない愛と恵みは、最後まで忠実に走り抜くための原動力となります。

私たちが新生で受けた聖霊は、日々の力の源です。聖霊によって、私たちは信仰の道を忠実に歩み続けることができるのです。

勤勉、忍耐、忍耐：目標への道

信仰のある人生には、忍耐、忍耐力、そして規律が必要です。私たちは困難な時期にも忍耐し、持ちこたえるよう求められています。試練に忍耐強く耐え、その試練に打ち勝った者は、神が御自身を愛する者たちに約束されたように、最終的には永遠の命という報いを受けるのです。この忍耐力によって、私たちはゴールまで走り抜き、勝利の冠を受けることができます。

イエスの身代わりの贖いの死と復活

十字架上のイエスの死と、その三日後の復活は、キリスト教の信仰の基盤です。この身代わりの贖罪の死によって、私たちは神と和解し、罪の赦しを受けるのです。私たちのために死んで復活したイエスを信じる信仰は、私たちの生活の基本となる基盤です。

神のための実：真の救いの基準

真の救いは、私たちが神のために結ぶ実によって明らかになります。イエスは、次のように述べています。キリストと密接な関係にある者は、その関係から力を得るため、実り多い人生を送ることができます。この実は、救われた人生から自然に生まれるものであり、善行や他者への奉仕によって明らかになります。

兄弟愛と赦し：共同体での生活の基礎

忠実なクリスチヤン生活の特徴は、信仰の兄弟姉妹への愛でもあります。イエス様は、御自身が私たちを愛してくださるのと同じ

ように、私たちも互いに愛し合うよう求められています（）。信者同士の相互の愛は、弟子としての生き方の中心的な特徴であり、キリストご自身が愛してくださるのと同じくらい強いものでなければなりません。この愛は、互いに赦し合い、励まし合う姿勢に表れています。

謙遜さと神への愛：弟子となるための条件

イエスに従うには、謙遜さが必要です。イエスは、神の国で最も偉大な者は謙遜な者であると教えました。真の偉大さは、他者を支配することではなく、他者に仕え、他者のために尽くす用意があることに表れます。この謙遜さは、神と他者に愛をもって仕える用意があることに表れます。

神への愛は、私たちの生活の中で最大の愛でなければなりません。それは、私たちがイエスに従うこと、そして神の戒めに従順な生活を送るための基礎となります。

お金との付き合い方と性的純潔

お金との関わりは、お金よりも神を愛することを私たちに求めます。イエスは、人は二つの相反する目標を同時に追求することはできず、必ずどちらか一方に傾くことになる、と私たちに警告しています。私たちは、お金と責任を持って関わり、神が御国を築くために私たちに託した道具としてお金を使うよう求められています。

性的純潔も、クリスチャン生活において重要な要素です。神は、私たちの体は聖霊の宮であり、純潔を保つために性的罪を避けなければならないと教えてています。

良心を傷つけない

良心を傷つけないことが非常に重要です。良心は、私たちの行動の内的基準となるものだからです。ペテロの手紙第一 3:19 には、確固たる信仰と清い良心は、真理に従って生きるために不可欠で

あると書かれています。清い良心は、真理に従って生き、神に服従する上で役立ちます。

宣教と伝道の重要性

救われた者は、福音を宣べ伝える使命を持っています。イエス様は、私たちに宣教の使命を与えてくださいました。信仰を伝えるという使命は、キリストの弟子たちすべてに課せられたものであり、彼らは他の人々を神との交わりに導くべきなのです。すべての信者は、福音を伝え、他の人々もイエス様を信じるようになるよう助けるよう召されています。

神の恵みによる絶え間ない清め

信仰に忠実であり続けても、私たちは何度もつまずくでしょう。しかし、そのすべてにおいて、神の愛と恵みがいつでも私たちに与えられていることを知ることができます。神は忠実で公正であり、神のもとに来て自分の罪や過ちを告白する者は、赦しと清めを受けるのです。私たちは何度も神のもとに来て、清めることができます。それは、私たちがそれに値するからではなく、神が私たちを赦してくださいとおっしゃるからです。

ローマ 2:6-7 Slt

[神] 6 それぞれの行いに応じて報いる方、すなわち、善を行ふことに忍耐強く励む者たちには、栄光と誉れと朽ちることのないいのち、すなわち永遠のいのちを。

1 テモテ 2:14-15 F

[しかし、彼らは救われるでしょう、もし] 信仰と愛にとどまり、慎み深く、聖なる生活を送るならば。

ヤコブ 1:12 Slt

12 試練に耐える人は幸いである。試練に耐えた後、主が、ご自分を愛する者たちに約束されたいのちの冠を受けるからである。

1 ヨハネ 1:9 Slt

しかし、私たちが自分の罪を告白するならば、神は眞実で正しい

方であるから、その罪を赦し、すべての不義から私たちをきよめてくださいます。

1 ペトロ 5:2-4 Slt

[長老たちへの勧告] 2 強制されるのではなく、自発的に、不名誉な利益を求めるのではなく、献身をもって、神の群れをあなたのところで守ってください。3 割り当てられたものを支配する者ではなく、群れの模範となってください。4 そうすれば、最高牧者が現われたときに、朽ちることのない栄光の冠を受けることができる。

黙示録 3:11 Slt

11 見よ、わたしはすぐに来る。あなたが持っているものをしっかりと保ち、だれもあなたの冠を奪うことがないようにしなさい。

黙示録 2:10 Slt

10 あなたがたが受ける苦難を恐れではならない。見よ、悪魔は、あなたがたのうちの何人かを牢に投じ、あなたがたを試練にさらすであろう。そして、あなたがたは十日間、苦難を受けるであろう。死に至るまで忠実でありなさい。そうすれば、わたしは、いのちの冠をあなたに与えよう。

3.2 救いから裁きと滅びへと至る「肉」の道

救いから離れて「肉」の道を進むことの全体像
裁きと滅びへの道は、次のことを示しています。

神の恵み - 無視してはならない賜物

神は、その計り知れない愛をもって私たちを呼び、イエス・キリストを通して、純粋な恵みによって救ってくださった。しかし、この恵みは、肉的な生活にとどまるための免罪符ではない。罪にふける者、この世を愛する者、福音を薄める者は、神の愛を軽んじるだけでなく、それを悪用し、自らの救いを危険にさらしている。真のイエスの弟子たちは、神の恵みの中に留まり、イエスに固執し、御靈によって変えられる。

神の恵みを忘れることの致命的な危険

私たちの信仰とキリストへの奉仕は、私たちがそれを堅持する限り、無駄になることはありません。しかし、真の福音から背を向け、悔い改めのない生活を送る者は、神の恵みを無駄にしてしまうのです。聖書は、神の愛と恵みを忘れて、再び肉の行いに陥ることを強く警告しています。絶え間ない清めと聖化のない信仰は、死んだものです。

意識的に罪にふけり、悔い改めない者は、神の恵みを大切にしていないことを示している。イエス様は私たちを救ってくださったが、私たちがイエス様にとどまり、イエス様の中に留まることを期待しておられる。神の御靈に導かれるのを拒み、肉の道を選ぶ者は、結局、かつて自分を救ってくださった愛を拒絶することになる。

深刻な警告：生ぬるさと意識的な罪は、神から人を引き離す

イエスと歩みを始めたものの、その目標に到達できない場合もあります。生ぬるくなり、悔い改めをしない者は、イエスによって吐き出されます。イエスに従うには、特に試練の時において、警戒と不屈の精神が必要です。この世に目を向け、この世を追いかけて、神の戒めを無視する者は、自分を救った愛を軽んじ、救いを危険にさらすことになります。

特に致命的となるのは、意識的な継続的な罪です。古い生活と決別する用意がなく、神とその戒めを後回しにする者は、いつの日か、自分が神の恵みから遠ざかっていることに気づくでしょう。かつて自分を救った愛は軽んじられ、最終的には悪用されてしまいます。イエスは、意識的に自分に反抗して生きる者たちとは交わりを持ちません。

真の報酬：自分のためではなく、神のために生きる

神は、神への愛のために生き、神の御心にとどまる者たちに報いを与えます。自分の才能を主のために用い、苦難の中でも堅く立

ち、無私無欲に奉仕する者は、天国で大きな報いを受けるでしょう。しかし、自分の名誉のためだけに行動したり、神から与えられた可能性を活用しなかったりした者は、報いを受けるどころか、永遠の命さえも失うことになるでしょう。

イエスの真の弟子たちは、自分の人生は自分ではなく神のものであることを理解しています。再びこの世の欲望に囚われる者は、神の戒めに反するだけでなく、もはや神の愛を尊ばないことを示しているのです。自分のための人生は、神に背く人生なのです。

肉欲的な生活による破壊

神はキリストにおいて私たちを新しくしてくださいましたが、肉は依然として私たちを引き戻そうとする敵です。肉に屈し、自分の欲望を神よりも優先する者は、靈的に死ぬでしょう。聖書は、肉に従って生きる者は神の国を相続しないことを明らかにしています。したがって、意識的に神の御靈に背く者は、神の導きを拒むだけでなく、かつて自分を救った恵みを侮辱することになります。

イエス様は、私たちが毎日自分の十字架を背負い、自分を否定して、イエス様に従うことを期待しています。その代わりに、肉の生活を選ぶ者は、かつて自分を救った計り知れない愛を忘れ、結局、自分の目的のためにそれを利用することで、その愛を悪用してしまうのです。

誘惑と偽りの福音の危険性

偽りの福音は人を殺します。純粋で偽りのないイエス・キリストの福音だけが、命へと導くのです。誤った教えや世俗的な哲学に惑わされる者は、神から離れてしまいます。福音を薄め、神の聖さを無視することは、特に危険なことです。悔い改めも、聖化も、キリストへの従順もない福音は、福音ではありません。他のものを固執する者は、真理を軽視し、滅びてしまうのです。

この世への愛は滅びへと導く

「だれも、ふたりの主人に仕えることはできない」。この世を愛する者は、永遠の命を失う。聖書は、この世の欲望に惑わされることの危険性を強く警告している。金銭欲、名声欲、快適さ、自己実現は、神から目をそらすような、欺くような罠である。これらのものをイエスよりも優先する者は、かつて自分を救った愛を軽んじ、この世とともに滅びてしまう。

多くの人々はキリストから始めますが、この世の心配事が彼らの信仰を窒息させてしまいます。人生の誘惑、所有物の追求、承認欲求により、多くの人々は真の宝を見失ってしまうのです。しかし、結局、重要なことはただひとつ、最後まで忠実であり続ける者が救われるということです。

恵みと回復－神の子供たちに対する神の心

私たちの従う道は、罪のない完璧さではなく、私たちの大きな命の綱である。毎日、私たちは神によって清められる機会を与えられている。それは、神を悲しませるものの、キリストにおける私たちの救いに影響を与えないものからである。しかし、たとえ私たちが神から遠く離れて、放蕩息子や迷える羊のように、父や良き羊飼いのいる安全な避難所を離れたとしても、神の愛は変わりません。神は、私たちを再び受け入れ、完全に回復させることを、大きな喜びをもって待っておられます。神の恵みは、罪を犯してもいいという免罪符ではありませんが、悔い改めて戻ってくる者にとっては、尽きることのないものです。

結論：警戒を怠らず、神の愛を敬う

私たちの命は、イエスの血によって買い取られた、神からの賜物です。罪にふける、あるいは肉の道を選ぶことで、神の愛を軽んじてはなりません。神に背く者は、かつて自分を救った恵みを悪用し、永遠の未来を危険にさらすことになります。

しかし、神の恵みは私たちの失敗よりも大きいものです。誤った道に迷い込んだ者も、いつでも神のもとに戻ることができます。父親が放蕩息子を受け入れたように、神は悔い改めて神に立ち返る者を、喜んで再び受け入れてくださいます。

ですから、私たちは警戒を怠らず、キリストに固く立ち、何よりも神を愛し続けましょう。最後まで信仰を貫いた者だけが、いのちの冠を受けるのです。神の愛は誠実ですが、私たちにも誠実であることを求めているのです。

4 天国での報酬と位階

天国での報酬は、イエス・キリストによって恵みによって救われた者にのみ与えられます。彼らは最初から永遠の命を持っています。

救われていない人々は、失われるだけでなく、その罪によって永遠の怒りを積んでいるのです。その過ちの程度によって、永遠における彼らの負の報酬の程度が決まります。

恵みによって救われ、キリストとともに、キリストのために生きる者たちには、次のことが当てはまります。

永遠の命は、神を愛し、その愛を、神への奉仕と人生を通して示す者たちに与えられる報酬です。ここで重要なのは、私たちの内なる動機です。愛と神の栄光のために行うすべてのことは、神によって報われるのです。

永遠の命における大きな報酬は、自分の才能を神のために惜しみなく忠実に用いて、キリストのため、あるいは正義のために苦しみ、敵を愛した信者たちに与えられます。しかし、主にではなく、主に自分の名誉のために行った行為は、報酬をもたらしません。

確かに、私たちは天国で偉大になりたいと願ってもかまいませんが、その道は、奉仕し、自分の言うことや教えることを自ら実践し、キリストのために苦しむことです。それでも、私たちはまっ

たくりラックスして、で見せかけの権力争いに巻き込まれる必要はありません。天国の順位は、最終的には天の父が定めたものになるのです。

神から与えられた可能性を主のためにまったく活用しない者は、報いを受けるどころか、永遠の命も失い、不信仰者と同じ運命をたどることになる。また、神の奉仕に携わっているにもかかわらず、神よりも自分自身に奉仕する者も、救われてはいないし、救われることもない。

ローマ 2:6-8 Slt

[神] 6 それぞれの行いに応じて報いる方、すなわち、 7 善を行うことに忍耐強く励み、栄光、誉れ、不滅を求める者たちには、永遠の命を与える。 8 しかし、利己的で真理に従わない者たち、不義に従う者たちには、怒りと憤りをお与えになる。

2コリント 9:6 メン

6 種をまかない者は、収穫も少なく、種をたっぷりまいた者は、収穫も多くなる。

マタイ 6:1 メン

1 人々の前で、自分の義を誇って見せびらかさないように気をつけなさい。そうしないと、天の父から報いを受けることができない。

コロサイ 3:23-25 Slt

23 あなたがたは、すべてのことにおいて、人に対してではなく、主に対して、心からそれを行なうようにしなさい。 24 あなたがたは、主から報いとして、御国を受け継ぐことを知っているからです。あなたがたは、主キリストに仕えているのです。 25 不正を行なう者は、その不正を行なったことに対して報いを受けるでしょう。人を見分けることは決してありません。

ルカ 6:22-23 + 35 メン

敵を愛し、善を行い、見返りを求めずに貸してやりなさい。そうすれば、あなたの報いは大きいでしょう。

ローマ 2:4-7、ルカ 19:16-19、マタイ 25:25-30、2コリント 9:6、マタイ 6:1、マタイ 20:20-28、1コリント 4:5、黙示録 22:11-12、ルカ 6:22-23 + 35; コロサイ 3:23-25; 1コリント 3:11-15; マタイ 7:21-23; マタイ 5:19

5 永遠の救いへの救いの道における私の保護

神は、その恵みと誠実さをもって、永遠の救いへの救いの道における私たちの保護を気遣ってくださいます。そして、イエスに従う者、その恵み（恵みの手段）を受ける者は、確実に永遠の救いに至るのです。

神による保護

永遠の救いへの道における私たちの保護

なんと素晴らしい神でしょう！私たちの救いは、私たち自身の働きによるものではなく、神の御手の中にあります。神は私たちをしっかりと支え、導き、目標に到達するまで守ってくださいます。

フィリピ 1:6 *Slt*

また、あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、イエス・キリストの日にそれを完成させてくださることを、私は確信しています。

神は私たちの守り手

神ご自身が、私たちが救いの道から逸脱しないよう見守ってくださいます。誰も私たちを神から引き離すことはできません：ヨハネ 10:29。神の御手が私たちをしっかりと守ってくださいます。

恵みが私たちを支えています

私たちの救いは恵みです。それは神の愛から始まり、終わりまで続きます。エペソ 2:8

イエスが私たちのために立ち上がる

私たちは孤独ではありません。私たちの大祭司は、私たちのために執り成すために生きておられます。ヘブライ 7:25。彼は私たちのために戦ってくださいます。

神の誠実さが私たちを支えている

私たちが揺らぐときでさえ、神は忠実であり続けてくださいま
す： 2 テサロニケ 3:3、2 テモテ 2:13。

神は私たちを強くするために試練をお使いになる

困難な時期は罰ではなく、神の愛のしるしです： ヘブル 12:6。

神は私たちを確実に目標に導いてくださる！

ローマ 8:38-39 Slt

私は、死も、生も、天使も、権威も、力も、現在も、未来も、39
高いものも、低いものも、その他のいかなる被造物も、私たちの
主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことは
できないと確信しています。

彼は、私たちが忠実であり続けるために必要なすべてのものを私
たちに与えてくださいました。彼に固くしがみつく者は、確実に
目標に到達するでしょう。

2 ペトロ 1:3 Slt

なぜなら、神の御性質は、私たちに、いのちと敬虔さのために必
要なすべてのものを、その栄光と徳によって私たちを召してください
された方を認識することによって、与えてくださったからです。

キリストの教会による保護

神は、私たちを単独の戦士としてではなく、キリストの教会という一つの体の一員として召されました。励まし、戒め、靈的な導き、そして共同の警戒によって、教会は私たちが救いの道に留まるよう助けてくれます。教会から離れる者は、靈的に冷たく、信仰から離れる危険にさらされます。神は、聖徒の交わりに私たちを根づかせることによって、私たちを守ってくださいます。

ヘブライ 10:25 詩編

ある人々は、集まることを習慣的に怠っていますが、私たちは、その日が近づいているのを見るほど、なおさら、互いに励まし合いましょう。

励ましと戒めによる保護

信仰の道を一人で歩むことはできません。私たには、励ましてくれる兄弟姉妹だけでなく、つまずいたときに戒めてくれる兄弟姉妹も必要なのです。健全な教会は、互いに戒め合い、励まし合う場所です。愛情のある戒めと励ましなしでは、個人は自分の過ちに気づかず、その歩みを危険にさらすことになります。神は、私たちを忠実であり続けるために、兄弟姉妹をお使いになるのです。

1 テサロニケ 5:11 Slt

ですから、あなたがたは、互いに戒め合い、励まし合いなさい。

困難な時期における慰めと励ましによる保護

試練や困難が訪れたとき、私たには慰め、真理によって励ましてくれる兄弟姉妹が必要です。教会は、私たちが諦めずに持ちこたえるよう励まされる場所です。交わりと祈りを通して、私たちは再び力を得て、堅く立つことができるのです。2コリント 1:3-4

他の人を救う信仰の従順

私たちの信仰は、自分自身だけでなく、他の人にも影響を与えます。ある人が忠実であり続けることで、他の人の救いとなることがあります。暗闇の中の光のように、一人の信仰が他の人を正しい道へと導くのです。ピリピ 1:14

教会による懲らしめによる保護－誤った道からの保護

教会で罪を公正かつ愛情をもって扱うことは、信者たちを誘惑から守ります。意識的に罪の中で生きる者は、自分自身だけでなく、他の人々も危険にさらします。教会規律は、信仰の純粋さを保ち、誤った道を正すためにあります：1コリント 5:12-13

相互の警戒による保護

クリスチャンは、互いに注意を払うよう召されています。靈的に眠ってしまっているときは、私たちを目覚めさせる兄弟姉妹が必要です。互いに戒め合うことは、私たちが忠実であり続け、真理から逸脱しないよう助けてくれます。ヘブル 3:13

靈的な指導者に従順であること

神は、教会に責任を持つ牧師や指導者を任命されます。靈的な指導者に従順な者は、保護、導き、靈的な成長を得ることができます。指導者は支配するのではなく、キリストの御心に従って仕えるべきである：ヘブル 13:17

神の言葉に基づく健全な教えと教師による保護

誤った教えは信仰を破壊します。教会は、健全で聖書に則った教えに従うことで守られます。神は、御言葉を忠実に解釈し、惑わされることから守る教師たちを教会に与えてくださいます：2テモテ 4:3-4

良い手本による保護

私たちは、目に見えるものから最も多くを学びます。教会における良き模範は、私たちが信仰に忠実であり続ける助けとなります。靈的に成熟した者は、他の者が信仰において成長できるよう、模範を示すべきである：1コリント 11:1

結論：教会は神による保護の道具である

キリストの教会に根ざす者は、力づけられるだけでなく、靈的にも守られる。励まし、戒め、靈的な導き、健全な教えは、私たちが救いの道に留まる助けとなる。

エペソ 4:16 詩篇

キリストから、すべての体が、それぞれの関節によって結び合わされ、それぞれの部分がその働きを十分に果たすことによって、愛のうちに自分自身を建て上げるために成長するのです。

永遠の救いへの道におけるキリストの教会を守る

キリストの花嫁としての教会の召命と完成

キリストの教会は、神によって召されたイエス・キリストの花嫁であり、神はそれを、ご自分のために、汚れのない、傷のないものとして備えておられます。

エペソ 5:25-27 Slt

キリストは教会を愛し、そのためにご自身を捧げ、御言葉による水の洗いによって教会を清め、ご自身にふさわしい教会、すなわち、汚れやしづか、そのようなものがない、聖なる、傷のない教会としてご自身に獻げました。

教会は、地上のキリストの体として、決して滅びることはなく、最終的にはキリストとともに天に到達し、キリストとともに御国を受け継ぎ、永遠に支配するでしょう。

マタイによる福音書 16:18

しかし、わたしもあなたに言う。あなたはペトロである。この岩の上に、わたしの教会を建てよう。死の門も、それを打ち破ることができない。

黙示録 19:7-8 Slt

喜び、喜び、彼に栄光を帰しましょう。子羊の婚礼の日が来て、その妻も準備を整えたからです。彼女は、純白で輝く、上質な亞麻布の衣を着ることを許されました。この上質な亞麻布は、聖徒たちの義なのです。

地元のイエスの教会 - 分かれ道に立つ弟子たち

しかし、個々の地方教会はどうでしょうか。その永遠の存在と靈的な生活は、決して保証されているわけではありません。

イエス様は、地方教会レベルでの聖化と教会規律、すなわち、悔い改めずに罪に留まる者たちからの分離（マタイ 18:17、ルカ 9:60）を求めています。そうしなければ、罪が教会全体に浸透してしまうからです（1コリント 5:6-7）。さらに、イエスは、地方教会が最初の愛を捨て、純粹な教えを守らず、教会規律を放棄した場合の結果を、はっきりと明らかにしています。それは、靈的な死の脅威、燭台の撤去、そして最終的には、その教会が彼の口から吐き出されてしまうことです（黙示録 2:4-5、黙示録 3:16）。

黙示録 3:1-2 Slt

1 サルデスの教会の御使にこう書き送れ。七つの御靈と七つの星を持つ方がこう言われる。わたしはあなたの行いを知っている。あなたは、生きているという名を持っているが、実は死んでいる。2 目を覚まし、死にかけている残りのものを力づけなさい。わたしは、あなたの行いが、神の前で完全ではないと認めたからだ。

黙示録 2:4-5 Slt

しかし、わたしは、あなたが最初の愛を捨てたことを非難する。あなたがどこから落ちたかを思い出し、悔い改め、最初の行いを

しなさい。もし悔い改めないなら、わたしはすぐにあなたのものと
にやって来て、あなたの燭台をその場所から取り除いてしまう。

黙示録 3:16 Slt

だから、あなたは生ぬるく、冷たくも熱くもないで、わたしの
口から吐き出そう。

救いの道における地方教会の保護

a) 偽りの福音による誘惑からの保護

最初の教会でさえ、誘惑と闘わなければならなかった。パウロ
は、イエス・キリストによる真の救いを宣べ伝えない偽りの福音
が教会を滅ぼす恐れがあると警告している。

ガラテヤ 1:6-9

6 あなたがたが、キリストの恵みによって召された方から、そ
うも早く離れて、別の救いのメッセージに目を向けることに、私は
驚かざるを得ません。7 他の（救いのメッセージ）は存在しない
のです。ただ、ある人々が、あなたがたを混乱させ、キリストの
救いのメッセージを歪めようとしているだけです。8 たとえ、私
たち自身や、天からの御使いが、私たちがあなたがたに宣べ伝え
たものとは別の救いの福音を宣べ伝えたとしても、その者はのろ
われる。9 以前にも述べたように、もう一度繰り返します。「あ
なたがたが（私から）受けたものとは別の救いの福音を宣べ伝え
る者があれば、その者はのろわれる」と。

保護: 長老たちや指導者たちは、救いをもたらす教えを監視し、
それを偽りなく教え、模範的な生き方をもって実践しなければな
りません。（テトス 1:9）

b) 灵的な眠りと冷たさからの保護

靈的な冷淡さは深刻な危険です。

黙示録 3:16 Slt S

ああ、あなたは生ぬるく、冷たくも熱くもないで、私はあなた
を私の口から吐き出そう。

守られること：教会は警戒し、最初の愛を保たなければならぬ（黙示録 2:4-5）。

c) 罪と教会規律の欠如からの保護

個人の生活における罪は、教会全体を汚し、神から引き離す可能性があります。

1 コリント 5:6-7 SIt

あなたがたの誇ることは良くない。少しのパン種が、生地全体を酸っぱくするのを知らないのか。だから、あなたがたは、新しいパン種であるから、古いパン種をすべて取り除き、新しいパン種であるようにしなさい。私たちの過越の羊、キリストは、私たちのために屠られたのだ。

保護：聖なる生活と教会規律は必要なものです（2 テモテ 4:2）。

d) 靈的指導による保護

弱い指導者は、しばしば背教の始まりとなります。

使徒 20:28 SIt

だから、聖靈があなたがたを監督として任命した群れ全体を、よく見守ってください。聖靈は、ご自分の血で買い取った神の教会を、あなたがたに守らせようとしているのです。

保護：指導者は御言葉を愛し、模範的な生活を送らなければなりません（1 テモテ 3:1-7、1 テモテ 4:16）。

結論

勝利し、キリストに忠実であり続けた教会全体は、永遠に存続するでしょう。しかし、それぞれの地方教会は、生死を賭けた靈的な戦いに直面しています。警戒心、健全な教え、教会規律、靈的な指導は、地方教会が永遠の救いの道に留まるための鍵です。

誤った教え：最初の教会でさえ、誤った福音に脅かされていました。パウロは、キリストの恵み以外のあらゆる教えを、靈的な死を意味するものとして呪っています（ガラテヤ 1:6-9）。そのため

め、長老や指導者は、救いをもたらす教えを監視し、、模範的な生活を送らなければなりません（テトス 1:9）。

靈的な生ぬるさも同様に危険です。生ぬるい教会は、イエスによってその口から吐き出されます。したがって、教会は警戒を怠らず、イエスとともに靈的な生活を生き生きと保たなければなりません（黙示録 2:4-5）。

個人の罪は教会全体を汚す。教会がそこから清められることによってのみ、教会は命の道に留まることができる。罪が容認され続けるならば、それはすでに教会に死をもたらしている。したがって、聖さと教会規律が必要である（2 テモテ 4:2）。

弱く、靈的でない指導は、多くの場合、背教の始まりであり、その結末は教会全体の靈的な滅亡である。指導者は御言葉を愛し、模範とならなければならない（1 コリント 5:6-7、使徒 20:28）。

教会は存続しますが、どの地方教会も靈的な戦いに直面しています。警戒、教え、教会規律、靈的な指導は、キリストの教会として救いの道に留まるための鍵です。

試練に打ち勝つ一狭い道に堅く立つ

信仰の道は、楽な散歩道ではありません。試練、誘惑、抵抗は、その道に付き物なのです。しかし、神は、私たちが堅く立つために必要なものをすべて与えてくださいます。神の愛、喜び、保護、力によって、私たちは勝利を得ることができます。

1 コリント 10:13

これまで、あなたがたは人間的な誘惑にしか遭遇していません。しかし、神は真実な方であり、あなたがたが耐えることができる以上の試練に遭遇することはないでしょう。試練とともに、それを乗り越える道も備えてくださるのであります。

神の愛は私たちの盾

神の愛は単なる感情以上のものです。それは私たちの最も強力な保護です。その愛の中に留まる者は、神の御手から自分を引き離すものは何もないことを知っているので、揺らぐことはありません。神の愛は、あらゆる困難を乗り越える力となります。

ローマ 8:39 Slt

高いところも、深いところも、その他のいかなる被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。

主にある喜びは私たちの力です

この世には多くの悩みがありますが、真の強さは主にある喜びから生まれます。主に近づき続ける者は、超自然的な力と不屈の精神を経験するのです。私たちの喜びは状況によって変わるものではなく、主によって決まるものです。

ネヘミヤ記 8:10

悲しむことはない。主にある喜びは、あなたがたの力である。

恐れることはありません。私たちは自分の力ではなく、神によってそれを成し遂げるのであります。

失敗する恐れが、多くの人々を神のために勇敢に生きることを妨げている。しかし、神は私たちが自分の力だけでやり遂げることを期待しておられるわけではない。神ご自身が、私たちに必要なものを与えてくださる。神に信頼する者は、必ずやり遂げることができる。

ピリピ4:13 詩編

私を強くしてくださる方、キリストによって、私はすべてができるのです。

偽りの誇りと非難からの保護

独善的な態度や他人に対する傲慢な判断は、私たちを狭い道から逸脱させることができます。私たちが謙虚であり続け、他人を裁くのではなく、神に目を留めるならば、神は私たちを守ってくださいます。神は心を見通しておられ、神だけが公正に裁かれるのです。

ヤコブ4:6 詩篇

神は高ぶる者を拒み、へりくだる者に恵みを与える。

敵に対する勝利－敵に立ち向かう

悪魔は、嘘や恐怖、疑念によって私たちを陥れようとなります。しかし、神に従順で、神を信頼する者は、それに抵抗することができます。私たちは独りで戦っているわけではありません。キリストはすでに勝利を収めているのです。

ヤコブ4:7 Slt

だから、神に従いなさい。悪魔に抵抗すれば、悪魔はあなたから逃げ去るでしょう。

まとめ：

永遠の救いへの道における私の保護

キリストに打ち勝ち、キリストに忠実であり続けた教会全体は、永遠に存続するでしょう。しかし、それぞれの地方教会は、生死をかけた靈的な戦いに直面しています。イエスへの絶え間ない愛、警戒心、健全な教え、教会規律、靈的な指導は、地方教会が永遠への救いの道に留まるための鍵です。

神は、揺るぎない忠実さと恵みによって、永遠への道を進むキリストの肢体である私たちを守ってくださいます。私たちの救いは、私たち自身の行いに基づくものではなく、イエスの愛と犠牲に基づくものです。神は完璧さを求めるのではなく、神に従順であり、神の近くに住む心を求めてています。神の恵みは、私たちに悔い改める機会を与え、困難な時にも堅く立つ力を与えてくださいます。

神は、御言葉、祈り、教育、そして靈的な指導者たちを用いて、私たちを正しい道に導いてくださいます。御言葉を真剣に受け止め、それに従って行動する者は、悪から身を守ることができる。しかし、保護は自動的に行われるものではなく、私たちの積極的な献身が必要だ。靈的な警戒心、良き教え、戒めが重要だ。怠惰と不注意は私たちの救いを危険にさらすが、聖なる畏敬の念を持って生きることは、私たちを確実に目標へと導いてくれる。

最大の危険は、誇りと継続的な罪にあります。自分の力に頼る者は、神から遠ざかります。しかし、イエスへの真の愛は、イエスを信頼し、イエスの御心に従って行動する人生に表れます。罪は、私たちの靈的な誠実さを破壊するので、断固として抵抗しなければなりません。罪に身を委ねる者は、神との関係を危険にさらします。

私たちは、互いに気を配り、愛し合い、強め合うよう召されています。そうすることで、共に永遠の栄光に到達することができるのです。教会を守る上で決定的なのは、神の御言葉を愛し、それを守り、教える靈的指導者を育成することです。長老や指導者は、唯一の真の福音の救いの教えを監視し、それを教え、模範的な生活を送るという責任ある任務を負っています。一つの真の福音の核心から離れ、言葉と実践において偽りの福音に目を向ける教会は、ガラテヤ人への手紙のように、神の恵みから落ち、救いを失います。そのため、外見上はイエスの教会のように見えるが、実際には死んでいる教会があり、イエスによってその口から吐き出されてしまうでしょう。

イエスが命じた教会規律は、私たちの癒しと警告のためにあります。それを注意深く忠実に実行する教会は、主の裁きから身を守り、戒められた者たちが永遠への道を進むことを助けます。しかし、そのような事態から決定的に守られること、あるいはすでに墮落してしまった後の回復は、悔い改めと、イエス・キリストにある神の恵みの真の福音への回心にかかっています。そのためには、罪、傲慢、そして自分の高みを目指すことを避ける、神を畏れる姿勢が必要です。その代わりに、イエスへの最初の愛を再発見し、自分の人生をイエスへの献身に捧げることを目指すべきです。罪を犯した指導者や信仰の兄弟姉妹たちは、教会がキリストの体として真実と純潔と忠実さを保てるように、愛をもって、戒めと明確な言葉によって回心へと導かれる必要があります。

神の誠実さは私たちの安全です。神は、私たちの力以上の試練を与えず、悔い改める機会を与えてくださいます。のように、神は私たちに警戒し、祈り、その再臨を積極的に待ち望むよう求められます。神のそばに留まる者は、特別な方法で神の守りの恵みを体験するのです。

靈的な戦いは現実のものです。敵は私たちの信仰を損ない、それによって私たちを靈的な死へと導こうとします。しかし、神の言葉と祈り、そして謙遜によって、私たちは敵の攻撃に抵抗することができます。神の武具は私たちを守り、祈りは私たちをキリストのそばに留めてくれます。

結局のところ、神の保護と私たちの献身は密接に関連している。私たちの救いは神の愛と誠実さに基づいているが、神にとどまり、清められ、神の御言葉を守るかどうかは私たち次第である。イエスにとどまり、イエスに従い、イエスの声に耳を傾ける者は、確実に目標、すなわち永遠の栄光に到達するだろう。

6 救いの限界

1. 救いの限界と神の変わらぬ愛

救いは、神の愛に基づく神の賜物である。神は、だれも滅びることを望んでおらず（ペトロの手紙二 3:9）、すべての人が悔い改め、永遠の命を得ることを望んでおられる。それにもかかわらず、狭い人生の道に留まることは、一人ひとりの責任である。

- **言葉による罪とその結果:** 軽率な言葉が聖霊を悲しませることがあるが、神は、その誠実さをもって、赦す用意がある（ヨハネの手紙一 1:9）。
- **意識的な背教による救いの喪失:** 永続的に心を硬くする者は、救いを危険にさらします。しかし、悔い改める意思がある限り、神の御手は差し伸べられたままです。
- **神は忠実である:** たとえ私たちが不誠実であっても、神は忠実であり続ける（2テモテ 2:13）。神の恵みは私たちの弱さよりも大きく（）、私たちが失われることのないよう、神は私たちのために戦ってくださる。

2. 神の恵みの空間とその広い境界

神は、信仰の道において、子供たちに悔い改める余地と忍耐を与えてくださいます。神は私たちの闘いを知っておられ、私たちが意識的に神を拒絶しない限り、私たちを見捨てません。

- **墮落の段階:** 信者がつまずいても、神の恵みは彼らを支えます。悔い改める意志がある限り、神は彼らを立ち直らせてくださいます。
- **聖書からの例:**
 - ガラテヤの人々は信仰に揺らいでいましたが、神は彼らを見捨てようとはされなかつたため、パウロは彼らのために奮闘しました。

- コリントの人々は混乱した生活を送っていましたが、神はパウロを通して彼らの回復のために働くされました。
- キリストにとどまる：神は、私たちがキリストにとどまることができるよう、私たちを強めてくださいます。しかし、意識的に、そして決定的にキリストから離れる者は、神の救いの恵みから脱却することになります。しかし、最後の息を引き取るまで、神は彼らに回心するよう呼びかけ続けておられます。

3. 救いの確信と責任 - 私たちの救いに対する神の関心

神の最大の関心事は、私たちの救いです。神を信頼する者は、神が一度だけ救うだけでなく、守ってくださることを確信することができます（ヨハネ 10:28-29）。

- 神の御心を行うこと：重荷としてではなく、神への愛から（マタイ 7:21）。
- 救いに必要な実：信仰の兄弟姉妹への愛、謙遜、赦し、忠実さ。
- 私たちを支えているのは、私たちの功績ではなく、神の誠実さです。たとえ私たちが倒れたとしても、神の救いの働きを故意に拒絶しない限り、神は私たちを持ち上げてくださいます。

4. 放蕩息子、放蕩娘：

帰ってきた者たちへの神の開かれた腕

たとえ誰かが神から離れても、神の父なる心は愛に満ちたままです。

- 神は誰も軽々しく見捨てたりしない！離れる者は靈的に死んでいるが、神は彼を探し求める。

- **帰ってきた者たちに対する天の喜び：**「私と一緒に喜んでください。失われた羊を見つけたのですから！」（ルカ15:6-7）。
- **限りない恵み：**神の憐れみにとって深すぎる深淵などありません。

5. 救いの確信 - 神の揺るぎない忠実さ

私たちの救いは、不安定なものではありません。神とともに生きる者は、自分が守られていることを知ることができます。

- 神は御自分の子供たちを守ってくださいます。誰も神の手から彼らを奪うことはできません（ヨハネ10:28）。
- 聖霊の印：私たちの救いはキリストによって保証されている（エペソ1:13）。
- 神ご自身が私たちの中で働いておられます。神は、私たちが人生の道に留まる力を与えてくださいます（ピリピ2:13）。

6. 真に救われた者の識別記号 - 愛を基礎とする

救われた者の真のしるしは、完全さではなく、愛です。

神の力は世を克服する：私たちの信仰は、神の恵みにとどまるための鍵である。

神への愛は従順によって表されます。神を愛する者は、神の戒めを守ります。

兄弟愛は不可欠です。神を愛する者は、信仰の兄弟姉妹も愛します。

7　まとめ、結論、 展望

7.1-5 要約

救いは、行ないによらない信仰によって「今」実現し、永遠の救いは、行ないによって表れる信仰によって実現する。

新約聖書では、救い（G4991 – σωτηρία – soteria）と救われる（G4982 – σωζω – sozo）を表すギリシャ語のキーワードとその派生語は、キリストによって私たちの回心によってすでに成された救いと、将来の救いの両方に等しく頻繁に使用されています。この将来の救いは、イエスが再臨し、私たちがこの誘惑に満ちた地上の生活から、罪も死もない、イエスとの完全な復活の交わりに入る時に実現する。この将来の救いは、この本では「永遠の救い」と呼ばれている。

最初の救いを受けた後、私たちは、この2番目の永遠の救いに向けての道のりを歩んでいます。キリストは私たちを贖い、また贖ってくださいます。キリストは私たちを救い、また救ってくださいます。この最終的な救いの前払いとして、キリストは、最初の救いの際に、私たちの将来の完全な救いの保証として、御靈を私たちに与えてくださいました。

第2章で救いに関する545の聖書箇所をすべて調査した結果、最初の救いに関する約250の箇所は、常に恵み、受け入れ、選択に関連していることがわかりました。一方、2番目の永遠の救いに関する約250の聖書箇所は、常に、信仰の行いや行動に表れる、私たちの継続的な信仰に関連しています。

恵み – もちろん、もちろん、そしてまたもちろん！しかし、この恵みから、神を賛美する人生を築くという人間の責任も同様に、もちろん、もちろん、そしてまたもちろん！

福音は、私たちを救う神の愛についての良き知らせだけではありません。それは同時に、イエスが主であるから、これから神に従うよう神が呼びかけていることでもあります。神の愛を受け入れ、信仰をもってイエスを自分の人生に主として迎え入れる者は、イエスを愛しています。そして、イエスを愛する者は、イエスのために何かをします。なぜなら、神の愛の言語は行動だからです。

神の愛を経験しながら、冷たく無関心なままである人、あるいは後で再び無感覚になる人は、恵みを悪用する道を進むことになります。しかし、神は自分の恵みを悪用させることは決してありません。

永遠の命を得るかどうかを決定する最後の審判では、常に行いが問題となります。しかし、それは不釣り合いな恵みを基礎としたものです。

それでは、福音は効力を失うのでしょうか？結局、パウロはローマ人への手紙、特に第1章から第3章で、すべての人は罪人であり、自分の行いで救われる人はいないことを証明しています。確かに、自分の行いで救いを得ることは不可能です。これは、私たちの最初の救い、つまり神との和解した関係に入ることに当てはまります。

しかし、最終的な、永遠の救いに関しては、パウロはローマ人の手紙の中で次のように述べています。

ローマ 2:6-8 Slt

6 [神は] それぞれの行いに応じて報いる。7 すなわち、善を行うことと忍耐強く励み、栄光、誉れ、朽ちることのないものを求める者たちには、永遠の命を与える。8 しかし、利己的で真理に従わない者たち、不義に従う者たちには、怒りと憤りをお与えになる。

これはどう整合するのでしょうか？結局、私たちは行いで救われるのでしょうか？永遠の命は、イエス・キリストを信じる者にのみ与えられるのではないのでしょうか？

はい、それは整合しています。イエス・キリストを信じる者たちは、信仰に従順な者たちです（ローマ1:5）。彼らの生活は、決定的な特徴によって特徴づけられています。彼らは、善を忍耐強く行い、神の栄光、誉れ、不滅を追い求めるのです。

これは、福音の中で神の呼びかけを聞き、神の恵みによって義と認められ、救われ、永遠への道を歩み続ける者たちの特徴です。神は彼らの行いに応じて、彼らに永遠の命を与えるでしょう。しかし、これらの行いが彼らの救いの原因ではありません。彼らの救いは、イエス・キリストと福音への信仰のみに基づいています。しかし、彼らは心を変え、悔い改め、信仰に従順な心で神に従っています。彼らの信仰に基づく行いは、救いの信仰の結果であると同時に、彼らが目標に到達するための条件でもあります。良い始まりだけが救いをもたらすのではなく、最後まで忠実に歩み続けることが救いをもたらすのです。

イエスご自身がそれを明らかにしています。滅びへと続く門は広く、その道は広く、そこを多くの人が通っています。しかし、命へと続く門は狭く、その道は狭いのです。門だけでは不十分であり、その道も常に必要となります。

ヤコブもこれを確認しています。行いのない信仰は死んでいる。そのような信仰は救うことはできません。真の信仰は、行いによって初めて生き生きとした、完全なものとされるのです。

信仰の行いは、私たちを本質的に救うものではありません。しかし、真に救いをもたらす信仰は、信仰の行いに表れ、その信仰の行いが私たちの救いを確認するのです。

この2つの節によると、イエス・キリストにある神の恵みは、私たち信者にとって4つの効果と目的を持っています。そのすべては、私たちに永遠の命を与えるという神の計画の一部です。私たちの回心によってこの道が始まり、**神の恵みは私たちを**

- 生けるまことの神に仕え、
- 不信仰と世俗的な欲望を否定し、
- この世で慎み深く、正しく、神を畏れる生活を送ること、

- 私たちの偉大なる神であり救い主であるイエス・キリストの栄光の現れと祝福に満ちた希望を待ち望むことを教えてくれます。

この主を待つことは、本当に救いに必要なことなのでしょうか？はい、それは神によって定められた、私たちの救いの重要な要素です。

キリストの御言葉を聞いて信じる者は、すぐに永遠の命を受け取ります。その人は、受け入れられるために何の行いも示す必要はありません。その人はすぐに神との正しい関係に立ち、死ぬときに神のもとに行くのです。

しかし、神の子の声を聞こうとしない者は、悪の道を歩み、最終的には破滅の宣告を聞くことになるでしょう。

ここで明らかなのは、聖書的な意味での「聞く」とは、単に耳を傾けることではなく、常に従うために聞くことだという点です。信じる者は従い、従わない者は信じていないのです。そのため、新約聖書では「信仰による従順」についてしばしば言及しています。

イエスを真に信じることは、人格全体を捉えるものであり、明確な影響をもたらします。それは、私たちが神に耳を傾け、善を行うことに表れています。神と人への愛から善を行うことは、救いをもたらす信仰の、神による基準です。この姿勢で生きる者は、信仰の真偽を証明し（）、真に信じているからこそ、救われ続けるのです。しかし、悪を行う者は、イエスを信じておらず、滅びてしまいます。こうした人々は、イエスの呼びかけを聞いたことがないか、それを無視したのです。

ヨハネ 5:24 Slt

[イエス・キリストが語る] 24 まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしの言葉を受け入れ、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠の命を持ち、裁きを受けることはなく、死から命へと移ったのです。

ヨハネ 5:28-29 メン

28 これを不思議に思うことはない。墓の中で眠っている者たちが皆、彼の声を聞く時が来るからだ。29 そして、善を行った者は、いのちへの復活のために、悪を行った者は、さばきへの復活のために、それぞれ出て来る。

イザヤ書 50:4-5 詩編

4 主なる神は、疲れた者を一言で励ますことができるよう、弟子たちの舌を私に与えてくださった。主は毎朝、私の耳を開き、弟子たちが聞くように、私が聞くことができるようにしてくださる。5 主なる神は私の耳を開き、私は反抗も、後退もしなかつた。

マルコ 12:28-31 F

イスラエルよ、聞け。主は私たちの神、主はただひとりである。あなたは、心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛し、あなたの隣人をあなた自身のように愛さなければならぬ。

3 ヨハネ 1:11 メン

愛する者たちよ、惡を模範とせず、善を模範としなさい。善を行う者は神から出た者であり、惡を行う者は神を見たことがない。

ヤコブ 2:17 Slt

17 信仰もそれと同じである。行いが伴わない信仰は、それ自体、死んでいる。

ヘブライ 9:28 メン

28 同様に、キリストも、多くの人の罪を取り除くために、一度だけ犠牲として捧げられた後、罪とは無関係に、彼を待ち望む者たちのために、二度目に救いをもたらすために現れる。

ローマ 3:28 Slt

28 こうして、私たちは、行ないによるのではなく、信仰によって義と認められるという結論に達するのです。

ローマ 2:6-8 Slt

6 彼は、それぞれの行いに応じて報いる。7 すなわち、善を行う

ことに忍耐強く励み、栄光と誉れと朽ちることのないものを求める者たちには、永遠の命を与え、8しかし、自分勝手であり、真理に従わず、むしろ不義に従う者たちには、怒りと憤りを与える。

ローマ 8:13 Slt

13 なぜなら、あなたがたが肉に従って生きるなら、死ぬことになるが、御靈によって肉の行きを殺すなら、生きるようになるからです。

ローマ 2:6-11、ローマ 3:28、ローマ 5:1、ローマ 8:13、ローマ 6:20-23、使徒 5:32、ローマ 1:5、ヘブライ 5:9、1ペテロ 4:17、マルコ 16:16、ローマ 2:8、ガラテヤ 5:7、2テサロニケ 1:8、1ペテロ 4:17、マタイ 7:14、ヤコブ 2:14-26、イザヤ 50:4-5、マルコ 12:28-31、ヨハネ 5:24、ヘブライ 5:9、ヘブライ 11:8、ヘブライ 13:17、ローマ 1:5、使徒 6:7、ヤコブ 2:17、3ヨハネ 1:11

永遠の救いも、神の恵みと誠実さと憐れみによってのみもたらされる。

神の恵みと誠実さ、そしてそれによって私の救い後に私の中で生み出された信仰（の行き）が、私を救いの中で守ってくれますが、それはかつては完全に恵みによってのみ与えられ、また完全に与えられ続けるものです。

そうでなければ、その日（永遠）に、なぜ私たちはキリストの恵みを期待すべきでしょうか。その恵みを確信できるのですから（1ペテロ 1:13）。そして、パウロが本当に生まれ変わったと評価しているオネシフォロス（フィレモン 1:10）は、最善の知識と良心をもってキリストに完璧に奉仕しているにもかかわらず、なぜ「その日」に主から「憐れみ」を見出さなければならないのでしょうか？その答えは、結局のところ、永遠への移行において、キリストの恵みと憐れみだけが、黄金のように確かな信仰さえも救う、というものです。結局のところ、自分の功績によって天国に入る者は誰もいません。その基礎は、依然として不釣り合いな恵みなのです。しかし、神は私たちの役割（信仰（の行き））

を、神の守りの力と恵みという神の役割と絡み合わせ、それが不可分の全体となり、その全体としてのみ効果を發揮し、目標に到達するようにされたのです。

永遠の救いは、自由に与えられた恵みを悪用せず、その恵みにふさわしい行動を取り、その恵みを神の栄光のために用いる者たちに与えられます。そして、それを決定するのは、慈悲深い、しかし聖なる私たちの主です。

1 ペトロ 1:13 Slt

13 だから、心を整え、冷静になり、イエス・キリストの現れによって与えられる恵みを待ち望んで、希望を固く持ち続けなさい。

2 テモテ 1:16-18 Slt

16 主は、オネシフォロの家を憐れんでくださいますように。彼は、しばしば私を励まし、私の鎖を恥じなかつたからです。17 むしろ、ローマにいる間、彼は私をより熱心に探し求め、そして見つけました。18 主は、その日に、彼に主からの憐れみを与えてくださいますように。彼がエフェソで、どれほど私に奉仕したかは、あなたが最もよくご存じでしょう。

ローマ 5:21 Slt

21 罪が死によって支配したように、恵みも、私たちの主イエス・キリストによる義によって、永遠のいのちをもって支配するようになるためである。

1 ペトロ 1:13、2 テモテ 1:16-18、ローマ 5:21、フィレモン 1:10

従順の報酬

聖書は、永遠の命は、神の恵みによる不当な賜物であると同時に、イエスに従う忠実で従順な生活に対する報酬でもあると教えています。この二つの側面、すなわち恵みと責任は、切り離せない関係にあります。

真に信じる者は、キリストを愛し、キリストに仕えます。これらの行いは、信仰を確認し、その信仰が本物であることを証明します。救いをもたらす信仰は、常に行動によって表れます。

したがって、永遠の命は、イエスに心から信頼を置くすべての人への賜物であると同時に、報いの約束とも結びついています。地上で信者が示した忠実さと献身が、天での報いの大きさを決定するのです。愛と従順をもって神に忠実に仕えた者たちは、豊かな報いを受けるでしょう。一方、救われるものの、その行いに永続的な価値がなかったため、特別な報いを受けることはない者もあります。しかし、神から授かった可能性を活かせず、靈的に怠惰なままの者は、最終的には拒絶され、失われる可能性があるという厳しい警告もあります。

イエス様は、たとえ話「タラント」などでこのことを示しています。自分に託されたものを増やした者は報われ、永遠に大きな責任を授けられます。しかし、受け取ったものを何にも活用しなかった者は、不信仰者たちとともに、外側の暗闇に投げ出されます。

パウロは、クリスチャンの働きは、最終的には火によって試されると述べています。キリストに忠実に信頼する者の働きは残り、その者は報いを受けるでしょう。しかし、誤った動機や無関心で生きる者の働きは、焼き尽くされてしまうでしょう。その者は救われるかもしれません、それは火を通るようなもので、特別な報いはありません。

神のために行ったすべての行いが自動的に報われるわけではない。山上の説教で、イエス様は、心構えが重要であると教えていました。人々に喜ばれるためではなく、キリストへの愛から奉仕する者は、神から豊かな報いを受けるでしょう。しかし、人々の称賛を求める者は、この世で既に報いを受けており、永遠には何も得られないでしょう。

神の御国における真の偉大さは、奉仕にある。自らを低くし、愛をもって他者に仕える者は、永遠に高められ、豊かな報いを受けれる。

確かに、私たちは天国で大いなる者になりたいと願ってもよいのですが、その道は奉仕、つまり、私たちが言うことや教えることを自ら実行し、キリストのために苦しむことです。それでも、私たちはまったくリラックスして、見せかけの権力争いに巻き込まれる必要はありません。天国の序列は、最終的には天の父が定めたものになるのです。

要約すると、新約聖書は、永遠の命は、信仰をもってイエスに信頼を置くすべての人への恵みの賜物であることを明らかにしています。しかし、この救いの信仰は、愛と奉仕と忠実な生活の中で常に現れます。そのように生きる者は、永遠の命を受け継ぐだけでなく、永遠に豊かな報いを受けるでしょう。しかし、受けた恵みを無関心で利己的に乱用する者は、最終的には永遠に空っぽの手で立ち尽くすか、あるいは救いさえも失う危険にさらされるのです。

これは厳しい言葉ですが、誰がそれを聞くことができるでしょうか？神の教育法と、私たちの現在の説教のバランスについて

この本の結論とメッセージにまったく同意できない、あるいはまったく同意できない？ヨハネの福音書では、イエスも、その説教について、多くの信者たちから非難されました。問題は、この「厳しい言葉」が正しいか間違っているかということです。

それについて、読み進める前に、あなたに宿題を出します。少し時間と労力、注意が必要ですが、この宿題をこなしてから読み進めるのが理にかなっています。

1. マタイによる福音書だけから、神とイエスによるすべての約束と励ましの聖句をすべて書き留めるか、マークを付けてください。

これについて、これまでにいくつの説教を聞いたことがありますか？

2. 次のステップでは、マタイによる福音書にある、イエスによるすべての警告や脅しについて、書き留めるか、マークを付けてください。

そして、それについて、これまでにいくつ説教、礼拝、聖書研究を聞いたことがあるか、比較してみてください。

他の人から聞いた神の言葉は、イエスが語ったことをバランスよく反映しているでしょうか？ そうでない場合、あなたは一方的なイエスについて教えられ、イエスについて歪んだイメージを持っていることになります。

励ましと要求－バランスが取れた福音？

私は、マタイによる福音書を例に、より詳しく調査しました。そのために、すべての文章を4つの分野に分類し、色分けして、最後に評価しました（詳細については、「概要」のレベルをご覧ください）。その結果は次のとおりです。

マタイによる福音書を例にとると、神の励ましと要求の間に顕著なバランスが見られます。

テキストの約15%は、信者としての私たちの行動に関する要求であり、13%は励まし、約束、神の愛を強調しています。しかし、最大の割合である約32%は、警告、結果、裁きを告げるイエスの厳しい言葉に充てられています。テキストの約40%は中立的な内容です。

この比重は、私たちに課題を与えています。私たちは、イエス様の真実のすべてを受け入れているのでしょうか？ それとも、そのメッセージの心地よい側面だけを取り上げているのでしょうか。

今日の説教の世界では、福音派でも、神の慈愛と憐れみがほぼ独占的に強調されています。神の聖さと、信者たちにも向けられた厳しい要求は、しばしば軽視されています。その結果は？ 神を一方的に表現し、神を真に、その全体として知らず、真摯に従うことのない信者を生み出す、歪んだ福音です。しかし、聖書は、神

の聖性は神の愛と同じくらい重要であることをはっきりと示しています。

これは、マタイによる福音書だけでなく、新約聖書の他の書物にも当てはまります。しかし、良き教育者である神は、私たちがイエス・キリストの信者として何よりも多くの励ましを必要としていることをご存じであり、非常に深刻な事実も、教育的に敏感に、私たちにとってより受け入れやすい形で表現してくださっています。

手紙からの例 - 励ましと明確な境界線

使徒たち、そしてイエスご自身も、そのメッセージの中で、励ましや勇気づけに包まれた、困難ではあるが必要な真実をしばしば強調しています。

1. 純潔と聖さ - 「不品行を避けなさい！」（1コリント6:15-20）

パウロはコリントの信徒たちに、自分たちがキリストに属していることを認識し、清らかさをもって神を敬うよう呼びかけている。ここでは、脅し文句を使わず、前向きなアプローチをとっている。しかし、他の箇所では、淫行を続けると神の国から追放されるということが明らかにされている。前向きな励ましと明確な警告は、どちらも必要なものなんだ。

2. 真のキリストへの献身 - 「他のイエスを信じないでください！」（2コリント11:2-4）

パウロは、教会に、惑わされないよう愛情を込めて警告しています。彼はこれを、靈的な死に至ったエバの誘惑と比較しています。警告の結果はほのめかされているだけですが、そのメッセージは明らかです。すなわち、私たちの永遠の救いは、真のキリストと真の福音への絶え間ない献身にかかっているのです。

3. 生き方 - 「神の国を相続する権利はない！」（エペソ5:3-11）

パウロは、イエスに従う者たちは別の生き方をすべきだと強調しています。積極的な励ましと、継続的な罪による救いからの排除という明確な結果とが、密接に関連しています。神を敬うよう呼びかける言葉には、不敬虔な生活に対する厳しい警告が付け加えられています。

4. 精神的な強さ - 「神の武具を身に着けなさい！」（エペソ 6:10-13）

パウロは、精神的な戦いに打ち勝つために、神の武具を身に着けるよう勧めています。そうしなかった場合に何が起こるかは述べていませんが、おそらくは勝利への道に焦点を当てたいためでしょう。しかし、この道に代わるものではなく、敗北した場合は、キリストによる回心と回復が必要であることは明らかです。

結論

バランスのとれた福音を宣べ伝える

聖書のメッセージは、励ましと要求という相反する要素を併せ持っています。私たちの説教文化では、神の全体性を宣べ伝えるために、この両者のバランスを保つことが重要です。愛だけ、あるいは裁きだけを強調するといった一方的な強調は、神像の歪みと誤った信仰生活につながります。

私たちの救いは、キリストとの絶え間ない信仰関係にかかっています。そのためには、愛に満ちた救い主であり、公正な裁き主であるキリストの全体像を知ることが必要です。そうして初めて、私たちはキリストに忠実であり続け、畏敬の念を持ってキリストに接し、人生という道を目標に向かって歩むことができます。

7.6 結論

新約聖書にある救いと信仰に関する数多くの聖句を考察すると、永遠の救いへの道は、一度の告白だけで完結するものではないこ

とが明らかになります。むしろ、聖書は、救いを、回心から始まり、信仰による従順な生活を通して、その終わりまで完成される道として描いています。

1. 救いをもたらす信仰とは、従順で積極的な信仰です。分析によると、真に救いをもたらす信仰は、常に人格全体に影響を及ぼします。それは、神の言葉への従順と善行によって表れます。聖書的な意味での「御言葉を聞く」とは、受動的に聞くことではなく、積極的に実行することを意味します。信じる者は従います。信じる者は善行を行います。信じる者は狭い道を進みます。

イエスご自身が、神の御心を行い、善を行う者たちの目標は永遠の命であり、悪を行う者たちは裁きを受けると述べています（マタイ 7:15-28、ヨハネ 5:28-29）。パウロは、永遠の救いを受ける者たちの生活を、善を行い、悪から離れることによって、神様の栄光を絶えず求め、追求する生活と要約しています（ローマ 2:7、ローマ 8:13）。ヤコブは（ヤコブ 2:17-26）、行いのない信仰は死んでいることを明らかにしています。イエスへの信仰は始まりですが、日々の継続的な従順と忠実さによって、その信仰が本物であることが証明されるのです。

2. 救いは恵みであるにもかかわらず、最後まで忠実であることが求められます。聖書は、あらゆる救いの基礎となる神の恵みを強調しています。誰も行いで義と認められることはありません。しかし、人間は、この恵みを人生で効果的に発揮する責任があります。新約聖書は、最終的な救いは行いと結びついていることを示しています。これらの行いは、救いの原因ではありませんが、信仰が本物であることを証明するものです。

パウロはローマ人への手紙 2:6-8 で、神は最終的に各人の行いに応じて報いる、と述べています。忍耐強く善を行う者は、永遠の命を得るでしょう。この文章は恵みと矛盾するものではなく、神の恵みによって形作られた人生の結果を表しています。

3. その道は、始まりと同じくらい救いに必要なものです。イエスは、救いへの道を狭く困難な道だと表現しています。狭い門から入ることが始まりです。しかし、その道そのものが、最終的な救いへと導くのです。始めで立ち止まってしまう者は、目標に到達することはできません。救いをもたらす信仰は、その信仰が持続することによって現れます。恵みは従順になる力を与えますが、その従順は必要なものです。
4. **希望と聖化は救いの一部です。**聖書は、キリストを待ち望むことと聖化を追求することが、信仰の道における重要な要素であることを明らかにしています。ヘブライ人への手紙 9:28 は、キリストは、キリストを待ち望む者たちに救いをもたらす、と述べています。この待ち望む姿勢は受動的なものではなく、献身と聖化の人生に表れています。

聖書（テトス 2:11-13）は、神の恵みは私たちを救うだけでなく、神を畏れる生活へと導いてくれることを示しています。キリストの再臨を待つことは、私たちを聖化へと導きます。したがって、最終的な救いは、キリストへの希望と罪からの分離の中で生きる生活と密接に関連しています。

5. **最後の審判は、人生の実りを評価するものです。**終わりの日の審判は、行いを明らかにするものです。イエスと使徒たちは、これは救いの新たな根拠ではなく、信仰の現実が明らかになるものであると強調しています。行いは、信仰が本物であったかどうかを示すものです。信仰を捨てた者、恵みを悪用した者、罪に留まっている者は、滅びてしまうでしょう。
6. **恵みの保証:** 私たちは神の恵みによって救われます。神の恵みによって、たとえ道中でつまずいても、救いは失われることはありません。狭い道で何度もつまずいても、神は私たちが再び神に立ち返るなら、いつでも私たちを受け入れてくださいます。

7. **恵みの乱用に対する警告:** この研究の中心的な結論は、恵みを誤って理解することに対する警告である。恵みは罪を犯すための免罪符ではない。恵みを乱用する者は、その価値を損なう。聖書は、恵みを放蕩に変えることに対して警告している。恵みは聖化をもたらす。聖化から離れる者は、恵みの道から離れる。
8. **恵みと責任は一体である:** 聖書は、恵みと責任の緊張関係を維持している。人間は恵みによってのみ救われる。しかし、この恵みは人生に作用する。恵みにとどまる者は救われる。しかし、不信仰、罪、あるいは無関心によって恵みを離れる者は、救いを失う。人間の責任は、恵みにとどまることである。

結論

この調査の結果は、明確であると同時に挑戦的な結論につながります。救いは、信仰によって受け取る恵みの賜物である。しかし、この信仰は、最後まで続く、従順で積極的な信仰である。信仰をやめ、従順をやめ、自分の人生を神の御心に従って生きない者は、救いの賜物を台無しにしてしまう。

真の恵みは安っぽいものではなく、私たちの生涯を捧げることを要求します。しかし、それはまた、この道を進む力、すなわち、キリストとの永遠の栄光という目標に到達する力も私たちに与えてくれます。

7.7 展望：狭い道と目標 —

忠実で絶え間ない従順のために欠かせないステップ — 個人として、また教会として

個人として、また教会として、イエスに忠実に、救いをもたらす従順な歩みを促進し、確保するために、以下の実践的なステップを強くお勧めします。このリストは、すべてを網羅しているわけではありません。

1. 信仰における個人の強化

- **希望を強める:** 神の言葉は、イエスの再臨と永遠の栄光について私たちに思い出させてくれます。
- **模範となる伝記:** 最後まで信仰を貫いたクリスチャンの生涯を読む。
- **苦難の神学:** イエスと使徒たちの約束に従って、苦難と迫害について再発見し、教えましょう。
- **忍耐力と責任感の育成:** スポーツ、責任ある取り組み、模範となる人物による教育を通じて。
- **励ましと戒め:** 個人の成長と信仰の確立の鍵。
- **毎日の聖書研究:** 自ら聖書を読むことは、表面的な教えから身を守り、信仰を深める。

2. 教会レベルでの取り組み

- **説教と教え:** 明確で聖書に基づく説教を通して、イエスへの献身と世俗的なものからの離脱を促進する。
- **祈りの教材:** 救いと従順について聖書の真理を伝える、より深い本や祈りの本を開発する。
- **芸術とメディア:** 永遠の命への道を明らかにする、現代的なキリスト教芸術（絵画、演劇、映画など）を活用する。特に、「広い道と狭い道」の絵を現代風に再創造する。
- **文化的感受性:** 礼拝と生活における形式と内容の違いについての教え。
- **教会規律:** 増大する個人主義への対応として、聖書的な教会規律を再発見し、実践する。
- **説教の内容:** 神への畏敬の念と真の悔い改めを促進するために、神の愛と聖さのバランスをとる。

3. 重要な教え

- **悔い改めの正しい実:** 真の弟子としての必要なしであり、救いの前提条件。
- **恵みと忠実さによる救い:** 救いは恵みによって与えられますが、継続的な信仰と献身によって保たれます。
- **時間と責任:** より大きな認識と資源は、神に対するより大きな責任を意味します。同時に、ごくわずかな忠実さも神に見られ、称賛されます。
- **神を畏れる教育:** 文化的影響と聖書の真理を区別するための訓練。
- **神とのチームワーク:** 救いへの道における、神の恵みと人間の責任の協力関係。
- **模範による励まし:** イエスを究極の模範とする、靈的な模範による従順の促進。

結論

信仰を保ち、イエス・キリストの教会として永遠への道を歩み続けるためには、バランスのとれた教え、個人的な献身、そして共同体の関与が不可欠です。深く効果的な従順を促進するには、個人と共同体の両方の取り組みが必要です。

付録：反論と聖書からの答え

救いは、行ないによるのではなく、恵みによるものである（エペソ 2:8-9）。しかし、真の信仰は必然的に良い行ないをもたらす（ヤコブ 2:17、26）。信者は聖霊によって封印されています（エペソ 1:13）が、この封印はキリストにとどまる者たちにのみ有効です（ヨハネ 10:27）。キリストの御業は完全です（ヨハネ 19:30）が、救われ続けるためには、その御業にとどまらなければなりません（マタイ 7:24）。

信仰のみによる救いに対する反論とその反駁

反論 1: 救いは信仰によってのみもたらされ、行いによってもたらされるものではない

議論: 救いは恵みによってのみもたらされ、自分の行いによってもたらされるものではない（エペソ 2:8-9）。回心前の行いは「死んだ行い」であり、神に喜ばれるものではない（ヘブル 6:1）。

救いをもたらす信仰は、一度きりの行為であり、過程ではない。

反論: 神の言葉は、信仰による行いのない「今」の救いと、信仰（の行い）による将来の「永遠の」救いを明確に区別している。真の信仰は必然的に行いを生む（ヤコブ 2:17、26）。イエスは、真の弟子たちは神の御心を行なうべきだと教えている（マタイ 7:21-23）。良い行いは、真の信仰と真の救いのしるしである（エペソ 2:10）。

反論 2: 私たちは聖霊によって封印されており、その封印は誰も破ることができない

議論: 信者は聖霊によって封印されている（エペソ 1:13）。誰もイエス様の手から彼らを引き離すことはできない（ヨハネ 10:27-29）。

反論: 聖書には、不従順のために神がその印を取り消した例が示されている（エレミヤ 22:24、エゼキエル 28:12 以下）。イエスは、自分に従う者たちだけに安全を約束している（ヨハネ 10:27）。

反論 3: 旧約聖書における救いは不完全であったが、新約聖書では完全である

論拠: 新約における救いは、イエスの完全な犠牲に基づくものであるため、最終的なものである（ヘブライ 7:25）。

反論: 神の子供たちが神に忠実であるべきという原則は、どちらの契約でも変わらない（ユダ 1:5、ヘブライ 3:1-4）。キリストにとどまらない者は、救いを失う（ヨハネ 15:6）。

反論 4: キリストの業は完全であり、私たちには何もできない

議論: イエスが救いを成し遂げた（ヨハネ 19:30）ので、それを疑う者は、イエスの犠牲を軽んじていることになる。

反論: 聖書は、救いの基礎と、その中に留まる必要性を区別している（マタイ 7:24-27）。

反論 5: 神の神殿はここにあります、神の神殿はここにあります！

議論: 信者は聖霊の神殿（1コリント 3:16）であり、神はそれを破壊することはありません。

反論: 神の宮は、罪によって破壊され、荒廃し、見捨てられることがある（エゼキエル書 8:6-7、コリントの信徒への手紙一 3:17）。

反論 6: 救われた者は、一度で永遠に聖別される

論拠: 一度聖化された者は、聖なるままである（ヘブライ 10:14）。

反論: 聖化は、私たちの回心における一度きりの行為であると同時に、生涯にわたるプロセスであり、完結した状態ではない（ヘブライ 10:19-22）。聖化の道から逸脱した者は、最初の聖化を離れるとともに、それを失う。

反論 7: 焼かれた行い、それでも救われる

議論: コリントの信徒への手紙一 3:15 には、「もし、だれかの働きが焼けてしまったら、その人は損害を被るでしょう。しかし、その人自身は、火によって救われるでしょう」と書かれています

す。このことから、たとえ不十分な働きや悪い働きがあったとしても、救いは失われることはないという結論が導き出されます。

反論: この箇所は、依然として築き上げなければならない堅固な基盤は、イエスが山上の説教で定義した基礎、すなわち神の御心を行うことであることを示している。その御心を行った者の業は焼けてしまうが、それは誤った動機によるものであり、それゆえその者は報いではなく救いを失うのである。そのため、他の多くの聖書箇所では、誤った安心感について警告しています（ヘブル10:26-27）。神の御心を行わない者は、イエス・キリストという土台の上に築いておらず、救われることはありません（マタイ7:21）。

反論8：行いに誇りを持つ危険性、比較する危険性、裁く危険性、落胆する危険性

議論: 善行が救いに必要であると見なされると、自分の業績を誇りに思うようになる可能性がある。同様に、善行を強調すると、他人と比較したり、他人を裁いたりするようになる可能性がある。十分な善行を行うことができないと感じる人は、落胆するかもしれない。

反論: 聖書は、神ご自身が私たちの善行を準備してくださったこと、そして神なしでは私たちは価値あることを何もできないことを強調しています（ヨハネ15:5、エペソ2:10）。私たちの行いは、神への信仰と愛から生じるものであるため、誇りの理由にはなりません（エペソ2:8-10、1ヨハネ5:3）。人はそれぞれ異なる賜物を持っているため、比較は不適切です（ローマ12:4-6）。神は、私たちそれぞれの能力に応じてのみ、私たちを裁かれるのです（マタイ25:15）。イエスは、他人を裁かないよう教えています（マタイ7:1-2）。私たちの救いと報酬は、その行いの量ではなく、その背後にある心の姿勢によって決まります。最終的には、神の恵みと主の忍耐によって、私たちは皆救われるのです（ピリピ1:6、2ペテロ3:9）。

答えと結論

私たちの救いは、常に、そもそもキリストにあるのです。あなたがキリストにあるなら、あなたは安全なのです。

私たちの救いは、私たち自身にあるのではなく、キリストのみにあります。キリストは、その変わることのない愛をもって私たちを支えてくださいます（ヨハネ 10:28-29）。イエスにあって生き、イエスにとどまる者は、永遠に安全なのです。イエス様は私たちの良き羊飼いである（ヨハネ 10:11）。たとえ私たちが揺らいだとしても、イエス様は忠実であり続ける（2 テモテ 2:13）。イエス様は、私たちがイエス様にとどまるために必要なもの、すなわち御言葉、御靈、そして恵みをすべて与えてくださる。私たちが失敗しても、赦しの扉は開かれたままである（1 ヨハネ 1:9）。今、イエスに従う者は、キリストにとどまります。そして、キリストにある者は、深い喜びと安全の中で、今日、明日、そして永遠に生きることができます。しかし、神の神殿は、継続的な未解決の罪によって破壊され、神に見捨てられる可能性があります（エゼキエル 8:6-7）。聖化は継続的なプロセスです（ヘブライ 10:19-22）。キリストにとどまらない者は、枯れたぶどうの木のように火に投げ込まれる（ヨハネ 15:6）。それでもなお、神はすべての人が時が来る前に悔い改め、救われることを望んでおられ（2 ペテロ 3:9）、失われた息子や娘を、いつも喜んで受け入れてくださる（ルカ 15:20-24）。良き羊飼いは、迷える羊を、見つけるまで愛をもって探し求め、その腕にしっかりと抱きしめます。救われた者としてイエスに絶えず従う者は、キリストにとどまります。その者は、深い喜びと安心の中で、今日、明日、そして永遠に生きることができます。

レベル5 - 詳細のモットー / 調査

<https://vielesindberufen.de/ebenen-5-6-7-details-untersuchungen/>

レベル6 - 詳細/調査の本質

1 多くの人が召されています：あなたは失われた者ですか、クリスチャンですか、それともイエス・キリストの弟子ですか？

次の章では、あなたの信仰と神との個人的な関係について、基本的な質問を投げかけます。それは、宗教的なラベル以上の、あなたの心と人生の真実についてです。次のサブチャプターでは、失われた状態、形式的なクリスチャンであること、そしてイエス・キリストを真に追うこととの決定的な違いについて明らかにします。

聖書が救いをどのように記述しているか、神の愛の中で生きることの意味、そして献身、従順、神との真の交わりによって特徴づけられる、イエスの弟子としての生活とはどのようなものかを学ぶでしょう。これらの洞察は、あなた自身の信仰の道を問い合わせし、必要に応じて方向性を再調整するよう促すものです。この旅を通して、信仰の真の本質を発見し、それを生きることに挑戦し、インスピレーションを得てください。

1.1

用語の定義：キリスト教徒、イエス・キリストの追随者、そして（永遠の）救い

「クリスチャン」、「イエス・キリストの弟子」、「永遠の救い」などの重要な用語について詳しく説明するこのページへようこそ。ここで紹介する定義や説明は、入念に調査した上で、2025

年の一般的な神学的・言語学的見解を反映したものです。

このコンテンツの目的は、このウェブサイトおよび関連書籍で使用されている用語について、より深い理解を得ることにあります。ここで紹介されている用語は、取り上げられているキーワードの神学的意味や関連概念を理解するための、確かな基礎を提供しています。掲載されている情報は、出版社の知的財産ではなく、このウェブサイトの用語の使用法や中心的なテーマをより明確に理解するための背景知識として提供されています。

新約聖書における救いと救済

新約聖書では、救いという概念は多面的かつ包括的なテーマとして登場します。ギリシャ語のキーワード $\sigma \omega \tau \eta \rho \iota \alpha$ (soteria - 救い、救済) および $\sigma \omega \zeta \omega$ (sozo - 救う、救済する) は、人が回心したときの現在の最初の救い、および将来、永遠の命における最終的な救いの両方に使用されます。この言語的な統一性は、聖書の救いの教えに対する理解を曇らせる誤解を招くことがある。

最初の救いは、神との生活の始まりを表しています。人がイエス・キリストの福音を信じ、彼を信頼し、自分の罪の赦しを受けると、その瞬間に神の恵みによって救われるのです。その人は神の子となり、天の父の愛と受け入れを確信することができるようになります。

しかし、聖書は、将来起こる第二の救いについても述べています。これは、イエス・キリストが再臨し、信者たちを完成させて御許に迎え入れるときに起こります。それは、永遠の栄光への救い、信仰の道の目標、この世の苦しみと罪の力からの救い、そして死も誘惑も存在しない、神との完全な交わりへの救いです。

ギリシャ語の「 $\sigma \omega \tau \eta \rho \iota \alpha$ 」と「 $\sigma \omega \zeta \omega$ 」は、新約聖書では救いの両方の側面で頻繁に使用されています。これは、聖書が救いを包括的なプロセスとして捉えていることを明らかにしています。救いはこの世で始まり、永遠に完成するのです。

救いのこの二重の性質を理解することは、聖書の多くの記述を正しく理解するのに役立ちます。つまり、いくつかの聖句は、最初の救い、すなわち恵みによる受け入れという文脈で書かれていますが、他の聖句は、信仰の道のりをすべて包含する、第二の、最終的な救いを念頭に置いて書かれているのです。

新約聖書で「救い」や「救われる」という用語を読む人は、聖書が救いを、すでに成し遂げられた恵みの業であると同時に、将来の目標でもあると記述していることを常に意識すべきです。この二つの側面は不可分であり、神がイエス・キリストによって私たちに与えてくださる包括的な救いを構成しています。

名ばかりのクリスチャンと偽りのクリスチャン 対生まれ変わったクリスチャン

名ばかりのクリスチャン

名ばかりのクリスチャンとは、文化的、社会的、あるいは伝統的な影響によって、自らをクリスチャンと称する人を指します。多くの場合、キリストを信じるという意識的な決断や、神との個人的な関係が欠けています。この種のキリスト教は、例えば、キリスト教が国教となったコンスタンティヌス帝の改宗（4世紀）など、歴史的なルーツがあります。現代の国民教会でも、キリスト教徒であることは、実践的な信仰というよりも、文化的なアイデンティティとして理解されている場合が多く、名ばかりのキリスト教徒が広く見られます。

特徴:

外見上の宗教性: 深い結びつきのないまま、教会の儀式に参加すること。

変容の欠如: キリストとの出会いによって人生に目に見える変化がない。

信仰における受動性: 聖化や従順を追求しない（2 テモテ 3:5 F 参照: 「…外見上は敬虔であるように見えるが、その力については否定している…」）。

真の救いを経験していないため、変容も、将来の永遠の救いに対する確かな希望や確信も持てない。

偽りのクリスチャン

偽りのクリスチャンは、信仰という外見は保っているものの、神への真の献身はまったくありません。彼らはキリスト教の価値観を支持し、宗教的な言葉を話し、熱心であるように見えますが、その心は実際にはキリストに委ねられていません。彼らの信仰は、悔い改め、従順、イエスとの生きた関係のない、外見だけのものであり、神に仕える代わりに、自分の目標を追求し、自己実現を求めます。しかし、真の信仰は、神の御心に従順で実を結ぶ人生に表れます。試練が訪れたとき、彼らの信仰が本物か、それとも見せかけだけかが明らかになります。イエス様は、畑の雑草のたとえ話（マタイ 13:24-30）でこの現実について述べています。真の小麦のそばには、外見は似ているが、最終的には集めて焼かれる雑草も生えています。このたとえは、「所属」している者すべてが、本当に神に属しているわけではないことを示しています。真の裁きは、最終的には下されるのです。真の信仰は、献身と従順の中に生き続けます。それ以外は、すべて偽りであることが明らかになるでしょう。

生まれ変わったクリスチャン

生まれ変わったクリスチャンは、神の恵みによって靈的な新生を経験しています（ヨハネ 3:3）。この変化は、神と隣人への愛に特徴づけられる、変化したライフスタイルに表れています。

特徴:

- **再生:** 「キリストにある者は、新しい創造物である…」（コリントの信徒への手紙二 5:17）。
- **救いの経験:** イエス・キリストによる罪の赦しと救いを「今」確信し、将来、永遠の救いに対する確かな希望と確信を持つこと。

- **イエスとの個人的な関係:** 祈り、聖書研究、従順を通しての毎日のつながり。
- **御靈の果実:** 生まれ変わったクリスチャンの生活は、愛、喜び、平和によって表れます（ガラテヤ 5:22）。
- **イエスに従うこと、弟子となること:** イエスに従うこととは、自己を否定し、献身することを意味します（ルカ 9:23）。

再生の必要性

新生は、クリスチャンであることの重要な側面です。イエスご自身が、新たに生まれ変わらなければ、だれも神の国を見ることはできないと強調しています（ヨハネ 3:3）。この靈的な変容は、イエス・キリストの弟子になるための前提条件です。

聖書の根拠

- **ヨハネ 3:3 Slt:** 3 イエスは答えて言われた、「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできません。
- **テトス 3:5 Slt:** 彼は私たちを…再生の洗いと聖靈の刷新によって救ってくださった。

再生のしるし

- **信仰の行ない:** 真の信仰は、愛と正義の行ないによって表れます（ヤコブ 2:17）。
- **人生の変化:** 再生は、神を敬う人生へと導きます。

イエス・キリストの追隨者

イエス・キリストの追隨者とは、意識的に自分の人生をイエス・キリストに委ね、イエス・キリストを信頼し、イエス・キリストの価値観に従って生きることを決めた人である。この追隨は、口先だけの信仰を超え、深い献身と人生の変化によって表れる。

弟子としての特徴

1. 召命: イエスは弟子たちに「さあ、わたしについてきなさい」と呼びかけます（マタイ 4:19）。
2. 献身: 弟子となるということは、自分の十字架を背負ってイエスに従うことを意味します（ルカ 9:23）。
3. 実を結ぶ: 弟子たちは、自分の人生が神の愛を反映するような生き方をします（マタイ 7:16）。

弟子としての生き方の課題

弟子となるには犠牲と献身が必要です。イエスは、弟子となることは迫害と自己放棄を伴うことを指摘しています（マタイ 16:24、2 テモテ 3:12）。

教会と社会にとっての意義

名ばかりのキリスト教は、教会にとって課題となっています。それは信仰の薄れにつながり、キリスト教について誤ったイメージを与えるからです。教会は、真のキリスト教徒であることを奨励し、人々にイエスに従うよう呼びかけることが求められています。

真の弟子としての生き方を呼びかける

- 福音の宣教: 救いと再生のメッセージに焦点を当てるべきである。
- 弟子としての成長の促進: クリストチャンは、神との関係を深め、聖化の中で成長するよう励まされる必要があります。

結論

真のイエスの弟子たちは、再生によって新しい創造物となっています。彼らの弟子としての生き方は、神との生きた関係、従順な行動、そして実を結ぶ人生によって特徴づけられます。それとは対照的に、名ばかりのキリスト教徒や偽りのキリスト教徒は、表

面的で、持続的な変化を伴わないままです。教会は、この違いを明確に示し、人々をイエス・キリストの真の弟子へと導くという課題に直面しています。

名ばかりのキリスト教、見せかけのキリスト教 と真の弟子としての生き方の比較

	名ばかりの		
側面	クリスチャ	見せかけのクリスチャ	生まれ変わったクリ
	ン	ン	スチャン
信仰の基礎	伝統、文化化、教育	真の献身のない、自己の宗教的活動	個人的な決断と神の恵み
生き方	変化なし	部分的に適応しているが、眞の内的刷新は伴わない	聖靈による变容
神との関係	表面的、形式的なもの	自己欺瞞: 神を知っていると信じているが、自律的に生きている	深く、生き生きとして、個人的な関係
信仰の果実	欠けている	不安定、偽り、しばしば外見的な印象を気にする	愛と眞の従順の行いによって見える
目標志向	現世志向、宗教的安心	自己奉仕と神への奉仕の混合	神の栄光のために生きる、永遠の目標への志向
靈的な警戒心	怠慢だが、「正しい道」低、慣例的	警戒心があり、神の御言葉の観点から自らを吟味する	を進んでいると確信している
救いの視点	誤った方向性	見せかけの安心感 - 最終的にはキリストに拒絶される危険性	恵みに基づき、永続的な実によって明らかに
	真の根拠のない安心感		

1.2 失われた者：当然のことながら、神の愛には届かない

福音以前の生活があります。それは罪を犯し、闇の中で生き、父なる神とその御子イエス・キリストとの交わりを持たないことで特徴づけられます。神の目には、義なる者は一人もいません。誰も悟りを開いて神を求める者はいません。アダム以来、すべての人間は正しい道から迷い出て、無用な存在となってしましました。善を行う者は、一人もいません。それは、人間にも、動物にも、創造物にも悪を行わない（と自負する）すべてのヒューマニスト、フライデー・フォー・フェーチャーズ、創造物保護活動家にも当てはまります。なぜなら、彼らは創造主の最も重要な戒め、すなわち、天と地の唯一の神を、その言葉である聖書と、人となった御子、神の御言葉であるイエス・キリストによって明らかにされたとおり、心から、魂を尽くして、力を尽くして愛するという戒めを果たしていないからです。しかし、神にとって、失われた状態や罪は、決して永遠の罰を意味するものではありません。常に、私たちの具体的な罪が、神の前で私たちの罪深さを明らかにし、神の怒りと、最終的には神の裁き、そして最終的には破滅へと私たちを導きます。

ローマ 1-3 メン

1:18 なぜなら、神の怒りは、不義によって真理を隠している人々の、あらゆる不敬虔と不義に対して、天から明らかにされるからです。

ローマ 3:9-12 Slt

9 では、どうでしょうか。私たちには何か優位性があるのでしょうか。まったくありません。なぜなら、私たちは先ほど、ユダヤ人もギリシャ人も、すべて罪の下にあると非難したからです。10 「義人は一人もいない。11 悟りのある者、神を求める者は一人もいない。12 彼らは皆、迷い出て、共に無益である。善を行う者は一人もいない。一人もいない。

2 テサロニケ 2:12 メン

真理を信じず、不義を喜んだ者は皆、裁きを受けるべきである。

ローマ 1-3; 1 ヨハネ 1, 5-7; 2 テサロニケ 2, 12; 1 ヨハネ 1, 5-7

1.3 召命：

イエス・キリストにおける神の愛についての唯一の真の福音は、あなたの救いの鍵です。

福音は、神によって明らかにされた、私たちの永遠の救いへの鍵です。他の鍵は存在しません。

偽りの福音は、それを信じ、それに固執する者たちを靈的に殺します。

唯一の真の福音とは、すべての人々がイエス・キリストを信じることで救われ、滅びることのないようにと願う、神の愛についてのメッセージです。福音の核心は、次のとおりです。

- すべての人は罪人であり、失われ、滅びに向かっています。自分の力や功績によって、神のもとに来て、神と和解することは誰にもできません。神の御子イエス・キリストは、私たちの罪への愛のために十字架上で死なれ、私たちの義認のために、肉体をもって死からよみがえられました。神から与えられた、神の御子イエス・キリストへの信仰によって、神は私たちを、私たち自身の功績なしに救い、義とし、神との交わりを再び与えてくださいます。イエスを信じる信仰によって、私たちは神と和解し、神に愛されるのです。これからイエスに従うすべての人にとって、イエスは彼らの永遠の救いの源です。

これが救いのメッセージ、福音です。この救いのメッセージから逸脱することは、救いから遠ざかることを意味します。私たちを永遠に救うこの福音を、私たちは生涯、偽りのない形で堅持しなければなりません。私たちは、その終わりまで、そのいかなる点からも逸脱してはなりません。

イエス・キリストの福音には、

- 節制の義
- 禁欲

- 将来の裁き

これらの教えを含まない福音は、偽りの福音です。罪人が自分の罪のために神を恐れることのない福音は、福音ではありません。

イエス・キリストの福音と信仰において神の恵みが出会うところに、救いがあります。そして、救いをもたらす信仰そのものも、神からの賜物なのです。

私たちの救いには、

- 正しいイエスを信じること
- 正しい福音を信じること
- そして、その両方の結果として、唯一の救い主である神の御靈を受けること

イエス・キリストの救いの福音を最後まで堅持する者だけが、永遠の救いを得るのです。

1コリント 15: 1-2

兄弟たち、私があなたがたに宣べ伝えた福音、あなたがたが受け入れた福音、あなたがたが堅く立っている福音、2あなたがたが私が宣べ伝えた言葉に固く立つならば、あなたがたはそれによつて救われることを、私はあなたがたに思い出させます。

ヨハネ 3:16 Slt

神は、その独り子をお与えになったほどに、この世を愛された。それは、彼を信じる者が、だれも滅びることなく、永遠の命を得るためである。

ヘブライ 5:9-10 Slt

9 そして、完成に達した後、彼は、彼に従うすべての人にとって、永遠の救いの源となった。10 神は、彼をメルキゼデクのような大祭司と呼んだ。

ガラテヤ 1:6-9 Slt

6 キリストの恵みによってあなたがたを召された方に、あなたがたがそうも早く背を向けて、別の福音に走っていることに、私は驚いています。7 別の福音などないのに、ただ、あなたがたを惑

わし、キリストの福音を歪めようとする者たちがいるだけです。8 たとえ、私たちや、天からの御使いが、私たちがあなたがたに宣べ伝えた福音とは別のものを宣べ伝えたとしても、その者はのろわれるべきである。9 以前にも言ったように、もう一度言う。あなたがたが受けた福音とは別のものを宣べ伝える者があれば、その者はのろわれるべきである。

1 コリント 15:1-58、ガラテヤ 1:6-9、ヘブライ 5:9、ヨハネ 3:16、マタイ 25:41、ローマ 9:2、エペソ 2:10、ヨハネ 3:36、使徒 24:24-25、ローマ 1-3 ; 1 テサロニケ 1, 10; マタイ 9, 11-13; マルコ 14, 22-2; マタイ 4, 17; マタイ 5; マタイ 6; マタイ 7; ローマ 6; ローマ 8, 13; 黙示録 4, 8-10

1.4 神の愛に満たされて：あなたは愛されている！

ここでは、神からのあなたの個人的な約束を見つけることができます。

あなたは愛されています！

あなたは、神から無条件で、限りなく愛されています。キリストによって、あなたの罪はすべて赦され、あなたは罪から解放されました。あなたは新しい人間であり、神の御靈によって新たに生まれ、聖別されています。神の愛は、あなたが今や神の聖なる民の一員であり、神の御靈に満たされた生ける神殿であることに表れています。あなたはキリストにおいて新しいアイデンティティを得ました。あなたは、神に完全に受け入れられた、神に愛される子供なのです。この愛は、あなたをこの世の原則から解放し、神の恵みのある人生を与えてくれます。神はあなたを救っただけでなく、神の御前に住むことができるよう、永遠の命も約束してくださいましたのです。神はいつもあなたと共におられ、神の御心に従って生きる力を与えてくださいます。キリストによって、あなたは知恵と義と救いという豊かな賜物を受け取っています。神の愛は変わることなく、何があってもあなたを支えてくださいます。

あなたは愛されているのです！

神はあなたを心から愛しておられます！

神は、この世を深く愛しておられたので、御子をこの世に遣わし、御子を信じる者は誰でも滅びることなく、永遠の命を得るようにされたのです。 ヨハネ3:16

神は、永遠の愛をもって、ずっとあなたを愛しておられます。

わたしは永遠の愛をもってあなたを愛してきた。それゆえ、わたしは慈しみをもってあなたを引き寄せた。

エレミヤ31:3

神はあなたを個人的に知っています

私があなたを母の胎内に形作る前から、私はあなたを選んだ。あなたが母の胎から出る前から、私はあなたを聖別した。エレミヤ書1:5

あなたは神に愛された子供です

父なる神が、私たちにどれほどの愛を与えてくださったか、見てください。私たちは神の子供と呼ばれるのです。そして、私たちは実際に神の子供なのです。ヨ

ハネの手紙ー3:1

何もあなたを神の愛から引き離すことはできません

私は確信している。死も、生も、天使も、悪魔も、現在も、未来も、力も、高い所も、低い所も、その他のいかなる被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできない。

ローマ 8:38-39

神はあなたの重荷を背負ってくださる

すべての心配事を神に委ねなさい。神があなたがたを
気遣ってくださるからです。1ペトロ 5:7

イエスご自身が、絶えずあなたのために執り成してく
ださる

父よ、彼らを悪から守ってください。

ヨハネ 17:15

私は、あなたの信仰が絶えることのないよう、あなた
のために祈りました。

ルカ 22:32

イエス様はあなたを完全に理解しており、いつでもあ
なたを助け、助けたいと願っています。

なぜなら、私たちには、私たちの弱さを思いやること
ができるない大祭司がいるのではなく、私たちと同じよ

うにあらゆる点において試練を受けた、しかし罪を犯すことのなかった大祭司がいるからです。ですから、私たちは、恵みの御座に大胆に近づこうではありますまい。そうすれば、憐れみを受け、時宜にかなった助けとなる恵みを見つけることができるでしょう。

ヘブライ 4:14-16

神は常にあなたに新たな始まりを与えてくださる
私たちが自分の罪を告白するとき、神は誠実で公正な方であることを示してくださいます。神は私たちの罪を赦し、私たちが犯したあらゆる不正を清めてくださいます。ヨハネ 1:9

神はあなたを守ることができ、守ろうとし、そして守ってくださいます！

あらゆる過ちからあなたを守り、あなたの栄光の前に、非の打ちどころのない、喜びにあふれた姿で立つことができる力をもつ方、すなわち、私たちの主イエス・キリストを通して私たちの救い主である、唯一無二の神に、栄光と威厳と力と権威が、永遠の昔、今も、そして永遠に属します。アーメン。 ユダ 24:25

神はあなたに平安を与えてくださる

イエスは弟子たちにこう言われました。「あなたがたに平安がありますように。 ルカ 24:36

1.5

選ばれた者たち：今、救われている一神の恵み、信仰 ・そして深い悔い改めによってのみ

イエス・キリストにおける神の愛のメッセージは、私たちが今この瞬間にも救いを受ける可能性を開きます。聖書は、救いは単なる将来への希望ではなく、今この瞬間にも受け取ることができる賜物であることを示しています。以下の章では、この真理のさまざまな側面について考察します。

1.5.1 選ばれ、救われた

神は福音を通してすべての人々に悔い改めを呼びかけますが、自分の力だけで神のもとに来ることはできません。神に選ばれた者だけがそれが可能です。イエスご自身が、「あなたがたがわたしを選んだのではなく、わたしがあなたがたを選んだのです」（ヨハネ 15:16）とおっしゃっています。神に選ばれた者は、聖霊によって効果的に召され、キリストへの信仰を受け、神の子供となります。

選ばれた人々は、神を愛し、心から主に従うことで見分けられます。なぜなら、「神はあらかじめ知っておられる人々を、御子と同じ姿に変えるために、あらかじめ定めておられたからです」（ローマ 8:29）。彼らは赦しと恵みを受けるだけでなく、聖霊の力によって人生が変えられるのです。

救いは、人間の功績の結果ではなく、神からの賜物である。「あなたがたは、恵みによって、信仰によって救われたのです。それは、自分自身によるものではなく、神からの賜物であり、行いによるものではありません。だれも、自らを誇ることがないためです。私たちは、キリスト・イエスにあって、神があらかじめ備えてくださった良い行ないのために、神によって造られた者です。それは、私たちがその行ないを歩むためです」（エフェソ 2:8-10）。

テサロニケの信徒への手紙には、眞の選民がどのように明らかになるかが示されています。「私たちの福音は、言葉だけでなく、力、聖霊、そして強い確信をもって、あなたがたに伝えられたのです」（1 テサロニケ 1:5）。神に選ばれた者は、福音の力を経験し、心から神を愛し、イエスに従う者であり続けます。

なぜなら、「多くの者が呼ばれているが、選ばれた者は少ない」からです（マタイ 22:14、マルコ 16:15-16、1 コリント 1:23-28）。

ヨハネ 15:16 SIt

あなたがたがわたしを選んだのではなく、わたしがあなたがたを選んだのです。あなたがたは行って実を結び、その実が残る者となるためです。

エフェソ 2:8 SIt

あなたがたは、恵みによって、信仰によって救われたのです。それは、あなたがた自身から出たものではなく、神からの賜物なのです。

2 テサロニケ 2:13 SIt

しかし、私たちは、主によって愛されている兄弟たち、あなたがたのために、いつも神に感謝すべきです。神は、聖霊の聖化と真理への信仰によって、初めからあなたがたを救いに選び、定めてくださったからです。

ヨハネ 15:16、エペソ 2:8-10、2 テサロニケ 2:13、1 テサロニケ 1:5、ローマ 8:29

1.5.2 イエス様の血による救い

私たちの救いは、規則や儀式、宗教的規定（聖書によるものも含む）に従うことによってではなく、イエス・キリストの恵みによってのみ、今そして永遠に与えられます。イエスが犠牲となった御体と流された御血によってのみ、私たちは神との恵みの契約に入り、罪の赦しを受け、永遠の救いを得ることができます。

エペソ 1:7 Slt

私たちは、イエス・キリストによって、その血による贖い、その豊かな恵みによる罪の赦しを受けました。

コロサイ 2:8 Slt

8人の伝統や、この世の原則、キリストに属さないものに従つて、哲学や空虚な欺きによって、だれにもあなた方を奪わないよう気をつけなさい。

使徒 15:11 Slt

11むしろ、私たちは、主イエス・キリストの恵みによって、彼らと同じように救われると信じている。

エフェソ 1:7; コロサイ 2:8; 使徒 15:11; マタイ 26:26-28; マルコ 14:24; ルカ 22:20; ヨハネ 6:53; ヨハネ 19:34-37; 使徒 20:28; 1コリント 10:16; エペソ 1:7; コロサイ 1:20; ヘブライ 9:12-14、ヘブライ 10:19、ヘブライ 13:12、ペトロの手紙一 1:2、ヨハネの黙示録 1:5、ヨハネの黙示録 5:9、ヨハネの黙示録 12:11

1.5.3 罪の赦し－救いの鍵

私たちの罪が赦されることによってのみ、私たちは今、救われ、父なる神との健全な関係を経験することができるのです。自分の罪が赦された人だけが、永遠に神を賛美することができるのです。赦しなしには、天国への扉は閉ざされたままです。

この赦しは、以下の方法によってのみ受けることができます。

- 神との生活への意識的な回心と、罪に満ちた古い生活からの脱却

- 十字架上の死によって私たちの罪を贖い、今、神の前で私たちの執り成し人となっているイエス・キリストへの信仰

この2つはどちらも重要であり、どちらか一方でも欠けていれば、私たちは救いを得ることができません。

キリストに従う道において、私たちはまだ完全ではなく、罪を犯す可能性があり、また実際に罪を犯します。最悪の場合、重大な罪を犯すこともあります。しかし、神は常に私たちを赦し、清めてくださる用意があります。私たちが繰り返し神に立ち返る限り、神の愛と忍耐には限界がありません。あらゆる挫折や罪にもかかわらず、イエスに固執し、その赦しを受け入れ、イエスに従う者は、私たちの救いに決定的な、神の愛と赦しの保護の中に留まることができます。

聖書は、他の人、特に信仰の兄弟姉妹たちを赦さないならば、私たちは赦し、ひいては救いを失う可能性があることを明らかにしています。神の赦しは、私たち自身が他の人を赦す用意があるかどうかによって決まります。

また、自分の罪に固執し、悔い改めることを拒む者も、救いを失うリスクを負います。特に、他の信仰の兄弟姉妹や教会が私たちの過ちを指摘しても、それに応じない場合はなおさらです。赦しは、イエスを誠実に追い求め、軽率に罪にふけることのない人たちに与えられます。それは、神の赦しを罪を犯す免罪符と誤解せず、真の悔い改めと従順の生活によってその価値を認識する人たちに与えられます。

コロサイ 2:13-15 メン

13 あなたがたも、かつては、自分の罪と、割礼を受けていない肉体の状態によって、死んでいた者たちでした。しかし、神は、私たちすべての罪を、恵みによって赦してくださったので、あなたがたも、キリストとともに、生かしてくださいました。 14 私たちの救いの妨げとなっていた、私たちに対する彼の規定による罪状を、十字架に釘付けにして、消し去ったのです。 15 そして、権力と権威を完全に無力化し、彼らを公にさらし、キリストにおいて彼らに勝利を収めたのです。

使徒言行録 26:18 Slt

18 彼らの目を開いて、暗やみから光へ、サタンの支配から神のもとへ立ち返らせ、罪の赦しを受け、わたしを信じる者たちの中で聖なる者たちとしての相続財産を受け継ぐようにするためである。

ヘブライ 7:25 メン

それゆえ、イエス様は、御自分の仲介によって神に近づく者たちに、完全な救いをもたらすことができるのです。イエス様は、彼らのために（神の前で）執り成しをなさるために、永遠に生きておられるからです。

1.5.4 主であり救い主であるイエスを認めること—唯一の救い

すべては、イエス・キリストを正しく認識することにかかっています。神から与えられた父と御子に対する真の認識だけが救いをもたらすものであり、私たち自身の行いは救いをもたらすものではありません。絶え間ない信仰は、すでに私たちに与えられている永遠の命を保つものです。イエスを真のメシアと認識し、それを公に告白したのは弟子たちであり、彼らはこの認識に従ってイエスに従いました。その後、イエスは彼らを真の信者として認め、御国建設のために力強く用いました。

マタイ 16:16-17

16 すると、シモン・ペテロがイエスに答えた、「あなたは、生ける神の御子、キリストです」。17 イエスは彼に答えて言われた、「ヨナの子シモン、あなたは幸いである。

ヨハネ 17:2-3 メン

[イエス・キリストが語る] 2 あなたは、すべての肉なる者に対する権威を彼に与え、あなたが彼に与えた者たちすべてに永遠の命を与えるためである。3 しかし、永遠の命とは、唯一のまことの神であるあなたと、あなたが遣わしたイエス・キリストとを知ることである。

ヨハネ 8:24 メン

24 だから、あなたがたは自分の罪の中で死ぬと、わたしは言ったのです。あなたがたが、わたしがそれであると信じないなら、あなたがたは自分の罪の中で死ぬのです。

マタイ 16:16、ヨハネ 8:24、ヨハネ 17:3、ヨハネ 11:27、使徒 2:1-4

1.5.5 信仰によってのみ義となる

自分の善行によって、自分が神の前で義であると考える者は、神によって義と認められることはなく、滅びてしまう。自分が神の前で罪人であることを認め、告白する者だけが、神に受け入れられる。私たちは、イエス・キリストにある信仰と贖いによって、自分の功績ではなく、神の恵みによってのみ、神の前で義と認められるのである。

ルカ 18:11-14 詩編

14 あなたがたに言うが、この人は、あの人とは違って、義と認められて自分の家に戻った。なぜなら、自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるからである。

ローマ 3:23 Slt

23 すべての人は罪を犯し、神の御前にある栄光に及ばない。24 それゆえ、キリスト・イエスにある贖いによる神の恵みによって、自分の行ないによらず、義と認められるのである。

ローマ 4:22-25 Slt

22 それゆえ、彼の信仰は義と認められたのである。23 しかし、[彼の信仰が] 彼に義と認められたことは、彼のためだけに書かれたのではなく、24 私たちの主イエスを死からよみがえらせた方を信じる私たちにも、義と認められるためである。25 彼は、私たちの罪のためにささげられ、私たちの義のためによみがえられたのである。

1 ヨハネ 1:8-9 Slt

8 もし、私たちに罪がないと言うなら、私たちは自分を欺いており、真理は私たちのうちにはありません。9 しかし、もし私たちの罪を告白するならば、神は真実で正しい方であるから、私たちの罪を赦し、すべての不義から私たちをきよめてくださいます。

ルカ 18:11-14、ローマ 3:23、ローマ 4:22-25、1 ヨハネ 1:8-9、ローマ 3

1.5.6 救いは今、真の信仰によって起こる

神の御子イエス・キリストを信じる者は、永遠の命を持ち、今その命を確実に手に入れることができる。永遠の命は、私たちが努力して得るものではなく、イエスへの信仰とイエスとの結びつきによって、無償の賜物として与えられていることを知ることは、なんと心強いことだろう。イエスに従う者は皆、その瞬間に救われ、神の恵みと救いの中で生きている。

1 ペテロ 5:12 *Slt*

12 シルワノは、私が確信しているように、あなたがたにとって忠実な兄弟です。私は、あなたがたに、これがあなたがたが立っている神の真の恵みであることを勧告し、証しするために、この手紙を簡潔に書きました。

1 ヨハネ 5:13 *Slt*

13 私は、神の御子の御名を信じるあなたがたに、あなたがたが永遠の命を持っていることを知らせるため、また、あなたがたが（これからも）神の御子の御名を信じ続けるために、この手紙を書きました。

フィリピ 4:3 *Slt*

3 また、私の忠実な同労者であるあなたにもお願ひしたい。福音のために私と一緒に戦った者たち、クレメンスや、いのちの書に記載されている私の他の同労者たちをも、どうか受け入れてください。

1.5.7 再生—キリストにおける新しい命

イエスを信じ、イエスを信頼し、イエスを受け入れること、それが今、神の子供になる道です。それが救いへの道です。自分の力や意志だけで新たに「生まれ変わる」ことは誰にもできません。

それは神のみが成し遂げることです。キリストを受け入れるという私たちの決断と、救いへの神聖な再生との間には、聖なる神祕があります。

ヨハネ 3:3 メン

まことに、まことに、あなたに告げます。人は、上から生まれなければ、神の国を見るることはできません。

ヨハネ 1:12-13 Slt

12 しかし、彼を受け入れた者、すなわち、その名を信じた者たちには、神の子供となる権利を与えた。13 彼らは、血によつても、肉の意志によつても、人の意志によつても生まれたのではなく、神によって生まれたのである。

1 ペトロ 1:23 メン

あなたがたは、朽ちる種からではなく、朽ちない種から、すなわち、生ける、永遠に存続する神の言葉によって、新たに生まれたのです。

ヨハネ 1:1-13、ヨハネ 3:3、1 ペテロ 1:3、テトス 3:5

1.5.8 御靈による清め—眞の救い

信仰生活の始まりにおいて、聖靈による再生と更新は、イエスに従うすべての人を救い、清めます。この清めは、ペテロの場合のように、私たちの心からの献身とイエスへの愛と密接に関連しています。イエスに心を結びつけ、完全に献身しない者は、たとえ外見上はイエスと結びついているように見えても、清められず、失われてしまします。しかし、救われ、清められた者は、イエスに従う道において、イエスの恵みによる絶え間ない清めによって、イエスとの交わりの中で守られます。

ヨハネ 13:8-11 Slt

イエスは彼（ペテロ）に答えられた、「もし私があなたを洗わないなら、あなたは私と交わりを持つことができない。

テトス 3:5 Slt

[神は]…私たちがした義の行ないのためではなく、その憐れみによって、再生の洗いと聖霊の刷新によって、私たちを救ってくださった。

1 ヨハネ 1:9 Slt

9 しかし、私たちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しい方であるから、その罪を赦し、すべての不義から私たちをきよめてくださる。

ヨハネ 13:8-11; テトス 3:5; 1 ヨハネ 1:9; 使徒 15:9; エペソ 5:26; テトス 3:5; 1 ペテロ 1:22; ヘブライ 1:3; ヘブライ 9:14; ヨハネ 15:2; 2 コリント 7:1; 2 コリント 12:21; 2 テモテ 2:21; 1 ヨハネ 1:7; 1 ヨハネ 3:3

1.5.9 私たちの救いの印としての聖霊

私たちが回心すると、神は私たちに聖霊を授けてくださいます。聖霊は私たちの中に住まわれます。私たちは聖霊の宮となり、イエスはその御霊によって私たちの中に住まわれます。聖霊は、イエスに従うすべての人に対する神の印であり、私たちの将来の救いと天における相続財産に対する約束です。私たちの中におられる聖霊は、私たちの完全な救いを保証し、私たちを新しい命へと目覚めさせてくださいます。それは私たちに大きな安心と慰めを与えてくれます。

エペソ 1:13-14 Slt

あなたがたも、真理のことば、すなわち、あなたがたの救いの福音を聞いた後、キリストにあって、信仰をもって、約束の聖霊によって印を押されました。**14** この聖霊は、私たちが所有するものを贖うまでの保証であり、神の栄光を賛美するためのものです。

ローマ 8:9-11 Slt

しかし、神の御霊が本当にあなたがたのうちに住んでいるなら、あなたがたは肉ではなく、御霊のうちにいるのです。キリストの御霊を持たない者は、キリストのものではありません。…**11** し

かし、イエスを死からよみがえらせた方の御靈が、あなたがたのうちに住んでいるなら、イエスを死からよみがえらせた方が、その御靈によって、あなたがたの死すべき体をも生かすでしょう。

エフェソ 4:30 Slt

あなたがたは、救いの日のために、神の聖靈に悲しませてはなりません。

マルコ 1:8、使徒 5:32、ローマ 8:9-11、1 コリント 12:13、1 コリント 3:16、1 コリント 6:19、2 コリント 1:22、エペソ 1:13、エペソ 4:30

1.5.10 心の内なる更新による救い

真の救いは、外的なものではなく、心の奥深くで起こる、神ご自身がもたらす更新です。神に心を変えられる者は、神を自分よりも愛し、神の御靈によって生きることになります。この内なる変化によって、私たちは自分の力や義認のためではなく、愛から神の戒めを守ることができるようになります。

真の靈的な割礼とは、神に耳を傾け、神の御言葉を真剣に受け止めることを意味します。神の御靈に抵抗し、神の律法に従わない者は、外見上は宗教的であるように見えても、神の前では割礼を受けていない者です。しかし、信仰によって義と認められた者は、御靈によって神に仕え、愛をもって神に従います。これは、神の御心を行い、隣人を愛するという心の姿勢に表れています。

それは、完璧であるとか罪がないということではなく、心と人生の方向性を神に向けさせることです。恵みによって生きる者は、強制ではなく、愛によって神の御靈に従います。

コロサイ 2:11-13 メン

1 あなたがたは、キリストによって、手によるものではなく、肉の体を脱ぎ捨てることによって、割礼を受けたのです。それは、キリストの割礼です。12 あなたがたは、バプテスマによって、キリストとともに葬られたのです。また、あなたがたは、死からよみがえらせた神の力への信仰によって、キリストとともに復活し

たのです。13 あなたがたも、かつては自分の罪と、肉体の割礼を受けていない状態によって死んでいた者たちですが、神は、恵みによって、すべての罪を赦して、キリストとともに、あなたがたをも生かしてくださいました。

1 コリント 7:19 SIt

19 割礼を受けることは何の意味も持たず、割礼を受けないことも何の意味も持たない。しかし、神の戒めを守ることは意味がある。

フィリピ 3:3 SIt

私たちは、靈において神に仕え、キリスト・イエスを誇りとし、肉に頼らない、割礼を受けた者たちなのです。

コロサイ 2:11-13、1 コリント 7:10、フィリピ 3:3、ガラテヤ 6:15、ローマ 2:25-29、ローマ 7; ローマ 8, 13; ガラテヤ 5, 13-14; 1 コリント 7, 19; ガラテヤ 5, 6; 1 コリント 7, 19; 使徒 7, 51; ローマ 2, 25-29; エレミヤ 4, 4; エゼキエル 44, 7

1.5.11 信仰による従順は救いにつながる

私たちの救いは、神への従順にある。この従順は、福音を信じることから始まり、イエスに従順に従って最後まで歩む狭い道へと私たちを導く。こうして、私たちの信仰による従順は、いつの日か永遠の命の中で主にお会いするその日まで、完成されるのだ。

ローマ 1:5

5 私たちは、イエス・キリストによって、その御名のために、すべての国々の中で信仰の従順を生きるための恵みと使徒の務めを受けました。6 あなたがたも、イエス・キリストに召された者たちです。

使徒 6:7 SIt

7 そして、神の言葉は広まり、エルサレムでは弟子たちの数が非常に増え、多くの祭司たちも信仰に従順になった。

ヘブライ 5:9 SIt

9 そして、完成に達した後、彼は、彼に従うすべての人にとって、永遠の救いの源となった。

ローマ 1:5、使徒 6:7、ヘブライ 5:9、ヘブライ 3:18、マタイ 7:26-27、ローマ 6:16、使徒 7:51-53、使徒 6:7、ローマ 1:5

1.5.12

救いは言葉以上のもの—それは悔い改めと人生に表れる

イエス様ご自身、洗礼者ヨハネ、そして使徒たちは、真の悔い改めが救いの前提条件であることを繰り返し強調しています。真の悔い改めは、神のために実を結ぶ人生によって表れます。イエスの犠牲的な死によって可能になった赦しは、私たちと神との関係の基盤です。この赦しは、神のない古い生活から離れ、神の御心を行う者、つまり、真の回心を示す行いでわかる者にのみ与えられます。不敬虔な生活から離れ、神を敬う生活を送るという決断がなければ、救いも赦しも救いもありません。

マタイによる福音書 3:2-10

[洗礼者ヨハネ] 2 天国は近づいたから、悔い改めなさい…8 悔い改めにふさわしい実を結べ。9 「私たちはアブラハムを父とする者だ」と心の中で思うな。わたしはあなたがたに言う。神はこれらの石からでも、アブラハムの子孫を起すことができるのだ。10 斧はすでに木の根元に置かれている。良い実を結ばない木は、すべて切り倒されて火に投げ込まれる。

ルカ 13:3 SIt

[イエス] 3 いいえ、そうではない、と私は言う。あなたがたが悔い改めなければ、あなたがたも皆、同じように滅びてしまうのだ。

使徒 26:20 SIt

[パウロ] 20 私はまず、ダマスカスとエルサレムで、そしてユダヤ

全土で、また異邦人たちに、悔い改め、悔い改めにふさわしい行いをすることで、神に立ち返るよう宣べ伝えた。

マタイ 3:2-10; ルカ 13:3; 使徒 26:20; マタイ 4:17; ルカ 24:44-49

1.5.13 イエス様は何よりも大切—救いの真の証

イエスと天国に従うことの意味を認識し、そのためにすべてを手放す用意がある者は、救われる。しかし、この世のものをより重要だと考えて福音の招きを拒む者は、滅びてしまう。私たちを神から引き離すのは、必ずしも重い罪である必要はない。多くの場合、人間関係、仕事、お金など、人生におけるごく普通の、良いものがその原因となる。それらを神の呼びかけよりも優先すると、私たちは永遠の救いを危険にさらすことになる。

ルカ 14:26-27 Slt

26 だれでも、わたしのもとに来る者は、自分の父、母、妻、子供、兄弟、姉妹、さらに自分の命までも嫌わないなら、わたしの弟子になることはできません。27 また、自分の十字架を負ってわたしに従わない者は、わたしの弟子になることはできません。

ルカ 14:23-24 Slt

23 主人はその僕に言った、「道や垣根に出て、彼らを強制して、私の家を満たしてください。24 なぜなら、招待された者たちは、私の食事を味わうことは決してないでしょうから。

ルカ 14:33 Slt

33 だから、自分の持っているものをすべて捨てない者は、わたしの弟子になることはできません。

ルカ 14:26-27、14:23-24、14:33、14:15-24

1.5.14 イエスを信じる者は救われる

聖書は、イエス・キリストを信じる者だけが救われることを多くの箇所で示しています。この信仰は、私たちの言葉による告白だ

けでなく、私たちの生き方や神への従順も含まれます。私たちの人生そのものが、眞の信仰の告白なのです。子羊の血によって贖われ、神の戒めに従って生き、死に至るまでイエス様のメッセージに忠実である人々は、今この瞬間も救われているだけでなく、永遠にも救われるのです。

ローマ人への手紙 10:8-10

9 なぜなら、「口」でイエスを主と告白し、「心」で神がイエスを死者の中から復活させたと信じるなら、あなたは救われるからです。

ルカ 12:8 メン

しかし、わたしはあなたがたに言う。人の前でわたしを認める者は、人の子もまた、神の御使たちの前でその者を認めるであろう。

マタイによる福音書 10:33 メン

しかし、人前でわたしを否定する者は、わたしも天におられるわたしの父の前で、その者を否定するであろう。

1 テモテ 5:8 Slt

8 しかし、自分の家族、特に自分の家族を養わない者は、信仰を否定した者であり、不信仰者よりも悪い者です。

黙示録 12:10-11 Slt

10 そして、私は天から大きな声が言うのを聞いた、「今、私たちの神の救いと力と御国と、そのキリストの支配が来た。私たちの兄弟たちを、昼も夜も、私たちの神の御前で訴えていた告発者が、投げ落とされたからだ。11 そして、彼らは、子羊の血と、自分たちの証しの言葉によって、彼に打ち勝った。彼らは、死に至るまで、自分の命を愛しなかったのだ。

ルカ 12:8、マタイ 10:33、テモテへの手紙 I 5:8、ヨハネの黙示録 12:10-11、ローマ 10:8-10; 1 ヨハネ 2:23; 1 ヨハネ 4:15; ヘブライ 10:23; 1 テモテ 6:12; マタイ 7:21; 默示録 12:17

1.5.15 神の国に入る者は救われる

神の国に入る者は救われる。

神の王国に入るには、2つの基本原則があります。それは、自己中心と罪に満ちた古い生活から立ち返り、天国の栄光に満ちた王イエスに従順になることです。そしてその結果、あらゆる事において、良き賢明な王であり主であるイエスの言うことに耳を傾けることです。

悔い改め、イエスを自分の主、王とし、最後まで忠実に仕える者は、永遠に救われる。

「主よ、主よ」と言いながら、イエスの言うことを行わない者は、神の国の喜びを体験することはできない。

マタイ 21:31 SIt

31 この二人の中で、どちらが父の意志を行ったか。彼らは、最初の人だ、と答えた。すると、イエスは彼らに言った、「まことに、あなたがたに言う。徴税人や娼婦たちが、あなたがたよりも先に神の国に入るだろう。

ルカ 19:17 SIt

よくやった、良い僕よ。あなたがわざかなことに忠実であったから、十の町を治める権威を与えよう。

マルコ 9:47 メン

もしあなたの目があなたを怒らせるなら、それを引き抜いてしまえ。両目を持って地獄に投げ込まれるよりも、片目で神の国に入るほうが、あなたにとって良いのだ。

ルカ 19:11-27、ルカ 13:22-30、ルカ 18:17、マタイ 21:28-32

1.5.16

キリストにおけるあなたの新しいアイデンティティ
は、あなたの救いの偉大さを示しています

私たちの回心と再生によって、私たちはキリストにおける新しいアイデンティティを得ました。私たちはもはや、古い人間的な性質の中で生きているわけではありません。神は私たちを新しい創造物として聖別し、清めてくださったのです。私たちは本質的に、もはや「罪人」ではなく、聖なる者、清く、善良な者となっています。神の望みは、私たちがそれにふさわしい生き方をするということです。

キリストにあって新たに創造された人間としての私たちの使命は、「肉」の行いを単に容認するだけでなく、聖靈によってそれを克服し、「脱ぎ捨てる」ことです。私たちはキリストにあって「新しい人」ですが、そのことを意識と日常生活の中で完全に受け入れる必要があります。これは、「新しい人」を身に着け、「古い人」を完全に過去のものにするプロセスです。このプロセスの中心にあるのは、がキリストにおいて私たちに与えてくださった新しいアイデンティティです。それは、私たちの救いの基礎であり、その証です。

2コリント 5:17 *Slt*

17だから、キリストにある者は、新しい創造物である。古いものは過ぎ去り、見よ、すべてが新しくなった。

黙示録 1:5-6

5[イエス・キリスト]…私たちを愛し、その血によって私たちの罪を洗い流し、6私たちを、その神、父のために、王と祭司とした方。

ローマ 8:5 *Slt*

5なぜなら、肉に従う者は肉のことばかりを求め、御靈に従う者は御靈のことばかりを求めるからです。

2コリント 1:1、ローマ 8:5、黙示録 1:4-6、コロサイ 3:9、エペソ 4:22、エペソ 4:24、2コリント 5:17

1.5.17

**要約：選ばれた者たち：今、救われている—恵みの
み、生きた信仰と真の悔い改めによって**

私たちの救いは、神からの賜物であり、私たちの功績ではなく、神の御業によるものです。イエス・キリストを通して、神は私たちが神のもとに来ることができる唯一の道をお与えになりました。イエスを信じ、主として受け入れる者は、この世でも、そして永遠にも、新しい命を受け取ります。

エペソ 2:8-9 Sl/t

あなたがたは、恵みによって、信仰によって救われたのです。それは、自分自身によるものではなく、神からの賜物であり、行いによるものではありません。だれも誇ることがないためです。

イエスの血による救い

私たちの行うことは、私たちを清めることはできません。イエスの血だけが、私たちの罪を赦すのです。十字架での彼の死は、私たちが自由になるための最高の代償でした。

1 ヨハネ 1:7

しかし、私たちが光の中を歩むなら、彼が光の中におられるように、私たちは互いに交わりを持ち、御子イエス・キリストの血が、すべての罪から私たちを清めてくださいます。

罪の赦し - 救いの鍵

神は赦しの道を開き、私たちに悔い改めを呼びかけます。自分の罪を告白する者は、罪から解放され、神との新しい関係に入ることができます。

使徒 3:19 Sl/t

だから、悔い改めて、回心しなさい。そうすれば、あなたの罪は消されるでしょう。

信仰によってのみ義となる

私たちを義とするのは、行ないではなく、キリストへの信仰だけです。私たちがキリストを信頼するとき、キリストは私たちを義と認めてくださいます。それは、私たち自身の力によるものではありません。

ローマ 3:28 *Slt*

こうして、私たちは、人は行ないによらず、信仰によって義と認められるという結論に達するのです。

新生—キリストにおける新しい命

救いは赦し以上のものです。それは完全な新しい創造なのです。イエスを信じる者は、新しい心と新しい命を受け取ります。

ヨハネ 3:3 *Slt*

人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできません。

心の内なる更新によって救われる

真の割礼は心の中で起こる一神は、私たちが心を尽くして神に仕えることができるよう、私たちの内面を変えられる。

ピリピ 3:3 *Slt*

私たちは、靈において神に仕え、キリスト・イエスを誇りとし、肉に頼らない、割礼を受けた者たちなのです。

救いは悔い改めと従順によって現れる

イエスに従う者は、変わらないままではいられません。真の信仰は、神を敬う新しい人生に現れます。

マタイ 7:21 *Slt*

「主よ、主よ」と言う者すべてが、天の國に入るわけではない。天におられるわたしの父のみこころを行う者だけが、そこに入るのである。

イエス様は何よりも大切－救いの真の証

真に救われた者は、イエスを何よりも優先します。イエスは、財産や名声、あるいは自分の命よりも価値のあるお方なのです。

ルカ 14:26 Slt

もし、だれでもわたしのもとに来るので、自分の父、母、妻、子供、兄弟、姉妹、さらに自分の命までも嫌わないなら、わたしの弟子になることはできません。

イエスを信じる者は救われる

信仰は隠されたままではない。イエスを公に認める者は、イエスによって認められる。

ローマ 10:9 Slt

あなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神がイエスを死者の中から復活させたと信じるなら、あなたは救われる。

キリストにおけるあなたの新しいアイデンティティは、あなたの救いの大きさを示しています。

キリストに属しているなら、あなたは新しい創造物である。神はあなたを暗闇から導き出された。あなたの古い人生は終わった。

2コリント 5:17

だから、キリストにある者は、新しい創造物である。古いものは過ぎ去り、見よ、すべてが新しくなった。

1.6

見掛け倒し：名ばかりのクリスチャン、そして眞の回心、再生、キリストの追従のない見掛けだけの弟子たち

新約聖書は、外見だけの信仰で、心からの変化をもたらさない信仰について繰り返し警告しています。イエスは、「わたしを

『主』と絶えず呼ぶ者すべてが、天の国に入るわけではない。天におられるわたしの父のみこころを行う者だけが、そこに入るのである」と語られました（マタイ 7:21）。名ばかりのクリスチヤ

ンや偽りの弟子たちは、形式的にはキリストを信奉したり、宗教的伝統の中で生活したりしているかもしれません、聖靈による真の悔い改めと再生を経験したことはありません。彼らは、外見は敬虔に見えたが、内面は空虚だったパリサイ人たちに似ています（マタイ 23:27）。

イエス様は、外見上はイエス様に従っているように見え、外見上は弟子として知られているが、イエス様と真の関係を持たず、生まれ変わっても救われてもいない人々がいることをはっきりと語っています。その理由は、彼らがイエスを自分の人生の主として真に受け入れたことがなく、神の御心ではなく、自分の意志に従っているからです。彼らの人生は、自己意志、世俗的な考え方、利己的な性質に支配されたままです。彼らは心から神の御心に服従したことではなく、結局、自分の主人であり続けているのです。

一方、真の弟子となるには、信仰、愛、従順によって表される、イエスとの深い関係が必要です。「あなたがたがわたしの言葉にとどまるなら、あなたがたはほんとうにわたしの弟子です」（ヨハネ 8:31 F）。弟子となることは、単なる告白以上の意味があります。それは、神の恵みによって変容した人生に表れるものです。真に回心し、救われた者は、自分の自我を完全に神に委ね、神の御心に従います。真に生まれ変わった神の子供は、神の靈（）を受け入れ、その導きに従って、たとえ挫折があっても、神の言葉に従って生きることです。イエスを信頼し、神のために実を結び、不義から離れることです。「主は御自分のものを知っておられるからです」（2 テモテ 2:19 Meng）。

真の弟子たちは救われ、永遠に救われる。名ばかりのクリスチャントや、真の回心もキリストに従うこともない偽りの弟子たちは、今は救われておらず、永遠に失われることになる。

マタイ 7:20-21 Slt

20 だから、その実によって彼らを見分けることができる。21 わたしに向かって『主よ、主よ』と言う者すべてが、天の国に入るわけではない。天におられるわたしの父のみこころを行う者だけが、そこに入るのである。

テトス 1:16 Slt

16 彼らは、神を知っているふりをしながら、その行いで神を否定している。彼らは、忌まわしく、不従順で、どんな良い行いもできない者たちである。

ルカ 17:34 Slt

34 あなたがたに言う。その夜、二人一組で寝ているが、一人は連れて行かれ、もう一人は残される。

ガラテヤ 5:4-6; フィリピ 3:17-19; マタイ 13:27-30; ヨハネ 1:11-12;
ルカ 17:34-36; テトス 1:15-16; 3 ヨハネ 1:11; 1 ヨハネ 2:9; 2 ペトロ
2:1-3; ユダ 1:18-19; マタイ 23:27; ヨハネ 8:31

1.7

死んだ行い：それは、今、また永遠に、あなたを救うことはできません。

死んだ行いは、無駄な試みです [<https://youtu.be/j6MWVxE7AEw?feature=shared>]。神との真の関係は、恵みによってのみ、そしてイエス・キリストが十字架上で私たちのために流した血によってのみ生まれます。私たちがそれを信じるならば。私たちは、自分の力と努力だけで神に喜ばれようという無駄な試みである、死んだ行いを捨て、悔い改め、失われた者たちを義とする神を信じなければなりません。イエスが私たちの罪のために流された血によってのみ、私たちの良心がこれらの死んだ行いから清められ、私たちは清められ、生ける神に仕えることができるようになるのです。

ここに、私たち自身にとっても、私たちの行いにとっても、死から生への決定的な転換点があります。私たちがキリストとともに死に、復活したならば、神に仕えることは私たちの新しい存在と使命となります。それ以来、私たちが神のために行うことはずべて、イエスの赦しと清めによって受け入れられるものとなります。神は、私たちがそのような良い行いを豊かに行うことを望ん

でおられます。なぜなら、それらは実を結び、神を敬うものとなるからです。

神のための信仰の行いは、私たちの信仰が生きていることを示しています。それらは、イエスへの感謝と愛を反映し、イエスが私たちの生活の中で真に主であることを示しています。それを通して、私たちは神とその御言葉を畏敬の念を持って生きています。これらの信仰の行いは、私たちの生活における福音の果実であり、イエスを通して神に喜ばれるものです。神に愛されている者として、信仰の行いによって神への愛を示す者は、永遠の命を得るでしょう。

マルコ 7:6-7

6 この民は、口先だけでわたしを敬うが、その心はわたしから遠く離れている。7 彼らは、人の戒めを教えとしているので、わたしを敬うこととは無駄である。

ヘブライ 6:1 Slt

1 それゆえ、キリストの教えの初步を離れて、完全な成熟へと進みましょう。死んだ行いの悔い改めと神への信仰という基礎を、もう一度築き直す必要はありません。

ガラテヤ 5:6 メン

キリスト・イエスにおいては、割礼も、割礼がないことも、何の意味も持たない。ただ、愛によって働く信仰だけが意味を持つ。

ヤコブ 1:12 Slt

12 試練に耐える人は幸いである。試練に耐えた後、主が、ご自分を愛する者たちに約束されたいのちの冠を受けるからである。

マタイ 7:24-29、マルコ 7:6-7、ヘブライ 6:1、ローマ 3:28、ガラテヤ 5:6、ヨハネ 15:8、黙示録 3:1-13、ヘブライ 6:1; ローマ 3:28; 2コリント 3:5; ヨハネ 15:8; マタイ 7:24-29; 黙示録 3:1-13; ルカ 19:11-27; 1ペテロ 1:17; 默示録 22:12

1.8

永遠の昔から選ばれ、神の誠実さによって守られ、 永遠に救われる

福音は、今この瞬間における救いだけでなく、永遠の救い、つまり、決して終わることのない神との交わりにおける人生も約束しています。この永遠の救いは、私たちの信仰の目標であり、神の栄光の中で神と一つになることで完成します。

以下のサブセクションでは、この永遠の救いのさまざまな側面を明らかにし、他の道との違いを明らかにします。

1.8.1 永遠の救い：それはどのようなものなのか？

天国で永遠に救われた者たちは

- 神の御座と子羊の前に立ち、白い衣をまとい、ヤシの葉を手に持ち、「救いは、私たちの神と子羊にある」と大声で叫ぶでしょう。
- 神と子羊に仕える
- 神の御顔を見て、その光の中で生きる
- 王として永遠に統治する
- イエスから、神の楽園にある命の木の実を食べる
- 二度目の死から守られる
- 隠されたマナを食べ、秘密の新しい名前が書かれた白い石を受け取る
- 諸国民を支配し、鉄の杖で彼らを治める。さらに、イエスが彼らに明けの明星を与える
- 白い衣を着て、命の書からその名が消されることはなく、イエスが御父とその御使たちの前でその名を告白する
- 神の神殿の柱として立ち、二度とそこを離れることはない。イエスは、神と新しいエルサレム、そして彼らの新しい名前を彼らに記す。
- イエスとともにその玉座に座る

- 昼も夜も神殿で神に仕え、神は彼らとともに住まわれる。彼らは飢えも渴きも感じず、太陽も暑さも彼らを苦しめることはない。玉座の中央にいる子羊が彼らを導き、命の泉へと連れて行く。神は彼らの目から涙をすべてぬぐい去る
- 彼らの間に住まわれる神と親密な交わりを持ち、神の民となる。

イザヤ書35:10

10 主の贖われた者たちは、喜びの叫び声を上げてシオンに帰って来る。彼らの頭上には永遠の喜びがあり、喜びと楽しみを得る。しかし、悲しみと嘆きは逃げていく。

黙示録7:15-17 Slt

15 それゆえ、彼らは神の御座の前にいて、昼も夜も、その神殿で神に仕える。そして、御座に座る方は、彼らの上に幕屋を張られる。**16** 彼らはもはや飢えることも、渴くこともなく、太陽も、いかなる暑さも彼らを襲うことはない。**17** なぜなら、御座の中央にいる子羊が彼らを養い、生ける水の泉へと導き、神は彼らの目からあらゆる涙をぬぐい去られるからである。

黙示録21:3 メン

そして、神は彼らとともに住まわれ、彼らは神の民となり、神ご自身が彼らのうちにおられる。

イザヤ 35:10、黙示録 7:14-17、黙示録 2-3、黙示録 21、黙示録 22:3-5

1.8.2 区別：永遠の罰、煉獄、全人類の和解

永遠から永遠へ－誤った希望に対する明確な警告

聖書が真の「永遠」を特に強調したい場合、それは「永遠から永遠へ」という表現を使用します。これは「時代から時代へ」と訳すこともできます。この表現は、神自身の不滅の命を表しています。神とイエスだけが、決して終わらない命を持っています。

聖書の明確な箇所はすべて、不信仰者たちの永遠の罰について述べています。それらは、この「永遠」が、神自身の命と同じくらい長く続くことを明らかにしています。つまり、永遠から永遠までです。したがって、失われた状態に入った人が、いつか変化を経験することはほぼ不可能であると言えます。

いくつかのあまり明確ではない聖書の箇所は、神学的に憶測の余地を残しています。そこから、最終的には神が「すべてにおいてすべて」となり、死は廃止されるとの結論を導き出す人もいます。しかし、そこから全人類の和解を構築することは、聖書的でも責任ある行為でもありません。なぜなら、聖書はそれを明確に述べておらず、聖書が述べていないことは、私たちも教えるべきではないからです。

第二の死が廃止される可能性があるということは、その死によって失われた者たちが、裁きの後に完全に焼き尽くされ、消滅することを意味している可能性もあり、彼らが救われることを意味しているわけではない。確かに、最初の死も滅ぼされたが、それを第二の死も後に廃止される兆しだと解釈する者もいる。しかし、聖書の中で、第二の死も克服される、あるいは廃止されるとは、どこにも明示的に記されていない。そのような希望は推測の域を出ず、決して確固たる教義の根拠とすべきではありません。

神の言葉は、簡潔かつ明確に、そして真剣な意図をもって語っています。すなわち、失われた者は永遠に失われたままである、と。全和解の教義を説く者は、誤った希望を抱かせることになります。この希望は、人々が神とその聖さを恐れることをやめさせる結果につながります。人々は怠惰になり、堕落し、自分自身や他の人々を救うために全力を尽くすことをやめるでしょう。

誰かが「永遠に」苦しみ、その後に救われるか、あるいは滅ぼされるかもしれないという考えは、聖書にも論理にも反しています。それは、常識にも、聖書の証にも反するものです。

全人類の和解に関するあらゆる教え、あるいはそのほのめかしでさえ、靈的に危険です。それは、今、（永遠に）決断しなければならないという人間の責任を曖昧にし、悔い改めの緊急性を弱め、裁きを軽視するものです。

「不確かな」聖書箇所が私たちに教えてくれることは、ただひとつです。

私たちは、神を私たちの神学に縛り付けることはできません。神は至高の存在であり、永遠の裁きまで、それ以上のこととは私たちに明らかにしていません。最後の審判の後に何が起こるかは、神の秘密のままです。そして、それは良いことです。

私たちの任務は、今この場所で真理を擁護し、自分自身や他の人たちに審判の準備をさせることです。それを超えて、神が語っていないことを付け加える者は、自分の救いだけでなく、他の多くの人々の救いも危険にさらすことになります。

黙示録 15:7 SIt

7 そして、四つの生き物のうちの一人が、七人の天使たちに、永遠に生きる神の怒りの炎で満たされた七つの金の鉢を渡した。

黙示録 14:11 SIt

11 そして、彼らの苦しみは、永遠に、永遠に、立ち上る。そして、獣とその像を礼拝する者たちは、昼も夜も、休むことができない。また、その名の印を受ける者たちも同様である。

黙示録 11:15 SIt

15 そして、第七の天使がラッパを吹くと、天で大きな声が聞こえ、「この世の王国は、私たちの主とそのキリストに属し、彼は永遠に君臨する」と言った。

黙示録 15:7、黙示録 11:15、黙示録 14:11、エペソ 1:9-10、テモテへの手紙 I 4:10、コリントの信徒への手紙 I 15:24-28、テモテへの手紙 I 6:16、黙示録 1:18、黙示録 4:9-10、黙示録 10:6、コリントの信徒への手紙 I 15:53-54、ヘブライの信徒への手紙 8:7、ヨハネによる福音書 17:2、ヘブライの信徒への手紙 7:16、ヨハネによる福音書 14:19、黙示録 1:6、エフェソの信徒への手紙 1:9-10、テモテへの手紙 I 4:10、コリントの信徒への手紙 I 15:24-28、エゼキエル 28:18、マタイ 3:12、ヨハネ 15:6、コリントの信徒への手紙 I 3:15

1.8.3

イエス・キリスト：彼は父への扉であり、天国への道である

イエスを永遠の命への扉に還元してしまうと、イエスを正しく評価することにはなりません。イエスは、永遠の命への扉であると同時に、永遠の命への道でもあります。イエスという扉を通って、神との健全な関係に入る者だけが救われるのです。そして、イエスという道を通って永遠に至る者だけが、そこに到達するのです。

マタイ 7:12-14 メン

[イエス・キリストが語る] 12 「あなたがたも、人々に望むことを、人々にもそのようにしなさい。それが、律法と預言者たちの（成就）である。 - 13 狹い門から（神の国へ）入りなさい。滅びへの門は広く、その道は広くて、そこに入る者は多い。14 しかし、命への門は狭く、その道は狭くて、それ（その道）を見つける者は少ない。」

ヨハネ 10:9 F

「わたしは門である」[とイエスは言う]。もし誰かが[イエスという門を通して]神との健全な関係に入るならば、その人は救われ、出入りし、牧草を見つけるであろう。

ヨハネ 14:6 F

「わたしは道である」[とイエスは言う]。この道を行かない者は、だれも父のもとに行くことができない。

マタイ 7:12-14、ヨハネ 10:9、ヨハネ 14:6

1.8.4

私たちはすでに救われています。しかし、救いの目標はまだ先にあるのです。

私たちが新たに生まれたとき、神は多くのこと、いや、すべてを新しくしてくださいました。そのうちのいくつかは私たちが意識的に経験するものですが、他のものは靈的にはすでに真実であり、実現しているものの、私たちはまず信仰をもってそれを受け入れ、理解し、最後まで守り抜かなければなりません。それは私たちの救いの道の一部です。私たちは、この緊張感の中で生きています。私たちはすでに永遠の命を持っているにもかかわらず、それをまだ待ち望んでいるのです。そのため、私たちはそれを切望し、辛抱強く待ち続けるのです。

この対照と、その中に存在する緊張感を明らかにする概要を以下に示します。

ヨハネ 3:36 メン

御子を信じる者は永遠の命を持つが、御子に従わない者は、その命を見ることはなく、神の怒りがその上に留まるであろう。

ローマ 2:7 メン

すなわち、善行に堅く立ち、栄光、誉れ、不滅を求める者たちには永遠の命を与え、一方で、頑固で真理に従わず、不義に仕える者たちには（神の）怒りと憤りを与える。

ヨハネ 5:24 メン

まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしの言葉を受け入れ、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠の命を持ち、さばきを受けることはなく、死から命へと移ったのです。

ローマ 6:22 メン

しかし、今は、あなたがたは罪から解放され、神の僕となったので、その実として聖化され、最終的には永遠の命を得るのです。

ヨハネ 6:40 メン

なぜなら、私の父のご意志
は、御子を見て、彼を信じる
者は皆、永遠の命を持つこと
であり、私は、終わりの日に
その者をよみがえらせること
である。

ガラテヤ 6:8 メン

なぜなら、自分の肉に種を蒔く者
は、肉から滅びを刈り取り、御靈
に種を蒔く者は、御靈から永遠の
命を刈り取るからです。

ヨハネ 6:47 メン

まことに、まことに、あなた
がたに告げます、信じる者は
永遠の命を持つのです。

ヨハネ 12:25 自分の命を愛する者

はそれを失うが、この世で自分の
命を憎む者は、永遠の命を保つで
あろう。

ヨハネ 10:27-28 メン

ヨハネ 6:54 メン

(それに対して)わたしの肉
を食べ、わたしの血を飲む者
は、永遠の命を持ち、わたし
は終わりの日にその者をよみ
がえらせる。

27 わたしの羊はわたしの声に聞き
従う。わたしは彼らを知ってお
り、彼らはわたしに従う。28 わた
しは彼らに永遠の命を与える。彼
らは永遠に滅びることがなく、だ
れもわたしの手から彼らを奪うこ
とはできない。

ヨハネ 17:3 メン

しかし、永遠の命とは、唯一
のまことの神であるあなた
と、あなたが遣わしたイエ
ス・キリストとを知ることで
す。

1 テモテ 6:12 信仰の善戦を戦い、
永遠の命を勝ち取れ。あなたは、
多くの証人の前で、その栄光ある
告白をしたのだ。

1 ヨハネ 5:13 私は、神の御子
の御名を信じるあなたがた
に、あなたがたが永遠の命を
持っていることを知らせるた
めに、これを書いた。

1 ヨハネ 3:15 兄弟を憎む者は、人
殺しである。人殺しは、永遠の命
が彼の中に留まることはないこと
を、あなたがたは知っている。

1 ヨハネ 5:20 メン

私たちは、その御子イエス・キリストにある（）真なる方の中にいます。この方は、まことの神であり、永遠の命です。

ユダ 1:21 メン

それによって、神の愛のうちに保持され、私たちの主イエス・キリストの憐れみを、永遠の命へと導く、確信に満ちた待ち望みをもつて待ち望んでいなさい。

1 ヨハネ 5:11-121 メン

そして、それは私たちにとつてどのような意味があるのでしょうか？それは、神が私たちに、御子にある永遠の命、すなわち命を与えてくださったことを意味しています。

1 ヨハネ 5:12 したがって、神の御子と結びついている者は、いのちを持っている。結びついていない者は、いのちを持っていない。

その他の例:

	靈的に真実	行動の使命	
コロサイ 3:3+20	私たちすでに死んでいる	私たち肉体的に死ぬか、変容するかのどちらかになる	1コリント 15
エフェソ 2:1+6、コロサイ 2:12	私たちすでに復活している	神はこれから（肉体的に）私たちを復活させる	1コリント 6:14; 1コリント 15
エフェソ 2:6; コロサイ 1:13; ヘブライ 12:22	私たちすでに天に移されている	私たち、天国に到達するまで、搖るぎなく、信仰に欠けるところのない、天国への道を歩み続けなければならない	1コリント 9:24、ピリピ 3:14、ヘブライ 12:1
コロサイ 3:9; エペソ 4:22	私たちすでに古い人を脱ぎ捨てました	私たち、古い人とそのすべての行いを脱ぎ捨てるべきである	エペソ 4:25、コロサイ 3:8、ヤコブ 1:21、ペトロの手紙 1:2:1
コロサイ 3:10; ガラテヤ 3:27	私たちすでに新しい人を着ている	私たち、そのすべての性質、すなわちキリストを、新しい人に着るべきである	ローマ 13:14、コロサイ 3:12+14

神は、イエスとと
ローマ もに、私たちの古 私たちは古い人を マタイ 10:38、
6:6、ガラテ い人をすでに十字 十字架につけて殺 ローマ 8:13、
ヤ 5:24 架につけてくださ すべきである コロサイ 3:5
った

ローマ 私たちはキリスト 私たちはまだその ローマ 7; ロー^{6:7+22; ロー}によって律法と罪 解放を経験してお マ 8:1; 1 コリ
マ 7:6; ガラ から解放されてい らず、それを生き ント 8:9; ガラ
テヤ 5:1 る 抜かなければなら テヤ 5:1+13; 1
ない ペテロ 2:16

私たちの救い 私たちの救い（永
ローマ 3:23- (今)は、自分の 遠の)は、この地
25、2 テモ 行いではなく、信 上で継続的な信仰
テ 1:9、1 ヨ 仰によってのみ受 と信仰に基づく行
ハネ 5:10-13 け取ることができ いに依存していま
る賜物である す。

ヨハネ 15:6、
コロサイ
1:23、1 ヨハネ
4:16、2 ヨハネ
1:9、ユダ 1:5

私たちのは（克服す
ヨハネ 私たちはすでに永 ることによって） ピリピ 2:12、
6:40、1 ヨ 遠の命を持ってい 永遠の命をまだ手 テモテへの手
ハネ 5:13 ます。 紙 16:12、黙示
に入れるべきであ 錄 2+3
る

ヨハネ 5:24 メン
わたしの言葉を聞き、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠の
命を持ち、裁きを受けることはなく、死から命へと移ったのであ
る。

ローマ 8:24-25 メン
24 私たちは救われたが、それは（これまでのところ）希望による
だけである。…25 しかし、まだ（実現していない）ことを望む
ならば、忍耐をもってそれを待ち望む。

ヨハネ 5:24、ローマ 8:23-25

1.8.5

神の誠実さは、終わりまで私たちを守ってくださいます。

神の誠実さは、私たちの救いの基礎です。神は私たちの中で良い働きを始められ、それを完成させてくださいます（ピリピ 1:6）。たとえ私たちが弱くなってしまっても、神は誠実であり続けます（2テモテ 2:13）。神の望みは、だれも滅びることなく、すべての人が悔い改める機会を持つことです（2ペテロ 3:9）。

私たちの道程では試練がありますが、神は、いかなる試練も耐えられないほど重くならないようにしてくださいます（1コリント 10:13）。神は私たちが陥ることを防ぎ、私たちを罪のない者として御前に立たせてくださいます（ユダ 1:24）。神の手は私たちをしっかりと支え、誰も私たちをその手から引き離すことはできません（ヨハネ 10:27-29）。

私たちの希望は、私たち自身ではなく、神に置かれている。何ものも、神の愛から私たちを引き離すことはできない（ローマ 8:38-39）。イエスは私たちのために執り成し、私たちを完全に救うことができる（ヘブライ 7:25）。私たちは聖霊によって封印され、永遠の相続の保証として与えられている（エペソ 1:13-14）。

ですから、私たちは揺るぎなく希望を堅持すべきです。なぜなら、神は真実な方だからです（ヘブライ 10:23）。神は、私たちが目標に到達するまで私たちを力づけてくださいます。神に永遠の栄光がありますように（ローマ 16:25-27）。神を信頼する者は、確信を持つことができます。神は私たちを導いてくださるのです。

ヘブライ 7:25 Slt

それゆえ、彼は、彼を通して神のもとに来る者たちを完全に救うことができるのです。なぜなら、彼は彼らのために執り成すために、永遠に生きておられるからです。

ピリピ 1:6 Slt

6 あなたがたのうちに良い働きを始められた方が、イエス・キリスト

ストの日にそれを完成させてくださることを、私は確信しています。

2 テモテ 2:13 Slt

私たちが不誠実であっても、彼は誠実であり続けます。なぜなら、彼は自分自身を否定することはできないからです。

2 ペトロ 3:9 Slt

主は、ある人々が遅れていると考えるような約束の遅延をしてい
るのではなく、私たちに対して忍耐強く、だれも滅びることなく、すべての人が悔い改める機会を持つことを望んでおられるの
です。

ヘブル 7:25、2 テモテ 2:13、2 ペトロ 3:9、ピリピ 1:6、1 コリント
10:13、ユダ 1:24、ヨハネ 10:27-29、ローマ 8:38-39、エペソ 1:13-
14、ヘブル 10:23、ローマ 16:25-27

1.8.6 私たちの召命と選

召命と選民については、多くのことが書けるでしょう。私自身の資料だけでも、ほぼ一冊の本が埋まるほどです。すべての調査の要点は、次のとおりです。

1. 新約聖書において、父なる神と御子イエスが「選ばれた者たち」について語っている場合と、使徒たちが語っている場合とでは、神の言葉には決定的な違いがあります。
2. 三位一体の神は、永遠の視点から選民について語っています。神は、天国に本当に到達する者たちを見抜き、彼らを選民と呼んでいます。
3. 神の選ばれた者たちは、自動的に、あるいは取り返しのつかない再生によって救われるのではなく、神の恵みによって導かれ、神が彼らのために立ち、彼らを守り、彼らを罪に誘惑されることなく、その選ばれた者たちを最後まで導いていくことによって救われるのです。

4. 使徒たちは、「選ばれた者たち」についてまったく異なる表現を使用しています。選ばれた者たちに関する彼らの詩句のそれぞれにおいて、使徒たちは、選ばれた者たちについて事前の知識を持っていないことが明らかです。むしろ、彼らは、福音に従って生き、信仰と人生にふさわしい実を結ぶ者を、選ばれた者たちであると推定しています。そして、抵抗や迫害に直面しても、イエスへの信仰を喜びをもって持ち続ける、目に見える証拠のある信者は、彼らが選ばれた者であると確信することができます。なぜなら、彼らは真に選ばれた者たちの実を結んでいるからです。
5. 使徒たちは、同じ節や段落の中で、キリストを信じる者たちを、今、真に信じている「選ばれた者たち」と、将来、天の御国を相続する「召された者たち」と表現している。これにより、現在の信仰（信仰によって選ばれた者）と、まだ得られていない永遠の希望（永遠に召された者）という二段階が明らかになります。
6. そのため、今（信仰において）選ばれた者たちは皆、自分の選（今、神とともに生きる）と召命（永遠の栄光）を、今こそ確固たるものとし、神の愛と保護と慈愛を信頼し、また畏れと震えをもって、自分の救いを成し遂げなければなりません。
7. 神の（先見の）知識のない人間の視点からは、誰かが死に至るまで真にキリストに忠実であったと確認できるまで、永遠の選と成就した召命について絶対的な確信を持って語ることなど決してできないのです。

そのため、キリストはこう言うことができるのです。多くの者が召されているが、選ばれた者は少ない。

多くの人々は、子羊の呼びかけに従って、十字架を背負って従うよう召されています。人間的な観点からは、すべての人がキリストに従うというこの呼びかけに従うことができるでしょう。しかし、この呼びかけに従う者はわずかです。

しかし、イエスに従うことを始めた者は皆、天の都への巡礼の旅に出て、そこにたどり着くよう召されている。しかし、その天の召命に最後まで忠実に従う者は、決して多くはない。

この巡礼の道において、救いの保証は、神の御心を行うことによってのみ、そしてそれだけにのみ得られる。

聖書全体を通して、信仰と従順（神への信仰とは、定義上、神への従順である）によるその後の生活を不必要にする、魔法のような最初の体験による救いの保証は決してありません。

旧約聖書と新約聖書は、この点について完全に一致しています。

救いに関して、人間には自由意志があるのでしょうか？

神の観点からは、いいえ。天国にたどり着く選ばれた者たちは皆、救いを神だけに感謝すべきです。

- 福音を聞くことさえできること
- 本当に信じることができたこと
- 最後までキリストに従うことができたこと

これらはすべて神からの賜物であり、自分の功績ではない。

一方、人間の視点から見ると、人間はあらゆる面で、救いを達成するために必要な貢献をしなければならない。

神の見方では、私たちには自由意志はなく、神が私たちを選んで永遠の救いを決めているのです。

しかし、人間の観点からは、この真実を、私たち側の不信仰、不従順、不誠実の、ほんのわずかな言い訳として用いてはならない。

人間として、私たち自身や他のすべての人間が自由意志を持っているかのように生き、行動することしかできません。

召命と選民

まず、パウロはテサロニケの信徒への手紙の第一章で、聖霊が彼らの生活の中で明らかに働いたことを理由に、テサロニケの人々が選ばれたことを確認しています。そして第二章では、彼らが召された者たちであることを思い出させています。彼らは、将来、神の御国と栄光に与るために召されたのです。「選ばれた者」という言葉を使うとき、私たちは本能的に、救いはすでに確実で搖るぎないものであると想定します。しかし、「召された者」という言葉には、召された者たちが本当にその召命に応えるかどうか、ある種の不確実性が含まれています。したがって、テサロニケの人々の現在の救いは、パウロにとって確定していることは明らかです。一方、将来の救いはまだ確定していないのです。

それは本当でしょうか？

人間の視点から見れば、召命と選民は同じものです。召された者たちがその召命に従順かつ明らかに従う限り、彼らには「選ばれた者」という地位も認められる。テサロニケの人たちが信仰への召命に従順になったとき、まさにそれが起こった。彼らは神への信仰に召され、その召しに従ったことで救われ、現在の救われた者という地位において選ばれた者となった。

したがって、召された者は皆、神に従順に従うならば、潜在的に選ばれた者となる可能性があります。

しかし、永遠の、つまり最終的な救いに関しては、パウロは、彼の不完全な人間的な見解に基づいて、テサロニケの人々を選ばれた者とは呼んでいません。彼らは永遠の救いにはまだ到達しておらず、それを待ち望み、熱望しているところです。彼らはまだ永遠の救いを手にしていないため、永遠の救いへの召された者たちなのです。しかし、彼らが永遠に到達したら、パウロがテサロニケの人々に適用した論理によれば、彼らは神の選ばれた者たちとなるでしょう。なぜなら、その時点で彼らの召命は成就し、テサロニケの人々は天の御国への召命を果たしたことになるからです。

マタイによる福音書22:12-14

多くの者が召されるが、選ばれた者は少ない

と、イエスは婚礼の衣装を着ていない婚礼の客に言い、彼を天から追い出しました。

これにより、「召される」という言葉の意味がさらに明確になります。それは、果たすべき使命、すなわち婚礼の衣装を着ることを意味します。

「召される」とは、人間的な側面と責任を意味します。そして、人間は神の呼びかけに従うことを完全に拒否することができます。また、キリストの追随者たちは、キリストに従う中で、神の召命に部分的に、あるいは完全に従うことができます。召命には、召された者がその召命に従って行動するかどうかという疑問が常に伴います。

一方、選は、神の働きによって達成される、神が意図した最終的な結果です。

イエスへの信仰の呼びかけに従順な者は、聖霊によって新たに生まれ、地上の選ばれた者となります。

そして、その（信仰の）選ばれた者には、福音を堅持し、それに基づいて生きるという召命が与えられます。その者が最後までそれを果たすならば、その者は（天国の）選ばれた者となり、天国で最終的に救われるのです。

そして、そのような選ばれた者が、生前に神から与えられた使命をすべて果たしたならば、その者は、奉仕の召命という点でも選ばれた者となります。

どの段階においても、神の働きと召命によってのみ、選ばれた者となり、選ばれた者であり続けることができる。これは、聖書の多くの箇所で明らかにされている。イエス・キリストを通して聖霊によって神が働かない限り、誰もこの三つの段階すべてにおいて選ばれた者になることはできない。

それは、これらすべてを実現し、その栄光に値する神を賛美するためです。そしてそれは、たとえ神が私たちをその計画に組み入れてくださったとしても、私たちが神の前で何も誇ることができないという、キリストの追随者としての私たちの保護のためでもあります。

したがって、人間の観点から言えば、選ばれた者とは、神の召命に完全に応える者を意味します。選ばれるには、神の召命が前提となります。

要約すると、

すべての人ではありませんが、多くの人々が、神によって御子イエス・キリストに従うよう召されています。私たちが神の召命に従う限り、私たちは（信仰の）選ばれた者たちなのです。

（信仰の）選ばれた者としての私たちの第二の召命は、天国に到達することです。そのためには、福音と神の御言葉に従い、互いに祈り合い、励まし合い、良い行いと良い言葉によって強くなる必要があります。（信仰の）選ばれた者としての天の召命に最後まで従うならば、私たちは最終的には、神があらかじめ知っておられる（天の）選ばれた者たちの一員となるのです。

そして、信仰の選ばれた者としての私たちの三番目の召命は、神が私たち一人一人に与えてくださった働きを完全に果たすことです。イエスに奉仕するという私たちの召命の達成度が、いつか天国で私たちの報酬を決定するでしょう。

新約聖書では、召命と選民は、信者たちに

- 決して、安心の概念やフリーパスとして伝えられることはなく、私たちの腕を怠惰に抱えてしまうような
- 感謝と励ましの概念として伝えられています。私たちを傲慢から守り、同時に神が私たちを愛し、忠実であり続けてくださることを確信させてくれる

選民の教義は、正しく適用すれば、

- ・ 全力を尽くして神の恵みを信頼し、すべてが自分次第であるかのように、絶えず神に留まること
- ・ その一方で、私が神に従う上で成功したことは、すべて神の選民の恵みによるものであり、自分にはまったく功績がないことを認識すること

つまり

- * 選ばれたことが何の助けにもならないかのように信じること
- * 自分の信仰は何の助けにもならないかのように、神の選民を信頼すること

イエスを信じ、従い、従順であった人が、その召命から離れることができるのでしょうか？しかし、イエスによれば、「召命」と「召された者」という言葉と原則には、その召しに従わない（もはや従わない）可能性も常に含まれているのです（マタイ 13:20-22）。

しかし、新約聖書では、「選ばれた者」や「選ばれた者たち」という言葉や原則は、常に神の予知に基づいて使用されています。神は、永遠に御許にたどり着く者、そして例えば、終わりの時の恐ろしい時期を乗り越え、終わりまで神に忠実であり続ける者たちを知っておられます。そして、神の目には、それらが選ばれた者たちなのです。神は、彼らを永遠に神とともに過ごす者たちとして定めています。人間の視点では、この神の知識は持ち合わせていません。私たちは、人の人生における成果から、その人が選ばれた者たちの一員であるかどうかを見分けることしかできません。コリントの信徒への手紙のこの一節によれば、現在イエスを信頼し、イエスに従順に従っている者は皆、自信を持って選ばれた者たちの一員であると考えることができます。あらゆる兆候と実りがそれを裏付けています。そして最も重要なことは、福音の命を救う力への信頼と、福音における神の呼びかけに従うことです。

ここでパウロは順序を逆転させています。まず、前の節で、パウロは、テサロニケの人々の生活の中で明らかに働く聖霊の働きに

基づいて、彼らを選ばれた者たちであると確認しています。彼らは今、選ばれた者たちとして扱われるべきです。なぜなら、彼らは、神が選ばれた者たちに求める条件からまったく外れていないからです。彼らは聖霊によってイエスに従い、神のために実を結んでいるのです。

それから、パウロはテサロニケの人々に、彼らが召された者であることを思い出させます。神の支配と栄光に参与するために召された者たちです。こうして、パウロは「選」という言葉に込められた確実性（マタイ 24:22）を、「召」という言葉に込められた不確実性（マタイ 20:16）へと格下げしています。なぜでしょう？

人間的な観点からは、召命と選は、それらが一致している限り、同じものだからです。召された者たちが、その召命に従順かつ明らかに従う限り、彼らには「選ばれた者」という地位も認められるでしょう。その召命に明らかに、そして積極的に従う者は、その召命の目標に到達するでしょう。そして、その目標に到達し、天国にたどり着いた者は、その召命に忠実であり続けた選ばれた者たちの一員となります。テサロニケの人々が今、救われていることは確かです。しかし、彼らが将来も救われるかどうかは、まだ定かではありません。永遠の救いを得るという天からの呼びかけは、まだ彼らの人生の上にあり、まだ成就されてはいません。しかし、テサロニケの人々が使徒の勧告と励ましに従うならば、それは成就することができ、また成就するでしょう。そして、使徒たちの言葉を神の言葉として守り続けるならば。なぜなら、神の言葉は彼らの人生に効果があり、その中に、神の言葉、ひいてはテサロニケの人々に対する神の忠実さが明らかに表れているからです。

これらすべてが、私たちに大きな希望を与えてくれます。召された者は皆、潜在的に選ばれた者であり、この人生においてすでにその地位にあるのです。そして、彼または彼女が神のもとでの永遠の命に到達したときには、なおさらそうであると言えます。

召された者よりも選ばれた者が少ないので、神のせいではありません（マタイ 20:16）。神は、召されたすべての人々の生活の中で忠実であられます。そして、私たちがキリストに忠実に従う限り、私たちは選ばれた者であることを知り、人間の観点から、自分たちを「選ばれた者」と呼ぶことができるのです。

神に召された者は皆、贖われた者として永遠の御国を受け継ぐことができるのです。

ヘブライ 9:15 SIt

そして、この理由から、彼は新しい契約の仲介者でもあります。それは、最初の契約の期間中に犯された罪の赦しのために死によって、召された者たちが約束された永遠の御国の相続財産を受け取るためです。

神に召された者たちすべて、選ばれた者たちだけでなく、救われた者として永遠の御国を受け継ぐことができるのです。

ここでも、神に召された者たちは皆、贖われた者として永遠の相続財産を受け取ることができることが明らかになっています。選ばれた者たちだけではありません。神に召された者は皆、潜在的には永遠の救いを受けることができます。それは実現するのでしょうか？もし実現しないとしても、それは決して神のせいではありません。なぜなら、キリストは新しい契約の仲介者であり、神に召されたすべての者が、救われた者として、神が約束された永遠の御国を受け継ぐことができるようになります。神は、召された者たちを忠実に守ってくださり、その召された者たちが永遠の御国を受け継ぐことを望んでおられます。人間の視点からは、「召された者たちだけが見え、最終的に選ばれた者たちは見えません。しかし、召された者たちは皆、完全かつ最終的に救われるることができます。これは、非常に素晴らしい知らせです。」

選ばれた者たちの信仰の忠実さと堅固さ

黙示録 13:8-10 SIt

8 そして、地に住む者たちは皆、小羊のいのちの書に、世界の創世以来、その名が記されていない者たちを礼拝する。9 耳のある

者は、聞くがよい。10 捕らえる者は捕られ、剣で殺す者は剣で殺される。ここに、聖徒たちの堅忍と信仰がある！

神の選ばれた者たちは永遠に生きる。神は、世界の創造の時から、彼らを命の書に記載している。彼らはキリストに忠実で、死に至るまで忍耐強く、獣の像を礼拝しない。

ここでは、大きな対照が示されています。世界の創造の時から、犠牲となった子羊の命の書に記載されている者たちがいます。彼らは永遠に救われ、生きるでしょう。彼らは受動的で、何もせずに救いが訪れるのでしょうか？ いいえ、彼らは非常に積極的です。彼らは、彼らに確実な永遠の滅亡をもたらすであろう獣を礼拝しません（黙示録 14:9-13）。そして、この決断と彼らの不屈の精神のために、彼らは投獄と殉教の死という代償を払います。神の選と人間の責任という神秘は、ここで一つに融合しています。そして、あらゆるものを通して、克服する力を与えているのは、その根底には、その恵みの働きである選民への選によって、彼らに克服を可能にしている子羊そのものであることが明らかになります。

選民の教えは、正しく適用すれば、次のことを意味します。

神の恵みを全幅の信頼をもって信じ、全力を尽くして、まるですべてが自分次第であるかのように、絶えず神に留まること

そして、私の行動の成功は、その原因も結果も、すべて神の選民の恵みによるものであり、私自身は何も誇ることができないことを認識すること。

ヨハネ 15:16

あなたがたがわたしを選んだのではなく、わたしがあなたがたを選んだのです。わたしは、あなたがたが行って実を結ぶように、つまり、永続的な実を結ぶように、あなたがたを任命しました。

マルコ 13:20 Slt

20 主が、その日を短縮されなかつたならば、だれも救われることはなかつたであろう。しかし、主が、ご自分の選んだ者たちのために、その日を短縮されたのである。

マタイ 22:14 SIt

14 多くの者が呼ばれているが、選ばれた者は少ない。

1 テサロニケ 2:11-12 SIt

11 あなたがたは、私たちが、父親が子供たちを励ますように、一人ひとりに対して、どのように励まし、励ましたかをよく知っている。12 また、あなたがたが、その御国と栄光に召してくださった神にふさわしい生き方をすべきであることを、真剣に証ししたことでもよく知っている。

2 ペトロ 1:10 SIt

10 ですから、兄弟たち、あなたがたの召命と選びを確固たるものにするために、なおさら熱心に努力してください。そうすれば、決してつまずくことがないでしょう。

2 ペトロ 1:10、1 テサロニケ 2:11-12、ヨハネ 15:16、マルコ 13:20、マタイ 22:14、マタイ 20:16、ヘブライ 9:15、黙示録 13:8-10、黙示録 14:9-13、マタイ 24:22、マタイ 20:16、マタイ 13:20-22

1.8.7

永遠への道：多くの人々は、1) 今、イエスに従うこと、そして
2) 永遠に到達することを求められています。

神の愛と救いのメッセージは全世界に当てはまります。私たちの救い主であるイエスご自身が、多くの者が召されているとおっしゃっています。神の目は全世界に向けられており、すべての人が救われるよう、誰も救いから除外されることなく、永遠の栄光に至るまで救われるよう願っておられます。

1 テモテ 2:3-4 SIt

3 これは、私たちの救い主である神にとって、良きことであり、喜ばしいことだからです。4 神は、すべての人が救われ、真理を知るようになることを望んでおられます。

ヨハネ 3:16 Slt

神は、その独り子をお与えになったほど、この世を愛された。それは、彼を信じる者が、だれも滅びることなく、永遠の命を得るためにである。

ヘブライ 2:10 Slt

10 すべてのものの源であり、すべてのものによって存在する方は、多くの息子たちを栄光へと導き、彼らの救いの創始者を、苦しみによって完成させるのにふさわしい方でした。

1 テモテ 2:3-4、ヨハネ 3:16、ヘブライ 2:10、マタイ 20:16、マタイ 22:14、マタイ 24:14、黙示録 7:9

1.8.8 永遠への道：真の弟子であることの意味

真の、そしてそれゆえ救われたイエスの弟子たち

[<https://viele sind berufen.de/wp-content/uploads/2025/04/Viele-sind-berufen-Jesus-heilsgewiss-nachfolgen.pdf>]

- は、何よりもイエスを愛し
- 罪に対する塩の力を持っている
- 互いに愛し合い
- ぶどうの木に留まり続ける
- 神の御靈によって導かれる

マタイ 10:37 メン

37 父や母をわたしよりも愛している者は、わたしにふさわしくない。息子や娘をわたしよりも愛している者は、わたしにふさわしくない。

ヨハネ 13:34-35 Slt

34 わたしは、あなたがたに新しい戒めを与える。あなたがたは、わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合うべきである。35 あなたがたが互いに愛し合うならば、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が知るようになる。

マタイ 5:13 メン

13 「あなたがたは、地の塩である。しかし、塩が塩気を失ったら、何によって塩味をつけることができるか。もはや何の役にも立たず、外に捨てられて、人々に踏みにじられるだけである。

ローマ 8:13-15 メン

13 なぜなら、あなたがたが肉に従って生きるなら、死は確実である。しかし、御靈によって肉の行いを殺すなら、あなたがたは生きる。14 神の御靈に導かれる者は皆、神の子たちである。15 あなたがたが受けた御靈は、再び恐れるべき奴隸の靈ではなく、子としての靈である。この靈によって、私たちは「アバ、父よ」と叫ぶのである。

マタイ 10:37、マルコ 9:47-50、ヨハネ 13:34-35、マタイ 5:13、ヨハネ 15:5-6

イエスに救いを確信して従う

あなたがたの名前が天に記されていることを喜びなさい。ルカ 10:20

1. 弟子としての生き方の基礎

聖書の節：「わたしについてきたいと思う者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしについてきなさい。」 マタイによる福音書 16:24

- 自己否定：自分の望みや興味を、イエス様の支配下に置くこと。
- 献身：イエスと福音のために自分の人生を捧げること。

2. 弟子となるにはすべてを捧げる必要がある

聖書の節：「だから、自分の持っているものをすべて捨てる者は、わたしの弟子になることはできません。」 ルカ 14:33

- 完全な従順：あなたの人生のあらゆる分野が対象となります。
- 必要であれば、所有物、快適さ、人間関係を放棄する覚悟。

3. 弟子としての性格

聖書の節：「わたしは、あなたがたに新しい戒めを与える。あなたがたは、互いに愛し合いなさい。わたしがあなた

がたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」 ヨハネ 13:34

- 私たちを深く愛してくださったイエスへの絶え間ない愛。
- 愛：他者への無私の献身。
- 日常生活における慈悲と赦し。

3. 弟子としての戦い

聖書の節：「あなたがたが、人間的な性質に従って生きるなら、それは死に至る。しかし、御靈によって、体の行いを殺すなら、あなたがたは生きるであろう。 ローマ 8:13

- 罪と妥協してはいけない！
- 戦いに勝利した者は、祝祭用の白い衣を着せられる。イエスは、その者の名を命の書から消し去ることはなく、冠を授け、裁きの時にその者を公に認める。黙示録 3:5

4. 弟子としての目標

聖書の節：「だから、行って、あらゆる国の人々を弟子とし、父、子、聖靈の御名によって彼らにバプテスマを授けなさい。」 マタイによる福音書 28:19

- 伝道：福音を伝えよう。
- 弟子訓練：2人組、小グループ、教会：(教えを受け、導きを受けなさい)。

5. 弟子としての力

聖書の節：「聖靈の力があなたがたの上に臨み、あなたがたはわたしの証人となるでしょう。」**使徒1:8**

- 聖靈：知恵、勇気、力の源。
- 祈りと神への依存。
- いつでもイエスに赦し、清め、新たな始まりを見出す。**ヨハネの手紙一1:8**

6. 永遠に至る弟子としての道

聖書の一節：「御言葉を実行する者であり、ただ聞くだけで自分を欺く者ではない者でありなさい。」**ヤコブ1:22**

- 聖書をたくさん読んで、熱心に祈って、教会で活動しよう。
- 転んで立ち上がる：イエスに従うこと、イエスとの関係を保つことに注意を払う。
- 神の愛によって、信者たちやすべての人々に善を行い、決して怠らない。

弟子としてイエスに従い、そのように生きる者は、決して滅びることなく、永遠の命を得る。

1.8.9 永遠への道：ふさわしい責任

キリストに従うには、さまざまな信仰、経験、認識の段階があります。しかし、キリストを信じ始めてからどれくらいの時間が経ち、神の認識がどれほど深いかに関わらず、人は常に神の家族の一員です。

つまり、私たちは皆、キリストに従う上でさまざまな発達段階にあるのです。そして、聖書は、神がそれをよくご存じであり、それに対応されていることを明らかにしています。神は、迷子になった息子と再び見つけた息子のように、常にまず無条件の愛を私

たちに与えてくださいます。誰も、まず神に何かを与える必要はありません。誰もがまず、神に愛され、賜物を受け、清められることを許され、またそうしなければならないのです。それは、イエスが最後の晚餐で弟子たちやペテロの足を洗ったのと同じです（ヨハネ 13:1-17）。愛は、相手ができる範囲での愛を返すことだけを求めます。

神は、人々が知りえないことを要求したり、救い、神の慈しみ、そして経験という前向きな体験に先立って要求したりすることはありません。神は、与えられた尺度で一人一人を裁きます。

しかし、私たちが確実に知ることができるのは、神は頑固な方式に従って行動するのではなく、その判断と裁きにおいて、常に人間が知ることができ、与えることができるものに基づいて行動するということです。

しかし、神の言葉は、私たちが神について知っていることを実行に移すよりも、知ることの方ばかりに偏ってしまう危険性がすぐに訪れるなどをはっきりと伝えています。私たちは聞くことに怠惰であるか、あるいは知っていることをすぐに忘れてしまうかのどちらかです。コリントの信徒たちに対して、パウロは絶えず「知らないのか」と叫んでいます。ヘブライ人への手紙の著者は、読者に、かつて知っていたことを思い出し、（再び）それを実践するよう、警告し、いや、懇願しています。また、黙示録の書簡では、イエスが7つの教会のうち5つ（）に対して、彼らが知っていること、あるいはかつて知っていたことをすべて心に留めていれば、もっと良い生き方ができるはずなのに、そういうことを指摘しています。そして、単なる叱責や、復活における予想外に低い順位に加え、私たちが知っていることを強く抑圧し、忘れてしまうことは、永遠の結果をもたらす影響さえも持つ可能性があります。

神の御言葉によって多くの啓示を与えられた者は、多くのことが期待されます。神の御心を基本的に知っており、さらに神の特別な働きによってそれをより明確に確認された者は、与えられたものを実行するという特別な責任があります。

これらすべてから、イエス、すなわち神は、私たち一人ひとりの可能性と責任に応じた、私たち個人個人にふさわしい尺度で私たちを裁かれることが明らかです。

ルカ 12:48 メン

48 多くを与えた者は多くを求められ、多くを任せられた者はさらに多くを求められる。

ルカ 13:30 メン

30 よく知っておきなさい。最後の者が最初になり、最初の者が最後になることがあるのだ。

マタイによる福音書 11:20-24 メン

20 その頃、イエス様は、ご自分の奇跡のほとんどを行った町々に対し、悔い改めなかつたことを非難し始められました。21 「コラジンよ、おまえは災いだ。ベサイダよ、おまえは災いだ。もし、おまえたちの中で起こったような奇跡が、ティルスとシドンで起こっていたなら、おまえたちはとっくに、荒布をまとい、灰をまいて悔い改めていただろう。22 しかし、わたしは言う。裁きの日に、ティルスとシドンは、おまえたちよりも軽い罰で済むだろう。

マタイ 25:24-30; ルカ 12:48; マタイ 11:20-24; ルカ 8:18; ヘブライ 2:1-3; 黙示録 3:2-3; ルカ 11:31-32; ローマ 1:20-21; ローマ 2:1-3; ローマ 2:17-24

1.8.10 神は「今」の神である

私たちの信仰は、常に現状と人生の状態です。真の信仰は、私たちの中にいる神の御靈によってのみ可能になります。真の信仰は、神の最終的な救いを待ち望んでいます。真の信仰は愛し、愛によって行動します。そして、今この瞬間の真の信仰は、最終的には永遠の救いも受け継ぐことになるのです。

使徒たちは、「その人は本当に生まれ変わったのか、そして私はその人に永遠の救いを一度で保証できるかどうか」という疑問に動搖しているわけではありません。いいえ、彼らは、あなたが

今、神の御心の中にいるならば、救いの保証がある、と語っています。ですから、今、神の御心を行うことに全力を尽くし、その中で成長し、成長してください。突然私たちを襲う罪のための自由の余地は与えられています。しかし、習慣的な意識的な罪が、キリストにおける救いの保証と両立するとはどこにも書かれていません。確かなのは、できる限り早く自分の罪から立ち返り、その罪にとどまらない人だけです。そして、すべては、誰もが予想しなかったキリストの突然の再臨で最高潮に達します。その瞬間に（習慣的に）罪を犯そうとする人がいるだろうか？ 私たちは、信仰によって、そして従順な信仰、つまり「今」従順であることによって救われるのだ。

神は「今」の神です。神の聖なる御名「YHWH」は、「私は、ある者である」という意味です。

これまでの成功に安住することはできません。

過去の失敗に落ち込む必要はありません。

私たちは、過去をすべて置き去りにし、目の前にあるものに手を伸ばすべきであり、またそうすることができるのです。

私たちは、永遠の救いを得るために、今、神の恵みの御業に依存しており、今、私たちを助け、救う救い主がいます。

出エジプト記3:14 メン

14 神はモーセに言った、「わたしは、ある者である。

ヨハネ 14:6 詩篇

6 イエスは彼に言った、「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通してでなければ、だれも父のもとに行くことができない。

レビ記6:6 メン

6 祭壇の上には、絶えず火を燃やし続けなければならぬ。決して消してはならない。

出エジプト記3:14、レビ記6:6、ヨハネ14:6、ヘブライ4:14-16、ヨハネ5:24-29、マタイ5:21-26、マルコ9:47、ルカ15:11-32

1.8.11 イエスの弟子たちは救われている

イエスは弟子たちを呼び、彼らはすべてを捨ててイエスに従いました。彼らの過ちにもかかわらず、彼らの名前は初めから天に記されており、イエスに従ったことで救われたのです。

しかし、イエスは条件や留保付きの弟子たちを受け入れることはなかった。イエスの弟子になりたいなら、イエスをこの世の何よりも大切にする必要がある。そして、困難な時にもイエスに付き従う者だけが、真に（救われた）イエスの弟子である。

そして、イエスに従う者、弟子であり、それによって救われた者でさえ、イエス・キリストの弟子として成長し続けなければならぬ。

ルカ 10:20 メン

[イエスは、彼に仕える70人の弟子たちにこう言った] むしろ、あなたがたの名前が天に記されていることを喜びなさい。

マタイによる福音書 19:28 メン

イエスは彼らに答えて言られた、「まことに、あなたがたに告げます。あなたがたは、わたしに従った者たちです。人の子がその栄光の座に着くとき、あなたがたも、十二の座に着き、イスラエルの十二部族を裁くことになるでしょう。

マタイ 19:27-29、マルコ 10:28、ルカ 18:28、ルカ 10:20、ヨハネ 14:3、ルカ 9:57-62、マタイ 10:37-39、ルカ 14:26-33、ヨハネ 8:31; ヨハネ 15:8

1.8.12

永遠に到達する：永遠の救いを得る者は多くいるが
、その数は少ない

救われる者は少ないが、これまでの神のご意志に反した生活から、神のご意志に沿った生活へと回心するために全力を尽くす者は皆救われる。

神の御心に反したこれまでの生活から立ち返り、狭い天国の門をくぐろうと全力を尽くさない者は、天国の門を通って永遠の命に入ることはできない。そして、最後の者が最初の者となり、最初の者が最後の者となる。これは、私たちと神との眞の関係は神のみぞ知ることであり、私たちは大きな誤りを犯す可能性があることを示している。

「天国と救いへの門は狭い」とイエスは言います。そして、「そこに入るためには力を尽くしなさい」とも。ここで、焦点は、神による選択から、聞く者たちの責任へと完全に移ります。狭い門をくぐるのは、彼ら自身の責任なのです。多くの人がそれを試みるでしょうが、できないでしょう。なぜでしょうか？新福音訳聖書（V.27）は、次のように述べています。「あなたは私の言うことを決して聞かなかつた！」他の訳では、聞き手の不正、正しいことを行わなかつたこと、イエスを知らない悪人について述べています。ここでイエス様は、救いを、正しいことを行うこと、神の御心、イエス様の御言葉に耳を傾けることと強く結びつけています。イエス様に近づき、イエス様の御言葉を聞き、イエス様についてすべてを知っているだけでは意味がありません。イエスの言うことを行わず、悪を行う者から、神を畏れ、神の言葉を実行するイエスの弟子にならない者は、救われることはない。神の王国への狭い門をくぐろうとするなら、私たちはイエスの言うことに耳を傾けなければならない。しかし、イエスに耳を傾けるならば、私たちはイエス、アブラハム、イサク、ヤコブ、そしてすべての預言者たちとともに、神の王国に入るだろう。

さらに、その順位やランクも、この世の基準で予想されるものはまったく異なるものになるでしょう。イエスだけが、私たち一人ひとりが、神から与えられた能力に基づいて、イエスのために何を、どのように、どれほど行っているかを本当に知っており、神から与えられたその人にふさわしい場所に、その人を置くのです。

このイエスのたとえ話から、私たちは福音を信じない、改心していない人たちを思い浮かべるかもしれません。しかし、それは本当でしょうか？イエス様は、山上の説教でもそうであったよう

に、ここでも狭い門について語っています。その文脈から、それが天国の門であることが明らかです。そして、イエスは、天国に入れないので改心していない人たちではなく、不正を行い、神の御心を行わない人たちであることを明らかにしています。改心（だけ）が重要なのではなく、改心後の生き方が重要なのです。イエスは、神の言葉を持っていたにもかかわらず、神の言葉とイエスに従わなかった敬虔な者たちに、このような言葉を語っています。イエスの説教全体は、（一見）敬虔な者たちのうち、救われる者はごくわずかであることを示唆しています。それは、私たちの説教壇から説教されることがあるでしょうか？ いいえ、私はそれを聞いたことがありません。私たちの説教壇からは、常に励ましの言葉だけが語られます。励ましは良いことです。しかし、イエスの明確な警告を無視すれば、私たちは神と人々に罪を犯すことになります。そして、その一部、あるいは多くの人々が、かつては閉ざされた天国の門の前に立つことになるでしょう。イエスの教えに基づいて、神とその御心に完全に献身する生き方を実践しない人、天国に行くために全力を尽くさない人は、天国にはたどり着けないでしょう。

しかし、神に関しては、神ご自身が多くの人々を御自分の子供として栄光へと導きたいと願っておられます。そのため、多くの人々が召されています。神は多くの人々を救い、目標に到達させたいと願っておられます。私たちが神を制限してはいけません。そして、神はすべての子供たちを栄光へと導いておられます。私たちが神に従おうではありませんか。

そして、次のことが当てはまるにもかかわらず

マタイ 7:14 メン

しかし、命に至る門は狭く、その道は細く、それを見つける者は少ない

しかし、神は時代や言語、文化を超えて、最終的には多くの人々を救ってくださいます。確かに、救われる者は少ないですが、これまでの神のご意志に反した生活から、神のご意志に従った生活へと回心するために全力を尽くす者は、皆救われるのです。

マタイによる福音書7:13-14 メン

13 狹い門から（神の国へ）入りなさい。滅びへの門は広く、その道は広くて、そこに入る者は多い。14 しかし、命への門は狭く、その道は細く、それを見つける者は少ない。

ルカ 13:22-29 メン 22 こうして、イエス様は、町から町へ、村から村へと、教えながら、エルサレムへの旅を続けられました。23 すると、ある人がイエス様に尋ねました。「主よ、救われる者は、ほんの一握りでしょうか？」イエス様は、その人にこう答えられました。24 「狭い門から入るように努めなさい。多くの者がそこに入ろうとしても、入ることができないだろう。25 家主が立ち上がって、扉を閉めた後、あなたがたが外に立って、扉を叩いて『主よ、開けてください』と叫ぶと、彼は『あなたがたは、どこから来たのか、私は知らない』と答えるだろう。26 すると、あなたがたは「私たちがあなたの目の前で（あなたと一緒に）食べ、飲み、あなたは私たちの街で教えを説いたではありませんか」と主張し始めるでしょう。27 しかし、彼は「私はあなたがたに言う。あなたがたがどこから来たのか、私は知らない。不義を行う者たち、皆、私から離れ去れ」と答えるでしょう。28 そこで、あなたがたは、アブラハム、イサク、ヤコブ、そしてすべての預言者たちが、神の御国に入るのを見るが、自分は追い出されて、そこで泣き叫んだり、歯ぎしりしたりすることになる。29 そして、東から西から、北から南から、人々が来て、神の御国で食事をする。30 よく知っておきなさい。最後の者が最初になり、最初の者が最後になるのだ。」

ヨハネ 6:66-70 メン

66 それ以来、多くの弟子たちがイエスから離れ、もはやイエスに付き従わなくなった。67 そこで、イエスは十二弟子たちに、「あなたたちも去って行くつもりはないのか」と言われた。68 すると、シモン・ペテロが答えた、「主よ、私たちは誰のところへ行きましょう。あなたは永遠のいのちの言葉をお持ちです。69 私たちは、あなたが神の聖なる方であることを信じ、知りました。」70 イエスは彼らに答えられた、「わたし自身が、あなたがた十二人を選んだのではないのか。そのうちのひとりは悪魔である。」

2 テモテ 1:15 メン

あなたは（すでに）知っているとおり、アジア州では、フィグロスやヘルモゲネスをはじめ、皆が私から離れていった。

ヘブライ 2:10 Slt

10 なぜなら、すべてのものの源であり、すべてのものを通して存在する方は、多くの息子たちを栄光へと導くために、彼らの救いの創始者を苦難によって完成させるのがふさわしいことだったからです。

ヨハネ 14:1-2 Slt

1 あなたがたの心は、恐れではなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。2 わたしの父の家には、住むところがたくさんあります。もしそうでなかつたなら、わたしはあなたがたに言ったでしょう。わたしは、あなたがたのために場所を用意しに行くのです。

黙示録 7:9 Slt

9 それから、私は見た。見よ、数えきれないほどの大群衆が、あらゆる国、部族、民族、言語から、白い衣を着て、ヤシの枝を手に持って、御座と小羊の前に立っていた。

ルカ 13:22-29、ヨハネ 6:66-70、2 テモテ 1:15、ヘブライ 2:10、ヨハネ 14:2、黙示録 7:9

1.8.13

あなたの召命に従いなさい：永遠への道には、すべての人にとって二つの道があり、キリストの追隨者にとって二つの道があります。

私たちは

- 広い門と広い道を通って滅びへと至る道
- 狹い門と狭い道を通って天国に到達する

あるいは

- まっすぐな道を進んで天国に到達し、その後再びその道から離れる

1 ペトロ 2:6-10、マタイ 7:13; マタイ 7:14; 2 ペトロ 2:10-22; マルコ 4:16-17; マタイ 13:30; 黙示録 21:1-8; 2 ヨハネ 1:9; 3 ヨハネ 1:9-12; 1 ヨハネ 2:3-11

マタイ 7:13-14 詩編

13 狹い門から入りなさい。滅びへの門は広く、その道は広くて、そこに入る者は多い。14 命への門は狭く、その道は細くて、それを見つける者は少ない。

マルコ 4:16-17 詩編

16 また、石だらけの土地に蒔かれたのは、御言葉を聞いてすぐに喜んで受け入れる者たちである。17 しかし、彼らには根がなく、気まぐれである。後で、御言葉のために苦難や迫害が起こると、すぐにつまずく。

2 ペトロ 2:21 Slt

21 なぜなら、彼らは、義の道を知らなかったほうが、それを知った後に、彼らに伝えられた聖なる戒めから離れて、背くよりも、ずっと良かったからです。

2 新約聖書の全 27 冊と 545 の救いに関する聖書箇所をすべて評価

新約聖書の書物は、人類とキリストの教会に対する神の計画について証ししています。それらは、イエスによる福音における神の愛によって、私たちが神から遠く離れた性質から救われ、神の子供となることを明らかにしています。さらに、救われた者、イエスの追随者として、永遠のいのちの栄光への希望をもって、神とともに生きる道を示しています。

しかし、それらは重要な疑問、すなわち「クリスチャンは救いを失うことができるのか？ イエスの弟子たちは失われるのか？」

この疑問に答えるため、新約聖書の全 **27 冊** と、そこに含まれる **545 節所** の救いに関する聖句をすべて詳細に調査しました。

各聖書の書物の核心的なメッセージは、**詳細レベル 5** で簡潔に要約されています。より詳細な説明は、**詳細レベル 6** に記載されています。これは、この書籍の分量に相当します。

この本のすべての章の見出しが、メインウェブサイト viele sind berufen.de にリンクされています。そこでは、レベル 5 および 6 に加えて、**レベル 7** の最も包括的な分析もご覧いただけます。このレベルでは、救いに関連する聖書のテキストが徹底的に調査されています。

レベル 7 の調査結果は、3 つの明確な分野に分類されており、ウェブサイトの目次から直接アクセスすることができます。

概要 聖書の書物における救いに関する記述の、主題別に最も詳細にまとめた要約

聖書箇所 その書物における救いに関連する聖書箇所の一覧と、解説および聖書箇所へのリンク

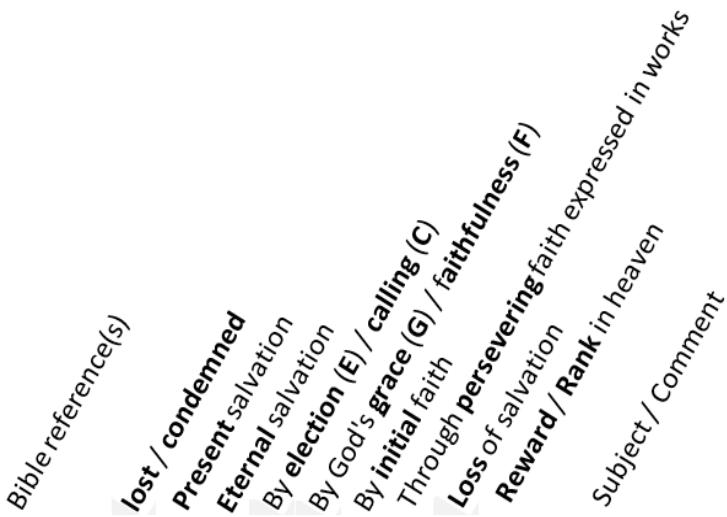
解説 各救いの聖句について、まず詳細な解説を行い、
その後 そのメッセージが要約されています

新約聖書にある救いに関する 545 の聖句をすべて掲載した表は、すべての調査と解説の基礎となっています。そのため、ここでは、ご自身で調査や概要を確認するために掲載しています。また、ウェブサイト「Viele sind berufen（多くの者が召されてい
る）」からもダウンロードすることができます。

新約聖書にある救いに関する 545 の聖句のすべての一覧表

Figure 3: 新約の救いの分析に用いる列見出し（左から右へ）。

新約の救いの分析で用いた列見出し（左から右へ）：聖書箇所・失われた / 罪に定められた • 現在の救い • 永遠の救い • 選びによつて (E) • 神の恵みによつて (G) • 神の召しによつて (C) • 神の真実によつて (F) • 初めの信仰によつて • 行いに表される忍耐のある信仰によつて • 救いの喪失 • 天における報い / 位 • 主題 / コメント



マタイ 1:21+23		x	x		G					私たちの救い主
マタイによる福音書 3:1-12		x	x			x	x			人生を再調整する
マタイによる福音書 4:17+23		x	x	B	G					聞くこと、従うこと
マタイによる福音書 5:1-12			x				x		x	本当に幸せな人々
マタイによる福音書 5:13								x		力強い、あるいは味気ない
マタイ 5:14-16							x			君は感染力があるほど良い
マタイによる福音書 5:17-20	x	x	x		G		x		x	真正な新たな創造

マタイによる福音書5章21-26節			X			X	X		最初の死の罪
マタイによる福音書5章27-30節			X			X	X		第二の死の罪
マタイによる福音書5:43-48						X		X	救いの質
マタイによる福音書6:5-6; マタイ6:17-18						X		X	良い+悪いインフルエンサー
マタイ6:7-15			X			X	X		大罪その1リローデッド
マタイによる福音書7:1-2; マタイによる福音書7:12-14	X		X			X			あなたが私にしたように、神もあなたに
マタイによる福音書7:15-23	X		X			X			行動する者、口先だけの者ではない者
マタイによる福音書7:24-29	X		X			X			9/11を生き延びる
マタイによる福音書8:5-12		X	X			X			世界における（不）信仰
マタイによる福音書9:1-2		X			G	X			信仰、赦し、癒やし

マタイによる福音書 9:11-13		x			G	x				誰も罪深い者などいない
マタイによる福音書 10:6-15		x	x			x				聞く責任
マタイによる福音書 10:28-33			x		T	x	x	x		良い恐れ/恐れのこと
マタイによる福音書 10:37-39	x	x	x				x			最大の愛
マタイによる福音書 10:40-42								x		報酬なしでは
マタイによる福音書 11:3-6			x				x	x		背を向けるか、留まるか
マタイによる福音書 11:20-24	x									高い責任
マタイによる福音書 11:25-30		x		E		x	x			招く啓示
マタイによる福音書 12:30-37	x	x	x				x			命に関わる発言
マタイによる福音書 12:41-42	x		x				x			救われた裁判官たち
マタイによる福音書 12:47-50		x					x			イエスの眞の家族

マタイによる福音書 13:10-16	X	X		E/B		X	X			心を開けば幸せになれる
マタイによる福音書 13:18-23	X		X	B			X	X		救われた実を結ぶ者
マタイによる福音書 13:36-43	X		X	E/B			X			不法と罪は人を殺す
マタイによる福音書 13:44-46		X				X	X			この計算は完全に正しい
マタイによる福音書 13:47-50	X		X				X			恵みの永遠の影響
マタイによる福音書 15:7-20	X									唇は近く、心は遠く
マタイによる福音書 16:15-19		X		E/B		X	X			イエスを知ることは救いである
マタイによる福音書 16:21-28	X	X	X				X	X		生きるための苦しみ
マタイによる福音書 18:1-17	X	X	X		G	X	X	X	X	救いと永遠の死
マタイによる福音書 18:20-34			X				X	X		77回も赦して生きる
マタイによる福音書 19:13-14		X			G	X				子供たちのための天国(同上)

マタイによる福音書 19:16-26			X			X	X		X	イエス・ファースト、それ以外は何も意味がない
マタイによる福音書 19:27-30			X				X		X	救われ、豊かな報いを受ける
マタイによる福音書 20:20-28							X		X	無駄に争うか、奉仕するか
マタイによる福音書 21:18-19	X							X		呪うイエス
マタイによる福音書 21:28-32	X		X			X	X			行動が救いをもたらす、告白ではない
マタイによる福音書 21:38-44	X		X				X	X		実を結ばない者はすべてを失う
マタイによる福音書 22:1-14	X		X	G	X	X	X			キャンセル品、2番手品+衣類
マタイによる福音書 22:36-40							X			最も重要な戒め
マタイによる福音書 23:13	X									致命的な教え
マタイによる福音書 23:26-32	X									内面は不浄で失われた者
マタイによる福音書 24:3-27	X		X	T		X	X			誘惑、苦難、そして救い

マタイによる福音書 24:37-51	X		X			X	X		邪悪な奴隸たち
マタイによる福音書 25:1-13	X		X		X	X	X		賢さと油を蓄える
マタイによる福音書 25:14-30	X		X			X	X	X	行動し、隠さない
マタイによる福音書 25:31-46	X		X			X			すべての民族の最後の審判
マタイによる福音書 26:26-28		X		G					イエスの体と血によって
マタイによる福音書 28:16-20		X	X		X	X			宣教の命令
マルコによる福音書 1 章 4 節		X		G	X				悔い改めは救う
マルコによる福音書 1:14-15		X		G	X				変わり、信じることで救われる
マルコによる福音書 2:5		X		G	X				信仰と赦し
マルコ 2:17		X		G					罪に苦しむ者たちへの希望
マルコによる福音書 3:33-35		X				X			行動によってイエスの家族となる
マルコによる福音書 4:10-20		X	X	G		X	X		言葉の種を保存する

マルコによる福音書 4:24-25	X		X			X	X	X	私があなたに、神が私に
マルコによる福音書 6:7-13	X	X	X		G	X			救い、それとも裁き
マルコによる福音書 7:5-13	X								人間的か神聖か
マルコによる福音書 7:14-23	X								内面から不浄である
マルコによる福音書 8:27-29		X	X			X			救いをもたらすメシアの認識
マルコによる福音書 8:34-38	X		X			X	X	X	救いの条件
マルコによる福音書9章1節		X							神の御国が来る
マルコ 9:33-41								X	動機付けの変化
マルコによる福音書 9:38-40								X	イエスにとって違うが、報酬は
マルコ 9:42-50	X		X			X	X		罪に対する塩の力を持つ
マルコによる福音書 10:13-16	X	X			G	X			子供になることが救いとなる
マルコによる福音書 10:17-27	X		X			X		X	イエスを第一に

マルコによる福音書 10:35-45						x		x	イエスに近づき、仕え、苦しむ
マルコによる福音書 11:12-14	x						x		呪われた不毛
マルコ 11:24-25		x				x			赦しを得るために赦す
マルコ 12:1-11	x								反抗的な役人
マルコによる福音書 12:28-34						x			最も重要な戒め
マルコ 12:38-40	x								非常に厳しい裁き
マルコ 13:4-23			x	E	T	x	x		惑わされない
マルコによる福音書 13:33-37			x			x	x		警戒を怠らない忠誠は永遠に救う
マルコによる福音書 14:22-24		x	x	G/T	x				新しい契約、イエスの体と血
マルコによる福音書 14:38						x			目を覚まし、祈ることは守ってくれる
マルコ 16:14-20	x	x	x			x			信仰が決め手となる
ルカ 1: <u>16-17</u>						x	x		義人とは誰か?
ルカ 1:50-55	x	x	x		G	x	x		裁きと憐れみ
ルカ 1:68-79		x	x		G/T	x	x		平和のために贖われる
ルカ 2:11-14		x	x		G				救い主+メシア+主

ルカ 2:30-35	x	x			G	x				分岐点
ルカ 3:2-6			x		G	x				悔い改めと赦しのための洗礼
ルカ 3:7-14	x	x	x			x	x			蛇、あるいは実を結ぶ者
ルカ 3:15-17	x		x				x			もみ殻か、麦か？
ルカ 4:33-34		x	x							喜びの知らせ
ルカ 5:20		x			G	x				信仰と赦し
ルカ 5:31-32		x			G	x				病人と健康な人
ルカ 5:34		x	x		G	x	x			結婚式の参列者たち
ルカ 6:20-49	x	x	x			x	x		x	空欄「主よ」、「主よ」
ルカ 7:18-23		x	x				x			イエスを誤って理解しない
ルカ 7:24-30	x	x				x				神の救いの計画
ルカ 7:36-49		x			G	x				赦し、愛、信仰
ルカ 8:1		x			G	x				福音
ルカ 8:9-15	x	x	x		G	x	x	x		言葉の効果のたとえ
ルカ 8:16-18	x		x				x	x	x	注意する、聞く、行う
ルカ 8:19-21		x					x			イエスと私たちをつなぐものは？
ルカ 9:1-6	x	x	x			x				純粹な責任
ルカ 9:18-20	x	x	x			x	x	x		イエスを知り、従う
ルカ 9:35		x	x			x	x			父と子
ルカ 9:46-48									x	大きな小さな
ルカ 9:49-50		x					x			違うけれど、それでも良い
ルカ 9:57-62		x	x			x	x			何の躊躇もなし！
ルカ 10:5-16	x	x	x			x				光と責任
ルカ 10:17-20		x					x			記された名前

ルカ 10:21-22		x		E					神の神秘
ルカ 10:25-37			x				x		善行によって救われる？
ルカ 11:14-23	x								危険な分類
ルカ 11:27+28		x					x		聞き従うことが救いとなる
ルカ 11:31-32			x			x	x		信仰の行いが救う
ルカ 11:33		x			x	x			決定的な目
ルカ 11:37-54	x								三度の「災い」
ルカ 12:1-10	x		x	G/T		x	x		偽善と恐れ？告白せよ！
ルカ 12:33-34			x			x		x	天国の宝と心
ルカ 12:35-48			x			x	x	x	燃えるランプが救う
ルカ 12:58-59	x			G	x				刑務所の偽善者たち
ルカ 13:1-8	x		x	G	x	x			実りある悔い改めと人生
ルカ 13:22-29	x		x		x	x		x	狭い扉が世界中に開かれている
ルカ 14:11						x		x	高まる、あるいは低くなる
ルカ 14:12-14						x		x	期待せずに与える
ルカ 14:15-24	x		x	G	x	x			致命的な言い訳
ルカ 14:25-35	x				x	x	x		私の心はどこにあるのか

ルカ 15:7+9-10、31-32	x	x			G	x	x	x		天の喜び
ルカ 16:9-13	x		x				x			真の礼拝
ルカ 16:16-17		x			G		x			モーセ、律法、喜びの言葉
ルカ 16:30-31	x		x			x	x			モーセと預言者たち
ルカ 17:1-4	x		x				x	x		k. きっかけを作り、許す
ルカ 17:10						x				正しい姿勢
ルカ 17:20-21		x								目に見えない本質
ルカ 17:22-36	x		x				x	x		イエスとともに試練
ルカ 18:11-14	x	x			G	x				神の前で義なる者は誰か?
ルカ 18:15-17	x	x			G	x				受け入れることができる救う
ルカ 18:18-30	x	x	x			x	x		x	私のすべてを与えるだけで十分だ
ルカ 19:5-10		x				x				すべてを与えることが救う
ルカ 19:12-27	x		x				x	x	x	忠実に賜物を用いる
ルカ 19:41-44	x									致命的なチャンスを逃す
ルカ 20:9-16	x									神の敵
ルカ 20:45-47	x							x		敬虔な見方から身を守る
ルカ 21:8-19			x		T		x			堅固である すなわち、命を得る
ルカ 21:25-28							x			頭を上げなさい

ルカ 21:29-36	X		X			X	X		わなを逃れる
ルカ 22:14-30	X	X	X		G	X	X		イエスの犠牲による新しい契約
ルカ 22:31-34		X			T		X	X	復活が救う
ルカ 22:39-46		X					X		守りの祈り
ルカ 23:28-32	X								自分自身を嘆く
ルカ 23:39-43	X	X	X		G	X			狭い門から入りなさい
ルカ 24:44-49		X			G	X	X		神への回心と赦し
ヨハネ 1:1-13		X			G	X			2つの要素による救い
ヨハネ 1:29+41		X			G		X		人類の救い
ヨハネ 3:1-20	X	X	X		G	X			救いの再生
ヨハネ 3:31-36	X	X	X		G	X			神の怒り、あるいは永遠の命
ヨハネ 4:7-15		X	X		G	X			命の水
ヨハネ 4:34						X			生きるための糧
ヨハネ 4:42						X			信仰とは知識である
ヨハネ 4:53						X			しるしなしに信じる
ヨハネ 5:14	X		X				X		罪を犯し続けることの結果
ヨハネ 5:23-29	X	X	X		G	X	X		信仰と善行

ヨハネ 5:37-47	x	x			G	x			(非) 信仰の理由
ヨハネ 6:26-29		x	x	E	G	x			命の糧
ヨハネ 6:35-40		x	x	E	T	x			選ばれたという確信
ヨハネ 6:43-58		x	x	E	G/T	x	x		真の食物+真の飲み物
ヨハネ 6:63-71	x	x		E		x	x		信仰は賜物である
ヨハネ 7:7	x								イエスへの憎しみは人を殺す
ヨハネ 7:17		x				x	x		神の御心を行う用意がある
ヨハネ 7:37-39		x				x	x		渴きと命の水
ヨハネ 8:7-11	x	x				x	x		すべての人は罪人である
ヨハネ 8:12			x			x			光に導かれて生きる
ヨハネ 8:21	x								その罪の中で死ぬ
ヨハネ 8:31-47	x	x		E		x			神の子か、悪魔の子か?
ヨハネ 8:54-55	x	x				x			真の知ること=従うこと
ヨハネ 9:35-41	x	x			G	x			人の子を信じる
ヨハネ 10:1-26	x	x		E/B		x	x		救われた者の特徴
ヨハネ 10:26-30		x	x	E/B	T		x		さらに多くの特徴
ヨハネ 11:23-27			x		G		x		救いをもたらす信仰

ヨハネ 11:52		x	x	E					神の予見
ヨハネ 12:24-26	x	x	x			x	x	x	死ぬ、従う、名誉
ヨハネ 12:35-36	x					x	x	x	信仰をもって光を利用してなさい
ヨハネ 12:37-50	x	x	x	E/B		x			心と目で信じる
ヨハネ 13:8-11	x	x			G/T	x	x		救いの洗礼
ヨハネ 13:18-19	x			E	T		x		選ばれ、守られる
ヨハネ 13:34-35		x					x		新しい戒め
ヨハネ 14:1-6			x		G/T		x		道、真理、そして命
ヨハネ 14:15-24			x				x		イエスを愛することは従うこと
ヨハネ 14:29		x			T		x		確固たる事前知識
ヨハネ 15:1-17		x	x	E/B			x	x	ぶどう園のぶどうの木
ヨハネ 15:18-25				E			x		この世から選ばれた者たち
ヨハネ 16:1-4					T		x	x	準備をしておきなさい。
ヨハネ 16:27		x				x	x		父はあなたを愛している
ヨハネ 17:2-3		x	x	E					キリストを知ることは救いとなる
ヨハネ 17:6-8		x		E	G/T	x	x		イエスが父を明らかにする
ヨハネ 17:9-24	x	x	x		T		x		キリストは守ってくださる

ヨハネ 18:37		x			x				真の現実
ヨハネ 20:21-23				G					御靈によって救われる
ヨハネ 20:29		x			x				信じる者は幸いである
ヨハネ 20:30-31		x			x				イエスを信じて生きる者
使徒 2: 21+36-42		x		G	x				イエスに救いを求める
使徒言行録 3:18-19		x		G	x				新しい人生へ回心する
使徒言行録 3:22-26	x	x		G	x	x			モーセのような預言者
使徒言行録 4:11-12		x		G	x				ただの名
使徒 5:1-10	x						x		致命的な罪
使徒言行録 5:30-32		x		G	x	x			従順な者たちの靈
使徒言行録 6:7		x			x	x			信仰の従順
使徒 7:51-53	x								教訓を受け入れない=割礼を受けていない
使徒 8:12-24	x	x		G	x				偽りの敬虔
使徒言行録 9:31		x		T	x	x			神への畏敬の念は伝染する
使徒言行録 10:34-44 + 使 徒言行録 11:14		x		G	x				福音だけが救う
使徒 11:22+23				G	x	x			留まる勇気を与えるもの
使徒 13:38- 41	x	x		G	x				軽蔑者、あるいは無罪

使徒言行録 13:46-48	x	x	x	E/B	G	x				選ばれた者たちは信じる
使徒言行録 13:50-52	x									迫害者たちへの警告
使徒 14:3		x			G	x				確認された愛のメッセージ
使徒 14:21-22		x	x		G	x	x			あなた。救いへの苦難
使徒言行録 15:1-11	x	x	x		G	x	x	x		恵みによる救い
使徒言行録 15:28-29 + 使徒言行録 16:4-5							x	x		文化的配慮と聖書の性的倫理
使徒 16:14-15		x		E	G	x				主は心を開かれる
使徒 16:17 + 使徒 16:30-34		x	x			x	x			イエスは門であり、道である
使徒言行録 17:2-4		x	x			x	x			イエスをメシアとして理解する
使徒言行録 17:11-12						x				聖書はイエスへと導く
使徒 18:5-11	x	x		E/B		x				福音は分かつ
使徒 18:28						x				イエスはメシアである
使徒 19:1-7		x				x				信仰、イエス、聖靈
使徒 19:18-20		x				x	x			救われた結果
使徒 20:2			x				x			重要な要素 励まし
使徒 20:20-32			x		T	x	x	x		真の教えに留まる

使徒言行録 24:24-25	X		X			X			公正で節制のある生活
使徒言行録 26:19-20		X				X	X		生きた証
使徒言行録 28:23-28	X				G	X			望まない、あるいは耳を傾けない
ローマ 1:1-7		X	X	B	G	X	X		それが福音です
ローマ 1:16-17		X			G	X			神の力は信者を救う
ローマ 2:6-11	X		X				X		永遠の命のために善を行う
ローマ 2:25-29	X	X	X		G		X		神の御靈の割礼
ローマ 3:19-20	X								戒めを守ることは救いにならない
ローマ 3:21-28		X			G	X			神の賜物が救う
ローマ 4:3+5		X			G	X			義への信仰
ローマ 4:12		X					X		アブラハムの信仰に従う
ローマ 4:23-25		X			G	X			それを信じる者は、救われる
ローマ 5:1-5		X			G	X			恵みによる神との平和
ローマ 5:9-11		X	X		G/T	X			将来の救い あなた。イエス
ローマ 5:17-19	X	X			G				血縁
ローマ 6:6-8		X	X		G	X	X		死して生きる
ローマ 6:15-23		X	X		G	X	X		天国の小切手を持つ奴隸
ローマ 7:4+6		X			G	X	X		イエスと御靈による実
ローマ 8:1-2		X			G	X			d. 御靈の法則は解放する

ローマ 8:4-5		x				x			d. 神の御靈を決定する
ローマ 8:6-11	x	x	x		G/T	x			d. 御靈は命をもたらし、導く
ローマ 8:12-17		x	x		G	x	x	x	二つの道
ローマ 8:23-25		x	x		G		x		辛抱強く待つことが救いとなる
ローマ 8:28-39		x	x	E/B	G/T	x	x		選ばれた、召された、義なる、+
ローマ 9:14-33	x	x	x	E/B	G	x			救いを得るか、失われるか
ローマ 10:1		x			G		x		すべての人に希望がある
ローマ 10:4		x			G	x			すべての信者は救われる
ローマ 10:8-13		x			G	x			イエスを呼び求め、イエスを告白する
ローマ 11:3-6				E	G/T		x		危機の中で証明される
ローマ 11:16-24		x			G/T	x	x	x	神の厳しさと慈しみ
ローマ 11:28-32		x		E/B	G	x	x	x	恵みの知識は守られる
ローマ 12:1-2		x			G		x		憐れみと礼拝
ローマ 13:11-14		x	x			x	x		私たちの差し迫った救い
ローマ 14:9-12			x				x		非難しない+軽蔑しない
ローマ 14:15-23		x	x				x	x	愛は私と他の人々を救う
ローマ 15:4			x				x		聖書は希望を教える目標について

ローマ 15:15-16						x			聖なる捧げ物
ローマ 16:17-19			x	G		x	x		惑わされることなく従順であり続ける
ローマ 16:25-27				G/T		x			堅く立つ+従順である
1コリント 1:1-9			x	B	G/T		x		神の誠実さによって、非の打ちどころのない者となる
1コリント 1:18	x	x	x		G	x	x		力強い救いのクロスワード
1コリント 1:21-31	x	x		E/B		x			召され、選ばれた者たち
1コリント 2:4-5		x				x			力強い救いの説教
1コリント 2:9-10		x			G	x			神を愛する者たちのため
1コリント 2:12		x			G				神の御靈、この世の御靈ではない
1コリント 3:6-8				G/T		x		x	成長の源+労働力
1コリント 3:11-15		x	x		G	x	x	x	試練
1コリント 3:16-17	x						x		神の神殿
1コリント 4:5						x		x	私たちの隠された動機
1コリント 5:1-13	x		x			x	x		救いのための教会規律
1コリント 6:7-11	x	x	x	G	x	x	x		保存のための修正
1コリント 6:14-20		x				x			体をもって神を敬う

1コリント 7:19						X			戒めを守ることは重要である
1コリント 8:8-13						X	X		他の人にとっての罠にならない
1コリント 9:14-18							X	X	ああ、私はなんて不幸なんだ！
1コリント 9:22-27			X			X	X		真実+禁欲=冠
1コリント 10:1-13				T		X	X		旧約聖書+新約聖書死に至る罪
1コリント 10:31-33		X				X			すべては神の栄光のために
1コリント 11:27-32			X	T			X		救いのための訓練
1コリント 15:1-58	X	X	X		X	X	X		キリストの死と復活
1コリント 16:22	X						X		呪われた愛のない者たち
コリントの 信徒への手紙二 1:1									聖徒たちの共同体
2コリント 1:12				G		X			正直で誠実な、恵み深い
2コリント 1:18-21		X		T	X				キリストには「はい」がある
2コリント 2:15-16	X	X							生か死かの香り
2コリント 3:4-6		X		G/T		X			神の御靈によって力を与えられる
2コリント 4:1-4	X	X				X			開かれた、勧められた、覆われた
2コリント 4:5		X			X	X			イエス・キリストは主である

2コリント 4:7-14			X		T		X			死と生 キリストが私たちの中に
2コリント 5:1-10		X	X		G	X	X		X	イエスに喜ばれる、生涯の仕事
2コリント 5:11		X				X	X			主への畏れは
2コリント 5:14-17		X			G	X	X			命のために死んだ
2コリント 6:1-10		X	X		G		X	X		無駄になる恵みはない
2コリント 6:14-18 <u>+2</u> コリント 7:1	X	X	X				X			時間と永遠のための聖化
2コリント 7:10	X	X	X		G/T		X			神による救いの痛み
2コリント 9:6							X		X	豊かに蒔き、豊かに刈り取る
2コリント 9:13							X			試練は他の人々に祝福をもたらす
2コリント 10:13-18					G/T		X			言葉+実り \geq 言葉だけ
2コリント 11:2-4			X				X	X		イエス、御靈、福音
2コリント 11:11-15	X									偽りの使徒たち
2コリント 12:19-21							X			(死に至る) 罪を避ける
2コリント 13:1-13							X			真の信仰は試練に耐える
ガラテヤ 1:1-4		X			G					イエスが罪と世界から救う
ガラテヤ 1:6-12	X	X				X	X	X		他の福音はない

ガラテヤ 2:15-16	x	x			G	x				d. 神の前で信仰を貫く
ガラテヤ 2:19-21		x			G	x	x			福音、恵み、キリスト
ガラテヤ 3:1-5		x			G	x	x	x		本当に無駄なのか?
ガラテヤ 3:6-14	x	x			G	x	x			信仰によって生きる
ガラテヤ 3:24-29		x				x				信仰によって子供たち+相続人
ガラテヤ 4:5-11		x			G	x	x	x		無駄に救われた?
ガラテヤ 4:19								x		出産の痛み
ガラテヤ 4:28		x								恵みの部屋
ガラテヤ 5:1-5		x				x	x	x		v. キリストから離れて+失われた
ガラテヤ 5:5-6		x	x			x				信仰と愛が大切
ガラテヤ 5:7-10	x	x		B			x	x		(ただ) 真理に従う
ガラテヤ 5:24-26		x			G	x	x			神の命を持つ+生きる
ガラテヤ 6:1-2							x			墮落と回復
ガラテヤ 6:7-10	x						x	x	x	自己の生活、あるいは靈的な生活
ガラテヤ 6:15-16		x			G	x	x			新しい創造
エペソ 1:1						x				忠実さによって結ばれる

エペソ 1:2-14		x	x	E	G	x			信仰によって封印された
エフェソ 2:1-7	x	x	x		G				今、そして永遠の恵み
エペソ 2:10		x			G	x	x		神の栄光のために賜物を受けた
エフェソ 2:12-13	x	x			G				その血によって神に近づく
エフェソ 2:18-22			x						御靈によって父へのアクセス
エフェソ 3:11-13		x					x		神へのアクセス 信仰
エフェソ 4:1-6		x		B			x		希望と愛に召される
エフェソ 4:17-22	x	x					x		かつてのように生きない
エフェソの 信徒への手紙 4:20-32		x			T		x		言葉による罪は神を悲しませる
エフェソ 5:3-11	x	x					x	x	言及も行動も
エペソ 6:8								x	イエスに仕える者は報われる
エペソ 6:10-13							x		正しく戦う
フィリピ 1:5-6			x		T		x		忠実さを経験する神の忠実さ
フィリピ 1:19-20			x		T		x		とりなしとイエスによる救い
フィリピ 1:21			x				x		生きることはキリストである? 死ぬことは益である!
フィリピ 1:28	x	x					x		堅固な者は救われる

フィリピ 2:12-13			X		G/T		X			恐れと震えをもって
フィリピ 2:14-16			X				X			いのちの言葉に固執する
フィリピ 3:2-9	X									偽りの宣教師たち
フィリピ 3:10-15			X	B			X		X	全力を尽くして目標に向かって
フィリピ 3:17-21	X	X	X					X		キリストの十字架の敵たち
フィリピ 4:1-4		X				X	X			今、よく戦うことが今、救うこととなる
コロサイ 1:21-23	X	X	X		G	X	X	X		福音にしっかりと留まる
コロサイ 2 <u>N+E+F</u>	X		X				X	X	X	戦いの賞を保つ
コロサイ 3:5-8	X						X			神の怒り 罪
コロサイ 3:11-14 <small>ns</small>		X		E	G	X	X			キリストは私たちのうちに生きておられる
コロサイ 3:23-25	X		X				X	X	X	天上の遺産? 生ける神を賛美せよ!
1テサロニケ 1:2-10	X	X	X	E	G/T	X	X			実が選民であることを証明する
1テサロニケ 2:11-13			X	B	B		X			天に召される
1テサロニケ 2:15-16	X									神に不愉快な者たち
1テサロニケ 2:19-20									X	天の栄光の冠
1テサロニケ 3:2-6		X					X	X		試練に遭い、倒された?

1 テサロニケ 4:3-8			X				X	X		主は不道徳を罰する
1 テサロニケ 4:16-18			X				X			信仰に立つことが救いとなる
1 テサロニケ 5:2-11	X		X	B			X			怒りに定められていない
1 テサロニケ 5:23-24			X		T		X			非の打ちどころのない状態で守られる
2 テサロニケ 1:3-12	X	X	X		T	X	X			救いにふさわしい者となる
2 テサロニケ 2:13-17		X	X	E/B	G/T	X	X			選ばれた者たち 召命に従う
2 テサロニケ 3:3		X			T					神は真実である
2 テサロニケ 3:6;13-15							X			保全のための教会規律
1 テモテ 1:3-11	X						X			主な目的 愛
1 テモテ 1:12-16		X	X		G/T	X	X			キリストの忍耐が救う
1 テモテ 1:18-20							X	X		よく戦い、良心を保ちなさい
1 テモテ 2:14-15			X				X			信仰を持ち、愛し、聖く、慎み深くあり続けなさい。
1 テモテ 4:1-7	X							X		欺さに耳を傾けることによっての背教
1 テモテ 4:8		X	X				X			人生の修行
1 テモテ 4:16			X				X			watch your life & your preaching
1 テモテ 5:6								X		d. 実際のところ、快樂を追い求めるることは死をもたらす
1 テモテ 5:8								X		不信仰者よりも悪い
1 テモテ 5:11-15								X		怠惰を防ぐ

1 テモテ 5:24-25	x		x			x	x		罪か、善行か？
1 テモテ 6:3-14			x			x	x		神への畏敬の念 対 致命的な誤った道
1 テモテ 6:17-21			x			x	x		お金よりも神をまっすぐに歩む
2 テモテ 1:1			x	B		x			救いはイエス・キリストにある
2 テモテ 1:5						x			誠実な信仰
2 テモテ 1:9-14		x	x	B	G/T	x	x		恵みは召す、忠実さは保つ
2 テモテ 1:15-18			x		G		x		大いなる日に憐れみを見いだす
2 テモテ 2:10			x	E	G/T		x		選ばれた者たちを救いに導く
2 テモテ 2:11-14			x		G/T		x		イエスに堅く従い、告白する
2 テモテ 2:16-21	x	x				x	x		イエスに属すること+不正を避けること
2 テモテ 2:24-26		x				x			靈的に成熟した説教者たち
2 テモテ 3:1-8	x								試験に不合格
2 テモテ 3:11-13		x			T		x		救いと保護
2 テモテ 3:14-17			x		G/T		x		模範+聖書が救う
2 テモテ 4:2-4		x				x			忍耐をもって宣べ伝える
2 テモテ 4:6-8			x			x			よく戦い、信仰を守り抜く
2 テモテ 4:9-10							x		キリストよりもこの世を愛する

2 テモテ 4:14	X									悪に対して悪で応じる
テトス 1:1-3			X	E			X			より多くの神への畏敬、より多くの希望
テトス 1:4		X								真の信者、テトス
テトス 1: <u>5-</u> <u>16</u> テトス 3:9-11	X	X					X	X		d. 行動によって信仰を否定し、自らを非難する
テトス 2:10-15 + テトス 3:1-15	X	X	X	G/T	X	X	X			真に信じる者は、恵みによって善を行いうように育てられる
フィレモン 1:1-25		X				X				神と人間による救い
ヘブライ 1:3		X	X	G						高き犠牲の子羊
ヘブライ 1:14			X	T						神の誠実さ
ヘブライ 2:1-3			X			X	X			自分の命に気をつけなさい。
ヘブライ 2:10		X	X	B	G/T					イエス様は多くの人々を永遠に救いたいと願っておられる
ヘブライ 2:14-15		X		G						イエスは悪の勢力を打ち破る
ヘブライ 2:17-18		X		G/T						大祭司イエスが助ける
ヘブライ 3:1-6			X	B	T		X			自信を持って固く守ること
ヘブライ 3:7-14		X	X		G/T		X	X		自信を持って堅持する
ヘブライ 4:1-11			X				X	X		取り残されない
ヘブライ 4:12-13			X	T						生ける神の言葉

ヘブライ 4:14-16		x			G/T		x			時宜を得た助けのための恵み
ヘブライ 5:7-9			x		G		x			救いを得るためにイエスに従う
ヘブライ 6:4-12		x	x		G/T		x	x		救いのクレジット+終わりまでの熱意
ヘブライ 6:11-14			x				x			忍耐強く成就を待つ
ヘブライ 6:18-20			x				x			全力を尽くす
ヘブライ 7:24		x	x		G/T		x			イエス様は、いつでもすべての人を救うことができる
ヘブライ 8:10-12		x			G/T					赦し+心に刻まれた神の律法
ヘブライ 9:15			x	B	T					召された者は皆、永遠の命を得ることができる
ヘブライ 9:27-28		x	x		G/T	x	x			救われる+救いを待つ
ヘブライ 10:14-18		x	x		G/T	x				永遠に完成
ヘブライ 10:19-22		x			G	x	x			血を振りかけて生きる
ヘブライ 10:23-39		x	x		G/T	x	x	x		持続的な信仰+勝利
ヘブライ 11:5			x		G	x	x			持続的な信仰は救う
ヘブライ 11:7	x		x				x			従順 + 信頼
ヘブライ 11:13-16			x				x			死に至るまで神を信頼する
ヘブライ 11:24-26			x				x			報いを待つ

ヘブライ 11:27-40			X			X			最後まで神を信頼する
ヘブライ人 への手紙 12:1-3				X			X		最後まで自由に走る
ヘブライ 12:12-14			X			X	X		力強く、聖別されて走り 続けなさい
ヘブライ 12:15-17			X			X	X		互いに注意し合いながら歩む
ヘブライ 12:25+28			X			X	X		神を拒絶することのないよう注 意する
ヘブライ 13:4			X			X	X		神は偽りの性行為を裁か れる
ヘブライ 13:7						X			他の信者たちに倣う
ヘブライ 13:9						X			d. 恵み+正しい教えが強い
ヘブライ 13:12-14				X			X		イエスとともに恥を負う z. 救い
ヘブライ 13:17						X		X	靈的指導者たちの言うこと を聞きなさい
ヤコブ 1:1- 12				X			X		試練を喜びと受け止める
ヤコブ 1:13- 16		X	X					X	だまされてはいけません！ 誘惑→欲望→罪→死
ヤコブ 1:17- 18		X	X	E/B	G				新しい創造
ヤコブ 1: <u>21-</u> <u>22</u>		X	X		G/T		X		d. 言葉+それを実行する 救われる
ヤコブ 2:5			X	E			X		神を愛する者は御国を受け 継ぐ
ヤコブの手 紙 2:12-13	X						X	X	容赦のない / 裁き

ヤコブ 2:14-26	X	X				X	X		死んだ信仰は救わない
ヤコブ 3:1-2							X		教えることを急がないでください
ヤコブ 4:1-4	X	X					X		この世の友=神の敵
ヤコブ 4:5-10	X	X		G	X	X	X		傲慢か謙虚か
ヤコブ 5:1-6	X								腐った富
ヤコブ 5:7-8			X			X			辛抱強く耐え忍びなさい
ヤコブ 5:9								X	互いに不平を言つてはいけません
ヤコブ 5:10-11			X	G/T		X			堅忍強い預言者たちを見よ
ヤコブ 5:12			X			X		X	誓わない
ヤコブ 5:19-20		X		G		X	X		罪人を改心させる
1ペトロ 1:1-5		X	X	E	G	X	X		希望と信仰をもって守られる
1ペトロ 1:6-9			X				X		実証された信仰は愛し、受け継ぐ
1ペトロ 1:13			X	G/T		X			意識的に恵みを望む
1ペトロ 1:14-25	X	X	X		G/T	X	X		d. 愛によって清められた信仰
1ペトロ 2:1			X			X			救いへの言葉の成長
1ペトロ 2:6-10	X	X		E/B		X			礎石による救いと滅び
1ペトロ 2:24-25		X			G	X	X		罪に死んだ神に生きる
1ペトロ 3:10-12	X	X				X	X		正しい行いだけが救う

1ペトロ 3:20-21		x			G/T	x				あなた。イエス、良心
1ペトロ 4:3	x									行いで神を知らない
1ペトロ 4:12-14						x		x		火によって報いを受けることを喜ぶ
1ペトロ 4:17-19	x		x		T		x			救われるのは容易ではない
1ペトロ 5:3-5	x		x				x	x		支配するのではなく、模範となる
1ペトロ 5:8-9		x					x	x		目を覚まして、獅子に立ち向かう
1ペトロ 5:10			x	B	G/T					すべての恵みの神は真実である
1ペテロ 5:12		x			G	x	x			私たちは眞の恵みの中に立っている
2ペトロ 1:1-5		x	x	E/B	G	x	x			召命と選民を確固たるものにする
2ペトロ 2:1-10	x	x	x		T		x	x		誘惑から救われる
2ペトロ 2:10-22	x	x						x		正しい道から逸れる
2ペトロ 3:7-14	x		x		G/T	x	x	x		主の忍耐
2ペトロ 3:17+18							x	x		揺るぎない立場を失わない
1ヨハネ 1:1-10 1ヨハネ 2:1-2	x	x			G/T	x	x			神は光である
1ヨハネ 2:3-11	x	x					x			神を知る=キリストのように生きる
1ヨハネ 2:12-14		x				x	x			信仰と経験の段階

1 ヨハネ 2:15-17		x				x	x		神の御心を行う者は、永遠に生き続ける。
1 ヨハネ 2:18-23	x	x				x			御子を告白することは救いである
1 ヨハネ 2:24-28		x			x	x		x	キリストと永遠に結ばれて生きる
1 ヨハネ 3:1-10	x	x				x			v. 神から来たか、悪魔から来たか
1 ヨハネ 3:13-18	x	x			x	x	x		永続的な愛が救う
ヨハネの手紙一 3:19-20		x		G/T					神の恵みと誠実さ
1 ヨハネ 3:24-28		x				x			神の戒めに従うこと=生きる
1 ヨハネ 4:1-6	x	x		G/T	x	x			イエスを信じなければ救いはない
1 ヨハネ 4:7-8	x	x				x			神から生まれた者は愛する
1 ヨハネ 4:13	x			G/T					靈であるかどうか
1 ヨハネ 4:15		x				x			永続的な告白
1 ヨハネ 4:16-17			x			x			愛することには自信がある
1 ヨハネ 4:20-21_1 ヨハネ 5:1-5	x	x		G		x			信仰と新生による愛と従順
1 ヨハネ 5:10-13	x	x		G/T	x	x			イエスを持つ者は、命を持つ
1 ヨハネ 5:16-18		x				x	x		罪は人を殺す

1 ヨハネ 5:18-20	x	x			G	x	x			軽率に罪を犯さない
2 ヨハネ 1:1-6		x	x	E			x	x		真実+愛+神の戒め
ヨハネの手紙二 1:7-11	x		x				x	x	x	救いを失わないように、その報いを待ち望んで
ヨハネの手紙三 1:9-12	x	x					x			私たちの行動は、私たちがどんな人間であるかを表している
ユダの手紙 1:1-2		x	x	B	G/T					召された者として愛され、守られた者たち
ユダ 1:3-4	x	x	x				x	x		イエス様、自分の命を否定する
ユダ 1:5-6		x	x		G			x		まず救い、次に滅ぼす
ユダ 1:17-19	x									精神のない衝動的な人々
ユダ 1:20-21		x	x		G/T	x	x			留まり、築き、信頼し
ユダ 1:22-23	x	x	x				x	x		疑念、炎、そして慈悲
ユダ 1:24		x	x		G/T		x			神は私たちを救ってくださる
黙示録 1:4-6		x			G/T					清められ、愛される者たち
黙示録 1:9		x				x				辛抱強く苦しむ王たち
黙示録 1:17-20	x	x	x							イエスは鍵を持っている
黙示録 2:1-7		x	x			x	x			燭台をどけよ！
黙示録 2:8-11			x			x				死に至るまで忠実であり、命を得る
黙示録 2:12-17			x			x	x			誤った教えを容認してはならない！
黙示録 2:18-29			x			x	x			悔い改め、堅く立つ

黙示録 3:1-6		x	x				x	x		泥棒を入れないでください
黙示録 3:7-13		x	x		G/T		x	x		私たちが持っているものをしっかりと握りしめる
黙示録 3:14-22		x	x		G/T		x	x		イエスは生ぬるい者たちを吐き出す
黙示録 4:8-10		x	x		G					私たちの神のために買い取られた者たち
黙示録 6:9-11			x		G		x			死によって生へ
黙示録 7:3		x			T		x			神の僕たちを保護した
黙示録 7:9-17			x		G/T		x			恵み、苦難、そして忠実さ
黙示録 11:17-18	x		x		G		x		x	墮落する、または報われる
黙示録 12:10-12			x		G/T		x			救いの二つの基礎
黙示録 12:17		x					x			戒めを守る + 信仰告白
黙示録 13:8-10		x	x	E			x			選ばれた信仰の忠実さ
黙示録 14:1-5			x		G/T		x			買い取られた、あらゆる場所の追隨者たち
黙示録 14:9-13	x		x				x	x		d. 死に至るまで主に結ばれている
黙示録 15:2-4			x				x			獣に打ち勝った者たち
黙示録 17:5-6			x		G		x			聖なる血の証人たち
黙示録 17:8		x		E						生命の書の影響
黙示録 18:4-5		x	x				x	x		私の民よ、その町から出て行きなさい。

黙示録 19:4-5		X	X		G		X		救われた者たちは神に仕える
黙示録 19:6-9			X		G/T		X		聖徒たちの正しい行い
黙示録 20:4-6			X				X	X	殉教者たちが支配する
黙示録 20:11-15			X	E			X	X	いのちの書
黙示録 21:1-8	X		X		G		X	X	克服するか、永遠に死ぬか
黙示録 21:27			X	E			X		(不) 純粹な者と(嘘つきではない)者
黙示録 22:3-5			X						永遠の命
黙示録 22:6		X	X				X		神の御言葉を行う者は幸いである
黙示録 22:10-14	X		X		G		X	X	邪悪汚い正しい聖なる
黙示録 22:18-21	X		X		G		X	X	神の言葉を改変しない

2.1 新約聖書の書物の焦点と救いに関する聖書箇所の解釈

このサブセクションでは、クリスチャンは救いを失うことができるのかという疑問に対して、新約聖書の書物がどのように答えていているかを示しています。福音書は従順と従順を強調し、手紙は信仰と行いを強調し、使徒言行録は信仰共同体の重要性を強調し、黙示録は警戒と克服を呼びかけています。重点はそれぞれ異なりますが、中心的なメッセージは一致しています。イエスとその御言葉への愛、すなわちイエスへの忠実な信仰が、永遠の命の鍵であるということです。

2.1.1 マタイ

マタイは、神への従順について書かれた書です。

十字架上で明らかにされたイエスの愛と、罪の赦しを受けることによって、自分の人生を変え、神に従順になり始める者だけが、今、救われることができます。

神に回心する過程で、あなたは自分の罪から離れ、救いのために清められなければなりません。イエスに回心する時、そして回心した後、認識したあらゆる罪から、自分の血を毒し、切断しなければ死に至る病気の肢のように、できるだけ早く、そして徹底的に離れ、清められなければなりません。

そして、従順と警戒の姿勢で、イエスを深く愛し、神に仕え、惑わされることなく警戒を怠らず、最後まで実を結ぶ者だけが、永遠の救いを受けるのです。

2.1.2 マルコ

イエスをメシアと認め、古い生活から神に立ち返り、救い主イエスによる良き恵みの知らせを信じ、イエスに従う者は誰でも救われることができます。しかし、この立ち返りと従順は（自分の）命を犠牲にするものです。イエスを何よりも大切にし、神の御言葉に耳を傾け、それを守り、実行し、実を結ぶ者だけが、最終的には永遠の救いを受けるのです。そのためには、自分の人生から罪を徹底的に断ち切り、軽蔑される者たちに躊躇を与えないようにし、他の人たちを赦し、イエスに警戒し、（）忠実であり、最後まで惑わされることなく従うことが必要です。信仰の兄弟姉妹たちに忠実に仕え、イエスのために進んで苦しむ者は、天国で報いを受けるでしょう。神に選ばれた者は皆、天国に導いてくださる神の忠実さを信頼することができます。

2.1.3 ルカ

ルカによれば、永遠の神の王国に入るには、2つの基本原則があります。

1. 神に立ち返り、イエスを通してこの地上で自分の罪の赦しを得ること、そして
2. イエスに耳を傾け、言葉と行動で、惑わされることなくイエスを告白すること。良き、賢明な王であり主であるイエスが言うことすべてに耳を傾け、イエスを何よりも愛し、隣人を自分と同じように愛すること。そして、いつかイエスの御前に立つのです。

自分自身を神や他の人よりも高く評価する者、言葉や行動で神から離れる者、そしてこの人生で間に合うように自分の考え方を改め、悔い改めをしない者は、神の目には死んでいる者と見なされ、失われる。

2.1.4 ヨハネ

神の恵みによってイエスを神の子と認め、イエスを信じる者は、今、永遠の命を持っています。彼と彼女は、選ばれた羊としてイエスに従順に従い、イエスの御心を行い、実を結び、イエスにとどまります。イエスは彼らを守り、父に彼らのために祈り、イエスの言葉がなければイエスに反発し、イエスから離れてしまうような時に備えて、イエスの言葉によって彼らを準備します。イエスにただ見せかけだけ従う者、あるいは弟子としての歩みの途中でイエスにぶつかり、イエスから離れる者は、もはや神の言葉と愛をその内に持っていない。しかし、イエスは選ばれた羊たちを永遠の救いへと導き、誰もイエスと父の手から彼らを奪うことはできない。イエスの眞の弟子たちは、互いに愛し合い、イエスにとどまり、イエスの御心を行うことによって認識される。

2.1.5 使徒言行録

イエス様はメシアです。この認識は、ユダヤ人、そしてすべての人にとて、救いにとって決定的なものです。福音とイエス様をメシアであると信じるべき証しを受けたにもかかわらず、それを受け入れず、特に敬虔な神を信じる者としてそれを拒絶した者は、神の裁きを受けるでしょう。見せかけだけ改心した者、あるいは意図的に罪を犯す者は、イエスの追隨者であっても、永遠の救いへと回心するための恵みの時間がまだ残されているかどうか、またその時間がどれほどあるのかを知りません。行いによる救いを説き、神の真理を歪め、神の言葉で商売をしようとした、性的不道徳を行い、信仰を捨て、禁欲ではなく放蕩な生活を送る者は、宣教者も聞き手も殺します。罪人が将来の裁きにおける永遠の責任のために、あらかじめ神を恐れることのない、神の恵みと愛についての良き知らせは、福音ではなく、さらに悪いことに、偽りの福音である。

古い罪深い生活から悔い改め、主イエス・キリストの御名を呼び求め、それによって罪の赦しを受け、私たちの救いのしであり保証である聖霊を受け、そして、主キリストとその御言葉に絶えず耳を傾けることで、今、ここで、すぐに救われるのです。そう、福音への信仰が救うものであり、善行ではない。しかし、恵みによって救われた者は善行を行い、それによって救いを保つ。神と主イエスから恵みを受け、心から忠実であり続けることが、救いの道である。永続的に救われた人々は、その変化した心構えと神への回心を証明する生活を送ります。イエスの弟子たちは、苦難の中でも信仰を堅持します。困難な時代への備え、励まし、健全な教え、警戒、戒め、そして文化への配慮が、私たちと他の人々を神の救いの中に保ちます。

2.1.6 ローマ人への手紙

すべての人は、アダムの墮落以来、その生来の状態から、神からの命から疎外され、罪を犯しています。彼らは失われ、神の怒り

の下にある生活を送っています。イエス・キリストの福音は、人々に神に対する信仰の従順へと導きます。従順と信仰は切り離せないものです。信仰は従順をもたらし、従順は信仰によって生まれます。福音にある神の力は、信じる者をすべて救います。

あなたがイエスの御名を呼び求め、口をもってイエスが主であることを告白し、心をもって神がイエスを死者の中から復活させたと信じるなら、あなたは救われるでしょう。

信じる者は救われる：神は、信仰によってその人に義を与える。信じる者は幸いである：イエス・キリストは、私たちの罪のために犠牲となり、私たちの無罪のために復活された。福音書では、神は私たちの愛に満ちた父であり、イエス・キリストは私たちの慈悲深い主であると認識しています。私たちは、自分の行い（律法）によってではなく、私たちの贖いの犠牲であるイエス・キリストへの信仰によって義と認められます。そのため、自分の行いを誇りに思うことは不可能です。

キリストにあって、キリストと結びついている者は、罪と死から命へと移ったのです。真に回心した者は、神の御靈を受け、神の御靈に導かれるようになります。私たちの中にある神の御靈は、永遠の命の保証です。私たちの最終的な救いは、恵みの賜物であり、最終的な償還のために、神の奴隸として永遠に至るまで義の道を歩むという条件と結びついた小切手のようなものです。

神のための実りは、イエス・キリストによって神が新たな基盤の上に築き直した、真に救われた者たちの特徴です。神と隣人を愛する者は、神が望むことを成就し、神の救いの中に留まります。また、真の福音から、つまり、古い人間の欲望に従うことに誘惑されない者も同様です。神に選ばれたという認識は、私たちを自分の知恵に驕ることを防ぎます。選民であることは、周囲全体が神から離れても、神に固執し続けることで明らかになります。

2.1.7 1コリント

十字架の言葉は、すべての人を救うことができます。

イエス・キリストは私たちの罪のために死なれ、（私たちの義認のために）死からよみがえられました。この良き知らせを信じることで、回心する過程で私たちの罪は赦されます。今、そして永遠に私たちを救うこの福音を、永遠の命を得たいならば、生涯、偽りのないまま堅持しなければなりません。

回心した者は、聖霊の宮となり、聖霊が彼の中に住まわれるようになります。聖霊によってのみ、私たちはイエスを主と呼び、神と神の賜物を認識し、神の御心に従って生きることができます。神の御霊を持ち、イエスを愛し、イエスに従う者、そして（死に至る）罪の中で生きていのい者は、今、自分の救いを確信することができます。そして、私たちが罪を犯した場合、自分の良心や、自分の良心に反する行動から立ち返るために、タイムリーかつ迅速な修正を行うことが、神の恵みの場、すなわち、自分の洞察力、信仰の兄弟姉妹による修正、あるいは教会による懲戒によって、私たちを守ってくれます。

悔い改めを続けない場合、救いを失う死の罪とは、性的不道徳、婚外性交、姦淫、実践的な同性愛、偶像崇拜、貪欲です。死の罪を犯す者は、盜人、強盗、誹謗者、酒飲み、冒涜者、兄弟姉妹を騙す者などでもあります。彼らも天国を見ることはできません。悪への欲望に支配され、神に挑戦し、不平を言うことも、悔い改めを続けない限り、同様に大罪となります。誰も、そのような誘惑や罪から、自分自身だけで逃れることはできません。救いは、私たちを私たちの能力以上の試練にさらすことではなく、誘惑に抵抗したり、失敗した後でも立ち直ったりする力を与えてくださる神に、謙虚に目を向けることにのみあります。

神の赦しと、地方教会における罪に対する必要な、また神聖な結果とは、二つの異なるものです。神は教会を愛しておられ、私たちが世とともに裁かれることがないように、教会全体を懲らしめます。しかし、神から与えられた職務を忠実に果たさない者たちには、神は永遠の災いを宣告されます。彼らも、主を愛さない者

たちも、天国を見ることは決してないでしょう。他の人々の救いは、キリストの追随者として私たちが信頼に足る生き方と話し方をするかどうかにかかっています。天国での私たち自身の報酬は、この人生において、私たちの生活の基盤であるイエス・キリストの上に何を築き上げるかによって決まります。神は、その誠実さをもって、私たちが主イエス・キリストの日に、何の非難も受けずに立つことができるよう、最後まで私たちに堅固さを与えてくださいます。私たちはこの確信を持つことができます。

2.1.8 2コリント

私たちの永遠の救いは、キリストへの継続的な純粋な献身と信仰関係にかかっています。永遠の救いを得るためにには、正しいキリスト、正しい福音、正しい聖霊を信じ、それに留まらなければなりません。

神の恵みを無駄に受け取らなかったということは、今、今日、受け取った祈りの答えと恵みに応じて、神を賛美して生き、いかなる点においても、他の人がキリストを信じることを妨げるような行動をとらないことを意味します。これには、苦難や迫害の中でも揺るぎない姿勢を保つことも含まれます。

主はそれほど畏敬すべきお方であるため、救われた者たちとしての私たちの切なる願いは、他の人々の救いと、私たち自身のキリストへの忠実な従順である。

私たちの信仰の試練は、他の人々と彼らの神との関係に良い影響を与えます。

ここでキリストを愛し、与えることを学ぶほど、天国での私たちの報酬と幸福は大きくなります。いつか主のもとに行き、主を見るという天国への憧れは、今、私たちの生活で主に喜ばれることを光栄に思う気持ちにさせてくれます。

偽りの（繁栄の）福音を持つ偽りの使徒たちは、光の天使に偽装しており、私たちの靈的な、そして永遠の命にとって危険で致命的です。

争いや嫉妬、怒りや口論、中傷や悪口、傲慢や教会内の大きな混乱、そして不純、淫行、放蕩な生活様式にも注意しなければなりません。教会やイエスの弟子たちがこうした罪を犯しても、必ずしも救いが脅かされるとは限りませんが、悔い改めずにこうした罪を犯し続けることは、救いを脅かすことになります。タイムリーに自ら悔い改めることで、（神が命じた）厳しい教会規律の措置を免れることができます。

しかし、その人がイエス・キリストを真に正しい信仰をもって信じ、イエスが真にその人の中に宿っていることは、その信仰の試練によって明らかになります。

2.1.9 ガラテヤ

自分の行いや自分の力によって神の承認を求めようとするのは、キリストの恵みの福音による救いとはまったく関係がありません。信仰によって真にキリストを自分の主と呼ぶ者、キリストの福音による罪の救いの恵みの領域に真に入った者は、新しい創造物であり、救われています。誘惑や疑念、個々の罪に陥ったとしても、この事実は変わりません。キリストの追随者が悔い改めの用意があり、キリストの恵み、すなわち真の福音に搖るぎなく留まり、他者のため、そして自己否定のために神の御靈に従う限り、その者は永遠に救われることを、私たちはガラテヤの信徒への手紙から学びます。

もともと回心した者たちが、後に、自分の力で神の前に立ち、神の律法に従おうとすることで、福音にある神の恵みを拒絶した場合、彼らにとってキリストは無駄に死んだことになり、彼らは失われることになります。キリストのために、そしてキリストによって救われて生きることは、恵みによってのみ、真の福音によつ

てのみ、そしてキリストとその御靈によってのみ可能となります。私たちの信仰は、常に現状であり、生き方でもあります。

真の信仰は愛し、愛によって行動します。真の信仰は、神の最終的な救いを待ち望みます。イエス・キリストの追随者さえ、基本的に二つの道を進むことができることを、ガラテヤの人々は誤解してはなりません。自分の人生と欲望に従うことは、滅びへとつながります。継続的な生き方として御靈に従い、他の人々や信仰の兄弟たちに善を行う者は、永遠の命に入る。そして、その報いは、この世での生き方に応じて与えられる。

2.1.10 エペソ

この世にいるすべての人間は、自分の堕落した本性に従い、神に背き、神の怒りにさらされている。

キリストの追随者たちは、神の愛と恵みによって選ばれ、イエス・キリストの流された血によって罪の赦しを受け、神の子供たちとして贖われた。神の相続人であり、神の新しい創造物として、彼らは神の栄光を賛美するために定められている。これはすべて、福音を聞き、その救いのメッセージ、つまり神の恵みによる賜物を信じることで実現する。その結果として、私たちは聖靈によって、私たちの相続財産の頭金として、また、私たちが今、神に属していることの完全な救いの保証として、封印される。

恵みと信仰が出会うところに、救いがあります。そして、救いをもたらす信仰そのものも、神からの賜物なのです。そして、それには一つの目的があります。それは、神の御名を称える良い行いをすることです。

キリストの追随者としての私たちの召命は、イエスの一つの体、神の神殿の一部として、謙遜に、愛をもって生き、神から与えられた体の統一を保つことです。言葉による罪は聖靈を悲しませます。古い人をその行いで捨て、自分の思いで新しくされ、新しい人を着る、それが最善の解毒剤です。キリストの追随者たちにとって重要なのは、主にある靈的な武具を身に着けて強くなり、悪

の攻撃に抵抗できることです。救われた私たちは、神の怒りを招くような事柄に、思考や言葉においても関わってはなりません。こうした事柄に関わることには、無害なものではなく、生死がかかっているのです。しかし、この地上でキリストのために生きる者は、永遠に主から報いを受けるでしょう。

2.1.11 フィリピ

この世でキリストを信じない人々は「歪んで、堕落している」のです。偽りの宣教師たち、そしてそれにより自らも失われた者たちは、外見や自分の努力による行いで救いを説く者たちです。世俗的な考えを持つ者たちは、滅びに終わるでしょう。永遠の命は、キリストに従うことに全力を尽くして忠実に生きた者たちに与えられる勝利の賞です。

最後まで「いのちの言葉」を堅持するために、私たちを励まし、強めるものは何でしょうか？神の誠実さと助け、信者としての私たちの団結、互いのための祈りと擁護、聖書、神への畏敬の念、キリストに健全に従うための力強いインスピレーションを与える前向きな模範、この世的な、つまり神に敵対する人々を、たとえ彼らがどんなに敬虔な装いをしていましたとしても警戒すること、そして、今、良き知らせを広めるために戦い、今、良き知らせに従って生き、今、命の書に記載されている者たちは皆、救われるという確信です。

一度真に受け入れた「いのちの言葉」を最後まで「守り続ける」ことができない者は、失われるでしょう。その者にとって、福音を伝えた者たちは、無駄に働き、文字通り「空しく苦労した」とになるのです。

2.1.12 コロサイ

自然の人間は、その過ちと、割礼を受けていない罪深い性質の中で死んでいる。

私たちが神に信仰を捧げることで、性的不道徳、恥知らず、情欲、邪悪な欲望、貪欲、偶像崇拜など、神に喜ばれないものを捨て去ります。私たちは、救われたイエスの弟子たち、選ばれた者たち、聖なる者たち、神に愛される者たちとなります。それが、今、神のもとで救われた者たちの立場です。

私たちの道程では、まだ古い性質と闘わなければならず、まだ完全ではありません。天国でイエス様の御前に立ち、永遠のいのちの勝利の賞を授かるためには、三つのことが必要です。今、信仰にしっかりと根ざし、心から主キリストに仕え、真の福音と福音の希望、すなわちイエス様と永遠に生きるという希望から、決して離れないことです。

2.1.13 1. テサロニケ

偶像に仕え、神の使者を迫害し、良いたよりの普及を妨げる者は、神に嫌われ、神の怒りにさらされます。

福音における神の呼びかけに従う者は、今ここで悔い改めと信仰による救いへの呼びかけに従うか、福音（）に従順であることによって永遠の栄光に至るまでの神の呼びかけに従うか、信仰によって実を結ぶか（不利益や苦難を通して）、信仰において最後まで警戒を怠らないか、いずれにせよ選ばれた者です。警戒しているとは、眠らず、冷静であり、信仰と愛の胸当てを身に着け、救いの希望を兜として身に着けている者を指します。

必要な迫害や苦難を事前に知ること、それは信者たちが信仰を堅持し、また慰めと励ましを得て信仰を守り抜くために重要なことです。神は、すべてにおいて私たちのために最善のことを考えておられます。神と、イエスに忠実に生き、永遠にイエスに固執することが、私たちを救うのです。神に守られた聖なる生活は、天国への鍵であり、イエスの前に完璧な姿で立つための鍵でもあります。私たちは、自分自身と他の人たちのために、そのことを祈ることができます。

私たちの主イエスが再び来られる時、私たちの栄光の冠となるのは、私たちを通して神に導かれた人たちです。

外的な状況によって、キリストの追隨者たちは信仰から落ち、失われることがあります。天国への道において、神の聖化への呼びかけは、救いにとって決定的に重要です。性的純潔、自然な欲望への勝利、兄弟姉妹からの搾取からの保護は、私たちが主を復讐者ではなく救い主として出会うために必要なものです。しかし、イエス様の御前に立つときに、私たちについて非難されるべきこと、あるいは非難される可能性のあることのすべてが、私たちの永遠の救いを奪うわけではないことも事実です。

2.1.14 2. テサロニケ

福音にあるキリストの恵みによる救いの愛の真理を信じる者は、この人生において神の恵みによって選ばれた者です。そして、その者は神によって永遠の命に召された者です。永遠の命への召命に最後まで忠実に従う者は、選ばれた者として、主とともに永遠を過ごすにふさわしい者と認められます。その者は、あらかじめ神に知られています。

兄弟姉妹たちの執り成しと励まし、そして私たちの靈的な成長は、この道を歩む上で助けとなります。特に、神の誠実さと悪からの保護は大きな助けとなります。しかし、それでも私たちが罪に陥り、その状態が続くなれば、教会による懲らしめは、私たちを天国への正しい道に再び導くための神の助けとなります。しかし、すべての悪い態度が、救いの喪失につながるわけではありません。

2.1.15 1 テモテ

その善行によって、この地上でイエスとの救いの関係に到達できる者は誰もいません。クリスチャンとしての生活を送る前に、悔

い改め、回心、罪の赦し、そしてイエス・キリストをあなた的人生の主とすることが必要です。

以下のキリスト教の教えの主な目的は、愛です。

純粋な心、良心、偽りのない信仰からの愛です。

このことを主な目的としない教えや教師は、致命的な誤った教えを広めているか、せいぜい無益な教えを広めているだけであり、それは本質から危険なほど注意をそらすものです。

信仰の善戦を戦い、信仰に基づく善行を行う者だけが、最終的には永遠の命を手に入れるのです。

キリストの忍耐と、聖書や信仰の兄弟姉妹たちによる慰めと励ましは、この道を進む私たちにとって、最高の力と自信となります。

私たちが信仰の戦いをよく戦うのは、

- 私たちの生活の中で、主イエス・キリストへの信仰を第一に保ち、良心を保つとき
- 信仰と愛に留まり、神のために勤勉に、自制心と質素な生活を送る
- 警戒し、自分自身と、私たちが教えることを常に注意深く見守る

一方、救いを妨げるものは以下の通りです。

- 良心に反して絶えず罪を犯す場合
- 敬虔な装いをした誤った教え、たとえば、救いの条件として、純粋に人間的な戒めや形式的な規定を課すこと
- 私たちの信仰を、言葉よりも雄弁に語る悪行によって否定すること。
- 金銭への愛、怠惰、けち、自己中心、無責任、そして冷酷さ

2.1.16 2. テモテ

神に背く者や、見せかけのキリストの追随者は、永遠に失われる。

約束された（永遠の）命は、イエス・キリストの中に（のみ）あります。イエスへの誠実な信仰は、今ここで救いをもたらし、キリストに従う人生を送る使命を与えます。

神の規則に従って、自分に課せられた戦いを最後まで戦い抜いた者だけが、主から永遠の命の勝利の冠を授かるのです。苦難に耐えるキリストへの搖るぎない忠誠、言葉と行いでキリストを告白すること、眞の福音に固執すること、私たちの生活から不正を絶えず取り除くことが、その一部です。

私たちの道において最善の助けとなるのは、聖書の教えに留まり、良き模範に従うこと、そして偽りの敬虔な人々から遠ざかることです。いずれにせよ、イエスの目に見える再臨を待ち望む者、つまり、この世の何よりもイエスを愛する者は、必ず救われるのです。

私たちの道では、たとえその過程で不誠実になったり、何度も失敗したりしても、私たちの目標に到達させる、私たちの忠実な神とその御靈の助けによる保護が約束されています。

眞の福音、すなわち聖書に忠実な福音を説く眞の説教者たちによって、その説教を聞く者たちや教会の永遠の救いが決まります。キリストの追随者は、残念ながら、永遠の命を得るためのキリストの追随を自由に放棄することができます。

2.1.17 テトス

失われた者たちは、悪い考え方や行いに囚われ、神が望むような生き方をしていません。神の恵みの福音によって、人々は救われます。その結果、彼らは神に対する畏敬の念を持って、神に対する

認識に応じて生き始め、信仰と畏敬の念に満ちた道を進みながら、永遠の命への希望を持つようになります。

キリストに従う者は皆、その道程において多くの悪い習慣を捨て、新しい良い習慣を身につけなければなりません。神は、そのために、私たち信者に、御言葉と説教者たちを与えてくださいます。神の御心により、彼らは、教会内で、また教会外で、彼ら自身や彼らの家族の生活によって、誰にも不快感を与えません。彼らは靈的に成熟し、非の打ちどころのない者でなければなりません。（健全な教師と教え、そして必要な場合には厳しい戒めだけが、私たちと世界中のすべての神の子供たちを天国への道に留めておくのです。

イエス・キリストの教会には、見せかけの信者たちがいます。また、信仰の副次的な問題に過度の注意を払い、それによって信者たちを、彼らの永遠の救いに本当に重要なことから注意をそらし、そらしてしまう偽りの教師たちもいます。彼らは個人的な利益のみを求め、従順ではなく、一度か二度、厳しく叱責されなければなりません。彼らが聞き入れないならば、彼ら自身が自らを裁き、教会を守るために教会から追放されなければなりません。

2.1.18 フィレモン

私たちの実際の生活は、イエス・キリストへの信仰の真偽を証明するものです。福音をもたらしてくれた、私たちを救ってくださった人々を敬いましょう。

2.1.19 ヘブライ

私たちの救いは、条件付きの救いです。永遠の救いを得るために、聞いたことを（実行するために）最大限に注意を払わなければなりません。イエス・キリストを信頼し、従い、従順であり、絶えず聖別され、永遠のいのちの希望を、初めにもっていた確信と誇りを持ち、目標に到達するまで断固として持ち続けるなら

ば、私たちは永遠の救いを得るでしょう。一方、現在の救いを軽んじ、神への畏敬の念を捨て、神の御心を断固として行わなくなつた場合、私たちは、救いの島に漂着する遭難船のように、目標である永遠の命を通り過ぎてしまうでしょう。

2.1.20 ヤコブ

(見せかけの) 信仰が、神や隣のために何もしない者は、死んで失われる。

主のために働き、主を待ち望む忍耐と、苦難に耐える堅固な心は、永遠の救いをもたらします。憐れみ深い者は、神の裁きに耐えるでしょう。神が彼らの人生に許した試練に耐える信者たちは、栄光の冠、すなわち永遠の命を得るでしょう。なぜなら、彼らは神を愛しているからです。そして、最終的には、神の御心を行うことによって神を愛する者たちが、永遠に救われるのです。

イエス・キリストの追隨者として、その誘惑に打ち勝つことなく、その人生の大きいなる流れの中で誘惑に流され、それに支配されてしまう者は、最終的には死を収穫し、永遠の命を得ることはない。信仰の兄弟姉妹たちは、このことについて誤解してはならない。

しかし、良い知らせは、誰もがいつでも、神から離れた生活から立ち返り、自分の罪と死から救われることができるということです。

2.1.21 1 ペテロ

形式的なものによって救われる者は誰もいません。福音における神の恵みの呼びかけに従って悔い改める者だけが救われるのです。不従順と不信仰と失われた状態は一つです。神の御靈とキリストの血は、神を信じ、従う選ばれた者たちに、互いに愛し合う心を授け、イエスを愛し、従う力を与えます。

こうして、選ばれた者たちの永遠の、そして破壊不可能な希望が、永遠に最終的に成就する道筋は、次のようにになります。私たちは神を愛し、信頼します。その信頼に基づいて、神は私たちをその道筋で守り、強め、力づけてくださいます。信者として正しいことを行い、舌を慎み、悪から離れ、善を行い、平和を追い求めるならば、私たちは永遠の命を得て、良い日々を見ることになるでしょう。

イエスへの信仰と愛は、試練、苦難、迫害の中で固められ、証明されなければなりません。そのような困難を乗り越える信仰は、永遠を経験する真の信仰です。しかし、悪を行う者は、それが誰であれ、神に敵対し、神の怒りを感じるでしょう。

2.1.22 2 ペテロ

偽りの預言者や教師たちの有害な特別な教えに従い、自分の命をもって、自分を買い取った主を否定する者は、滅びる。

私たちが永遠の救いを得る唯一の条件は、イエス・キリストの恵みによって悔い改め、神に立ち返る機会を利用し、神を畏敬する聖なる生活へと繰り返し立ち返ること、そして、その過程で、私たちの主イエス・キリストの恵みと忍耐を完全に信頼することである。

真の信者たちの重要な特徴は、この世や自分の中で葛藤する欲望と戦い、放蕩な生活を送らず、節制した生活を送ることです。

ペテロによれば、信仰における私たちの可能性を責任を持って扱うことが、明日、天国に到達し、キリストの前に立つことができるかどうか、つまり、この地上で神に召され、選ばれた者たちとして、信仰を貫き通せるかどうかを決定するのです。そしてそれは、とりわけ、私たちの罪がかつて清められたことを思い返し、神のために、私たちの全存在を勤勉に、自制心を持って、模範的に捧げることによって実現するのです。

2.1.23 1. ヨハネ

イエスを明らかに認識し、愛し、従う者は、神に選ばれた者と言えます。そして、その者にとっては、真理は彼の中に留まり、永遠に彼とともにあります。

- 真理の中で生きる
- 信仰の兄弟姉妹として互いに愛し合う
- 神の戒めに従って生きる

これらは、永遠の命を受け継ぐ、キリストの眞の弟子たちにとって、最初の戒めであり、永続的な戒めであり、真偽の証である。私たちの中にいる聖霊が、その助けとなる。

キリストへの信仰は一つの道です。重要なのは、今、この道に留まることです。しかし、その道で罪を犯し、良心が私たちを責める場合でも、神は私たちの良心よりも偉大です。私たちが自分の罪を告白すれば、神は忠実で公正な方であり、私たちの罪を赦し、すべての不義から私たちを清めてくださいます。

このように繰り返し清められ、神が望み、愛するように今を生きる者は、今、自信を持つことができます。その者は、この世でイエスのように生きるという基本的な姿勢を持っているため、審判の日を自信を持って迎えることができるのです。

イエスという人物、ひいてはキリストの御業について誤った教えを信じ、この世を愛し、悪を行う者は、悔い改めなければ滅びてしまう。

2.1.24 2ヨハネ

キリストの受肉を信じ、信仰の兄弟姉妹を愛し、神の戒めに従って生きる者は、救われ、救われたままであり続ける。キリストに留まらず、この人生に留まらない者は、天国での報い、さらには救いさえも失う。

2.1.25 3. ヨハネ

その生き方の成果によって、眞のクリスチヤンを見分けることができます。善を行う者は、神の子です。悪を行う者は、神を知ったことがありません。

2.1.26 ユダ

神の愛とキリストの憐れみについての良き知らせを受け入れ、最後までそれを堅持する者は、救われ、

- 神の愛とキリストの憐れみについての良き知らせを受け入れ、最後までそれを堅持する者
- 神を畏敬し、神の戒めを守る生き方を実践する者
- 神の愛と誠実さによって守られ、留まり、祈り、キリストの到来を待ち望むことによって自らを守っている者
- 誤った教えや自分の欲望に従うことから身を守る者
- 疑いや汚れた誤った道によって永遠の火に落ちることから身を守る、あるいはそこから時間内に（再び）救い出される者。

神への畏敬の念を欠き、神の恵みを悪用して放蕩な生活を送って、そのような生活によってイエス・キリストを否定する人々は、失われる。

2.1.27 黙示録

神の支配下における私たちの永遠の救いには、3つの基礎があります。子羊の流された血は、まず私たちを天国にふさわしい存在とし、神の家族の一員にしてくれます。さらに、神は、その誠実さと恵みによって、神に忠実に従う者たちを保護してくださいます。そして第三に、神の御言葉を一切譲歩も追加もせずに守り、

神の戒めを守り、イエスを証人として忠実に従う者たちは、死に至るまでイエスに忠実であり続けることで、永遠の救いを得るのです。

3つ目は、最初の2つなしには不可能であり、3つ目なしでは最初の2つは意味を成しません。神の恵み、忠実さ、保護、そして地上のキリストの追随者たちが認識する責任は、素晴らしい調和の中で融合し、私たちを愛するキリストが信仰の創始者であり完成者として先立って行った、永遠における神の支配と賛美へと導きます。

2.1.31 結論

恵みによる救い

救いは、人々の罪のために十字架上で死なれ、その血によって神の恵みを購入されたイエス・キリストの福音を信じることで初めて可能になります。自分の行いによってではなく、信仰の行いと最後まで忠実であることによってのみ、人々は神に受け入れられ、天国に入ることができます。行いのない信仰は死んでいるものであり、罪や自己中心、誤った福音に生きることは、神からの永遠の分離につながります。

神への愛と従順

神に愛される者すべてが救われるわけではなく、神を愛し、神に仕える者だけが救われるのです。神の選民たちは、その人生の実りによって救いを示します。重要なのは、他者との比較ではなく、従順と善行によって表される、個人的かつ誠実な信仰なのです。

救いの条件

イエス様は、罪深い生活から離れて、イエス様に従う者たちだけを受け入れてくださいます。救いは悔い改めから始まりますが、忠実な生活も必要です。恵みから背を向けたり、故意に罪を犯し

続けたりする者は、救いを危険にさらすことになります。救いへの道は、自己を否定し、自分の十字架を背負い、神の御心に身を委ねることです。

恵みと責任のバランス

救いは恵みの賜物ですが、イエスの弟子たちは、信仰を保ち、善行を行い、自分の人生から罪を取り除くよう求められています。イエスは救い主であるだけでなく、信者たちが従わなければならぬ王でもあります。愛と従順をもってイエスに従わない者は、救いを失うでしょう。

天国への道

天国には、悔い改めと恵みによって入ることができます。一度救われた者は、イエスに従うことを行って、イエスを人生で最も大切な宝としなければなりません。神は、信仰を保ち、愛の律法を守り、（重い）罪から遠ざかる者たちだけを、その選ばれた者たちを守ってくださいます。

真の信仰の本質

真の信仰は、神と隣人を愛する生き方によって表れます。たとえ堕落した信者であっても、悔い改めと懺悔によって（いつでも）神の恵みに戻ることができます。生きた信仰は、実を結ぶ生き方、神の御心を行う生き方へと導きます。

結論

救いは、信仰によって受け入れる神の恵みの働きです。しかし、イエスに忠実であり、イエスを愛し、イエスの御心に従う者だけが、最終的には永遠の命に入るのです。恵みの中でスタートしたにもかかわらず、罪や不誠実で終わってしまう者は、神とともに永遠を過ごすことはできません。

2.2

数字で見る救い：新約聖書にある救いに関する545の聖句をすべて評価

新約聖書では、私たちの時間的および永遠の救い、天国での報い、そして失われた魂と破滅に関連のある 545 の聖書箇所、つまり全テキストの約 35% を検索し、調査しました。

そして、それらは、その最も重要な理由と原因、すなわち選民と召命、神の恵みと忠実さ、最初の信仰と、信仰の行いに表れる継続的な信仰。

その結果を以下にまとめました。

ほとんどの聖書箇所は非常に明確ですが、個々のテーマへの分類は主観的に変動する可能性があることは明らかです。

重要なことは、これらは科学的な数学的関連性ではないということです。しかし、個々の主題の頻度と組み合わせによって、神ご自身が何を重要視しているかを明らかにしています。そして、それはこの調査によってある程度明らかになっています。しかし、頻度に基づく救いの主題の調査は、補助的な見解しか示しません。結局、個々の聖書テキストの直接的な記述が規範的な力を持つのです。

新約聖書における救いに関するすべての聖句の分布を示す最初で最も重要な表は、新約聖書における探求された主題の分布と集中、およびその根本的な原因を単純に示しています。これにより、それぞれの主題について神がどれほど多くのことを語っているか、またその内容が明らかになります。この表は、神が御言葉の中で特に重点を置いている点に関して、最も意味のあるものです。

Figure 4: 新約の救いの主題とその原因の分布（545 篇所）。

Distribution of Salvation Topics in the New Testament with their underlying causes across ALL 545 salvation-relevant Bible passages

		approx.	exact	Number
Causes Theme	Lost / condemned	33 %	34 %	186
	Present salvation	50 %	53 %	291
	Eternal salvation	50 %	48 %	259
	By election (E) / calling (C)	10 %	11 %	60
	By God's grace (G) / faithfulness (F)	40 %	41 %	221
	By initial faith	33 %	35 %	189
	Through persevering faith expressed in works	67 %	68 %	369
	Loss of salvation	25 %	23 %	128
	Reward / Rank in heaven	10 %	9 %	48

In a single Bible passage, several topics and causes can appear at the same time. Therefore, the totals add up to more than 100% across a total of 545 Bible passages.

救いに関する 545 箇所の分布（概数 / 正確値 / 件数）：

失われた / 罪に定められた 33%/34%/186; 現在の救い 50%/53%/291; 永遠の救い 50%/48%/259;

選びによって 10%/11%/60; 神の恵み / 真実によって 40%/41%/221;
初めの信仰によって 33%/35%/189;

行いに表される忍耐のある信仰によって 67%/68%/369; 救いの喪失 25%/23%/128;

天における報い / 位 10%/9%/48。

注：同一箇所に複数の主題・原因が重なるため、合計が100%を超えることがあります。

救いの状態

新約聖書の中で永遠と救いについて述べている聖句の約**3分の1**は、人間の基本的な失墜と、神の裁きによる永遠の罰を題材としています。

ほぼ半分の箇所は、堕落した人間である私たちが、神に対する自然な敵意、神からの遠ざかり、そして罪から、悔い改めと再生によって、神との健全な関係へと救われる可能性について述べています。

聖書の節の残りの約**半分**は、信者が信仰から視覚へと至り、永遠の栄光に入る時に、神がイエスの追隨者たちに約束した永遠の救いを主題としています。

聖書の約**4分の1**は、真の信者が天国に到達する道程で、神の御心と救いを失う可能性について述べています。彼らは、神の最後の審判で自分の人生が明らかになった後、天国に到達することはできないのです。

聖書の節の約**10%**は、天国における信者の報酬、あるいは彼らが天国で得る地位について述べています。

救いの状態の原因

永遠に神に受け入れられるか、受け入れられないかの原因の分類は、特定のテーマに割り当てられることなく、以下の通りです。

新約聖書の中で、永遠と私たちの現在または永遠の救いについて述べている聖書箇所のおよそ**10%**は、神の選択(57%)および召命(43%)に関連しています。

聖書の一節の約**40%**は、それぞれの出来事の原因として、神の恵み(2/3)と忠実さ(1/3)を挙げています。

聖書の節の約**3分の1**は、神との健全な関係に入るための、救いをもたらす最初の信仰について述べています。

聖書の一節の約**3分の2**は、永遠への道において信仰の行いで表現される、最初の信仰に続く継続的な信仰について述べています。

明らかなことは、

新約聖書では、失われた状態と破滅が大きなテーマ（33%）ですが、それ以上に、神が失われた世界に対して、この人生において与えようとしている救い（53%）が大きなテーマとなっています。しかし、神は、今救われている者たちが永遠の救いを得ることに、ほぼ同じくらい（47%）の注意を払っています。

そう、人間として、私たちがどのようにして神との健全な関係に入ることができるかについては、その言及の頻度から見て、私たちが今救われている者として、最終的に天国に到達することができるという重要な救いの領域と同じくらい、神にとって重要な問題なのです。

あらゆる種類の救いにおいて、神は行動する者です。これは、聖書の全箇所の半分（神の恵みと忠実さ 40% + 神の選と召 10%）で明らかにされています。

しかし、神が私たち人間にに対して行う救いの働きには、信仰という**非常に重要な要素**が含まれています（33% が最初の信仰、67% が行いに表れる継続的な信仰）。そのため、あらゆる種類の救いは、私たち側の信仰と切り離せないものとなっています。この信仰が、神から与えられたもの、神によって引き起こされたもの、あるいは神が私たちに救いの条件として要求するものなのかは、定かではありません。

驚くほど多くの聖書箇所（約**25%**）が、初期の信仰によって神との健全な関係に入った人々が、救いを失う可能性について述べています。これらの箇所は、実際には回心していないにもかかわらず、自分が回心したと思っている人々についてではなく、かつてイエスと良い関係を築き始めた人々について明確に述べている。實際には、神との健全な関係に一度も入らなかった他の人々は、聖書の「失われた者、のろわれた者」の箇所に見られる。

注目すべきは、回心後の継続的な信仰について、神は、回心と救いをもたらした最初の信仰の約2倍の注意を払っていることです。神は、私たちが神を信じ続けることを非常に重要視しているのです。

イエス様は、天国での地位をあまり気にするべきではなく、この地上で自分自身や他の人々に奉仕すべきだと繰り返し強調されました。そのため、聖書の中で、天国での将来の報酬や地位について述べられている箇所は、神ご自身の重視度から言えば、重要なものの、控えめな**約10%**に留まっています。

2.3

今、愛され、救われ、永遠に守られる：新約聖書全書に見られる神の愛と畏れ

新約聖書は、イエス・キリストによる神の働きと人間との関係について、さまざまな視点を提供する 27 冊の書物の集大成です。これらの書物はそれぞれ、神の愛、救い、神への健全な畏敬の念の重要性など、キリスト教の信仰の中心的なテーマを独自の方法で展開しています。本稿では、新約聖書の各書物が 3 つの中心的なテーマについて何を述べているかに焦点を当てます。

1. **神の愛と今この瞬間における救い：** 神の愛と赦しを体験することは、信者の現在の状況にとってどのような役割を果たしているのでしょうか？
2. **神への畏敬：** 神への畏敬と恐怖はどのように表現されており、信仰生活と救いに関してどのような意味が与えられているのか？
3. **永遠の救い：** 聖書の書物では、最終的な救いを得るための前提条件や条件として、どのようなものが挙げられているか？

この調査の目的は、神の愛と現在の救いの経験だけで天国で永遠を過ごすのに十分なのか、それとも神の畏れが補完的あるいは不可欠な役割を果たしているのかを明らかにすることです。同時に、新約聖書のさまざまな書物が、現在の救いと永遠の救いについてどのような要件を課しているかを明らかにします。

この調査の重要な側面は、聖書の著者たちの視点における相違点や共通点を認識するために、各書物を個別に考察することである。これにより、神の真理の表現において、多様な洞察、あるいは注目すべき統一性を発見する機会が得られる。すべての著者たちが一致した見解を示すことで、聖書の中心的なメッセージが特に強調され、多くの証人たちによって神の真理がより明確かつ力強く示されることになるだろう。

この調査は、上記のテーマを体系的に考察することだけでなく、新約聖書が証言する、神への道と天国での永遠の命の条件について、より深い認識を得ることも目的としています。

2.3.1 マタイ

イエスは罪人のために来られ、その罪の大きさに関わらず、罪を赦してくださいます（マタイ 18:20-34）。イエスは、義人ではなく罪人に悔い改めを呼びかけ、律法上の犠牲よりも憐れみを重んじることを示しています（マタイ 9:11-13）。

イエスは、憎しみや欲望に導かれた行為だけでなく、思考や言葉も、すでに破滅につながる可能性があることを強調しています（マタイ 5:21-26、マタイ 5:27-30）。イエスは、弟子たちの永遠の運命も決定する神への畏敬の念を求め、真の弟子となることは、他のすべてを後回しにすること（マタイ 10:28-39）、また、自らも神の赦しの中に留まるために、他の人たちも赦すこと（マタイ 18:20-34）であると教えます。

イエスは、洗礼者ヨハネを救いの使者であると認め、福音が救う力を持っていることを指摘しています（マタイ 11:3-6）。種まきのたとえ話では、深く根を張り、実を結ぶ信仰だけが永続することを示しています（マタイ 13:18-23）。雑草のたとえは、果実を結んだ義人は神の国で輝く一方、その生涯が雑草のような不義な者は裁きを受けるという、最後の審判を明らかにしている（マタイ 13:36-43）。

2.3.2 マルコ

洗礼者ヨハネは、罪の赦しを受けるために、人々に悔い改めと洗礼を呼びかけました（マルコ 1:4）。イエスは、神の国は子供のように謙虚にそれを受け入れる者たちに属すると明らかにしました（マルコ 10:13-16）。最後の晩餐で、イエスは、自分の流した

血が、多くの人々を救う新しい契約であると明らかにしました（マルコ 14:22-24）。

イエスは、富は神の国に入る上で大きな障害となることがあると警告しました。なぜなら、富に完全に頼ることはしばしば難しいからです（マルコ 10:17-27）。キリストとの眞の交わりは、人間の条件に基づくものではなく、神の御心を行うことに基づいています（マルコ 3:33-35）。同様に、神の赦しを受けるためには、他の人を赦すことも重要です（マルコ 11:24-25）。

イエスは、宗教を隠れ蓑にして偽善や他人を利用することについて警告し、それは厳しい裁きをもたらすだろうと述べました（マルコ 9:38-40）。他の人々を信仰から遠ざける者は大きな責任を背負い、厳しい罰を受けることになる。永遠の命を失うよりも、罪につながるものはすべて避けるほうがよい（マルコ 9:42-50）。結局のところ、イエスを信じ、その純粋な生き方を最後まで貫き通した者だけが救われる（マルコ 13:13）。

2.3.3 ルカ

イエスは救いをもたらし、イスラエルに対する神の約束を果たします（ルカ 1:68-79）。イエスは、眞の喜びは靈に対する力にあるのではなく、天に記されていることにあることを明らかにします（ルカ 10:17-20）。イエスは、弟子たちの信仰が失われることのないよう祈り、他の者たちの信仰を強めるよう彼らに求めます（ルカ 22:31-34）。

洗礼者ヨハネは、眞の悔い改めは実を結ばなければならぬ、さもなければ神の裁きを受けると警告しています（ルカ 3:7-14）。イエスは、自分の言葉を基礎として人生を築く者だけが堅固であり続けることを明らかにしています（ルカ 6:20-49）。イエスは、隠されているものはすべて明るみに出るから、注意が必要だと警告しています（ルカ 8:16-18）。

イエスは、神の国への道は狭く、すべての人がそこへたどり着けるわけではないと教えます（ルカ 13:22-29）。イエスのために自

分の命を捨てる者は、それを保つことができる（ルカ 17:22-36）。最後の審判は確實に訪れ、目覚めている者だけが人の子（イエス）の前に立つことができる（ルカ 21:29-36）。

2.3.4 ヨハネ

神は、御子を遣わして、御子を信じる者が皆、滅びることなく、永遠の命を得るように、その愛を明らかにされた（ヨハネ 3:1-20）。イエスは、自分の羊は自分の声を聞き、イエスに従うことでの永遠の命を得ることを強調しています（ヨハネ 10:26-30）。イエスは、弟子たちが自分の栄光を知るために、弟子たちの団結を祈っています（ヨハネ 17:9-24）。

イエスは、永遠の命を得るために、自分のために自分の命を捨てるよう呼びかけます（ヨハネ 12:24-26）。イエスは、さらに悪いことが起こらないよう、罪に留まらないよう警告します（ヨハネ 5:14）。眞の弟子とは、イエスの言葉にとどまる者である（ヨハネ 8:31-47）。

イエスは、自分のために自分の命を軽んじる者は、永遠にそれを保つと教えている（ヨハネ 12:24-26）。イエスとつながりを保たない者は、役に立たないぶどうの枝のように捨てられる（ヨハネ 15:1-17）。最後の審判では、すべての人々が復活するが、イエスによって救われ、それによって、そしてその後、善を行った者たちだけが、命に入る（ヨハネ 5:23-29）。

2.3.5 使徒言行録

イエス様は、人々が救われることができる唯一の御名です（使徒 4:11-12）。ペテロは、キリストを信じる者は皆、罪の赦しを受け、福音を受け入れる者たちには聖霊が降ると説教しています（使徒 10:34-44）。使徒会議も、救いは恵みによってのみもたらされるということを証言しています（使徒 15:1-11）。

聖靈に偽りを言う者は、ハナニヤの例が示すように、自らを裁きにさらすことになります（使徒 5:1-10）。使徒たちは、神の御国は苦難を通して達成されるものであるため、信仰に堅く立つよう勧めています（使徒 14:22）。パウロは、彼が去った後に教会に侵入してそれを破壊しようとする偽りの教師たちに警戒するよう、教会に警告し、警戒を怠らないよう勧告しています（使徒 20:20-32）。

パウロは、ユダヤ人たちが彼のメッセージを受け入れなかつたため、抵抗に直面しながら福音を証し、異邦人たちに働きかけました（使徒 18:5-11）。シモンは、神の賜物を金で買おうとしましたが、罪に囚われていることを戒められ、悔い改めるよう勧められました（使徒 8:12-24）。パウロは、恵みの言葉には聖徒たちを永遠の相続へと導く力があるため、長老たちに信仰を堅持するよう呼びかけます（使徒 20:20-32）。

2.3.6 ローマ

神の愛と救いは、キリストの福音によって明らかにされ、世界中のすべての人々に提供されています。福音は、信じるすべての人にとって、救いとなる神の力であり、神の義を明らかにするものです（ローマ 1:16-17）。すべての人は罪を犯しましたが、イエスの贖いの働きによって、恵みによって義と認められます（ローマ 3:21-28）。心で信じ、口でイエスが主であることを告白する者は、救われる（ローマ 10:4）。イエス・キリストにある神の愛から、信者を引き離すものは何もない（ローマ 8:28-39）。

しかし、神の愛には、神への畏れも伴います。肉に従って生きる者は死ぬが、御靈に従って生きる者は救われるのです（ローマ 8:12-17）。神は慈愛に満ちていますが、神から背を向ける者たちに対しては厳しいお方でもあります（ローマ 11:16-24）。パウロは、信仰、ひいては靈的な生活を脅かす分裂や誤った教えについて警告しています（ローマ 16:17-19）。

永遠の救いは、最後まで忠実であるかどうかによって決まります。神は、それぞれの行いに応じて報いを与え、義人には永遠の命を与え、不義な者を裁かれるのです（ローマ 2:6-11）。神の御靈に導かれる者は、復活と永遠の命にあずかる（ローマ 8:6-11）。神の子供たちは、肉に従って生きるのではなく、神の御靈に従って生き、御靈によって変容され、永遠の命を得る（ローマ 8:12-17）。

2.3.7 1コリント

神はすべての人を愛しておられ、福音を信じる者はその驚くべき大きな愛を体験する。十字架につけられたキリストは、彼を信じるすべての人にとって神の力であり、知恵である（1コリント 1:21-31）。神は、その栄光を現すために、目立たない者たちを選び、キリストを通して、私たちは知恵と義と救いを受け取ります（1コリント 1:21-31）。誇りたい者は、主を誇りなさい（1コリント 1:21-31）。

福音を宣べ伝える者は、自分の栄光のためではなく、義務としてそれを行う。なぜなら、それをしない者は災いである（1コリント 9:14-18）、キリストに従う道から罪へと誘惑される者は災いである。イスラエルの民は、不従順は裁きにつながるという警告の例となっています（1コリント 10:1-13）。それは、キリストを信じる者たちにも当てはまります。不義な者は神の国を相続することはありませんが、キリストによって清めと聖化があります（1コリント 6:7-11）。

キリストの土台の上に建てる者は試練にさらされ、神のために建てられたものだけが存続する（1コリント 3:11-15）。私たち信者にとっては、朽ちることのない勝利の冠のために戦い、目標から逸脱しないことが必要である（1コリント 9:22-27）。復活は、キリストとその福音を信じるすべての信者たちの希望です（）。なぜなら、キリストに従う者たち、そして最後まで福音を信じる者たちのために、キリストは死を打ち負かしたからです（1コリント 15:1-58）。

2.3.8 2コリント

神は私たちを深く愛しておられます。キリストによって、神は私たちと和解し、この和解について他の人々に伝えるよう私たちに命じられました（2コリント 1:18-21）。キリストにおいて、神のすべての約束は実現しました（2コリント 1:18-21）。私たちは、神が住まいたいと願われる生ける神の神殿なのです（2コリント 6:14-18）。

神の恵みは軽々しく受け取るべきではなく、苦難や困難の中でも堅固であるように導くものである（2コリント 6:1-10）。不信者たちと交わる者は、闇の影響にさらされることになる（2コリント 6:14-18）。あらゆる罪は明らかにされ、キリストは正しい裁きを行われる（2コリント 13:1-13）。

福音の宣教は、救われた者たちには命をもたらすが、失われた者たちには滅びをもたらす（2コリント 2:15-16）。すべての者はキリストの裁きの座の前に立ち、自分の人生について説明責任を果たさなければなりません（2コリント 5:1-10）。偽りの教師たちは福音を歪曲しますが、その結末は彼らの行いに応じたものとなるでしょう（2コリント 11:11-15）。

2.3.9 ガラテヤ

それによって、私たちは神様の私たちへの愛を知ることができます。キリストは、現在の邪悪な世界から私たちを解放するために、私たちの罪のためにご自分を犠牲にしてくださったのです（ガラテヤ 1:1-4）。律法はキリストへと導くものでしたが、今、私たちは信仰によって義と認められ、神様の相続人となったのです（ガラテヤ 3:24-29）。

しかし、私たちは神を畏れるべきでもあります。真の福音以外の福音は呪いをもたらし、それを偽る者は神の裁きを受けるのです（ガラテヤ 1:6-12）。律法を主張する者は、それを完全に守らな

ければなりません。真の、救いをもたらす義は、信仰によってのみもたらされるのです（ガラテヤ 5:1-5）。

永遠の救いは、最後まで忠実であるかどうかによって決まります。神は侮られることはありません。すべての信者は、自分が蒔いたものを刈り取ることになります（ガラテヤ 6:7-10）。御靈に蒔く者は、永遠の命を刈り取りますが、肉に従う者は、滅びを待つことになります。

2.3.10 エペソ

神は、キリストにおいて、すべての靈的祝福を私たちに与え、世界の創世前から、聖なる者となるよう私たちを召してくださいました（エペソ 1:2-14）。キリストによって、私たちは父にアクセスすることができ、靈的な家の礎石として組み込まれています（エペソ 2:18-22）。

しかし、神の愛には、神への畏れも伴います。怒りや不寛容は、悪魔に侵入の余地を与えないために、信者の生活の中にあってはなりません（エペソ 4:20-32）。不道徳、貪欲、恥知らずは、神の国から排除される原因となるため、信者はそれらから距離を置くべきです（エペソ 5:3-11）。

人は皆、自分の行いに応じて神から報いを受ける（エフェソ 6:8）。キリストによって救われた者は、もはや罪の支配下にはなく、キリストに自由に従うことで、今そして永遠に神の限りない恵みを体験することができる（エフェソ 2:1-7）。

2.3.11 フィリピ

真の義は、自分の行いによってではなく、キリストへの信仰によってのみもたらされる（ピリピ 3:2-9）。キリストが再び来られるまで、神ご自身が信者たちの中で御業を完成してくださる（ピリピ 1:5-6）。

しかし、神の愛には、神への畏れも伴います。信者は、神ご自身が彼らの中に意志と実行をもたらしてくださるのですから、恐れと震えをもって自分の救いを達成すべきです（ピリピ 2:12-13）。キリストは眞の利益であり、キリストに比べれば、他のものはすべて無価値です（ピリピ 3:2-9）。

永遠の救いは、最後まで忠実であるかどうかによって決まります。信者の生活は、生であれ死であれ、キリストを賛美するものでなければなりません（ピリピ 1:28）。彼らは不平を言わず、世の光として輝くべきです（ピリピ 2:14-16）。希望は、天の召しの栄冠にあります（ピリピ 3:10-15）。

2.3.12 コロサイ

神は、キリストによって私たちを生き返らせ、私たちの罪を赦し、その罪状を十字架に釘付けにして無効にしたのです（コロサイ 2:13-15）。キリストを信じる者は、新しく生まれ変わり、キリストの像にますます似せていくのです（コロサイ 3:11-14）。

キリストから背き、誤った教えに従う者は、目標と救いを失う（コロサイ 2:18-20）。信者は、神の怒りを経験しないために、この世的な存在を捨てるべきである（コロサイ 3:5-8）。

キリストに仕える者は、天の御国を受け継ぐが、不義な者はその行いに応じて裁きを受ける（コロサイ 3:23-25）。

2.3.13 1. テサロニケ

神は、キリストにある信者たちを選び、聖霊によって彼らを確証されました（1 テサロニケ 1:2-10）。神ご自身が、彼らの中で御業を完成し、キリストの再臨まで彼らを守ってくださいます（1 テサロニケ 5:23-24）。

信者たちは、試練や困難にもかかわらず、神を畏敬の念を持って生き、信仰を堅く保つべきである（1 テサロニケ 2:9-13）。神の

認めを得るためにには、また神の裁きを受けないためには、純粹な生活が必要である（1テサロニケ 4:3-8）。

信者たちは、愛の中で成長し、互いに励まし合い、キリストの再臨の際に、神の前で非難されることなく立つべきである（1テサロニケ 3:12-13）。キリストは、真に彼のものである者たちを迎えるために再臨し、彼らは永遠にキリストとともにいることになる（1テサロニケ 4:16-18）。

2.3.14 2 テサロニケ

信者たちは神に選ばれ、御靈によって聖別され、キリストの栄光にあずかるのです（2テサロニケ 2:13-17）。キリストの慰めと恵みが、あらゆる良い行いに力を与えます。

信者たちは、善を行うことをやめるべきではありませんが、使徒の教えに従わない者たちからは遠ざかるべきです（2テサロニケ 3:6、13-15）。これは敵意からではなく、兄弟たちを悔い改めに導くためです。

キリストは、信者たちに平安を与え、福音を拒んだ者たちを裁くために、栄光のうちに現れます（2テサロニケ 1:3-12）。彼らは永遠の滅びの罰を受け、神の栄光から締め出されます。

2.3.15 1 テモテ

キリストは罪人を救うためにこの世に来られ、その忍耐は、キリストを信じるすべての人々の模範となっています（1テモテ 1:12-16）。

信者は、良い戦いを戦い、信仰に堅く立つべきである。なぜなら、不信仰によって破滅した者もいるからである（1テモテ 1:18-20）。誤った教えに惑わされたり、罪に留まったりする者は、神の裁きを受けることになる（1テモテ 4:1-7）。

真理に堅く立つ者は、自分自身と他の人々を救うことになる（1テモテ 4:16）。すべての人の行いは明らかにされ、神がそれを裁かれる（1テモテ 5:24-25）。信仰の善戦を戦う者は、永遠の命を得る（1テモテ 6:3-14）。

2.3.16 2 テモテ

キリストは福音によって、朽ちることのない命を明らかにし、信者たちにその命における確信を与えてくださる（2テモテ 1:9-14）。キリストとともに死ぬ者は、キリストとともに生きる。たとえ私たちが弱くても、キリストの忠実さは変わらない（2テモテ 2:11-14）。主は、その僕たちをあらゆる危険から救い出し、その王国に安全に導いてくださる（2テモテ 4:17-18）。

信仰は、規則に従わなければならない兵士や競技者のように、献身と規律を求めます（2テモテ 2:3-5）。キリストを否定する者は、キリストからも否定されるでしょう（2テモテ 2:12）。信者は、たとえ抵抗があっても、神の言葉を宣べ伝えるべきです。なぜなら、キリストは生者と死者を裁かれるからです（2テモテ 4:1-4）。

永遠の救いは、最後まで忠実であるかどうかによって決まります。主は、主に忠実であり続ける者たちに憐れみを与えてくださいます（2テモテ 1:15-18）。パウロは良い戦いを戦い、信仰を守ったため、義の冠を受ける資格があります（2テモテ 4:6-8）。

2.3.17 テトス

神の恵みは、すべての人を救い、義と神への畏敬の念をもって生きよう教育するために現れました（テトス 2:10-15）。キリストは、熱心に善を行う純粋な民を作るために、ご自身を捧げられました。

信仰は健全であり続けなければならず、誤った教師たちは、彼らの信仰がさらに損なわれることのないよう、戒められなければなりません（テトス 1:5-16）。

分裂を引き起こす者は、その行動によって真理を拒絶していることを示しており、二度警告した後、その者を退け、救われることはない（テトス 3:1-15）。

2.3.18 フィレモン

-/-

2.3.19 ヘブライ

イエス様は、人々の罪を贖い、誘惑に打ち勝つ力を与えてくださる、慈悲深い大祭司です（ヘブライ 2:17-18）。イエスによって、信者は自信を持って神の御前に進み出て、恵みを受けることができます（ヘブライ 4:14-16）。イエスの祭司職は永遠であり、イエスを通して神のもとに来る者をすべて完全に救います（ヘブライ 7:24-25）。

しかし、神の愛には、神への畏れも伴います。信者は、不従順な者たちのように倒れないように、神の安息を熱心に追い求めるべきです（ヘブライ 4:1-11）。忍耐をもって信仰を保つ者は、神の約束を得るでしょう（ヘブル 6:18-20）。しかし、故意に罪を犯す者は、神の裁きによって滅びにさらされます。なぜなら、信仰がなければ、神に喜ばれることは不可能だからです（ヘブル 10:23-39）。

永遠の救いは、最後まで忠実であるかどうかによって決まります。イエスは、信者たちが永遠の相続財産を受け取るための新しい契約の仲介者です（ヘブライ 9:15）。神の子を軽んじる者は、より厳しい裁きを受けることになる（ヘブライ 10:23-39）。しかし、信仰を貫く者たちは、神が彼らのために用意してくださった天の故郷を待ち望む（ヘブライ 11:13-16）。

2.3.20 ヤコブ

すべての良い賜物は、真理の言葉によって、自由意志をもって私たちに新しい命を与えてくださる神から来るものです（ヤコブ 1:17-18）。謙遜に神に近づき、神に近づき、神の恵みと親密さを体験するでしょう（ヤコブ 4:5-10）。

しかし、行いの伴わない神への死んだ信仰は役に立たない。悪魔たちでさえ信じ、震えているのだから（ヤコブ 2:14-26）。この世と親しくすることは、神と敵対することである（ヤコブ 4:1-4）。

永遠の救いは、最後まで忠実であるかどうかによって決まります。誘惑は罪につながり、最終的には死をもたらします（ヤコブ 1:13-16）。しかし、試練に耐え抜いた者は、いのちの冠を授かるでしょう（ヤコブ 1:12）。預言者たちやヨブのように耐え抜く者は、神の憐れみと報いを受けるでしょう（ヤコブ 5:7-8）。

2.3.21 1ペテロ

イエスの復活によって、神は生きた希望を与え、信者たちを最後の救いの啓示のために守ってくださいます（ペトロの手紙一 1:1-5）。神ご自身が、すべての苦難の後、御自分の子供たちを力づけ、強めて、御自分の栄光の中に立つことができるようにしてくださいます（ペトロの手紙一 5:10-11）。

永遠の命を得たいと思う者は、自分の舌を慎み、悪から離れ、平和を求めるべきである（1ペテロ 3:10-12）。敵は、誰を食い尽くせるか探しているが、信者は、信仰を堅持して敵に立ち向かわなければならない（1ペテロ 4:17-19）。

キリストのために苦しむことは、絶望する理由ではなく、喜びの理由である。それは、キリストの栄光にあずかるることを意味するからである（1ペテロ 4:12-14）。裁きは信者たちから始まり、忠実な者たちだけが救われるが、不義な者たちの終わりは恐ろしいものとなる（1ペテロ 4:17-19）。

2.3.22 2 ペテロ

神は、その神聖な力によって、聖なる生活に必要なすべてのものを私たちに与えてくださいました。神の約束によって、私たちは神の性質にあざかり、この世の滅びから逃れることができます（2ペテロ 1:1-11）。主は、神を畏れる者たちを誘惑から救う方法を知っておられます（2ペテロ 2:9）。

信者たちは、靈的な盲目に陥らないよう、知識、自制、愛によって熱心に信仰を補完すべきである（2ペトロ 1:4-9）。彼らは、偽りの教師たちに警戒し、確固たる立場を失うことなく、恵みの中で成長すべきである（2ペトロ 3:17-18）。

自分の召命と選びを確固たるものにする者は、イエスの永遠の御国に確実に立ち入ることができる（2ペテロ 1:10-11）。主は約束を遅らせることではなく、すべての信者が、最終的な裁きが来る前に悔い改め、不信仰者たちとともに永遠の滅びに行くことがないように、忍耐をもって待っておられる（2ペテロ 3:9-14）。

2.3.23 1 ヨハネ

私たちは神の子供であり、御子イエスを信じることで神の愛を体験することができます（ヨハネの手紙一 3:1-10）。永遠の命はキリストの中にあり、キリストと結ばれている者は、それを確実に得ることができます（ヨハネの手紙一 5:10-13）。

しかし、この世に目を向ける者は、神から遠ざかります。この世とその欲望は過ぎ去りますが、神の御心を行う者だけが永遠に存続するからです（1ヨハネ 2:15-17）。信仰の兄弟姉妹に対する憎しみは、靈的な死につながります。なぜなら、神からの真の靈的な生活は、兄弟姉妹への愛に表れるからです（1ヨハネ 3:1-10）。

キリストにとどまる者は、キリストが再び来られる時に恥じることはない（1ヨハネ 2:24-28）。死に至らない罪もあり、それは祈

りによって赦される。しかし、ある種の罪は、神からの永遠の分離をもたらす（1ヨハネ 5:16-18）。

2.3.24 2ヨハネ

神の真理は信者たちの中に永遠に留まり、キリストにおいて彼らは恵み、憐れみ、そして平安を受ける（2ヨハネ 1:1-6）。

多くの惑わす者たちがキリストの真の教えを否定しており、信者たちは靈的な報いを失わないように注意すべきです（2ヨハネ 1:7-8）。

キリストの教えを超える者は、もはや神との交わりを持たないが、真理にとどまる者は、父と子との交わりにとどまる（2ヨハネ 1:9-11）。

2.3.25 ヨハネの手紙三

信者たちが真理の中で生き、愛をもって互いに支え合うことほど、大きな喜びはない（3ヨハネ 1:3-8）。

しかし、神の愛には、神への畏敬の念も伴います。善を行う者は神に属しますが、悪を行う者は神を知りません（3ヨハネ 1:9-11）。

真理にとどまる者は、神と信者たちから認められます（3ヨハネ 1:12）。

2.3.26 ユダ

召された者たちは、神に愛され、イエス・キリストによって守られている（ユダ 1:1-2）。神は、信者たちを過ちから守り、喜びをもって御自分の栄光の前に立たせる力をお持ちである（ユダ 1:24）。

神を信じない者たちは、かつてイスラエルがエジプトを脱出し、荒野を旅したときのように、裁かれる（ユダ 1:5-6）。信者は憐れみを実践すべきであるが、罪の影響から身を守るべきである（ユダ 1:22-23）。

信仰の基盤に留まる者は、神の愛に守られ、イエスの憐れみの中で永遠の命を待ち望む（ユダ 1:20-21）。神ご自身が、その選ばれた者たちを、永遠に、その栄光の中で汚れのないまま保ってくださる（ユダ 1:24）。

2.3.27 黙示録

キリストは私たちを愛し、その血によって私たちを清め、聖なる民としました（黙示録 1:4-6）。キリストは戸口に立って、ノックしています。キリストを受け入れる者は、キリストと交わりを持ち、キリストとともに支配するでしょう（黙示録 3:14-22）。

目を覚まし続けていない者は、予期せぬ裁きを受けるが、忠実であり続ける者は、いのちの書に自分の名が記されたままとなる（黙示録 3:1-6）。死に至るまで忠実である者は、いのちの冠を授かり、勝利する者は、第二の死を免れる（黙示録 2:8-11）。

大患難を克服した者は、神の御前に立ち、もはや欠けるところはなく、永遠に養われる（黙示録 7:14-17）。敵は打ち負かされ、信者たちは子羊の血と忠実な告白によって勝利した（黙示録 12:10-12）。

2.3.28 まとめ：今、愛され、救われ、永遠に守られる：新約聖書全書に見られる神の愛と畏れ

新約聖書の 27 冊の書物を調査すると、神の愛、今この瞬間における救い、神への畏敬の重要性、そして永遠の救いの条件について、驚くべき一貫性が見られます。27 冊のうち 26 冊が、神の愛、信仰による救い、健全な神への畏敬の必要性、そして永遠の救いへの道という 3 つの側面すべてを取り上げています。この一

致は、聖書の神聖な靈感について印象的な証しとなり、新約聖書の中心的なメッセージを強調しています。

福音書

4つの福音書（マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネ）は、イエス・キリストに表れている神の愛を一貫して強調しています。それらは、悔い改め、信仰、そして神の恵みを受け入れることによって、現在の救いがもたらされるということを示しています。同時に、神を畏れる心のない生活（）を警告し、聖さと従順に特徴づけられる生き方を奨励しています。すべての福音書は、永遠の救いはキリストへの忠実さにかかっており、一貫した従順な生き方が必要であることを強調しています。

手紙

使徒たちの手紙、特にパウロの手紙は、福音書のテーマを取り上げ、それをさらに深めています。それらは、神の愛が救いの基礎であるだけでなく、救いは信仰によって保たれるべきであることを明らかにしています。神への畏敬の念は、キリストに従う生活を送るために不可欠であると述べられています。手紙は、永遠の命は単なる賜物ではなく、忍耐、従順、忠実さによって達成される目標でもあることを強調しています。重点が異なる点があります。例えば、コリントの信徒への手紙は、自己過信の危険性を警告して強調しているのに対し、ローマの信徒への手紙は、信仰のみによる義認に焦点を当てながら、真に新しくなった人生の実りとしての行いを強調しています。

黙示録

聖書の最後の書である黙示録は、新約聖書の中心的なテーマを、終末論的な枠組みの中でまとめています。この書は、神への畏敬の念を強く訴え、罪深い生活を送った結果、救いを失うことまで示しています。同時に、信仰を持ち、勝利し、忠実であり続ける者たちの最終的な救いを通して、神の愛が明らかにされています。黙示録は、永遠の救いは、子羊の血によって可能となる、信

仰による積極的で勝利に満ちた生活が必要であることを強調しています。

3 救いと救いの喪失の可能性：新約聖書全体にわたる教え

新約聖書の 545 の救いに関する聖句は、第 2.1 章で、聖書の書ごとに検討しました。この章では、それらを主題ごとに、また包括的に考察します。多くの者が召されている — クリストは救いを失うことができるのか？イエスの追随者は失われるのか？

このテーマ別分析は、個々の聖書の記述を裏付けるものであるが、80 以上のサブチャプターでより詳細な状況を示している。各チャプターには、タイトルとして非常に短い要約が記載されています。

詳細レベル 5 では、例となる聖句やその他の聖句の参照とともに、主なメッセージが示されています。

詳細レベル 6（この書籍の基礎）では、複数の例句を用いてより詳細な説明が行われています。

ウェブサイト <https://vielesindberufen.de> では、レベル 5、6、さらに最も詳細なレベル 7 が公開されており、基礎となる聖書の一節がすべて分析されています。

要約すると、新約聖書は、真の回心後も、生まれ変わったクリスチャンには 2 つの道があり、それは第 3 章の構成に反映されていることを明らかにしています。

第 3.1 章 靈の道とキリストに従う道、天国への狭い道を通る永遠の救いへの道。

第 3.2 章 救いから遠ざかり、裁きと滅亡へと至る「肉」の道。

信者として誘惑に抵抗せず、誘惑に流されてしまう者は、最終的には死を収穫し、永遠の命を得ることはできません。信者はこのことについて幻想を抱くべきではありません。ここで、イエスと使徒たちが意味しているのは、人生の大筋、つまりイエスに従う者が進むべき基本的な方向性であり、私たちがすぐに、そして何度も立ち返ることができる（はずの）個々の失敗ではないことが明らかになります。重要なのは、その道の方向性、つまり、一方では永遠の命へと導く誘惑の克服、もう一方では永遠の死へと導く自分の欲望や欲求への屈服である。イエスと使徒たちは、新約聖書の中でこの点について完全に一致している。

「生まれ変わったクリスチャンのための二つの道」というテーマに関する最も重要な聖書箇所を詳しくまとめた表は、レベル7の第3章のウェブサイトに掲載されています。ここでは、聖書からの証拠をいくつか紹介しましょう。

マタイによる福音書 25:14-30

14 「それは、海外へ旅立つ前に、自分の僕たちを呼び、自分の財産を（管理のために）彼らに託した人のようなものである。15 ある者には五タラント、別の者には二タラント、また別の者には一タラントを…与えた。18 しかし、1タラントだけ受け取った（僕）は、行って、地面に穴を掘り、主人の金をそこに隠した。…24 すると、1タラントだけ受け取った者もやって来て、…「あなたのタラントを地面に隠しておきました。ここに、あなたの金をお返しします」と言った。26 すると、主人は彼に言った、「不誠実で怠惰な僕よ！…28 だから、そのタラントを取り上げて、10タラントを持っている者に与えなさい。29 持っている者はさらに与えられて、余剰があるようになるが、持っていない者は、持っているものまでも取り上げられる。30 しかし、役に立たない僕たちは、外の暗闇に投げ出せ。そこで、泣き叫んだり、歯ぎしりしたりすることだろう。

ローマ 8:12-13 メン

12 ですから、愛する兄弟たち、私たちは、肉に対して、肉に従って生きる義務を負っているわけではありません。13 なぜなら、あ

なたがたが肉に従って生きるなら、死は確実ですが、御靈によつて肉の行いを殺すなら、あなたがたは生きるからです。

ガラテヤ 6:7-10 メン

7 間違えないでください。神は侮られることは決してありません。人は、自分が蒔いたものを刈り取ることになります。8 自分の肉に蒔く者は、肉から滅びを刈り取り、御靈に蒔く者は、御靈から永遠の命を刈り取ります。9 しかし、正しいことを行うことに疲れではありません。疲れではないかもしれません。その時期が来れば、私たちは刈り取ることができます。10 ですから、機会があるうちに、すべての人、特に信仰の兄弟たちに、善を行いましょう。

ヤコブ 1:12-16

12 試練に耐え抜いた人は、幸いである。試練に耐えた後、その人は、愛する者たちに約束された、勝利の冠を受けるからである。

13 試練に遭遇した人は、「私は神に試練されている」と言つてはならない。神は悪に試練されることはなく、また、だれをも試練することはないからである。14 いや、人は皆、自分の欲望に誘惑され、誘惑されることによって（悪に）誘惑されるのです。15 それから、欲望が受胎すると、罪を産み、罪は、完成すると、死を産みます。16 愛する兄弟たちよ、間違ってはいけません。

マタイ 25:23-30、ローマ 8:12-13、ガラテヤ 6:7-10、ヤコブ 1:12-16; マタイ 18:7-9; ヘブライ 10:26、ヤコブ 1:1-12, 2 ペトロ 2:19-22, 1 ヨハネ 3:15; 1 ヨハネ 5:16; 黙示録 2-3; ユダ 1:4-5

3.1 御靈の道とキリストに従う道による永遠の救い

永遠の救いへの道は、広く、快適で、妥協に満ちたものではありません。それは、靈と献身、そしてイエス・キリストを真に追う道なのです。この道では、永遠の命の約束が現実のものとなりますが、それは意識的な決断と、キリストの呼びかけに従う用意のある心が必要です。それは、外見上宗教的な行動をとったり、単に規則に従うことではなく、神の御靈に導かれ、その光の中で、

愛と従順と神への忠実さをもって生きることを意味します。各章では、眞の従順とは、イエスを愛し、受けた恵みによって生き、人生で実を結ぶことを意味することを示しています。それは、人々に喜ばれることではなく、心から神に仕えること、つまり、神との永遠の交わりへと至る生き方なのです。

3.1.1

救われていない人々は、救われた人々を通して救いを見つける：宣教と伝道は、人々が救われるための鍵である。

人間は、失われるには十分な知識を持っていますが、救われるには十分な知識を持っていません。世界中のすべての人は、罪の赦しと新しい命を受けるために、神と、十字架につけられ、復活したイエス・キリストに回心する必要があります。規則や戒律を守ることで、誰も神の前で義となることはできません。律法は、私たちの罪を明らかにするだけです。そのため、人々が自分の罪深さを認識し、イエス・キリストの福音によって救われるためには回心が必要であることを知るために、神の御言葉が宣べ伝えられなければなりません。

イエス様は、この喜びの知らせを世界中に宣べ伝えるよう、私たちに命じられました。信じる者は洗礼を受け、救われる。信じない者は、失われたままである。イエスご自身が、神の言葉を伝え、闇から光を分かつ、世の光として、父から遣わされた。同様に、イエスも、弟子たちである私たちを世に遣わしている。イエスの目的は、信じる者すべてに、楽園以来失われていた神の栄光を取り戻すことである。

福音を宣べ伝えることによってのみ、人々は救われることができます。福音がなければ、彼らは永遠に失われたままです。ですから、すべての人々に福音を宣べ伝え、彼らが救われ、神との平和を見出す機会を得られるよう、緊急に必要とされているのです。

マルコ 16:15-16 Slt

15 そして、彼らに言った、「全世界に出て行き、すべての被造物に福音を宣べ伝えなさい。16 信じてバプテスマを受ける者は、救われる。しかし、信じない者は、罰せられる。

使徒 4:10-12 メン

10 あなたがたすべての人、そしてイスラエルの民に、あなたがたが十字架につけたナザレのイエス・キリストの御名によって、神が死者の中から復活させたその御名によって、この人があなたがたの前に健やかに立っていることを、知らせるべきである。11 この方（イエス）は、あなたがた建築者たちが捨てた石ですが、それが礎石となりました。12 他の誰にも救いはありません。天の下には、私たちが救われるべき他の名は、人間に与えられていないからです。

ローマ 10:13-14 メン

13 「主の名を呼び求める者は、皆救われる」からです。14 さて、彼らが信じもしていない者を、どうして呼び求めることができるでしょうか。また、聞いたこともない者を、どうして信じることができるものでしょうか。また、宣べ伝える者がないのに、どうして聞くことができるでしょうか。

マタイ 28:18-20、マルコ 16:15-17、ルカ 24:46-47、使徒 4:10-12、ローマ 10:13-17、ヨハネ 3:16; ヨハネ 17:18-23; ローマ 3:20; ローマ 1-4; ローマ 10:8-11

3.1.2

私たちは、唯一の眞の神の言葉、そして神の言葉以外の何ものによっても救われることはありません。

聖書は、それ自体が神の言葉であることを証しています。聖書には、命と永遠の命への道があります。聖書は、旧約聖書と新約聖書の両方で、神の御心、知恵、戒め、そしてイエス・キリストを証しています。神と永遠の命への唯一の鍵は、旧約聖書で予言さ

れ、新約聖書で完全に明らかにされた、イエス・キリストの福音です。神の言葉がなければ、私たちは福音を知らせることも、私たちの生活のための確固たる神の指針を持つこともできません。神の言葉は、この世にはただ一人の救い主、イエス・キリストがおり、その教えに従うことによってのみ、神との正しい関係と永遠の救いが得られることを証しています。神の言葉に反する誤った教えは、靈的に致命的です。私たちが救われたままでありたいならば、神の言葉に何かを追加してはなりません。また、私たち自身が永遠の救いを得たいならば、神の言葉から何かを取り去ってはなりません。

神の言葉は、神の言葉そのものであり、神の言葉を含むだけではありません。神の言葉は、人間の言葉であると同時に、神の言葉でもあり、それは一文字一文字のレベルにまで及びます。

私たちは、神の御心は神の言葉からしか知ることができず、自分なりの考え方や人間的な考えを付け加えてはなりません。そうしなければ、私たちは、神が私たちに示してくださいました神像よりも、自分たちが想像する神像をより尊ぶ偽善者となってしまいます。そして、偽善者は、イエスが明らかにされているように、神から遠く離れている、つまり救われていないのです。救われるためには、私たちの心は神とその御言葉に固執し、口だけが神に固執し、心はユダヤ教であれキリスト教であれ、教会であれ、伝統に固執してはなりません。

聖書を理解するには、神、イエス、聖霊が必要です。神の言葉を解釈できるのは、神の言葉以外の何ものもせず、その言葉を自分の人生で実践しようとする者たちだけです。神の言葉を他の方法で利用することは、それに従わない者に対する裁きとなり、必然的に神の言葉と信仰に関する誤った教えにつながります。

2 ペテロ 1:20-21 メン

20 まず第一に、聖書の預言は、自己の意思で解釈してはならないことをよく理解しておかなければなりません。21 預言は、人間の意思によって出たものではなく、聖霊に動かされた人々が、神から受け取ったものを語ったものです。

ヨハネ 1:14 メン

14 そして、その言葉は肉となつた。

ヨハネ 7:16-17 Slt

わたしの教えは、わたし自身から出たものではなく、わたしを遣わした方から出たものである。17 だれでも、その御心を行なうなら、この教えが神から出たものなのか、それともわたしが自分から話しているものなのか、わかるであろう。

2 テモテ 3:14-17

マタイ 5:18 確かに、わたし（イエス）があなたがたに言う。天と地が滅びるまで、律法のいち字、いち画も、決して滅びることはない。すべてが成就するまで。

ガラテヤ3:16 Slt

16 さて、約束はアブラハムとその子孫に与えられました。それは、「子孫たち」と複数形ではなく、「あなたの子孫」と単数形で、つまりキリストを指しています。

ルカ 24:25-27 メン

25 そこで、イエスは彼らに言われた、「ああ、無知な者たちよ、預言者たちが告げたことをすべて信じるのに、どうしてあなたの心はそれほど鈍いのか。26 キリストは、このような苦しみを受け、その栄光に入るべきではなかったのか」。27 それから、モーセとすべての預言者から始めて、イエスに関する聖書のすべての箇所を彼らに説明された。

エズラ 7:10 Slt

[エズラ]は、彼の神の恵み深い御手によって、エルサレムに到着した。10 エズラは、主の律法を研究し、それを実行し、イスラエルに律法と正義を教えることに心を定めていたからである。

黙示録 22:18-21 メン

18 わたし（ヨハネ）は、この書の預言の言葉を聞く者すべてに証言します。もし、だれでもこの預言の書に何か加えるなら、神は、この書に記されている災いをその人に加える。19 また、だれでもこの預言の書から何か取り除くなら、神は、この書に記されているいのちの木と聖なる都からの分け前を、その人から取り除く。20 これを証する者は言う。「まことに、わたしはすぐに来る。アーメン、主イエスよ、来てください。21 主イエスの恵みが、すべての人とともにありますように。

マタイ 23:23、ルカ 24:25-27、ヨハネ 5:39、ルカ 10:26、ガラテヤ 1:8-9、2 テモテ 3:15、使徒 4:12、ヨハネ 17:17、2 ペテロ 1:19、1 コ林ント 15:2、ヨハネの手紙二 1:8-11、マタイ 5:8、黙示録 22:18-20、ペトロの手紙二 1:19-21、マタイ 5:17-18、ガラテヤ 3:16、詩篇 119:18、ヨハネ 14:26、ルカ 24:44-49、エズラ 7:10、詩篇 119:172-176、ヨハネ 5:39、ヨハネ 6:38、ヨハネ 7:17、ヨハネ 9:31、ペトロの手紙一 2:1-10、ローマ 2:12、ペトロの手紙二 3:16、マルコ 7:6

3.1.3

福音の正しい教えは、救いを得るための不可欠かつ
真に有益な条件である。

私たちとすべての人の救いは、

- 福音の宣教と
- 正しい福音の宣教

にかかっている。福音の聞き手が福音を受け入れるかどうかは、
主に、しかしそれだけに限らず、

- 信頼でき、忠実なイエスの弟子たちによって福音が宣べ伝えられるかどうかに大きく依存します。

結局のところ、福音そのものが私たちの救いの真の鍵なのです。

唯一の真実で救いをもたらす福音については、別の章すでに説明し、議論しました。私たちには、自ら神の御言葉に従って生き、福音と神の御言葉を正しく教える教師たちが必要です。神は、御言葉と御言葉によるさまざまな働きを通して、その教会を大きく築き上げています。良き、正しい教えは、神の民にとって救いを決定づけるものであり、神の民を築き上げ、永遠の救いに対する信仰と確信を強めるものです。一方、誤った教えや誤った教師は、信仰、ひいては神の民を殺し、その結果、救いを失うことにつながります。

偽善者たち、つまり神の言葉について語るがそれを実行しない者たちの悪い手本は、非常に大きな影響力を持つため、最終的には人々が信仰から遠ざかり、それによって神の御名が冒涜され、最終的には人々が救いから遠ざかってしまうのです。

つまり、私たちは言葉だけでなく、自分の人生でも説教することになる。だから、自分の人生で神の御名を敬い、福音のメッセージを信頼できるものにし、それを確認する大きな責任があるんだ。

しかし、結局のところ、救いは（信仰によって）明らかにされた神の福音にあるのです。不純な動機から説教された真の福音でさえ、それを受け入れ、信じる者を救うのです。

2 テモテ 4:2 SIt

2 御言葉を宣べ伝え、時機があるにもないにも、それを主張しなさい。

1 テモテ 4:16 SIt

16 自分自身と教えに注意を払い、それを堅持しなさい。そうすれば、自分自身と、あなたの言うことを聞く者たちを救うことになる。

1 コリント 15:1-2 SIt

1 弟兄たち、私があなたがたに宣べ伝えた福音、あなたがたが受け入れた福音、あなたがたが堅く立っている福音、**2** あなたがたが、私が宣べ伝えた言葉に堅く立つならば、あなたがたはそれによって救われることを、私はあなたがたに思い出させます。

ガラテヤ 1:9 メン

9 以前にも言ったように、もう一度言います。「あなたがたが（私から）受けたものとは別の救いの福音を宣べ伝える者がいたら、その者はのろわれる」と。

2 テモテ 4:2-4; 1 テモテ 4:16; 1 コリント 15:1-2; ガラテヤ 1:9-12; フィリピ 1:14-18

3.1.4

信じる者は救われる：真の福音への信仰は、救いを得るために主要な条件である

正しい福音を信じることは、救いを得るために条件です。そして、信仰を堅持することは、最終的に永遠に入り、神が約束されたすべてのものを相続するための条件です。私たちが救われたいと思うなら、正しい福音を信じ、福音に従って生き、福音に信仰を持ち続けて、最後まで堅持する以外に道はありません。

マルコ 16:15-16

15 それから、イエスは彼らに言われた、「全世界に出て行き、すべての被造物に福音を宣べ伝えなさい。**16** 信じてバプテスマを受ける者は、救われる。しかし、信じない者は、罰せられる。

1 コリント 15:1-2 メン

1 さて、愛する兄弟たち、私は（当時）あなたがたに忠実に宣べ伝えた救いの福音を、あなたがたが受け入れたことを指摘します。あなたがたは、その福音を堅く守っているのです。**2** そして、私が忠実に宣べ伝えたその福音を、そのままの形で堅く守っ

ているならば、あなたがたは救いを得るのです。そうでなければ、あなたがたは無駄に信仰を持ったことになるでしょう。

ローマ 5:1-2 メン

1さて、私たちは信仰によって義と認められたので、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和を得ています。2私たちは、この信仰によって、現在の恵みの状態にアクセスすることができ、また、神の栄光に対する希望を誇りに思っています。

ヘブル 10:39 Slt

39しかし、私たちは、滅びへと臆病に退く者たちではなく、魂の救いへと信じる者たちです。

ヘブル 11:6、ヨハネ 8:24、マルコ 16:15-16、ローマ 5:1-2、2ペテロ 1:5-8、1コリント 15:2、ヘブル 6:11-12、ヘブル 10:39

3.1.5

真の回心による古い生活からの真の回心は、救いを得るための前提条件です。

真の信仰は、常に神への回心と伴います。私たちは、神の御心に反する古い生活を捨て、神とその御心に沿った新しい生活を始めます。この新しい生活は、私たちの神への回心が本物であることを証する明確な行動に表れます。

そのような深い回心なしには、救いをもたらす信仰はありません。真に救いをもたらす信仰は、常に人生の根本的な変化とともににあるのです。

ルカ 3:7-8 メン

7ヨハネは、バプテスマを受けるために彼のもとにやって来た群衆に、こう言った。「蛇の群れよ！誰が、迫り来る怒りの裁きから逃れようと思ったのか？8だから、悔い改めにふさわしい実を結べ。そして、「私たちはアブラハムを父とする者だ」などと言

ってはいけない。神は、この石からでもアブラハムの子孫を興すことができるのだ。

ルカ 13:3 メン

わたし [イエス] は言う。あなたがたが心を改めなければ、皆同じように滅びるだろう。

使徒 26:20 メン

[パウロ] [私は] まずダマスカスとエルサレムの住民たちに、次にユダヤ全土の人々に、そしてさらに異邦人たちに、悔い改め、神に立ち返り、悔い改めにふさわしい行いをすべきだと説いた。

ルカ 3:7-17、ルカ 13:3、マルコ 1:15、ルカ 15:10、使徒 17:30、使徒 26:20、使徒 11:18

3.1.6

イエス・キリストの血による贖いだけが救いをもたらす

イエス・キリストの犠牲による罪の赦しと救いなしには、誰も神のもとに行くことはできません。十字架上で私たちのために流されたイエスの血は、私たちを清め、聖別し、神の目には受け入れられる者してくれます。イエスの血によって、私たちは救い、義、そして救いを受けるのです。イエスを通してのみ、私たちは神に喜ばれる人生を送ることができます。そして、私たちが克服すべき困難に関係なく、いつか神の御前に立つことができるようになるのも、彼の血によってのみです。完全で汚れのない神の子羊、イエス・キリストの流された血によって、私たちの罪が神の前から消し去られる以外、今この世でも、永遠にも、救いはありません。

マタイ 26:28 Slt

[イエスが言う:] 28 これは、多くの人の罪を赦すために流される、新しい契約の私の血である。

ヨハネ 6:54

[イエスが言う:] しかし、わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠の命を持ち、わたしは終わりの日にその者をよみがえらせる。

使徒 20:28 メン

だから、聖靈があなたがたを監督として任命した群れ全体と、あなたがた自身に注意を払って、主がご自分の血で買い取られた教会を牧しなさい。

ローマ 5:9 メン

9 ですから、私たちは、彼の血によって義と認められた今、彼によって（神の）怒りからさらに確実に救われるのです。

ヘブル 9:14 メン

永遠の御靈によって、ご自身を神に捧げた、傷のないいけにえであるキリストの血は、なおさら、私たちの良心を死んだ行ないから清め、生ける神に仕える者とするでしょう。

1 ペテロ 1:18-19 メン

あなたがたは、先祖から受け継いだ虚しい生き方から、朽ちるもの、すなわち銀や金によってではなく、19 欠点のない、汚れのない子羊であるキリストの尊い血によって、贖われたことを知っている。

黙示録 7:9-14 メン

9 それから、私は幻を見た。それは、数えきれないほどの大群衆で、あらゆる民族、部族、国民、言語から集まった者たちであり、彼らは、白い衣を着て、ヤシの枝を手に持つて、御座と子羊の前に立っていた。10 彼らは大きな声で叫んだ、「救いは、玉座に座っている私たちの神と、子羊にある！」…14…すると、彼らは私に言った、「彼らは、大患難から出てきて、その衣を洗い、子羊の血で白くした者たちである。

黙示録 12:11 メン

彼らは、子羊の血と、自分たちの証しの言葉によって、彼らに打ち勝った。そして、死に至るまで、自分の命を愛しなかった。

マタイ 26:28、ヨハネ 6:54、使徒 20:28、ローマ 5:9、ヘブライ 9:14、1ペテロ 1:18-19、黙示録 7:9-14、黙示録 12:11

3.1.7

救われたい人は、イエスを王でありメシアとして受け入れ、これから忠実に従わなければなりません。

ヨハネは、イエスを犠牲の羊として自分の人生に迎え入れたいと思う者は、イエスを自分の人生の王として受け入れる必要があると明らかにしています。そして、王には臣民として従うものです。王は、その出生、血筋、存在によって、その民の王となります。王が民主的に選出されることは決してありません。王の国の住人になりたいと思う者は、王を認め、王に仕えなければなりません。そして、王への服従を拒否する自由は誰にもありません。王は命令権と無制限の決定権を持っています。そして、この王に従うこととは、どれほど容易なことでしょうか。、すべての王の王であるイエスは、その民に良いことだけを行い、その民のために良いことだけを望んでおられます。その民のために、ご自分の命を捧げられた方なのです。王イエスを高く称えましょう！

ルカ 1:33 メン

そして、彼（イエス）は、ヤコブの家の上に永遠に王として君臨し、その王権は終わりがない。

黙示録 1:5-6 メン

イエス・キリスト、忠実な証人、死者のうちで最初に生まれた方、地上の王たちの支配者！私たちを愛し、その血によって私たちの罪を贖い、私たちを王の民とし、その神、父のための祭司とした方に、栄光と力とが、永遠に属しますように！

黙示録 17:14 メン

14 彼らは子羊と戦うが、子羊は彼らを打ち負かす。子羊は、主の主、王の王であり、その戦友である、召された者、選ばれた者、忠実な者たちとともに戦うからである。

マタイによる福音書 18:23-27 メン

23 それゆえ、天国は、自分の僕たちに清算をしようとした王に例えることができる。

ヤコブ 2:8 メン

聖書にある「あなたの隣人をあなた自身のように愛しなさい」という、私たちの主の王の戒めに従うこととは、本当に良い行いです。

マタイ 2:2、ルカ 1:33、マタイ 22:2-7、ヤコブ 2:8-10、マタイ 18:23-27、黙示録 1:5-6、テモテへの手紙 1:17、黙示録 17:14

3.1.8

イエスを愛する（返す）者は救われる。イエスを愛することは、イエスを信じ、従うことである。

神がまず私たちを愛してくださったからこそ、私たちは愛することができます。イエスは十字架上で死に至るまで、私たちのためにご自身を捧げ、私たちの罪をすべて赦してくださいました。そこから、私たちの自然な反応、すなわち神の愛に愛をもつて応えるという反応が生まれます。イエスを愛する者は、イエスの戒めに従います。イエスを愛することは、イエスの御言葉に従って、イエスの御心を行うことを意味します。

永遠のいのちの冠は、イエスを愛する者たちに与えられます。神を愛することは、神に従順であることで表されます。永遠のいのちの賞は、神が許される試練の中で堅く立つ者たちに与えられます。これらの試練を忠実に乗り越える者は、心から神を愛していることを示しています。神を愛する者たちが、永遠に救われるのです。

ヨハネ 15:9 Slt

9 父がわたしを愛してくださるのと同じように、わたしもあなたがたを愛しています。わたしの愛にとどまりなさい。

1 ヨハネ 4:19 メン

私たちは…神を愛しています。神がまず私たちを愛してくださったからです。

ヨハネ 14:21 Slt

21 わたしの戒めを守って、それを行う者は、わたしを愛する者です。わたしを愛する者は、わたしの父にも愛され、わたしもその者を愛し、その者にわたし自身を現します。

ヤコブ 1:12 Slt

12 試練に耐える人は幸いである。試練に耐えた後、主が、ご自分を愛する者たちに約束されたいのちの冠を受けるからである。

ルカ 7:42、ヨハネ 14:15-21、ヤコブ 1:1-12、1 ヨハネ 4:19、ヨハネ 15:9-11、ルカ 7:42、ヨハネ 13:34

3.1.9

受けた恵みから生まれるいのちの実りは、真の実り
ある救いのしるしである

神の救いの恵みは、特定の目標を追求しています。救われた者たちは、もはや自分のためではなく、神のために、神の栄光のために生きるべきなのです。彼らは、神を畏れ、善行によって神を敬う実を結ぶべきなのです。恵みの力によって最後までそのように生きる者は、永遠の命を得るでしょう。しかし、神の恵みが実を結ばないところでは、救いは危険にさらされたままです。最後までその実を保たない者も、失われることになる。

神に目を向けることで、私たちは神から新しい命を受け、実を結ぶ能力を与えられました。そのため必要なものはすべて、私たちの中に備わっています。私たちのぶどうの木であるイエスと密接につながっているなら、その恵みと力によって、父を賛美する実を自然に結ぶことができるでしょう。それが恵みの意味であり、目的です。救われた者たちが実を結び、神を賛美することなのです。

神の慈しみと愛にもかかわらず実を結ばない者は、自分の救いを危険にさらしている。神は大きな忍耐を示し、信者たちが実を結ばない生活から立ち返り、悔い改めることを望んでおられる。神は私たちに悔い改める時間を与えてくださるが、永続的に実を結ばない生活は、受けた恵みを無駄にしたまま、つまり、何の変化も生じさせることなく終わってしまう危険性をはらんでいる。

洗礼者ヨハネとイエスは、神との真の心のつながりを欠き、外見上の規則だけに従う、実を結ばない信仰について強く警告しています。彼らは、宗教的エリートたちにもこの警告を投げかけています。使徒たちはこの警告を受け入れ、それを彼らの宣教の中心的な要素としています。

不毛は、たとえ状況が悪くとも、神からの永続的な分離と永遠の裁きにつながります。実を結ぶとは、世俗的な欲望や罪から離れ、正義と愛と善行をもって神のために生きること、そして最後まで忍耐強く生きることです。

四つの畠のたとえ話の中で、イエスは、実を結ぶ者だけが真に救われると説明しています。実によって、イエスの真の弟子たちがわかるのです。良い木は良い実を結ぶのです。良い実を結ばない者は、切り倒されて火に投げ込まれる。真の実は、悔い改め、善、真実、愛、義の行ない、聖化、そしてイエスへの告白という生き方によって現れる。

この実を最後まで持ち続ける者は、救われるでしょう。

ルカ 13:6-9 メン

「見よ、私は三年間、このいちじくの木に実を求めてきたが、見つからない。切り倒してしまえ。なぜ、その場所を占有しているのだ？」⁸すると、その人は言った。「主よ、今年だけはそのままにしておいてください。もう一度、その周りの土を掘り起こして、肥料を与えてみよう。⁹そうすれば、これから実を結ぶかも知れない。もしそうならなければ、それを切り倒してください。」

2 ペトロ 3:9 SIt

9 主は、ある人々が遅れていると思うような約束の実現を遅らせているのではなく、私たちに対して忍耐強く、だれも滅びることなく、すべての人が悔い改める機会を持つことを望んでおられるのです。

2 コリント 6:1 SIt

1 しかし、私たちは、神の恵みを無駄に受け取らないよう、協力者としてあなたがたに勧告します。

ヘブライ人への手紙 6:7-8

7 なぜなら、畑が、その上に何度も降る雨を吸收し、それを耕す者たちに有益な収穫をもたらすならば、それは神からの祝福を自分のものにするからです。8 しかし、それが茨やあざみを生むならば、それは役に立たず、火炎による滅亡という呪いを受けることになります。

テトス 2:11-13、マタイ 3:10、2コリント 6:1、1コリント 15:10、
ヘブライ 6:7-10、ルカ 13:6-9、2ペテロ 3:9、2ペテロ 1:3-9、ヨハネ 15:1-8

3.1.10

ただ、心からイエスに仕え、単に人々に喜ばれようと
とはしない者だけが、最終的には救われるのです。

すべての人にとって最高の戒めは、心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くして神を愛し、神に仕え、隣人を自分と同じように愛することである。その際、神が最優先である。神の栄光を第一の目的としない奉仕は、善意や動機にかかわらず、最終的には偶像崇拜となる。

アダムは、エバを神よりも愛し、エバの意志に神よりも従ったために罪を犯しました。この決断により、アダムとエバは楽園から追放されました。唯一の救いは、神を何よりも愛し、神だけに仕えることです。イエスご自身がこれを最高の戒めとして強調し、

それを弟子となる条件と結びつけています。この世のものよりもイエスに奉仕する者だけが救われるのです。

神に仕えることは、永遠の命への道です。しかし、私たちは、神のない、自分の意志に固執した生活から解放されて初めて、真に神に仕えることができるのです。私たちの救い主であるイエスを通してのみ、私たちは神の僕となることができるのです。私たちの主であるイエスは、私たちに、衰えることなく、最後まで忠実であり続ける、目覚めた、絶え間ない奉仕を期待しておられます。この奉仕は、主に献身と愛をもって生きるという競争のようなものです。外見上、主への奉仕のように見えるものが、すべて真の奉仕であるとは限りません。イエスへの真の奉仕は、主の恵みに満ちた心から生まれ、絶え間ない献身によって特徴づけられます。

私たちの奉仕には、永遠の命という大きな約束があります。しかし、この奉仕は、イエスが私たちに与えてくださった奉仕、すなわち、イエスがご自分の死によって私たちを贖い、神の子供としてくださったという奉仕に基づいています。イエスの奉仕によって、私たちは神との正しい関係に導かれ、イエスに守られ、イエスの恵みによって永遠の命へと導かれるのです。同時に、キリストの恵みによって可能になった、私たち自身のキリストへの忠実な奉仕が、私たちの救いに関する神の計画の一部であることに驚嘆すべきです。

永遠の命という戦いの賞は、自分の意志ではなく、主の意志を行う者に授けられます。キリストご自身が私たちのためにその道を示してくださったことを知ることは、なんと励みになることでしょう。

最大の苦難の中で、キリストは自分の意志ではなく、父の意志を遂行し、そのことで栄光と誉れを受けられました。同様に、私たちが心からキリストに仕えるならば、キリストは私たちを誉れ高き者とされ、その栄光の中に私たちを迎えてくださるのです。

マタイ 4:10 メン

10 すると、イエスは彼に答えられた、「サタン、退け。聖書に『あなたの神、主を拝み、主にのみ仕えなさい』と書いてある」。

ヘブライ 9:14 メン

14 それならば、永遠の御靈によって、ご自身を神にさきげた、傷のないいけにえであるキリストの血は、なおさら、私たちの良心を死んだ行ないから清め、生ける神に仕える者とするでしょう。

ルカ 12:37 メン

37 主が戻って来たときに、目を覚まして（すなわち、仕えていて）いる僕たちは、幸いである。まことに、あなたがたに言う。主は、自分の衣をたくし上げ、彼らを食卓に着かせ、彼らに仕えるであろう。

ヨハネ 12:26 メン

26 わたしに仕えたいと思う者は、わたしに従いなさい。わたしがいるところに、わたしに仕える者もいるでしょう。わたしに仕える者を、父は尊びます。

マタイ 4:10、マタイ 6:24、ヘブライ 9:14、エペソ 6:7、ルカ 12:37、使徒 20:24、ローマ 12:11、ローマ 16:18、コロサイ 3:22+24、コロサイ 2:18、ヨハネ 12:26 マタイ 20:26; マタイ 20:28; マタイ 22:37; 使徒 20:24; 2 テモテ 4:7-8; コロサイ 2:18; ルカ 22:42; ピリピ 2:5-11

3.1.11

弟子となるための条件は、実際には、一時的かつ永遠の救いの条件でもあります。

救いには2つの基本的な要素がある。イエス様は、弟子となる条件の中でそれを明らかにしている。

3. 正しい認識：イエスを主でありメシアであると認識し、受け入れること。

4. 実践的な継承：この認識は、眞の献身によって表れる人生へとつながります。つまり、

- 自分のニーズや望みを、イエスの意志よりも後回しにすること
- イエスのために進んで苦しみを受け入れる
- 必要な時には、イエスのために自分の命を捧げること
- そして、どんな困難があろうとも、イエスとそのメッセージに忠実であり続けること
- どのような困難が伴おうとも

イエスが栄光のうちに再臨し、私たちが彼の前に立つとき、この姿勢と生き方を貫いた者だけが、その試練に耐えることができるでしょう。

一方、自分の命を失おうとする者は、この誤った道を進んでいる。

- 自分の命をイエスに委ねるのではなく、自分の命を救おうとする。
- イエス様よりも、この世、あるいは自分の家族さえも愛している。
- イエスとそのメッセージに忠実ではありません。

そのような人は、イエスが、その栄光と、御父と聖なる天使たちの栄光とともに再び来られる時に、イエスに認められないでしょう。

マルコ8:34-38

34 それから、イエスは群衆と弟子たちを呼び寄せ、彼らにこう言われた。「わたしについてきたいと思う者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしについてきなさい。35 自分の命を救いたいと思う者は、それを失うが、わたしのため、また福音のために自分の命を失う者は、それを救うであろう。36 人は、たとえ全世界を勝ち取っても、自分の命を失ったら、何の得があるだろうか。37 人は、自分の命と引き換えに、何を与えることができるだろうか。38 この姦淫と罪深い世代の中で、わたしやわたしの言

葉を恥じる者は、人の子が、御父の栄光のうちに聖なる天使たちとともに来るとき、その者を恥じるであろう。」…

マタイによる福音書10:37

父や母をわたしよりも愛する者は、わたしにふさわしくない。また、息子や娘をわたしよりも愛する者は、わたしにふさわしくない。

ルカ9:18-23、ヨハネ16:27、マタイ10:37-39

3.1.12

イエスのためにすべてを捧げることが、唯一の救いの生き方である。それは、自分の能力に応じて、主に完全に献身することを意味する。

神の言葉は、今、イエスのためにすべてを与えるよう、前向きな励まし、印象的な訓戒、そして運命的な警告に満ちています。なぜなら、私たち人間の視点から見ると、私たちの召命と選は、搖るぎないほど確固としたものではありませんからです。その両方は、私たちの行動によって影響を受けるものです。神が私たちに求める期待と基準は、絶対的なものではなく、まったく個別のものです。私たちの個人的な「すべて」とは、私たち自身の能力に応じた「すべて」です。誰も、自分が持っている以上のものを捧げる必要はありません。しかし、不安定で不確かな永遠への道に進まないためには、自分の能力以上のものを捧げることを怠ることは許されません。

今、そして将来、イエスにすべてを与えることをしなければ、救いの約束は得られません。

しかし、今、イエスのためにすべてを与える者は、現在および将来における神との親密さと救いにとって、最良の基盤を自ら築くことになるのです。

誰もが、自分にとって「すべて」となるものを持ち、それ以上を与える必要はなく、また、つまずかないとために、それ以下を与えることを許されるものではありません。

2 ペトロ 1:5-11 メン

5 それゆえ、あなたがたは、信仰に熱意をもって、徳を、徳に知識を、6 知識に自制を、自制に忍耐を、忍耐に敬虔を、7 敬虔に兄弟愛を、兄弟愛に普遍的な愛を、それぞれ加えるべきである。8 これらの（特質）があなたがたにあり、絶えず増し加わるならば、それらは、私たちの主イエス・キリストの認識に関して、あなたがたを怠惰で実りのない者とはしないでしょう。9 しかし、これらの（特質）を欠いている者は、近視眼で盲目であり、かつての罪の清めを忘れてしまっています。10 ですから、愛する兄弟たちよ、あなたがたの召命と選びを確固たるものにするよう、一層熱心に努めなさい。そうすれば、決してつまずくことは決してないでしょう。11 そうすることで、あなたがたは、私たちの主であり救い主であるイエス・キリストの永遠の御国に入ることを許されるのです。

2 ペテロ 3:14 Slt

14 だから、愛する者たちよ、あなたがたはこれを待ち望むから、その前に、汚れがなく、非難されるところのない、平和な者となるよう、熱心に努めなさい。

1 コリント 9:25 Slt

25 競技に参加する者は皆、あらゆることを慎みます。彼らは朽ちる冠を得るためにですが、私たちは朽ちない冠を得るためにです。

ルカ 13:24、マタイ 13:44、2 ペテロ 3:14、1 コリント 9:25、ヘブライ 6:18、2 ペテロ 1:1-10、ルカ 12:48

3.1.13

(ただ)二本の足で歩く者だけが天国に到達する：
恵みへの献身、永遠の救いへの戒めの遵守

こうして、私たちは二本足で天国への道を進むのです。

1. イエス・キリストを通して神に 100% 献身する： 救いと恵みのために = 第 1 条から第 3 条までの戒めに従う
2. 隣人を自分と同じように愛すること： 恵みと救いを得るために = 第 4~10 の戒めを守る

2 番目を、1 番目をまず行わずに守っても、決して救われることはありません。単なる人道主義者は決して救われることはありません。

第 1 戒を遵守し、何よりも神を愛することが、あらゆる救いの基礎であり、神の国への入場券である。

イエス・ファーストなしでは、すべては無駄である。

しかし、1.を満たす者は、天国に入るためには 2.を放棄することはできない。私たちは、神を愛するように隣人を愛すべきであると命じられているだけでなく、それが神を愛していることの真偽の証明でもある。

私たちは二本の足でしか天国に行くことができないのです！二本の足で歩くとはどういう意味か？私は一本足では天国に行くことができないのです。

神が他の何よりも重要であることを認識し、自分が持っているすべてのものをイエスのために捨て、イエスに従う用意があるとき初めて、私は主に見合う弟子となり、救われるのです。そしてそれは、神の助けがあってこそ可能なことです。それは神の恵みによってのみ可能なのです。

そして、私が改心した後も、天国に入るための基本的な条件は、十戒を守ることです。イエス様は、山上の説教や福音書全体を通して、そう教えてています。

良い知らせは、私たちの基本的な姿勢が正しければ、イエス様は、裕福な青年とは対照的に、すべてを捨ててイエス様に従った弟子たちと同じように、私たちを何度も赦し、受け入れてくださるということです。

ルカ 10:27 メン

「心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神、主を愛せよ」そして「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ」。

マタイによる福音書 19:16-26 メン

17 「…命に入るためには、戒めを守りなさい」。18 「どれを？」と彼は尋ねた。イエスは答えた、「『殺してはならない、姦淫してはならない、盗んではならない、偽証してはならない、19 あなたの父と母を敬わなければならぬ』そして『あなたの隣人をあなた自身のように愛さなければならぬ』」。20 若い人は、「私は、これらすべてを守っています。まだ何か足りないことがありますか」と言った。21 イエスは、「完全になりたいなら、行って、あなたの所有物を売り払い、貧しい人たちに分け与えなさい。そうすれば、あなたは天に宝を持つことになる。それから、私についてきなさい」と答えた。

22 若い人はこの言葉を聞いて、悲しく立ち去った。彼は多くの財産を持っていたからである。23 イエスは弟子たちに言われた、「まことに、あなたがたに告げます。金持ちが天の国に入ることは難しいでしょう。24 もう一度、あなたがたに言います。「富める者が神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方がまだ容易い。」25 弟子たちはこれを聞いて、非常に驚いて、「それでは、誰が救われができるのでしょうか」と言った。26 イエスは彼らを見て、こう言われた。「人にとっては、これは不可能だが、神にとっては、すべてのことが可能である。

1 ヨハネ 4:19-21 メン

19 しかし、私たちは、神がまず私たちを愛してくださったから、愛するのです。20 「私は神を愛している」と言いながら、兄弟を憎む者は、偽り者です。なぜなら、目に見える兄弟を愛さない者が、目に見えない神を愛することは、絶対にできないからです。21 私たちは、神を愛する者は、兄弟も愛すべきであるという戒めを、神から受けました。

ルカ 10:27、マタイ 18:22、マタイ 19:16-26、1 ヨハネ 1:9、マタイ 5-7、1 ヨハネ 4:19-21

3.1.14

神の畏れの中に救いがあり、単なる敬虔さだけにあ
るのではない

神を畏れる者は（神を）恐れる必要はありません。

神を恐れない者は（神を）恐れるべきである。

神を畏れる者は、基本的に神の戒めを守る。

神を恐れない者は、神の言葉よりも自分の意志を優先する。

神を畏れる者は、罪を犯しても赦しを得る。

神を恐れない者は、永遠に赦しを得ることができない。

私たちは礼拝の中で、神の聖なる栄光を愛する。

私たちは罪を犯すと、神の聖さの恐ろしさを忘れてしまします。

神の聖さの恐ろしさは、救われていない人たちにだけ当てはまるものになってしまってゐるんだ。イエスと使徒たちは、キリストの弟子である私たちにも、神の聖さの恐ろしさを教えている。神の聖さの恐ろしさを忘れてしまうと、その弟子たちでさえ地獄で滅ぼされてしまうんだ。そうしたら、私たちは罪を犯して、救いを失ってしまう危険があるんだ。

そして、救われていない人々に対しても、神の聖さの恐ろしさを彼らから守る必要性をますます認識しなくなるのです。

結局のところ、私たちは、神様の（恐ろしい）聖さに対する意識をますます失っているのです。神様の聖さは、決して甘くはなく、救われていない者をすべて断固として罰し、救われた者も永遠に裁くでしょう。

ルカ 12:4

4 しかし、わたしの友であるあなたがたには、こう言います。…殺した後、地獄に投げ込む力を持つ者を恐れなさい。そう、あなたがたは、その者を恐れなさい。

ルカ 12:6-7

6 神は、一羽の雀も忘れない。7 あなたがたの頭の毛さえも、すべて数えられている。だから、恐れることはない。あなたがたは、多くの雀よりも価値があるのだ。

ローマ 11:20-21 Slt

20 まったくそのとおりです。彼らは不信仰のために切り捨てられたのです。しかし、あなたは信仰によって立っています。高慢になることなく、恐れてください。21 神が、生まれつきの枝さえも惜しまなかつたのですから、あなたをも惜しまないかもしれませんからです。

ヨハネ 6:20 Slt

しかし、イエスは彼らに言われた、「わたしだ、恐れることはない。

マタイ 28:3-4、ルカ 12:4-12、ローマ 11:20-22、ヘブライ 10:30-31、2コリント 5:11、黙示録 1:17、マタイ 10:1-5、使徒 5:1-11

3.1.15

この世から離れることが、救われるための条件です。この世よりも（天の）父を愛する者が救われるのです。

キリストの弟子たちはこの世に生かされているが、この世に属しているわけではない。イエスは弟子たちに、この世の価値観や生き方から意識的に距離を置き、神を中心とした別の生き方を送ることを求めている。この「別さ」こそが、真の弟子たちの際立った特徴である。

一方、この世に順応し、その基準を受け入れる者は、イエスに従う者ではなく、したがって救われることもできません。神は、御自分の子供たちに、この世の不敬虔な闇から積極的に背を向け、その不純から離れ、聖なる生活を送るように求められます。そうして初めて、私たちは、神が御自分の子供たちとして永遠に約束してくださった完全な約束を体験することができるのです。

世界への愛を克服するにはどうすればよいのか、そして、どのようにすれば、この世界よりも神をより深く愛することができるのか？それは、まず私たちを愛してくださった救い主イエス・キリストの愛と、死後、あるいは復活後に、永遠に私たち待っている栄光への生きた希望である。

イエス・キリストによってこの世を克服する、真に生まれ変わった信者は、永遠の命を受け継ぐでしょう。しかし、神の偉大な愛にもかかわらず、神を愛する代わりにこの世に心を留める者は、救いを失う危険にさらされます。

ガラテヤ 1:4-5 Slt

[イエス・キリスト] 4 私たちの罪のためにご自身を捧げ、私たちの神、父なる神の御心により、現在の邪悪な世から私たちを救い出してくださいました。5 栄光は、永遠から永遠に、その方にあります。アーメン。

フィリピ3:18-21 メン

8 なぜなら、多くの者が、キリストの十字架の敵として歩んでいるからです。私は、何度もあなたがたに言ったことがあります
が、今、涙ながらに繰り返します。19 彼らの終わりは滅びであり、彼らの神は腹であり、彼らの栄光は恥であり、彼らの思いは地上のことのみに向けられています。20 しかし、私たちの市民権は天にある。そこから、救い主である主イエス・キリストが、すべてのものを従える力によって、私たちの卑しい体を、その栄光の体に似た姿に変えてくださることを待ち望む。

1 ヨハネ5:4-5

4 なぜなら、神から生まれたものはすべて、この世を克服するからです。そして、この世を克服した勝利の力は、私たちの信仰です。5 イエスが神の子であると信じる者以外、誰がこの世を克服することができるでしょうか。

2 コリント6:16-18 + 2 コリント7:1 メン

16 神の宮と偶像とが、どうして相容れることができようか。私たちは、神が生ける神の宮である。神はこう言われた、「わたしは彼らの間に住み、彼らとともに歩む。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる」。17 それゆえ、「彼らの間から出て、彼らから離れよ」と主は命じられる。「不浄なものに触れてはならない。そうすれば、わたしはあなたたちを受け入れる」。18 「わたしはあなたたちの父となり、あなたたちはわたしの息子、娘となる」と、全能の主は言われる。7,1 愛する者たちよ、このような約束があるのでですから、私たちは、肉と靈のあらゆる汚れから自分を清め、神を畏れる心をもって、完全な聖さを私たちの中に築き上げましょう。

ガラテヤ1:4-5、ピリピ3:18-20、ガラテヤ1:4-5、1ヨハネ4:10、1ヨハネ5:4-5、2コリント6:16-18、2コリント7:1

3.1.16

義は死から救う：救いの義は、単に認められるだけでなく、神との正しい関係にあり、神の御心を行う生き方でもある。

キリストが恵みによって自由に義を認める者は、今、神の前で義となる。

しかし、正義の栄冠、すなわち天国での永遠の命は、この賜物である正義に従って、最後まで「義人」として義にかなった生き方をし、すなわち、義の行いをし、良い戦いを戦い、目標を達成し、信仰を損なうことなく保ち、イエスの目に見える再臨を待ち望む者たちにのみ与えられます。

神の前で救いをもたらし、天国に入る資格を与える真の義は、単に認められるだけでなく、神と正しい関係を保ち、神の御心を行う生き方でもあります。

ローマ5:1

私たちは、信仰によって義と認められたので、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和を得ています。

黙示録22:11 Slt

義人は、義を実践し続けなさい。

2 テモテ 2:22 メン

若者の欲望を避け、むしろ、義と信仰と愛と平和を追い求め、純粋な心で主を呼び求める者たちとともに歩みなさい。

黙示録19:6-9 Slt

6 そして、私は、大いなる群衆の声、多くの水の音、強い雷のような音のようなものを聞いた。それは、「ハレルヤ！全能の神、主が王として君臨された！」という声であった。7 私たちは喜び、喜び歌って、主に栄光を帰しよう。子羊の婚礼の日が来て、その妻も準備を整えた。8 彼女は、純白で輝く細布の衣を着ることを許された。この細布は、聖徒たちの義（文字通り「義の行な

い」)である。9 そして、彼は私に言った、「子羊の婚宴に招かれた者たちは、幸いである」と。そして、彼は私に言った、「これは、神の実りの言葉である」と。

マラキ 3:18、黙示録 22:11、ローマ 5:1、2 テモテ 2:22、2 テモテ 4:7-8、黙示録 19:6-9

3.1.17

天の婚礼の宴への招待に応じる者だけが救われる。

そして、彼と彼女が救いと義の衣をまとう場合にのみ救われる。

そう、私たちは天の婚礼のための救いの祝いの衣を無料で授かるのです。それは、子羊の血で私たちの衣を洗い、それを白くする、つまり、私たちが真に悔い改めることによってです。しかし、回心した後も、罪や狭い道からの逸脱によって衣服を汚したり、奪われたりしないよう、衣服を大切に保管しなければなりません。そうして勝利した者だけが、イエスとともに、永遠に輝く衣服をまとい、歩むことができるのです。

白い衣と私たちの義は、洗われた後に神のために行うこと、つまり、神のための義の行いや働きからも成り立っている。

ここでは、賜物と自分の行いが融合しています。私たちの義は主に賜物ですが、それは単なる賜物ではありません。それはまた、私たちの生活の中で、神が私たちの義の一部として見なされる実を結ぶのです。

つまり、私たちは両方が必要なのです。神が私たちの義を無償で与えてくださることで、私たちは初めて、神の子の婚礼の宴に参加する資格を得ることができます。しかし、神から与えられた義から私たちの生活の中で育まれる、信仰に基づく行いの実も必要なのです。

子羊の花嫁とは、救いの衣を無償で授かり、神の前で認められる行いをし、神がいつか天の花嫁に贈る純白の布に織り込むであろう聖徒たちのことです。

黙示録 22:14 メン

14 自分の衣を洗って、いのちの木への権利を得、門を通って都に入る者たちは、幸いである。

黙示録 19:6-9 Slt

子羊の花嫁は、輝かしく、清らかな、上質な麻布の衣を着ることを許された。その上質な麻布は、聖徒たちの正しい行ないである。

マタイ 22:11 メン

11 しかし、王が客たちを見回ると、そこに婚礼の服を着ていない男が一人いることに気づいた。12 王は彼に言った、「友よ、婚礼の服を着ていないのに、どうしてここに来ることができたのか」。その男は黙っていた。13 そこで王は、僕たちに言った。「この人の手と足を縛って、外の暗闇に投げ出せ。そこで、泣き叫んだり、歯ぎしりしたりすることだろう。」14 多くの人が呼ばれているが、選ばれた者は少ないのだ。

黙示録 3:4-6

4 しかし、サルデにも、その衣を汚していない者が数人いる。彼らは、その価値がある者たちとして、白い衣を着て、わたしとともに歩む。5 勝利を得る者は、白い衣を着せられる。わたしは、その名をいのちの書から消し去ることはなく、わたしの父とその御使たちの前で、その名を認める。6 耳のある者は、御靈が教会たちに言うことを聞くがよい。

黙示録 19:6-9、黙示録 3:5、黙示録 22:14、マタイ 22:11、黙示録 7:14、黙示録 16:15、イザヤ 61:10、ローマ 1:17、ローマ 3:22、ローマ 4:3; 1 コリント 1:30; ピリピ 3:9; ヨブ 29:14; マタイ 5:20; マタイ 6:1; ルカ 1:75; ローマ 6:13+16+18; 2 コリント 3:9; 2 コリント 9:10; エフェソ 5:9; ピリピ 1:11; 2 テモテ 2:22、テトス 3:5; エフェソ 2:10、ヘブル 6:1、ヤコブ 2:18-26、黙示録 7:14、黙示録 12:11

3.1.18

神の御言葉を聞き、それに従って行動する者だけが 救われる

神の御言葉を聞くたびに、責任が伴います。私たちは、救われるためには、この責任を真剣に受け止め、私たちの生活の中で実践しなければなりません。神の御言葉を忘れて、その御言葉に従って生きない者は、自分の救いを危険にさらすことになります。神の指示を心に留めて、愛と献身をもって最後までそれを実践する者が救われるのです。

ルカ 12:48 詩編

多くを与えた者には、多くを求める。
多くを任せられた者は、さらに多くを求められる。

黙示録 3:1-3

わたしはあなたの行いを知っている。あなたは生きていると評判だが、実は死んでいる。2目を覚まし、死にかけている者たち（教会員たち）を力づけてください。わたしは、あなたの行いが、わたしの神の前で完全であるとは認めなかった。3だから、あなたが（救いの知らせ、すなわち救い）を受け、聞いたことを思い出し、それを守り、心を改めなさい。しかし、あなたが目を覚まさないなら、わたしは泥棒のようにやって来て、あなたがいつわたしが来るか、決して知らないままになるだろう。

ヤコブ 1:22-25 メン

22 しかし、その言葉を実行する者であり、聞くだけの者ではないようにしなさい。さもなければ、あなたは自分自身を欺くことになる。23 なぜなら、その言葉を聞くだけで実行しない者は、鏡で自分の顔を見る人に似ている。24 鏡で自分の顔を見た後、立ち去ってすぐに、自分がどのように見えたかを忘れてしまう。25 しかし、完全な自由の律法を見、それを忘れっぽい聞き手ではなく、真の実行者としてその中に留まる者は、その行いで祝福されるであろう。

使徒 20:31-32 メン

31 だから、目を覚まし、私が三年間、昼も夜も、涙ながらに一人ひとり（あなた方）に勧めたことを覚えていてください。32 そして今、私はあなた方を、神と、聖なる者たちすべてに力を与え、御国の相続財産を授ける力を持つ、神の恵みの御言葉に委ねます。

ヘブライ 2:1-3 メン

1 それゆえ、私たちは、聞いたことをしっかりと守らなければなりません。そうしなければ、それを失ってしまうからです。 2 なぜなら、天使たちによって伝えられた言葉さえも、揺るぎないものであり、あらゆる違反や不従順は、当然の報いを受けたのですから。3 それなのに、このような偉大な救いを無視して、どうして（罰を）逃れることができるでしょうか。

ルカ 12:48、使徒 20:31-32、ヘブライ 2:1-3、ヤコブ 1:22-25、ペトロの手紙二 1:3-9、ヨハネの黙示録 2:4-5

3.1.19 神に従順で、神の御心を行う者は救われる

神の御心を知りながらそれを実行しない者は、滅びる。神の御心を口にするだけでは不十分であり、私たちの生活が良い実と行動によってそれを裏付けることが決定的に重要である。福音は、私たちは自分の行いではなく、神の恵みによってのみ救われると宣言している。しかし、救われた状態を維持するには、神の御心を行るために、自分の意志と生活を放棄しなければならない。それ以外のことを教える者は、偽預言者であり、誤った教えを説く者であり、羊の皮をかぶった狼である。

救われるためにはどの従順が必要なのでしょうか？重要なのは、イエスに従う者としての基本的な従順、つまり、ペテロのように過ちを犯しても、悔い改めてイエスに立ち返る人生です。イエスに固執し、過ちを犯すたびに従順に立ち返る者は、救われるのです。

重要なのは、イエスが私たちの悔い改めと回心を先延ばしにするのではなく、緊急の課題として捉えていることです。従順を遅らせることは危険です。そして、このような素晴らしい救い主を前に、誰が躊躇することができるでしょうか？ 私たちは、キリストに素早く立ち返り、キリストにしっかりと留まり続けましょう。

マタイ 7:24-29 メン

24 だから、わたしのこの言葉を聞いてそれを行う者は皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている。

マタイ 7:21 メン

「わたしに向かって『主よ、主よ』と言う者すべてが、天の国に入るわけではない。わたしの天の父の御心を行う者だけが、そこに入るのである。

ヘブライ 5:8-9 メン

8 そして、イエス様は、御子であるにもかかわらず、その苦しみを通して従順を学ばれました。9 そのようにして完成に達した後、イエス様は、御子に従順なすべての人々の永遠の救いの源となられました。

マタイ 7:24-29; マタイ 7:21; ヘブライ 5:8-9; マタイ 5:25; ルカ 12:58; エペソ 4:26; 使徒 5:32; ヘブライ 4:11; ヨハネ 21:15-17

3.1.20

塩の力を持って罪に抵抗する者は、最終的には救われる

イエスにとって、罪のある生活、つまり十戒を故意に、そして継続的に破ることは、永遠の救いとは相容れないものです。弟子たちとして、私たちは自分の中に「塩の力」を保つよう求められています。つまり、自分の罪を認識し、それを捨て、信仰の兄弟姉妹たちの幸福に気を配り、互いに平和を保つことです。そうすることで、私たちは救いの状態を保つことができるのです。

しかし、意識的に、悔い改めることなく、自分の人生に罪を許容する者、つまり塩の力を失った者は、外見上はキリストの追随者のように見えても、必然的に永遠に失われることになります。

しかし、良い知らせは、救われた状態を維持するために、私たちが完全で過ちのない人間である必要はまったくないということです。良き羊飼いは、迷子になった羊を見つけ、無事に家へ連れ帰るまで探し続けます。父親は、迷子になった息子が帰ってくるのを切に待ち望んでいます。そして、私たちが兄弟姉妹を70回×7回まで赦すべきであるように、天の父も、私たちが彼のもとへ立ち返るなら、何度でも私たちを赦してくださいとのことです。

マタイ 5:13

13 あなたがたは、地の塩である。しかし、塩が塩氣を失ったら、何によって塩氣を戻すことができるか。もはや何の役にも立たず、人々に踏みにじられて捨てられるだけである。

マルコ 9:42-50 メン

42 「（わたしを）信じるこれらの小さな者たちのうちのひとりでも、怒らせる者は、その首に石臼を掛けて海に投げ込むほうがましである。43 もし、あなたの手があなたを怒らせる（「悪に誘惑しようとする」）なら、それを切り落としてしまえ。両手を持って地獄の消えることのない火に入るよりも、不具となって生きるほうが、あなたにとってはましである。44 45 もしあなたの足があなたを怒らせる（「悪へと誘惑する」）ならば、それを切り落とせ。両足を持って地獄に投げ込まれるよりも、足の不自由な者として人生に入るほうが、あなたにとっては良い。46 47 もしあなたの目があなたを怒らせる（「悪へと誘惑する」）なら、それを引き抜こう。両目を持って地獄に投げ込まれるよりも、片目で神の国に入るほうが、あなたにとっては良い。48 そこでは、虫は死なず、火は消えることがない。49 なぜなら、すべての者は火で塩漬けにされる（すべての犠牲が塩で味付けされるように）からである。50 塩は良いものである。しかし、塩が味を失ったら、それでその味を取り戻すにはどうすればよいのか。あなたがたは、自分の中に塩を持ち、互いに平和を保ちなさい。」

ヤコブ 1:12 Slt

12 試練に耐える人は幸いである。試練に耐えた後、主が、ご自分を愛する者たちに約束されたいのちの冠を受けるからである。

マルコ 9:42-50、マタイ 5:13、ヤコブ 1:12、ルカ 15:7、マタイ 18:22、ルカ 15:20-24

3.1.21

イエスを通して、自分よりも神を愛し、隣人を自分と同じように愛する者は救われる

私たちの救いは、イエスという人物に結びついています。イエスを何よりも大切にする必要があります。それが、私たちの救いの最も重要な条件です。

そして、永遠の救いへの贖いの第二の条件は、他人を裁かず、少なくとも自分と同じくらい他人を大切にするということです。

それに対して、他の人よりも自分自身を愛する者は、広い門を通って、滅びへの広い道を進んでいるのです。

マルコ 12:28-31

「すべての戒めの中で、最も重要なものはどれですか」 29 イエスは答えられた、「最も重要なものは、『イスラエルよ、聞け。主は、私たちの神、唯一の主である。 30 あなたは、心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛さなければならない』である。第二はこれである。『あなたの隣人をあなた自身のように愛しなさい』である。これより大きな戒めはない。

ルカ 14:33 Slt

33 だから、自分の持っているものをすべて捨てない者は、わたしの弟子になることはできません。

マタイ 7:12-14 メン

12 あなたがたが人々に望むことを、あなたがたも同様に人々にし

なさい。それが、律法と預言者たちの教えの（成就）である。 -
13 狹い門から（神の国へ）入りなさい。滅びへの門は広く、その道は広くて、そこに入る者は多い。 14 しかし、命への門は狭く、その道は細くて、それを見つける者は少ない。

マタイ 7:1-2

1 裁かないでください。そうすれば、あなたがたも裁かれることがないでしょう。2 あなたがたが裁くその裁きで、あなたがたも裁かれるからです。あなたがたが測るその尺度で、あなたがたも測られるからです。

マルコ 12:31、マタイ 7:12-14、マタイ 7:1、ヤコブ 2:8-13、ヤコブ 4:10-12、マタイ 25:31-46、マタイ 18:21-35、マタイ 6:12、ヨハネ 13:34、ルカ 6:27-35

3.1.22

（ただ）赦された者、そして自ら赦す者だけが、神の救いを見る

神との関係の始まりは、赦しにある。神の前で自分の罪が赦されていない者は、救われておらず、また救われることもない。

信仰の兄弟姉妹やすべての人々に、心から、制限なく赦す者は、救われ、救われたままである。信仰の兄弟姉妹や他の人々に、制限なく、心から赦さず、その態度を改めない者は、神の怒りと、自分の罪に対する神の赦しのない裁きを受け、自分の罪を償うために（永遠の）牢獄に入れられる。

神は、私たちが起こったことを処理できる機会を与るために、他者を赦すための時間枠を十分に広く設定しています。そして、私たちの（永遠の）命は、その瞬間に赦すかどうかによって決まるなどを私たちが理解できるよう、その時間枠を狭く、つまり緊急性のあるものに設定しています。イエスと使徒たちは、自ら即座に、その瞬間に赦し、私たちに模範と基準を示しました。

マタイ 6:12 メン

12 私たちの罪を赦してください。私たちも、私たちに罪を犯した者を赦しました。

マタイによる福音書 18:20-34 メン

「悪い僕よ！あなたがそう願ったから、私はその負債をすべて免除したのだ。33 それなのに、あなたは、私があなたを憐れんだように、あなたの仲間の僕を憐れむべきではなかったのか？34 そして、主人は怒りに満ちて、彼が負債をすべて返済するまで、彼を拷問人に引き渡した。35 あなたがたも、それぞれ兄弟を心から赦さないなら、わたしの天の父も、あなたがたに同じようにするであろう。

1 コリント 4:12+13

12 私たちを侮辱しても、私たちは祝福し、迫害されても、辛抱強く黙って耐え、13 悪口を言われても、良い言葉で応える。

マタイ 6:12、マタイ 6:12、マタイ 18:20-34、マタイ 6:14-15、ルカ 23:34、1 コリント 4:12+13、エフェソ 4:20-32、マタイ 5:25+26、1 ヨハネ 3:15

3.1.23 信仰の兄弟姉妹を愛する者は、永遠の命を得る

信仰の兄弟姉妹への愛は、イエスによって最も重要な新しい戒めとして強調されています。兄弟姉妹を憎む者は、自分が決して真に回心したことがないか、あるいはかつて回心したことがあるとしても、神からの永遠の命を失っていることを示しているのです。真の弟子であることは、私たちがお互いに抱く愛に表れています。

殺人は、私たちの思考の中すでに始まっています。兄弟姉妹に対する怒りや軽蔑の態度も、神の目にはすでに裁きに値する行為です。思考上の殺人に等しい深刻な侮辱は、神の前で私たちを地獄の火の罪に問われることになります。

神は、兄弟姉妹との関係を明らかにするために、私たちに短い時間しか与えていません。この致命的な罪から立ち返るために、私たちにどれだけの時間があるか分からぬいため、神はその緊急性を明らかにしています。

ヨハネ 13:34 メン

34 わたしは、あなたがたに新しい戒めを与える。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うべきである。

1 ヨハネ 3:14 メン

14 私たちは、兄弟たちを愛しているから、死から命へと移ったことを知っています。兄弟を愛さない者は、死の中に留まっているのです。

マタイ 5:22 Slt

22 しかし、わたしはあなたがたに言う。兄弟に理由もなく怒る者は、裁きを受けることになる。兄弟に「バカ」と言う者は、最高議会に訴えられる。兄弟に「愚か者」と言う者は、地獄の火に投げ込まれる。

マタイ 5:23-26

23 だから、祭壇に供え物をささげようとして、そこで、兄弟があなたに対して何か恨みを持っていることを思い出したなら、24 その供え物を祭壇の前に置いたまま、まず行って、兄弟と和解しなさい。それから、行って、供え物をささげなさい。25 敵と和解するには、その敵が（裁判官の）道にまだいるうちに、遅滞なく和解する用意をしておきなさい。そうしないと、敵が裁判官に引き渡し、裁判官が廷吏に引き渡し、あなたは牢に入れられることになる。26 まことに、あなたが最後の1ペニーを支払うまで、そこから決して出られないだろう。

ヨハネ 13:34、ペトロの手紙一1:22、マタイ 5:22、ペトロの手紙一1:22、エフェソ 4:26、ルカ 12:58、マタイ 5:23-26

3.1.24

神の前で、自分自身と他の人たちに、傷つけられていない良心を保つ者は、救われる。

自分の良心に反して行動し続けることは、それをするキリストの追随者にとっても、その行動によって他の人を誘惑する者にとっても、靈的に致命的である。神の前で傷つけられていない良心を保つことは、私たちを救いに導いてくれるものであり、したがって決定的に重要である。私たちの良心は、神の御心に従って形作られるために、絶え間ない訓練と、神の御言葉による明確な指針を必要としている。

キリストの信者は皆、信仰生活の中で育まれる個別の良心の状態を持っています。そのため、私たちは外見や形式だけで互いを判断してはなりません。むしろ、キリストの愛は、無愛想な行動や配慮の欠如によって、兄弟姉妹たちを良心の葛藤に陥らせてはならないと私たちに求めています。他の人たちに良心に反する行動をとらせた人は、その人たちを靈的に破壊する可能性がある。それは恐ろしい、重大な過ちだ。

キリストの弟子としての通常の姿勢は、清く傷つけられていない良心をもって、絶えず神の前で生きることです。良心を傷つける永続的な逸脱は、神との関係を危険にさらし、ひいては救いをも危険にさらします。

キリストの愛は、私たちの信仰の兄弟姉妹たちを守り、私たち自身も救いの道に留まるよう促します。純粋な良心は生へと導きますが、傷ついた良心は靈的な死をもたらします。そのため、神の御心に従って生きるためにには、良心を形成し、神の御言葉によって強めることができます救いに不可欠です。そうすることで、私たちと兄弟姉妹たちは、神の保護と親密さの中に留まることができます。

1 テモテ 1:5 メン

5 しかし、救いの宣教の最終的な目標は、純粋な心、良心、偽りのない信仰から生まれる愛である。

1 テモテ 1:19 Slt

[良い戦いを戦いなさい] 19 信仰と良心を保ちなさい。これを捨てた者たちは、信仰において難破したのです。

ローマ 14:15+20 Slt

15 しかし、もしあなたの兄弟が食べ物のために悲しむなら、あなたはもはや愛に従って歩んでいるとは言えない。キリストが死なれたその人を、あなたの食べ物で滅ぼしてはならない。…

20 食べ物のために、神の働きを台無しにしてはならない。

ローマ 14:15-23、1 コリント 8:13、マタイ 18:6、マルコ 9:42、使徒 24:16、1 テモテ 1:5、1 テモテ 1:19、ヘブライ 13:18、ペトロの手紙一 3:16、ヨハネの手紙一 3:20+21、テモテへの手紙一 4:1-3、コリントの信徒への手紙一 3:17、テモテへの手紙二 3:16、ヨハネの手紙一 1:8-9、ヨハネの手紙一 3:21、コリントの信徒への手紙一 4:4

3.1.25

神の目から見て性的に清く生きる者は、天国に到達する

神の基準に従って性的に純粹に生きる者は、天国に入る。神の言葉は、淫行者、姦淫者、その他の性的罪に固執する者は、神の国を相続しないことをはっきりと明らかにしている。信者はこのことを誤解してはならない。

神の恵みは無限であり、自分の罪から立ち返り、もはやその罪の中で生きないすべての人に適用されます。個々の罪については、私たちはいつでも立ち返ることができ、イエスご自身が教えられたように、70×7回以上も赦してくださいます。この偉大で誠実な恵みは、私たちの確かな支えです。

しかし、この恵みを誤解してはなりません。イエスは、私たちの生活の中で、意識的に、そして継続的に罪を犯すことを容認されることはなく、それは特に性的罪に当てはまります。意識的に罪

を容認し、それと闘おうとしない者は、神の恵みの外に身を置くことになります。イエスの呼びかけは明確です。悔い改め、清らかさ、そして神を敬う生活です。

マタイ 5:27-30 詩編

[イエスが語られる] 27 あなたがたは、昔の人たちに「姦淫してはならない」と言われたことを聞いたことがある。28 しかし、わたしはあなたがたに言う。女性を欲情をもって見る者は、すでに心の中でその女性と姦淫を犯している。29 もし、あなたの右の目が（罪への）つまずきとなるなら、それを引き抜いて捨てなさい。あなたの体の一部が失われるほうが、全身が地獄に投げ込まれるよりもましである。30 また、もしあなたの右手があなたにとって罪の誘惑となるなら、それを切り落として投げ捨てなさい。あなたの体の一部が失われるほうが、全身が地獄に投げ込まれるよりもましである。

マタイによる福音書 19:4

4 しかし、イエスは答えて言われた、「創造主は初め、人を男と女として創造したと、あなたがたは読んだことがないのか。

1 コリント 6:9-10 Slt

9 不義な者は神の国を相続できないことを、あなたがたは知らないのか。間違えないでほしい。不品行な者、偶像礼拝者、姦淫者、男色者、10 盜人、貪欲な者、酒飲み、侮辱者、強盗は、神の国を相続することはできない。

黙示録 22:14-15

7 勝利を得る者は、これを（天にある新しいエルサレム）相続する。そして、わたしは彼の神となり、彼はわたしの子となる。8 しかし、…不潔な者…淫行を行う者…は、火と硫黄の燃える池に投げ込まれる。これが、第二の死である。

マタイ 5:27-30、1 コリント 6:9-10、ガラテヤ 5:19-22、黙示録 21:7-8、黙示録 22:14-15、2 ペトロ 2:20、マタイ 18:22、マタイ 19:4

3.1.26

お金との正しい付き合い方は、天国への道において重要な条件です。

イエス様は、私たちが神と金（「マモン」）の両方に仕えることはできないと明確に述べています。神だけに仕え、自分の所有物に対して神に喜ばれる態度を持つ者だけが救われるのです。しかし、自分の富に執着する者は、天国に入ることはできません。

キリストとともに良いスタートを切ったにもかかわらず、富の誘惑に負けた者は、靈的な実を失い、救いを危うくします。所有物への欲求に支配された人生は、神から遠ざかり、永遠の分離へと導きます。永遠の救いへの道は、神を何よりも、私たちの所有物よりも、常に最優先することを要求します。

富の危険から私を守るものは二つあります。

- お金ではなく、神に信頼を置くこと
- 自分の富を分かち合い、寛大に与えること

このように自分の財産を扱う者は、神の御心に従って生き、永遠の命を得るでしょう。

マタイ 6:24 Slt

あなたがたは、神と富とに仕えることはできない。

マルコによる福音書 10:23+25

23 富める者が神の国に入ることは、なんと難しいことか！ …5 富める者が神の国に入ることは、らくだが針の穴を通るよりも難しい。

マルコ 4:18-19 Slt

18 いばらの中に蒔かれた者は、御言葉を聞く者たちである。19 しかし、この世の心配や富の惑わし、その他の欲望が入り込み、御言葉を覆い隠して、実を結ばなくなる。

マタイ 6:24、マルコ 10:23-25、マルコ 4:18-19、マタイ 3:10、テモテへの手紙 I 6:17-19、ヤコブの手紙 5:3、マタイ 4:10、ヨハネの手紙 I 3:17、フィリピの信徒への手紙 4:11-13

3.1.27 模範的な指導者として奉仕する者は救われる

クリスチヤンの指導者は、支配を行使するのではなく、群れの手本となるべきである。彼らの最終的な救い、すなわち、朽ちることのない栄光の冠を得るかどうかは、彼らが忠実かつ謙虚に、誠実にその職務を遂行するかどうかにかかっている。

信仰の兄弟姉妹たちに献身的に奉仕する者だけが、永遠の命を得て、神から豊かな報いを受けるのです。

マルコ 10:44 *Slt*

44 あなたがたのうちで、一番になりたいと思う者は、すべての者の僕となりなさい。

1 ペトロ 5:2-4 メン

2 神があなたに託した群れを牧し、監督しなさい。それは、強制ではなく、神の御心に従って、喜んで進んで行うことであり、卑しい利欲のためではなく、献身をもって行うことであり、3 また、あなたに託された（教会）を支配者としてではなく、群れの模範として行うことであり、4 そうすれば、大牧者が現れるときに、朽ちることのない栄光の冠を受けることができる。

マタイによる福音書 24:45-51

45 では、主人が僕たちを管理するために、僕たちに食事を適時に与えるよう任命した、忠実で賢明な僕とは誰のことだろうか。46 主人が帰ってきて、その僕をそのように働いているのを見つけたら、その僕は幸いである。47 まことに、あなたがたに言う。主人はその僕を、自分のすべての財産を管理する者に任命するだろう。48 しかし、そのようなしもべが邪悪で、心の中で『主人はまだずっと来ない』と思っているなら、49 そして、仲間の僕たちを殴り始め、酒飲みたちと一緒に食べたり飲んだりし始めたら、50 そのような僕たちの主人は、彼らが予想もしない日、彼らが知ら

ない時にやって来て、51 彼らを斬り殺し、偽善者たちのいる場所に彼らを置くだろう。そこでは、大声で泣き叫んだり、歯ぎしりしたりすることだろう。」

マルコ 10:44、マタイ 24:45-51、ペトロの手紙一 5:1-5、ヨハネの手紙三 1:9-11、ルカ 12:42-45、マタイ 24:45-51

3.1.28 勤勉な者は救いを受け継ぐ

怠惰は靈的な死につながりますが、勤勉は豊かさ、そして命につながります。怠惰で空虚を無駄にするのではなく、神の愛と神への奉仕でその空虚を満たしてください。そうすることで、靈的な命を守り、永遠の命を得ることができます。

自由な時間と力を、キリストの栄光と他の人々の益のために使うことは、キリストに従うことを意味します。

イエスの弟子であり僕である者であっても、明らかな罪を犯していないなくても、怠惰によって失われる可能性があります。自分の人生を無為に過ごし、神から授かった賜物を神のために用いないだけで十分なのです。自分の才能を埋めて、神の御国のために用いない者は、失われるでしょう。

キリストによって、またキリストのために満たされない人生の空きスペースは、悪魔に簡単に占領されてしまいます。自分の賜物、時間、力を怠惰で自己中心的な生活のために使う者は、キリストではなく悪魔に従っていることを示しているのです。真の従順とは、自分の人生を積極的に神の奉仕に捧げることです。

マタイ 25:23、26 SIt

23 彼の主人は彼に言った、「よくやった、良い忠実な僕だ。あなたは、わずかなことに忠実であったから、多くのことを任せることもりだ。あなたの主人の喜びの中に入って行きなさい。…

26 それに対して、主人は言った、「悪い、怠惰な者よ！」…28
彼からそのタラントを取り上げ、…この役立たずの奴隸を暗闇に投げ出せ。そこで、大きな泣き声と歎きしぞりが始まるのだ。

エレミヤ 48:10 メン

主の御業を怠る者は、のろわれる。

箴言 12:24

24 勤勉な者は支配するであろうが、怠惰な者は強制労働を課せられるであろう。

マタイ 25:23-30、エレミヤ 48:10、箴言 12:24、テモテへの手紙一 5:13-15、ヘブライ 6:4-12; 2 テサロニケ 3:10-12; 使徒 9:36ff; エゼキエル 16:49-50; 申命記 8:10-20

3.1.29 最後まで善行を続ける者は、神の救いを受ける

神にとって重要なのは、私たちの現在の状態、つまり、死の瞬間に神とどのように歩んでいるかです。この状態によって、神が私たちを義人（）とみなすかどうかが決まります。その際、神は個々の行いよりも、私たちの基本的な状態をより重視されます。

真に救われた者の人生は、善を行なうことを絶えず追求することで特徴づけられます。それ以外には、真のイエスの弟子としての生き方とは言い難いでしょう。信者は、善を行なうことを学び、それを成長させ、習慣とする必要があります。しかし、彼らはまた、最後まで善を行なうことなく、警戒を怠らないことも必要です。善を行なうことを止めない者だけが、神のために実を結ぶのです。そして、実を結ぶ者だけが救われるのです。

神は誠実であり、たとえ私たちが弱さや挫折を経験したとしても、私たちの過去の善行を忘れません。しかし、基本的に善行に満ちた生活を最後まで忠実に続けた者だけが、永遠の命の約束の相続人となるのです。

回心する前、あるいは神から遠ざかっていた期間がどれほど長かったとしても、最後の息を引き取るその瞬間まで、汚れのない新たなスタートを切ることはいつでも可能です。この回心は新しい命を与え、永遠の救いへの道を開きます。

ローマ 2:6-8 メン

6 それぞれの行いに応じて報いる方、7 すなわち、善行に堅く立ち、栄光、誉れ、不朽を追い求める者たちには、永遠の命を与える、8 一方、頑なで真理に従わず、不義に仕える者たちには、怒りと憤りを与える。

マタイ 24:45-51 メン

45 では、主人が僕たちを管理するために、僕たちに食べ物を適時に与えるよう任せた、忠実で賢い僕とは誰のことだろうか。46 主人が帰ってきて、その僕をそのように働いているのを見つけたら、その僕は幸いである。47 まことに、あなたがたに言う。主人はその僕を、自分のすべての財産を管理する者に任命するだろう。

48 しかし、そのようなしもべが邪悪で、心の中で『』と『主人はまだ来ない』と思い、49 そして、仲間の僕たちを殴り始め、酒飲みたちと一緒に飲食し始めたら、50 そのような僕たちの主人は、彼らが予想もしない日、彼らが知らない時にやって来て、51 彼らを斬り殺し、偽善者たちのいる場所に彼らを置くだろう。そこでは、大声で泣き、歯ぎしりをするだろう。』

ルカ 15:32 メン

32 私たちは、喜んで喜び祝わなければならぬ。このあなたの兄弟は、死んでいたのに生き返り、失われていたのに見つかったのだから。

ローマ 2:6-8、マタイ 24:45-51、ルカ 15:32、エゼキエル 18:22-24、エゼキエル 33:13、ルカ 15:32、ルカ 8:14、マタイ 7:19、ヘブライ 6:10-12、黙示録 22:11、テモテへの手紙 I 6:17-20、ヨシュア記 24:20、ルカによる福音書 6:27-38、ガラテヤ人への手紙 6:9、ヨハネの第三の手紙 1:11、ペトロの手紙 I 2:12、ヘブライ人への手紙 10:24、黙示録 2:23-27

3.1.30 聖化と清めは天国への道である

心から聖なる生活を送ろうと努力し、自分の心を清め、清く保つ者だけが、いつの日か神に会うことができる。神との永遠の交わりには、聖さと心の清さが不可欠である。

暗く不敬虔な世界から積極的に背を向け、分離し、清らかな生活を送ることが、神の子供たちに求められている。そうすることで、永遠に神のもとで完全な約束を成就することができるのだ。

この世からの清めと分離において進歩が見られない者は、神の最大の約束の成就を見ることはできません。

自分の心を清め、清く保つ者だけが、永遠に神を見ることがあります。聖化と清さは、主との完全な交わりの鍵なのです。

1 テサロニケ4:3 メン

なぜなら、それが神の御心、すなわち、あなたがたが聖なる者となることだからです。

ヘブライ12:14 Slt

14 すべての人との平和と、聖化を追い求めなさい。それなしには、だれも主を見ることはできません。

1 ヨハネ1:8 メン

9 しかし、もし私たちが自分の罪を告白するならば、神は眞実で正しい方であるから、その罪を赦し、すべての不義から私たちをさよめてくださいます。

民数記19:20 Slt

しかし、もし誰かが汚れていて、その汚れを洗い流そうとしないなら、その者は会衆の中から断ち切られなければならない。その者は主の聖所を汚したからである。清めの水がその者に注がれなかったから、その者は汚れている。

1 ヨハネ3:2-3

2 私たちは、彼がどのようなお方であるかを、そのままで見

るでしょう。3 そして、この希望を彼に置く者は皆、彼が（また）清いように、自分自身を清めるのです。

マタイ 5:8 *Slt*

8 心の清い者は幸いである、彼らは神を見るであろう。

マタイ 5:8; 2 コリント 6:14-18 + 2 コリント 7:1; 1 テサロニケ 4:3;
ヘブライ 12:14; 1 ヨハネ 1:8; 4 モーセ 19:20; 1 ヨハネ 3:2-3

3.1.31 適切な節制と、古い性質、欲望、情欲との戦い

真の信者たちの重要な特徴は、この世と彼ら自身の中で争う欲望との戦いである。彼らは放蕩な生活を送るのではなく、決断力と節制をもって生きる。

神は、私たちを真空の状態に放置することはありません。神への畏敬の念、御靈による古い性質との戦い、善を行うこと、そしてイエスを待ち望むことは、私たちが置き去りにしたものに代わる、最善かつ最も充実したものです。そうすることで、私たちは神を敬う生活を送るために力を与えられます。

私たちの古い地上の性質（「肉」）との戦いは、天国への道のりのごく自然な一部です。私たちはもはや、神に嫌われる罪深いパターン、すなわち性的不道徳、恥知らず、邪悪な情熱、偶像崇拜である貪欲、そして私たちの肉的な性質から生じるその他の不純な事柄に、もはや生きてはいません。これらの事柄は神の怒りを招きます。

回心によって、私たちは基本的にこの生き方を捨てました。しかし、これらの古い欲望との戦いは続いており、私たちはそれらを「殺し」、完全に捨て去るよう求められています。この目標は継続的なプロセスです。この道において、私たちはまだ完全ではありません。これらの戦いに苦しみ、敗北も経験することは、救いが不十分であることの表れではなく、イエス・キリストに救われたすべての信者の日々の十字架の一部なのです。

健全な戒めと聖書の教えによってのみ、私たちは健全な信仰を保つことができます。この信仰は、古い不敬虔な生活を捨て、神の賛美と他者の幸福、そして世界への証しとしての良い行いを実らせるよう私たちを導きます。イエスへの真の信仰は、古い人間の欲望に従うことを常に思いとどまらせ、これらの誘惑に打ち勝つ力を与えてくれます。

その道程で失敗することもあるかもしれません、イエス様は忠実であり、私たちが自分の罪を告白し、イエス様に立ち返るならば、私たちを赦してくださいます（1ヨハネ 1:8-9）。重要なのは、私たちの大きな人生の道筋が、この世の欲望や情欲を意図的に否定することによって特徴づけられることです。この道に留まることによってのみ、私たちは最終的に、そして永遠に救われるのです。

ローマ 8:13 Slt

13 なぜなら、あなたがたが肉に従って生きるなら、死ぬことになるが、御靈によって肉の行いを殺すなら、生きるようになるからです。

ヤコブ 1:12-16

12 試練に耐え抜いた人は、幸いである。試練に耐えた後、その人は、愛する者たちに約束された、勝利の冠を受けるからである。

13 だれも、（悪）に誘惑されたときに、「私は神に誘惑されている」と言ってはならない。神は悪に誘惑されることなく、また、だれをも誘惑されることはない。14 いや、人は皆、自分の欲望に誘惑され、誘惑されて（悪に）誘惑されるのです。15 それから、欲望が宿ると、それは罪を生み、罪は、それが完成すると、死を生み出します。

1ヨハネ 5:4-5 メン

4 なぜなら、神から生まれたものはすべて、この世に打ち勝つからです。そして、この世に打ち勝った勝利の力は、私たちの信仰です。

5 イエスが神の子であると信じる者以外、誰がこの世に打ち勝つことができるでしょうか。

ローマ 8:13、ヤコブ 1:12-16、1 ヨハネ 6:4-5、1 ヨハネ 6:4-5、エペソ 2:3、ガラテヤ 5:24、ペトロの手紙二 1:3-5、マタイ 5:29、ローマ 8:13、ガラテヤ 6:7、ヨハネの手紙一 4:4、ペトロの手紙二 2:9、ヘブライ 2:17-18、ヨハネの手紙一 1:8-9

3.1.32

「キリストにあって」こそ救いがある—そして、私が「キリストにあって」いる限り、私は救いの中にあり、救いを持っている。

今の救いは、キリストの中にだけある。信者としての私たちの使命は、最期までキリストにとどまることだ。

キリストの外には、この世でも、来世でも、命は存在しません。現在および将来の救いと栄光は、キリストの中にのみあります。

キリストにとどまらないことには、2つの段階があります。

1. 段階的に： そうすれば、キリストの再臨の際に恥をかくことになるが、それでも救われる。
2. 基本的に： 救いがあるキリストに留まることを恒久的に放棄した場合、私たちは失われることになります。

私たちは、一時的にキリストにとどまらなかつたこと、神が私たちの生活に与えてくださったすべての機会を利用しなかつたこと、神のために生きるという人生の可能性を十分に生かしきらなかつたことで、恥をかくことになります。しかし、私たちの大きな人生の流れの中で、私たちはキリストにとどまり、救われるのです。

私たちの生き方全体が「キリストに」留まっていない場合。そうすれば、私たちは意識的にぶどうの木から切り離され、ぶどうの木が持つもの、ぶどうの木を構成するもの、そしてぶどうの木とのつながりによって私たちに与えられていたものは、もはや私たちのものではなくなります。なぜなら、私たちはキリストから切

り離され、キリストも御言葉に従って、もはや私たちの中に留まっているないからです。イエスというぶどうの木から切り離された枝は、捨てられて枯れてしまいます。そして、火の中に投げ込まれ、燃やされてしまうのです。

この人生において、すべて、まさにすべては、私たちが「キリストに」留まることにかかっているのです。

そして、私たちの救いを損なうことのない「軽微な」キリストに留まらないことと、私たちの救いを奪う「深刻な」キリストに留まらないことの境界線はどこにあるのでしょうか？

それは、主ご自身だけがご存じです。しかし、私たちにとっては、常に、いつでも、キリストの中にあり、キリストにとどまり、キリストに堅く立ち、キリストの中で神に守られるよう努めることが最善です。そうすれば、私たちは救いに関して安全な立場にあり、キリストの再臨の際に恥をかくこともありません。

2コリント 5:17 メン

17 したがって、キリストにある者は、新しい創造物である。古いものは過ぎ去り、見よ、新しいものが来た。

1ヨハネ 2:28 Slt

28 さて、子供たちよ、あなたがたは、彼が現れるときに、大胆に、彼の再臨の際に、彼の前に恥じるようなことがないように、彼にとどまりなさい。

ヨハネ 15:4-6 メン

4 わたしにとどまりなさい。わたしもあなたがたにとどまります。ぶどうの木に留まらなければ、ぶどうの木はそれ自体で実を結ぶことができないのと同じように、あなたがたもわたしにとどまらなければ、実を結ぶことはできません。5 わたしはぶどうの木、あなたがたは枝である。わたしにとどまり、わたしもその人にとどまる者は、豊かな実を結ぶ。わたしから離れては、あなたがたは何もできない。6 わたしにとどまらない者は、枝のように捨てられ、枯れてしまう。そして、集めて火に投げ込まれ、焼かれてしまう。

2コリント5:17、1ヨハネ2:28、ヨハネ15:4-6、使徒4:12、ヨハネ1:4、ヨハネ14:6、エペソ1:10、エペソ2:7

3.1.33 正しい姿勢による救い：謙遜と恵みが死から救う

最も献身的なクリスチャンでさえ、結局のところ、神に負っている義務を果たしているに過ぎません。そして、そのことを認めることができが、魂の救いなのです。それは、私たちの救いにおいて、行いの義を避けようということだけではありません。

それは、弟子として、私たちの「従順の成果」に基づいて、神に対する要求の意識を排除することでもあります。神は、最も献身的なクリスチャンでさえも、私たちに何の義務も負っていません。しかし、神は、謙虚に神に近づく者たちに、その恵みと愛を惜しみなく与え、約束を果たしてくださるのです。

マタイ18:23-28 メン

26 「どうか、私を忍耐強く待ってください。すべてお支払いいたしますから」 27 主はその僕を憐れみ、彼を解放し、その負債も免除してくださった。

ルカ17:10 メン

あなたがたは、命じられたことをすべて行ったなら、『私たちは、ただ自分の義務を果たしただけの、取るに足らない（貧しい）僕たちです』と言いなさい。

1コリント4:7 Slt

7 誰があなたを優遇しているのでしょうか。あなたが持っているものは、あなたが受け取っていないものはありません。それを受け取ったのなら、なぜ、受け取っていないかのように自慢するですか。

1コリント15:10 メン

10 しかし、神の恵みによって、私は今ある者となりました。神の恵みは、私に対して無駄にはなりませんでしたが、私は、彼らすべてよりもはるかに多くのことを成し遂げました。しかし、それは私ではなく、私とともにあった神の恵みによるものです。

ルカ 17:10、1 コリント 4:7、1 コリント 15:10、マタイ 18:23-28、
1 コリント 4:7、ローマ 11:5-6、1 コリント 4:2、1 コリント
15:10、マタイ 18:23-28

3.1.34

将来の世界にふさわしいと認められるような生き方
をしている者は救われる

福音は、イエスへの献身、信仰の忠実さ、そして神に尽くす善行によって、最後までその価値を証明しなければ、最終的に救われることのない、召命である。

信仰と善行を最後まで守り抜いた者は、来るべき世界にふさわしいと認められ、最終的に永遠の救いを得る。

私たち自身の祈り、そして私たちのために祈ってくれる他の人たちの祈りは、神の王国と永遠の救いを得るにふさわしい道を歩み続けるための強力な支えとなります。

マタイによる福音書 10:38

38 自分の十字架を背負って、わたしに従わない者は、わたしにふさわしくない。

ルカ 21:36 Slt

だから、いつも目を覚ましていて、これから起こるすべてのことを逃れ、人の子の前に立つことができるよう祈ってなさい。

黙示録 3:4+5 Slt

4 しかし、サルデには、その衣を汚していない者たちが少しいる。彼らは、ふさわしい者たちとして、白い衣を着て、わたしと歩むであろう。5 勝利を得る者は、白い衣を着せられる。わたしは、その名をいのちの書から消し去ったりはせず、わたしの父と御使たちの前で、その名を公に認める。

マタイ 10:38、ルカ 21:36、黙示録 3:4+5、ルカ 3:8、マタイ 22:8、
1 テサロニケ 2:4、2 テサロニケ 1:5、2 テサロニケ 1:11

3.1.35 留まる者は救われる

キリストは、その憐れみによって私たちを救ってくださる。それが私たちの救いの理由である。私たちの任務は、キリストにとどまり、キリストの喜ばれるように生きることであり、天国への道は、信仰と愛にとどまり、慎み深く献身的に聖なる生活を送ることにある。

神を愛し、神を敬うという実践は、現在および将来の人生に対する約束を内包しています。それは、イエスを敬い、福音にかなう生き方、つまり、つまり、留まるという継続的な姿勢です。死に至るまで、あるいはイエスの再臨まで、イエスとこの生き方を最後まで堅持する者は、永遠に救われるでしょう。

キリストの憐れみを信じることで、私たちは救われました。この信仰を堅持することで、私たちは救われるのです。神の言葉は、実践的な信仰、聖霊による祈り、そしてキリストの再臨における神の憐れみを絶えず待ち望むことによって、神の愛の中に留まるよう私たちに呼びかけているのです。

ヨハネ 8:31 メン

31 イエスは、彼を信じたユダヤ人たちにこう言われた、「あなたがたが、わたしの言葉にとどまるなら、あなたがたは、ほんとうにわたしの弟子である。

1 テモテ 2:14-15 メン

しかし、彼女たち（女性という性別）は、子供たちに命を与えることによって救われるでしょう。ただし、彼女たち（個々の女性）が、信仰と愛と、慎み深い聖さをもって歩み続けることが条件です。

1 テモテ 4:8 Slt

8 なぜなら、肉体の訓練は、少しの益があるだけですが、敬虔さは、今生と来世のために約束がある、あらゆることに益があるからです。

ヨハネ 8:31、テモテへの手紙 I 2:14-15、1 テモテ 4:8; ヨハネ 15:5-6; 1 ヨハネ 3:14-15; 1 テモテ 4:8; ガラテヤ 6:8-9; 1 コリント 15:2; ヨハネ 8:31; マタイ 10:22; ヘブライ 10:39; ユダ 1:20-21

3.1.36 堅く立つ者は天国に到達する

福音に固執し、いのちの言葉に固執し、イエスに固執し、イエスの目にかなう（あなたの）従順を固守しなさい。そうすれば、あなたは永遠のいのちを得るでしょう。

ヘブライ 3:14 Slt

14 なぜなら、私たちは、初めからの確信を最後まで堅く持ち続けるならば、キリストに与る者となるからです。

1 ヨハネ 2:24 Slt

24 あなたがたは、初めから聞いたことを、あなたがたのうちにとどめなさい。あなたがたが初めから聞いたことを、あなたがたのうちにとどめるならば、あなたがたも、御子と父とにとどまることができる。

ピリピ 2:16 Meng

16 あなたがたは、キリストの日に、わたしの栄光のために、いのちの言葉に堅く立ち続けてください。そうすれば、わたしは、無駄に走ったり、無駄に働いたりしたわけではないのです。

黙示録 2:25 メン

25 ただ、私が来るまで、あなたがたが持っているものをしっかりと保ちなさい。 26 そして、勝利し、私の業を最後まで堅く守る者には、異邦人を治める権威を与え、27 鉄の杖で彼らを治め、土の器を碎くように彼らを治める。 28 わたしも、わたしの父から（そのような権威を）受け継いだ。そして、わたしは彼に明けの明星を与える。

ヘブル 3:7-14、1 ヨハネ 2:24、ピリピ 2:16、ピリピ 2:16、黙示録 2:25、ヘブル 6:11-12、1 コリント 15:1-2

3.1.37 忍耐強い者は幸いである

主を待ち望む忍耐と、主に完全に焦点を当てた生き方は、主の再臨の際に主と最終的に、そして幸福に結ばれるための重要な資質である。

苦難の中で堅固であり、最後まで耐え忍び、忍耐強く神に固執すること—それが旧約における救いへの道であり、新約においてもそれは変わりません。

その過程で、私たちを支えているのは、キリストの思いやりと恵みです。キリストは、ヨブに憐れみ深く接したように、私たちを私たちの能力以上の試練にさらすことは決してありません。私たちが完全にキリストに固執すれば、キリストはあらゆる困難を乗り越え、永遠の救いへと導いてくださいます。

ヤコブ 5:7-11 メン

7だから、兄弟たちよ、主の到来まで、堅く立って待ち続けなさい。…11 見よ、私たちは、辛抱強く耐え抜いた人々を祝福する。ヨブの堅忍と、主が彼に与えた結末について、あなたがたは聞いたことがある。そこから、主は憐れみ深く、あわれみ深い方であることを悟るべきである。

ヘブライ 6:11-15 メン

11しかし、私たちは、あなたがた一人ひとりが、同じ熱意をもって、最後まで確信をもって希望を持ち続けることを心から願っています。12 そうすれば、あなたがたは鈍くなることなく、信仰と忍耐によって約束の救いを相続した者たちの模範に従うことができるでしょう。..15 このように、彼（アブラハム）は辛抱強く待ち続け、約束されたものを手に入れたのです。

ヘブライ 10:35-39 メン

35 だから、喜びにあふれた確信を捨ててはいけません。それは、大きな報いをもたらすからです。36 あなたがたは、神の御心が行われた後に、約束されたものを受け取るために、忍耐（辛抱）が必要なのです。37 「もうほんの少し、ほんの少しの間、来るべき方が来られる。その方は遅れることはない。

ヤコブ 5:7-11、ヘブライ 6:11-15、ヘブライ 10:35-39

3.1.38 信仰を守り、忍耐する者は救いを受ける

Hypomeno [ギリシャ語]: 忍耐し、耐え忍び、留まる

これは、永遠の救いを得るための、新しい契約における重要な概念であり、重要な概念です。

神の約束が成就するまで辛抱強く耐え忍ぶことが、その約束を得るために基本条件です。そしてこの場合、その約束とは永遠の命です。

信仰に忠実で堅固であり、最後まで忍耐する者は、永遠の救いを得る。

マタイによる福音書 24:13

13 しかし、最後まで耐え忍ぶ者は、救われる。

2 テモテ 2:12 Slt

12 もし私たちが堅く忍耐すれば、私たちは共治者となるでしょう。もし私たちが否定すれば、彼も私たちを否定するでしょう。

ルカ 21:19 Slt

19 あなたがたの魂を、忍耐によって勝ち取れ。

ルカ 8:15 詩篇

15 しかし、良い土地は、聞いた言葉を、良質で良い心の中に留めて、忍耐強く実を結ぶ者たちである。

マタイ 24:13、2 テモテ 2:12、ルカ 21:19、ルカ 8:15、マタイ 10:22、マルコ 13:13、ローマ 12:12、ヤコブ 5:11、ローマ 2:7、ヘブライ 10:36、黙示録 3:10、黙示録 13:10、黙示録 14:12

3.1.39

試練は、守ることによってやってくる。そして、試練に耐えた者は、神によって守られる。

私たちの信仰の目標は、永遠の救いです。私たちはすでに救われてはいますが、まだ最終的な救いには至っていません。最終的な救いへの道は、信仰の道です。それは試練の中で証明される信仰の道です。試練を乗り越える信仰は、真の信仰です。（ただ）試練を乗り越えたことで、私たちの信仰が本物であることが証明されるのです。真の信仰は、神の目には金よりも貴重なのです。私たちの最終的な救いへの道は、たとえまだイエスを見ることができないとしても、イエスへの愛と、イエスとイエスが私たちのために用意してくださった希望に対する、言葉では言い表せないほどの喜びに満ちた歓喜に彩られた信仰の道でもあります。信仰とイエスへの愛は密接に関連しており、それらは一つです。そして、真の信仰は、言葉では言い表せないほどの喜びに満ちた歓喜を知っています。

証明の前に、保存があります。

守ることは、試練に耐えることと同じです。

神は、試練に耐えた者を守ってくださいます。

自信に満ちた待ちは守ります。

神の言葉を保つことは、保つことです。

人生の実践において神の言葉を守る者を、神は守ってくださる。

証明された信仰は永遠を継承する。

ヨハネ 8:51 メン

まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしの言葉を守る者は、永遠に死を見ることはありません。

ローマ 5:3-5 メン

3 それだけでなく、私たちは苦難の中でもそれを誇りに思う。苦

難は忍耐を、4 忍耐は試練を、試練は希望をもたらすことを知っているからだ。5 そして、その希望は失望に終わらない。なぜなら、私たちに与えられた聖靈によって、神の愛が私たちの心に注がれているからだ。

ヤコブ 1:12 Slt

12 試練に耐える人は幸いである。試練に耐えた後、主が、ご自分を愛する者たちに約束されたいのちの冠を受けるからである。

黙示録 3:10

あなたが、わたしを待ち望むことを堅く守ったから、わたしも、全世界に臨む試練の時が来る前に、あなたを守ろう。

ヨハネ 8:51、ローマ 5:3-5、ヤコブ 1:12、黙示録 3:10、ルカ 11:28、ヨハネ 8:51、テモテへの手紙 I 3:9、ヨハネ 17:15、テサロニケの信徒への手紙 II 3:3、ローマ 5:3-5、2 コリント 13:5、1 テモテ 6:14、1 テモテ 6:20、2 テモテ 1:12、2 テモテ 1:14、2 テモテ 4:7、ヤコブ 1:3、ヤコブ 1:12、1 ペテロ 1:5、ユダ 1:21、ユダ 1:24、黙示録 1:3、黙示録 3:10、黙示録 14:12、黙示録 16:15、黙示録 22:7、黙示録 22:9、ペトロの手紙一 1:6-9、ヤコブの手紙 1:12

3.1.40

警戒を怠らず、最大の苦難の中で一瞬の従順が救いをもたらす

信仰における警戒は、最終的に救われる者たちの重要な特徴である。警戒がなければ、イエス様でさえその道を勝利のうちに終えることはできなかっただろう。

警戒心、神との生活にそぐわないものすべてからの分離、そしてキリストの生活を内面化することは、キリストを真に信じる者たちの課題です。パウロは、このプロセス全体を「眠りから目覚める」と表現しています。それは、キリストが再臨するときに、失われ、神から遠く離れた世界が眠っている眠りから目覚めることです。

目覚めることは、光の中で生きること、闇の行いを捨て去ること、光の武器を身に着けること、イエスを身に着けること、そして欲望から身を守ることと関連しています。

目覚めることは、絶え間ない祈り、基本的に自分自身と他の人たちのために、その内容は、誘惑に打ち勝ち、神に忠実であり続けること、神から学んだことを注意深く見守り、実行すること、信仰をもって正しい教えを忠実に守ること、信仰の勇気と、初めからずっと続く天とキリストとの結びつき、そして、この世の邪惡な熱狂から解放され、天の真実を固く守ること、信仰と愛の鎧、そして、xml-ph-0000@deepl.internal の兜を身につけて、この世の邪惡な熱狂から解放され、天の真実を固く守ること、信仰と愛の鎧、そして、xml-ph-0000@deepl.internal の兜を身につけて、この世の邪惡な熱狂から解放され、天の真実を固く守ること、信仰と愛の鎧、そして、xml-ph-0000@deepl.internal の兜を身につけて、この世の邪惡な熱狂から解放され [= この世の不敬虔な熱狂から解放され、現実の天の真理に固執すること]、信仰と愛の鎧、そして救いへの希望というな兜、神と信仰の兄弟姉妹たちに対する謙虚さと服従、私たちの必要を神に信頼することによる心配のないこと、悪魔の攻撃の試みに対する注意、私たちが受け取ったもの、聞いたものを固く守り、神に対して完全な行いで生きることを意味します。

目覚めていることの反対は眠っていることです。そして、眠っていることは（最終的な）死を意味します。眠っているとはどういうことでしょうか？それは、祈りを失い、裸になり、天国に入ることを可能にする救いの衣をもはや着ていないことを意味します。救いの衣とは、聖徒たちの正しい行いです（黙示録 19:8、黙示録 3:5、黙示録 3:18）を意味します。眠ることは、神の現実を認識せず、それに従わないことを意味します。眠ることは、饗宴や酒宴、淫行や放蕩、争いや嫉妬といった闇の行いをすることです。神の目に耐えられない行いをすることは、靈的には死んでいることです。そして、イエスにとって、眠ることと死ぬことは、ほとんど同じことです。

マタイ 25:10-12 メン

10 彼女たちが油を買いに行っている間に、花婿が到着し、準備の整った乙女たちは彼とともに婚礼の宴場に入り、扉は閉ざされた。11 その後、残りの乙女たちもやって来て、「主よ、主よ、私たちを開けてください」と叫んだ。12 しかし、彼は彼らに答えて言った、「まことに、あなたがたに告げます。私はあなたがたを知りません」。13 だから、目を覚ましていてください。その日、その時は、あなたがたにはわからないからです。

ローマ 13:11-14 メン

11 すなわち、（このように行動しなさい）現在の時代を正しく認識し、すなわち、今こそ、私たちが眠りから目覚める時が来たことを認識しなさい。なぜなら、今、私たちが信仰を持った時よりも、救いが近づいているからです。12 夜は過ぎ去り、日は近づいています。だから、闇の行いを捨てて、光の武器を身につけよう。13 昼のように、慎み深く歩みましょう。酒宴や酩酊、淫行や好色、争いや嫉妬などではなく、14 むしろ、主イエス・キリストを身に着け、惡の欲望を刺激するような、肉への奉仕をしてはいけません。

1 テモテ 4:16 Slt

6 自分自身と教えに注意を払い、それを堅持しなさい。そうすれば、自分自身と、あなたの言うことを聞く者たちを救うことになるでしょう。

マタイ 25:10-13、ローマ 13:11-14、テモテへの手紙一 4:16、マタイ 24:37-51、ヨハネの黙示録 16:15、ヨハネの黙示録 19:8、テサロニケの信徒への手紙一 5:6、マタイ 26:41、ルカ 21:36、エフェソ 6:18; 使徒 20:31; エフェソ 5:14; 1 テサロニケ 5:10; 默示録 3:2; ヨハネ 11:13

3.1.41

目を覚まし、祈ることは、私たちの永遠の救いの鍵です。

警戒して祈ることは、救いにとって決定的に重要です。この世のように滅びないための最善の予防策は、祈りの中で警戒を怠らないことです。

- 絶え間ない祈り
- 感謝の祈り
- 悪から守られるための祈り
- 他の人々を救うために福音を宣べ伝える大胆さを求める祈り

私を救い、私たちを救い、他の人々を救ってください。

マルコ 14:38 メン

38 誘惑に陥らないように、目を覚まして祈ってなさい。靈は熱意にあふれているが、肉体は弱い。

ルカ 21:36 メン

36 だから、いつも目を覚まして、祈って、これから起こるすべてのことを逃れ、人の子の前に立つ力を受けるようにしなさい。

コロサイ 4:2-4 メン

2 祈りを続け、感謝をもって目を覚ましなさい。3 また、私たちが御言葉を宣べ伝える機会を神が与えてくださるよう、私たちのために祈ってください。

マルコ 14:38、ルカ 21:36、コロサイ 4:2-4、マタイ 6:13、エペソ 6:17-19、コロサイ 4:2-4

3.1.42

偽りのキリストや偽りの福音に惑わされない者は救われる

偽りの地上のイエスに惑わされることなく、偽りの福音に汚染されることなく、イエスに忠実に従う者は、最終的な救いと、いのちの冠を授かる栄冠を得る。

キリストは私たちの罪のために死なれ、（私たちの義認のために）死からよみがえられた。そして、キリストはすべての人の前に、一度に目に見える形で再び来られる。これが救いのメッセージ、福音である。この救いのメッセージから少しでも逸脱すれば、救いから除外される。私たちを救うこの福音を、私たちは生涯、偽りなく堅持しなければならない。私たちは、その終わりまで、この福音から決して逸脱してはなりません。

真の福音から、そして、再臨の際に天全体を稲妻のように照らす真のイエスから、私たちを遠ざける誘惑は、永遠の命を奪う者たちのトップリストの中で、最大の敵の1位にランクされています。

印象的な演説や諂いによって、分裂をもたらす誤った教えに惑わされ、永遠の損害を被ることのない者は、幸いである。

偽りの使徒たちや、光る天使に偽装した偽りの福音を持つ羊の皮をかぶった狼たちは、サタンと同じように、エバを誘惑して破壊したように、教会を破壊しようとしています。そして彼らは、キリストに対する純真さから教会を遠ざけ、本来キリストに捧げるべき忠誠を自分たちに要求することで、それを実現しようとしています。

しかし、最終的には、形式的な信者ではなく、誘惑の力によって全人類が直面する誘惑に打ち勝った者だけが、永遠の遺産を手に入れることになる。

誤った教えを説く者、つまり誘惑者は、彼らの言うことを聞く者たちの信仰を破壊する可能性がある。そして、信仰が破壊されて

しまえば、誰も救われることはできず、救われたままでいることもできない。しかし、私たちは、正しい福音を通して、最後まで、健全かつ正しく、私たちの主イエスを信じ続けることによって、救われ、救われたままでいることができる。

1 コリント 15:1-2 Slt

1 弟兄たち、私があなたがたに宣べ伝えた福音、あなたがたが受け入れた福音、あなたがたが堅く立っている福音、2 あなたがたが、私が宣べ伝えた言葉に堅く立つならば、あなたがたはそれによって救われることを、私はあなたがたに思い出させます。あなたがたが無駄に信じたのでなければ。

ガラテヤ 1:9 Slt

9 以前にも言ったように、もう一度言います。あなたがたが受けた福音以外のものを、だれかがあなたがたに宣べ伝えるならば、その者はのろわれるべきです。

マルコ 13:5-20 メン

5 そこで、イエスは彼らにこう言われた。「だれも、あなたがたを惑わさないように気をつけなさい。6 多くの者が、わたしの名によってやって来て、『わたしがそれだ』と言って、多くの人々を惑わすでしょう。[πλανάω - planao]。…20 主がこれらの日を短縮されなかつたら、肉（人間）は救われることはなかつただろう。しかし、主が選ばれた者たちのために、主はこれらの日を短縮された。

1 コリント 15:1-4、ガラテヤ 1:9、マルコ 13:5-20、マタイ 7:15、使徒 20:29、2 コリント 11:13-15、2 テモテ 4:14、ローマ 16:17-19、ローマ 16:18、2 コリント 11:3-15、マタイ 7:15、使徒 20:29、マルコ 13:5-20、マタイ 18:11-14、黙示録 3:7-13、ヘブライ 10:39、ヘブライ 11:6

3.1.43 最後までイエスに留まる者は救われる

私たちの救いの前提条件と条件は、目標に到達するまで、永遠の栄光の希望を確信と誇りをもって持ち続けることです。

イエス様のもとでは、天の御国への最終的な救いは決して自動的に与えられるものではない。永遠の救いを望むなら、私たちは常にイエス様と福音に固執しなければならない。

新しい契約では、キリストの弟子となるための重要な条件として、目に見えない靈的な故郷を、地上の故郷よりも重要視することが挙げられます（マタイ 6:19-34）。そして、そのように生きる者は、最後まで希望を堅持し、永遠の救いを受けるのです。

イエスへの信仰のために苦難、苦労、欠乏、痛み、苦しみ、死に耐えることは、この世の後にも何か（ローマ 8:35-39、1コリント 15:12-34）があり、それのために神に従う価値がある場合にのみ意味があります。そして、旧約の信仰の英雄たちは、そのような信仰を持ち、最後までそれを実践しました。彼らは死ぬまで神から離れることはなく、神との信仰の道における私たちの絶え間ない模範となっています（ヘブライ 11）。そして、彼らと一つになって、私たちは神との素晴らしい永遠を分かち合うことになるのです（40 節）。

ヘブライ 3:6 メン

6 しかし、キリストは「御子」として「ご自分の家」の「主」であり、その家は私たちです。ただし、私たちが誇りに思う喜びに満ちた確信と希望を、最後まで揺るぎなく持ち続けることが条件です。

マルコ 13:13 メン

13 あなたがたは、わたしの名のために、すべての人から憎まれる。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は、救われる。

ヤコブ 5:11 Slt

11 見よ、私たちは、堅く忍耐する者を幸いな者だと称賛する。ヨブが堅く忍耐したこと、そして主が（彼のために）用意された結

末を、あなたがたは聞いたことがある。主は憐れみと慈しみにあふれているからだ。

ヘブル 3:6; マルコ 13:13; ヤコブ 5:11; マルコ 13:13; ヤコブ 5:11; 1コリント 15:1-58; ヘブル 11:7; ヘブル 11:13-16; ヘブル 11:27-40

3.1.44

死に至るまで、たとえ殉教であっても、イエスに忠実であり続ける者は、救われる。

神の御言葉に固執し、イエスに忠実な証人として殉教して死ぬ者は、永遠に救われる。

しかし、自分の命を救うために人前でイエスを否定する者は、イエスも永遠に御父の前でその者を否定し、その者は滅びてしまう。

黙示録 12:11 メン

11 彼らは、子羊の血と、自分たちの証しの言葉によって、彼らに打ち勝った。彼らは、死ぬまで自分の命を愛しなかった。

使徒 7:55-56 メン

55 しかし、聖霊に満たされた彼は、天をまっすぐに見上げ、神の栄光と、神の右に立つイエスを見ました。56 そして、「天が開き、人の子が神の右に立つのを見る」と叫びました。

マタイ 10:33 メン

33 しかし、人前でわたしを否定する者は、わたしも天の父の前でその者を否定する。

黙示録 2:10-11 メン

10 死に至るまで忠実であり続けなさい。そうすれば、わたしはあなたに（勝利の）いのちの冠を与える。11 耳のある者は、御霊が教会たちに言うことを聞くがよい。勝利する者は、第二の死によつて害を受けることはない。

黙示録 12:11、使徒行伝 7:55-56、マタイ 10:33、黙示録 2:10-11、
黙示録 6:9-11、黙示録 20:4-6、マタイ 10:28-33、マタイ 16:25

3.1.45

獣とその像、その名の数字に打ち勝った者たちは、
無傷で天国にたどり着く。

しかし、イエスによる救いは、私たちに正しい行動をとる力を与えてくれます。そして、それは私たちに正しい行動をとることを要求します。誤った行動は、自分の救いにとって破滅的なものとなるからです。なぜなら

9 だれでも…獣とその像を礼拝する者は… 10 神の燃えるぶどう酒を飲むことになる。…そして、聖なる天使たちと子羊の前で、火と硫黄で苦しめられる。 11 そして、彼らの苦しみは、永遠に、永遠に続く。獣とその像を礼拝する者、その名の印を受ける者は、昼も夜も安らぎを得ることがない。（黙示録 14:9-11 Slt）。

誰であれ。この警告には例外はありません。イエス・キリストの信者であっても例外ではありません。

回心し、新たに生まれ変わった後、自動的に永遠の救いを得るわけではないことは、これ以上ないほど明らかです。私たちの救いは、最後まで従い続けるかどうかにかかっているのです。

良い知らせは、神はキリストの信者である私たちを滅びに定めたのではなく、イエス・キリストによって救いを得て永遠の命を得るようにと定めたことです（1 テサロニケ 5:9）。私たちはこれを絶対に確信し、神の励ましと神の御靈によって、神に忠実であり続ける力を与えられなければなりません。

確かに、誰も、最後までイエスに忠実であり続けることを、あらかじめ保証することはできません。自分の力だけを頼りになると、主を否定したペテロのような結果になるかもしれません。しかし、私たちの希望は、自分自身への信頼ではなく、私たちの主

であるイエスへの信仰と信頼にあるのです。私たちは、日々、一瞬一瞬、イエスを見上げ、イエスにすべてを期待し、自分自身には何も期待しないという信仰を、今からすでに実践し、育む必要があるのです。イエスと父は私たちのためにいて、聖霊は私たちのうちに戦ってくださっている、今この瞬間にも。今、誰が私たちに敵対できるだろう？栄光は彼にある。彼は、私が今必要としているものを今、私に与えてくださる。そして、今この瞬間を私たちに乗り越えさせ、彼に忠実であり続ける力を与えてくださる。神は善であり、善意であり、私たちに託された信仰という財産を、最後まで守ってくださる力をお持ちです。私たちはそれを知り、それを信頼してよいのです。そして、神の恵みによって勝利を収めれば、最終的にはそれを体験することになるでしょう。

獸に打ち勝つ者たちには、3つの特徴があります。

- 彼らは神に属している。
キリストの血によってのみ贖われ、神に属している。世界の創造の時から、命の書に記載されている。
- 彼らは神の戒めに従う
真に贖われた者たちは、神の言うことに従います。
- 彼らはイエスを信頼している
イエスへの（信仰によってのみ）彼らはそのように生き、克服することができるのです。

黙示録 14:9-13 メン

9 さらに別の、三番目の天使が彼らに続いて、大きな声で叫んだ。「もし、だれでも、獸とその像を礼拝し、その額や手にその印を受けるなら、10 その者は、神の怒りのぶどう酒を、その怒りの杯に混ぜ合わせることなく、そのまま飲むことになる。そして、聖なる御使いたちと小羊の目の前で、火と硫黄で苦しめられる。11 そして、その苦しみによる煙は、永遠に上って行き、12 獣とその像を礼拝し、その名の印を自分の体に刻んだ者たちは、昼も夜も、安らぎを得ることがない。13 すると、天から声が聞こえ、こう言った。「書き記せ。今から、主にあって死ぬ者は幸いである。そう、御靈は言う、彼らは幸いである。13 すると、天

から声が聞こえ、「書き記せ。今から、主にあって死ぬ者は幸いである。そう、御靈が言う、彼らはその劳苦から解き放たれる。彼らの行いは彼らに随伴する」と。

黙示録 13:8 メン

8 こうして、地の住民は皆、その名を、世の初めから、屠られた小羊のいのちの書に記載されていない者は皆、彼を礼拝するであろう。

默示録 15:2-4

2 そして、私は、火が混ざった水晶の海のようなものを見ました。そして、私は、獣とその像と、その名の数字に打ち勝った者たちが、水晶の海のそばに立って、神を賛美するハープを手に持っているのを見ました。3 彼らは、神の僕モーセの歌と、子羊の歌とを歌っていました。

黙示録 14:9-13、黙示録 13:8、黙示録 15:2-4、1 テサロニケ 5:9、マタイ 26:35、ヨハネ 21:15-17、2 テモテ 1:12+14

3.1.46

惑わされることなく、目を覚まし、自分の命を捧げて主が来るまで待ち続ける者は、救われるでしょう。

イエスが再び来られる時、選ばれた者たちだけが救われる。

イエスが再臨したときに、選ばれた者たちとして生き残ることができる者は誰でしょうか？

- 偽りのキリストに惑わされない者たち
 - 警戒し、最後まで耐え抜く者たち
 - キリストをこの世のものよりも大切にする者
 - 自分の命を救うために、その命を捨てる覚悟のある者

マタイによる福音書24:4-44

4 イエスは彼らに答えて言われた、「だれもあなたがたを惑わさ

ないように気をつけなさい。…13 しかし、最後まで耐え忍ぶ者は、救われる。…あの日々が短縮されなければ、肉なる者は一人も救われない。しかし、選ばれた者たちのために、あの日々は短縮される。…17 そのとき、屋根の上にいた者は、家から自分の持ち物を取りに（家の中に）降りてはいけません。18 畑にいる者は、上着を取りに（畠から）戻ってはいけません。…42 だから、目を覚ましていてください。主がいつ来るかは、あなたがたにはわからないからです。

ルカ 17:33 メン

自分の命を保とうとする者はそれを失い、それを失う者はそれを保つであろう。

2 テサロニケ 2:1-4 メン

1 しかし、主イエス・キリストの到来と、私たちが主と結ばれることについて、愛する兄弟たち、私たちはあなたに一つお願ひがあります。2 冷静な判断力を失って、動揺したり、何にも驚いたりしてはいけません。…3 だれにも、どんな方法でも、だまされてはいけません。

マタイ 24:4-44、ルカ 17:33、2 テサロニケ 2:1-4、ヘブライ 9:28、
2 ペテロ 1:16、ヘブライ 9:28、2 ペテロ 1:16、1 テモテ 6:14

3.1.47

キリストの再臨の瞬間に、キリストが他の何よりも重要であると考える者は、永遠に主のもとにいるでしょう。

イエスを、食べる、飲む、結婚する、買う、売る、植える、建てるといったことよりも基本的に重要だと考える者だけが、神の裁きに突然驚かされたり、連れ去られたりすることはない。これは、すべての人、そしてイエスに従う者たちにも同様に当てはまる。

イエスのために自分の命を捧げる用意がある者は、イエスの再臨の日に永遠の命を得るでしょう。私たちの、あなたの、そして私の心が本当に何に惹かれているかは、イエスの再臨の日に一瞬にして、反射的に明らかになるでしょう。

この人生において、イエス様だけに完全に満足し、イエス様以外の何も望まないことを練習し、それを確固たるものにしてきた人は、決定的な瞬間に、反射的に、そして努力することなく、正しい反応をするでしょう。その人は、すでにすべての世俗的なものから解放されており、もはや、イエス様や天国の故郷、天国の喜びからその人の注意をそらすものは何もありません。そして、その瞬間、つまり世界史上最も重要な瞬間が、イエス・キリストの弟子として、私たちが生涯にわたって、私たちの心の中にどんな種を蒔いてきたかを明らかにするでしょう。

ルカ 17:22-36 メン

26 ノアの時代と同じように、人の子の時代もそうなるでしょう。27 ノアが箱舟に入った日まで、人々は食べ、飲み、結婚し、嫁入りし、婿入りしていました。28 ロトの時代もそうであった。人々は食べ、飲み、買い、売り、植え、建てていた。29 しかし、ロトがソドムから出て行ったその日、天から火と硫黄が降って、すべての人を滅ぼした。30 人の子が現れるその日も、同じようにあろう。31 その日に、道具を家の中に置いて屋根の上にいる者は、それを取りに降りてはいけません。また、野にいる者は、戻ってはいけません。32 ロトの妻のことを思い出してください。33 自分の命を保とうとする者はそれを失い、それを失う者はそれを保つでしょう。

ヤコブ 5:7-8 メン

7 だから、愛する兄弟たちよ、主の到来まで、しっかりと耐え忍びなさい。農夫は、大地の豊かな実りを待ち望み、その実りのために、初雨と後雨を受けるまで辛抱強く耐えるのです。8 あなたがたも、辛抱強く耐え忍び、心を強くしなさい。主の到来は、もう間近なのです。

2 ペトロ 3:3-15 メン

9 主は、その約束の成就を遅らせているのではなく、ある人々が（その行動に）遅れを見出しているように、あなたがたに対して忍耐を働かせているのです。それは、だれも滅びることなく、すべての人々が悔い改めることを望んでおられるからです。10 しかし、主の日は、泥棒のようにやって来る。その日には、天は轟音とともに消え去り、要素は炎に溶けて、地球と、その上にあるすべての人の行いは、火に包まれる。11 このすべてがこのように滅び去るならば、あなたがたは、聖なる行いと敬虔な生活をもつて、どのようにあるべきでしょうか。12 神の日の到来を待ち望み、その日のために備えて、そのためには、天は火で溶け、要素は炎で溶けるのです。13 しかし、私たちは、その約束に従って、正義が宿る新しい天と新しい地を待ち望んでいるのです。14 ですから、愛する人たち、これらのことを持ち望みながら、彼の御前に、汚れも過ちもない、平和な姿で立つことができるよう、熱心に努力してください。

ルカ 17:22-36、ヤコブ 5:7-8、ペトロの手紙二 3:3-15、ヨハネの手紙一 3:2-3、ペトロの手紙一 1:13、ヘブライ人への手紙 10:23-25

3.1.48

この世で、戦いのルールに従って良い戦いを戦い、天への信仰の競争を走り抜けた者は、天国で勝利の冠を勝ち取る。

キリストのすべての追隨者には、勝利の冠と永遠のいのちの冠が約束されています。勝利の冠は、栄光の中で永遠のいのちを最終的に得ることを意味します。それは、主を愛する者たちに授けられます。私たちが神に忠実に従う間、勝利の冠はすでに私たちのために用意されています。今、イエスに忠実に従う者は、今、永遠の命の冠を確実に手に入れているのです。もしその人が今、死んだら、神のもとに行き、冠を授けられるでしょう。

しかし、永遠の命の勝利の冠は、良いスタートを切ったという理由だけで授けられるのではなく、**最後まで規則に従った生活を送った者だけに授けられる**のです。確かに、イエスの隣に十字架にかけられた盜賊は、スタートからゴールまで一気に駆け抜け、救われました。しかし、より長い道のりを歩む者たちは皆、**勝利への道程を最後まで走り続けなければなりません**。それはどういうことでしょうか？

それは

- 勝利の賞を得るために
- ゴールに向かって走り続ける
- 多くのことを諦めて、その賞を得る
- すでに手に入れたものを最後まで手放さない
- 規則に従って走る
- 他人に説教して、自分が不適格だと証明しない
- 誘惑に打ち勝つ
- 責任において支配するのではなく、奉仕すること
- 自分の一貫性のない行動や、誤った福音など、他の誰かによって勝利の冠を奪われることがないようにする
- 良い戦いを戦う、つまり、抵抗があっても、基本的に神の御心を行う
- イエスへの信仰と真の福音を損なうことなく守る
- イエスの目に見える再臨を待ち望む、つまり、この世のもののすべてよりもイエスを愛する

私たちを重くしているものはすべて捨て、最後まで走り抜けることが大切である。イエス様は、その方法を私たちに示してくださいました。イエス様も、天国の報いを望んで、十字架の痛みと恥辱を乗り越える力を得たのです。天国で冠を戴いた私たちの模範であるイエス様を見上げれば、天国への競争で疲れも失意も感じることなく、永遠の命の勝利の冠を最終的に手に入れることができるでしょう。

1 コリント 9:24-27

24 競技場で走る者は皆走るが、冠を得る者はただ一人であること

を、あなたがたは知らないのか。あなたがたは、それを得るよう走っているのだ。25 競技に参加しようとする者は、あらゆる点で節制を課す。それは、朽ちる冠を得るためにあるが、わたしたちは朽ちない冠を得るためにある。26 だから、私は、目標のない走りをしたり、空振りをするような拳闘をしたりはしません。27 むしろ、自分の体を打ち碎き、従順にして、他の人たちに戦いを呼びかけた後、自分が不適格であることが明らかになるようなことは決してありません。

ヘブライ 12:1-3 メン

1 だから、私たちも、このような証人たちの雲に囲まれているのを見て、私たちを重くしているもの、特に、私たちを容易に絡めとる罪をすべて捨て、忍耐強く、私たちに課せられた競争を走り続けましょう。2 そのとき、信仰の創始者であり完成者であるイエスに目を向けましょう。イエスは、喜び（勝利の報酬）を待ち望んで、十字架の死を耐え忍び、その恥を何とも思わなかつたが、神の御座の右に座られたのです。3 罪人たちからのそのような反抗[1]を辛抱強く耐え忍んだイエスを、あなたがたも思い起こしてください。そうすれば、あなたがたは（競争の中で）疲れて、勇気を失うことがないでしょう。

ヤコブ 1:12 Slt

12 試練に耐える人は幸いである。試練に耐えた後、主が、ご自分を愛する者たちに約束されたいのちの冠を受けるからである。

1 コリント 9:24-27、ヘブライ 12:1-3、ヤコブ 1:12、1 ペトロ 5:2-4、黙示録 3:11、黙示録 2:10

3.1.49 要約：聖靈とキリストに従う道、そして永遠の救い
イエス・キリストへの信仰は、永遠の命の勝利の冠へと私たちを導く、長く困難な道です。この道には、良いスタートだけでなく、絶え間ない忍耐と忍耐力も求められます。聖靈によって与えられる神の超自然的な助けによって、私たちは信仰の困難を乗り越え、目標を達成することができるのです。

動機となる神の圧倒的な愛

回心の中で出会う神の愛は、私たちの信仰の基盤です。それは私たちに罪の赦しを与え、信仰の道を歩み続ける動機となります。たとえつまずき、倒れたとしても、いつでも神のもとに来て、清められることができると私たちは知っています。神の計り知れない愛と恵みは、最後まで忠実に走り抜くための原動力となります。

再生の際に受けた聖霊は、私たちの日々の力の源です。聖霊によって、私たちは信仰の道を忠実に歩み続けることができるのです。

勤勉、忍耐、忍耐：目標への道

信仰のある人生には、忍耐、忍耐力、そして規律が必要です。私たちは、困難な時に忍耐し、持ちこたえるよう求められています。ヤコブの手紙 1:12 詩篇：試練に耐える人は幸いである。試練に耐えた後、主が、ご自分を愛する者たちに約束されたいのちの冠を受けるからである。この忍耐は、目標に向かって走り抜き、勝利の冠を受けるために役立ちます。

イエスの身代わりの贖いの死と復活

イエスが十字架上で死なれ、3日後に復活されたことは、キリスト教の信仰の基礎です。この身代わりの贖いの死によって、私たちは神と和解し、罪の赦しを受けるのです。私たちのために死なれ、復活されたイエスを信じる信仰は、私たちの生活の基本です。

神のための実：真の救いの基準

真の救いは、私たちが神のために結ぶ実によって明らかになります。イエスはヨハネによる福音書 15:5 でこう述べています。「わたしはぶどうの木、あなたがたは枝です。わたしにとどまり、わたしもその人にとどまるなら、その人は多くの実を結ぶでしょう。わたしから離れては、あなたがたは何もできないからで

す。」この実は、救われた人生から自然に生まれるものであり、善行や他者への奉仕によって明らかになります。

兄弟愛と赦し：共同体での生活の基礎

忠実なクリスチャン生活の特徴は、信仰の兄弟姉妹への愛でもあります。イエスは、私たちに、イエスが私たちを愛してくださるのと同じように、互いに愛し合うよう求められています。ヨハネによる福音書13:34-35で、イエスはこう言われています。「わたしは、あなたがたに新しい戒めを与えます。それは、わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うことです。また、マタイによる福音書20:26-28で、こう言われています。「あなたがたのうちで偉くなりたいと思う者は、あなたがたの僕となりなさい。この愛は、赦し、互いに励まし合う姿勢に表されています。

謙遜と神への愛：イエスに従うための条件

イエスに従うには謙遜さが必要です。イエスは、神の国で最も偉大な者は謙遜な者であると教えました。ルカ22:26-27で、イエスはこう言っています。

あなたがたのうちでいちばん偉い者は、いちばん若い者のようになり、指導者はしもべのようになるべきである。この謙遜さは、神と他の人々に愛をもって仕える用意があることで表れます。

神への愛は、私たちの生活の中で最大の愛でなければなりません。それは、私たちがイエスに従うこと、そして神の戒めに従順な生活を送るための基礎となるものです。

お金との付き合いと性的純潔

お金との関わりは、私たちがお金よりも神を愛することを要求します。マタイによる福音書6:24で、イエスはこう述べています。誰も二つの主人に仕えることはできません…神とマモンとに同時に仕えることはできません！私たちは、お金と責任を持って関わり、神が御国を築くために私たちに託した道具としてそれを利用することが求められています。

性的純潔も、キリスト教の生活において重要な要素です。コリントの信徒への手紙一6:18-20では、私たちの体は聖霊の宮であり、純潔を保つために性的罪を避けなければならぬと教えられています。

良心を傷つけないように保つ

私たちの良心は、私たちの行動の内的基準であるため、良心を傷つけないことが非常に重要です。テモテへの手紙第一1:19には、「信仰と良心を保つことによって」と書かれています。しかし、それを捨てて信仰を損なった者もいます。清い良心は、私たちが真理の中で生き、神に服従して立つことを助けてくれます。

宣教と伝道の重要性

救われた者は、福音を宣べ伝える使命があります。マタイによる福音書28:19-20で、イエス様は私たちに宣教の使命を与えておられます。「だから、行って、あらゆる国の人々を弟子にしなさい」。すべての信者は、福音を伝え、他の人々もイエス様を信じるようになるよう助ける使命があります。

神の恵みによる絶え間ない清め

信仰に忠実であり続けても、私たちは何度もつまずくでしょう。しかし、そのすべてにおいて、神の愛と恵みがいつでも私たちに与えられていることを知ることができます。ヨハネの手紙一1:9はこう述べています。

私たちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しい方であるから、その罪を赦し、すべての不義から私たちをきよめてくださいます。私たちは、自分がそれに値するからではなく、神が私たちを赦してくださいから、いつでも神のもとに来て、きよめられるのです。

3.2 救いから裁きと滅びへと至る「肉」の道

肉の道は、神から離れ、滅びと裁きへと続く道です。この道は、利己的な行動、抑制できない情熱、そして意識的または無意識的な神の恵みの拒絶によって特徴づけられます。聖書は、この道が永遠の救いを危険にさらすだけでなく、今この瞬間にも苦痛な結果をもたらすことを警告しています。

各章では、悔い改めのない継続的な罪、靈的な怠惰、世俗的な快楽への執着が、神の真理を拒絶する人生につながることを示しています。特に危険なのは、心を硬くし、神とのつながりを破壊する、赦しの欠如と誤った教えです。

この道は、神の裁きと神からの永遠の分離で終わります。しかし、この警告は同時に希望も与えています。悔い改め、神の恵みに心を開く者は、滅びから逃れ、永遠の救いへの道を再び見つけることができるのです。

3.2.1 神の恵みを無駄に受け取る者は死ぬ

私たちの主への信仰と奉仕は無駄ではありません。

福音に偽りなく固執することは、信仰に無駄にたどり着いたということではありません。

もし私たちが、主イエスへの信仰と奉仕に固執しなければ、私たちは無駄に信仰を持ったことになります。

神の恵みを無駄に受け、それが神のために実を結ばないならば、受けた神の恵みは、神の視点から見れば、私たちの救いにとって無駄だったことになります。

純粋な心で神に仕えないということは、信仰に立つことではなく、救われていること、救われることでもない。

正しい福音から迷い出たり、罪に誘惑されたりすることは、私たちの生活、つまりこの世でも永遠にも、神の恵みに「無駄」というレッテルを貼ることになります。

2 コリント 6:1

1 しかし、私たちは、神の恵みを無駄に受け取らないよう、協力者としてあなたがたに勧告します。

1 コリント 15:1-2 Slt

1 弟兄たち、私があなたがたに宣べ伝えた福音、あなたがたが受け入れた福音、あなたがたが堅く立っている福音、2 あなたがたが、私が宣べ伝えた言葉に堅く立つならば、あなたがたはそれによつて救われることを、私はあなたがたに思い出させます。あなたがたが無駄に信じたのでなければ。

フィリピ 2:14-16 メン

4 すべてのことについて、不平や疑いを抱くことなく、15 あなたがたは、歪んだ、ひねくれた人間たちの中で、非の打ちどころのない、純粋な、神の子たちとして、この世で輝く明るい星のように、無垢で純粋であることを示してください。 16 私がキリストの日に、私の栄光のために、私が無駄に走ったり、無駄に働いたりしなかったことを証明するために、いのちの言葉にしっかりと固執しなさい。

1 テサロニケ 3:5 Slt

5 それゆえ、私は、もはや耐えきれなくなったので、あなたがたの信仰の状態について知らせを得るために、使者をあなたがたのもとへ送ったのです。それは、試練者があなたがたを誘惑し、私たちの働きが無駄にならないようにするためでした。

2 コリント 6:1-10; フィリピ 2:14-16; ガラテヤ 4:5-11; 1 コリント 15:1-2; ユダ 1:3-5; 1 テサロニケ 3:2-6

3.2.2 悔い改めずに罪を犯し続けることは死に至る

意識的に、そして基本的に自分の罪を改めない者は、イエスからの赦しを期待することはできません。むしろ、その者は裁きを受けることになるでしょう。

イエス様は、私たちが罪を犯すことを気にかけないわけではありません。また、罪を犯すしかないと弁明することもできません。イエス様はそれを許さないのです。そして、イエス様は私たちが罪を犯すことをやめることができると信じています。結局のところ、私たちはイエス様と出会い、癒されたのです。意識的に自分の罪に固執し続けることをやめるための、これ以上の条件はありません。イエス様は私たちの罪を赦し、私たちの罪を裁く方です。そして、イエス様は、継続的な、悔い改めのない罪を許しません。自分の罪から立ち返らず、罪を犯し続ける者は、この世でも、永遠にも、最悪の結果を覚悟しなければなりません。私たちは、このようなことを聞くのが嫌です。イエス様から、そのようなことを聞くことに慣れていないからです。しかし、それはイエス様のメッセージと福音の一部なのです。基本的に自分の罪から立ち返り、それを捨てた者は救われる。弱さや失敗、苦難など、何らかの理由で罪を犯した者は、いつでもイエスのもとに来て赦しを得ることができる。それは、神の言葉の他の多くの箇所で述べられている。しかし、意識的に、そして基本的に自分の罪を捨てない者は、イエスからの赦しを期待することはできない。その者はむしろ、神の裁きを受けることになるだろう。

マタイ 5:29 メン

だから、もしあなたの右の目があなたを怒らせるなら、それを引き抜いて、投げ捨てなさい。あなたの体の一部が失われるほうが、あなたの全身が地獄に投げ込まれるよりもまだからです。

ヨハネ 5:14 メン

14 その後、イエスは神殿で彼に再び会い、「あなたはもう健康になった。これからは、これ以上悪いことが起こらないように、もう罪を犯さないでください」と言った。

黙示録 3:3 Slt

だから、あなたが受け、聞いたことを思い出し、それを守り、悔い改めなさい。もしあなたが目を覚まさないなら、私は泥棒のようにあなたのところにやって来て、あなたがいつ私の来るかを知ることができないでしょう。

マタイ 11:20 メン

その頃、イエスは、自分の奇跡のほとんどを行った町々に対して、悔い改めなかつたことを理由に、脅しの言葉を述べ始めた。

マタイ 5:29、ヨハネ 5:14、黙示録 3:3、マタイ 11:20、テトス 3:10-11、ヤコブ 1:13-16、黙示録 3:3、箴言 28:13、1 ヨハネ 3:6、マタイ 6:12、ルカ 5:8-9、ルカ 7:48、1 ヨハネ 2:1-2、ヤコブ 5:16、使徒 2:47-41、1 ヨハネ 1:9、1 ヨハネ 2:1-2

3.2.3 イエスは生ぬるい者たちを吐き出す

黙示録にあるイエスの言葉と手紙は、イエスを知って、イエスに従って、イエスと固く結びつき、イエスを愛する者たちだけが永遠の救いを受けることを明らかにしている。

従う者であっても、生ぬるくなり、救いを失うことはあり得る。しかし、恵みの時がまだあるうちに、その生ぬるさを悔い改める者は、イエスの口から吐き出されることはなく、イエスを自分の主として、救いを取り戻すことができる。

黙示録 3:14-22 メン

16 しかし、あなたは生ぬるく、熱くも冷たくもないで、私はあなたを私の口から吐き出そう。

1 コリント 16:22 Slt

22 主イエス・キリストを愛さない者は、のろわれる。マラナタ。

マタイ 25:8-10 メン

8 愚かな（乙女たち）は、賢い者たちに言った、「私たちのランプが消えそうだから、あなたの油を私たちに分け与えてください」。**9** 賢い者たちは答えた、「いいえ、私たちとあなたたち全

員に足りません。むしろ、店に行って、あなたたち自身で買いなさい」。 10 彼女たちが油を買いに行っている間に、花婿が到着し、準備の整っていた乙女たちは、彼とともに婚礼の宴場に入り、扉は閉ざされた。

黙示録 3:14-22、1 コリント 16:22、マタイ 25:8-10

3.2.4

新約聖書の七つの大罪のリストは、キリストの恵みの領域の限界を示しています。

それは、私たちがイエス・キリストの福音を聞いたときに起こりました。

私たちはイエス・キリストに愛され、召され、その呼びかけに応え、神の恵みを受け、神の子供となりました。私たちは聖別され、つまり神のために選ばれ、清められました。私たちは召命に従い、信仰の清め、聖化、強固化、そして神を待つ道を進んでいます。

回心する過程で、私たちは古い生活から背を向け、神に向き直りました。私たちは、淫行者、偶像崇拜者、姦淫者、弱虫、少年虐待者、盜人、貪欲な者、酒飲み、冒涜者、強盗などであることから立ち返りました。私たちは洗い清められ、聖別され、キリストによって新しく生まれ変わったのです。

イエス様は私たちを愛し、清めと聖化の中で成長し、イエス様に似るよう励ましてくださいます。イエス様は、罪を根本的に、特に永続的な生き方として再び私たちの生活に取り入れることについて警告されています。

イエスが天国で私たちを受け入れるか、それとも拒絶するかを決定する要素について、イエスは明確に定義しています。それは、私たちがイエスと永遠を過ごすことを妨げる、私たちの死に至る罪です。それは、悔い改め、立ち返り、赦しを受けることができる、単一の事実上の罪を意味するものではありません。誰もが、今日という日がある限り、何度でも神に立ち返ることができるし、そうすべきであり、そうしてもいいのです。しかし、私たちが断ち切ることができない大罪は、私たちを神から引き離します。つまり、これらの罪の中で永続的に生き、時間内に立ち返らない者は、救い主としてではなく、裁き主として主と対面することになるのです。

神の御心を行う意志のない、空虚な「主よ、主よ」と言う者たちは、失われることになるでしょう。

なぜなら、イエス様ご自身と使徒たちは、淫行者、姦淫者、児童虐待者、同性愛者、不義者、弱虫、臆病者、不信仰者、忌まわしい行いを犯した者、殺人者、魔術師、偶像崇拜者、また、盜人、貪欲な者、酒飲み、冒涜者、強盗、無法者、反抗的な者、罪人、救いようのない者、不聖なる者、人食い人種、偽証者、嘘つき、その他、絶えず罪を犯す者は、救われることはない。彼らは、火と硫黄の燃える湖、すなわち、第二の死の中で、その報いを受けれるであろう。

悔い改めずに、回心の前も後も、ずっとそんな生き方をしている人は、救いを得られないか、救いを失うんだ。

しかし、死に至る罪は他にもあります。

不毛 - 私たちの選択と優先順位の結果

神の御言葉を聞き、神の目から見て適切な期間内に実を結ばない者は、滅びるでしょう。また、神の御言葉を聞き、実を結び始めたものの、再び実を結ぶことをやめた者も、同様に滅びるでしょう。

実を結ばないもの、つまり命を奪うものは、次のものもある。

- 信仰の表層性
- 日常生活の心配事
- 富への誘惑
- その他の欲望

許さないことは大罪です。

神と隣人を愛するという二重の戒め、そして十戒に、思考、言葉、行動において絶えず背くことは、私たちを靈的に死に至らしめる。

言葉や行動でイエスを否定することは、私の靈的な死である。

また、私が

- 悪への欲望に支配される
- 偶像を崇拝する、つまり、神よりも何か他のものを優先する（これには金銭への愛も含まれる）
- 男性と女性の結婚以外のセックスをする
- 神に挑戦し、試みる
- 不平を言う

これらはすべて、悔い改めを続ければ大罪となります。誰も、このような誘惑や罪から自分自身で逃れることはできません。救いは、私たちを私たちの能力以上の試練にさらすことなく、誘惑に打ち勝つ助けとなり、堕落した後の悔い改めによって私たちを回復させてくださる神を謙虚に仰ぐことにのみあります。

公式には神に仕えているが、内心は反抗的な者

神から与えられた職務を忠実に遂行しない者は、永遠に災いを受ける。そして、愛と献身と自己犠牲において一步先へ進む者は、報いを受ける。

神の僕として神の御言葉に耳を傾けず、神から与えられた責任を怠り、特権を乱用する者は、神によって永遠に殺される。それは、その者がかつて神と良い関係を築いていたかどうかに関係なく行われる。

その他の大罪は次のとおりです。

- 争いや嫉妬
- 怒りと口論
- 中傷や悪口
- 不純
- 放蕩な生活

キリストを知らない者たちについては、まさにこれらの事柄のために、彼らはすでに失われており、悔い改めなければ、のろわれることになる。

しかし、イエス・キリストの信者は、基本的にそのような生活から立ち返り、神によって清められています。これらのことを行っている者は、救いへの正しい一步をまったく踏み出していきません。

しかし、キリストの信者は皆、生涯を通じて、再びこうしたことに陥る危険にさらされています。

大罪のリストにあるような生活様式を続ける者は、失われ、罰せられるでしょう。

限られた時間のキリストの恵みの領域の中で、死に至る罪から立ち返らない者は、キリストを敵とし、火の池、すなわち第二の死に投げ込まれ、天のエルサレムに入ることは許されないでしょう。

キリストを信じるイエスの信者は、そのような罪について、すべての使徒たちから、そのようなことを行わないように、そしてそれらから清められ、そのような行動を「殺す」ように、絶えず戒められています。古い人間性がまだ自分の中に残っていることを絶えず積極的に取り除く者だけが、真のキリストの弟子である。そのような事柄に永続的に支配され、御靈によってそれに対抗しない者は、救われることはない。

神とその戒めに反抗する者は、死の子供であり、悔い改めるには遅すぎる時が来るのです。ですから、まだ時間があるうちに、神を求め、神の御言葉に耳を傾けましょう。

マルコ 10:21 *Slt*

21 イエスは彼を見て、愛し、彼に言った、「あなたにはまだ一つ足りないことがある。行って、あなたの所有するものをすべて売り払い、貧しい人たちに（その収益を）与えなさい。そうすれば、あなたは天に宝を持つことになる。それから、私についてきなさい」。

ヨハネの手紙一 4:19

19 私たちは、彼がまず私たちを愛してくださったから、彼を愛するのです。

1 ヨハネ 5:3 Slt

3 神を愛することは、神の戒めを守ることであり、神の戒めは重くない。

1 ヨハネ 3:14 Slt

14 私たちは、兄弟たちを愛しているから、死から命へと移ったことを知っている。兄弟を愛さない者は、死の中に留まっている。

マタイ 19:17

しかし、あなたが命に入りたいなら、戒めを守りなさい。

マタイ 7:19 メン

[イエスが言う] 良い実を結ばない木は、すべて切り倒されて火に投げ込まれる。

ルカ 6:46-49 メン

しかし、あなたがたは、わたしを「主よ、主よ」と言いながら、わたしの言うことを行わないのか。

黙示録 22:11-15

11 不正を行う者は、さらに不正を行い、罪を犯した者は、さらに罪を犯し続けよ。しかし、義人は、さらに義を行い、聖なる者は、さらに聖なる者となり続けよ。12 見よ、わたしはすぐに来る。そして、わたしの報いは、わたしと共にいる。各人に、その行いに応じて報いる。13 わたしは、アルファでありオメガであり、最初であり最後であり、初めであり終わりである。14 自分の衣を洗って、いのちの木への権利を得、門を通って都に入る者たちは、幸いである。15 犬たち、魔術師たち、不品行な者たち、殺し屋たち、偶像崇拜者たち、そして偽りを愛し、偽りを働く者たちは、皆、外にいる。

マルコ 10:21、1 ヨハネ 3:14、1 ヨハネ 1:9、マタイ 7:19、マタイ 18:34-35、マルコ 11:25-26、黙示録 21:8、1 コリント 5:9-13、1 コリント 6:9-10、1 テモテ 1:9-10、使徒 15:28-29、使徒 16:4-5、1 コリント 10:1-13、マルコ 12:1-11、ルカ 6:46-49、ルカ 16:9-13、1 コリント 9:14-18、マタイ 23:13-14、マタイ 11:21、黙示録 8:13、黙示録 9:12、黙示録 11:14、黙示録 12:12、黙示録 18:10-19、ガラテヤ 1:8+9; 2 ペトロ 2; ユダ 1:11; エゼキエル 3:16-19; ヘブライ 11:6;

ローマ 8:8-13; 1 コリント 10:1-13; ローマ 8:11; 創世記 3:6; 1 テモテ 2:14; ローマ 5:14、マタイ 10:37-38、創世記 1:27-28、創世記 2:24、コリントの信徒への手紙一 10:8、コリントの信徒への手紙一 10:10、コリントの信徒への手紙一 6:9-10、マタイ 5:21-26、ガラテヤ 5:19-21、ヘブライ 12:14、ヤコブ 3:14-16、ヤコブ 4:1-12、1 コリント 6:9-10、ガラテヤ 5:19-21、1 テモテ 1:9-11、黙示録 22:15

3.2.5

あなたの許さない心は、確実にあなたの救いを奪います。

信仰の兄弟姉妹を尊重し、生前に和解することで、神の裁きと罰から守られる。

他の人、特に信仰の兄弟姉妹たちの過ちを赦さない人は、神の赦し、ひいては永遠の救いから自らを締め出すことになります。神に保護を求める祈りは、罪に陥らないための重要な鍵です。

ルカ 11:4

私たちの罪を赦してください。私たちも、私たちに罪を犯した者をすべて赦します。私たちを試練に会わせないで、悪から救い出してください。

マタイ 6:15 詩篇

15 しかし、あなたがたが人々の過ちを赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちを赦さないでしょう。

マタイによる福音書 18:32-35

32 そこで、その主人は彼を呼びつけて言った、「悪い僕よ、あなたが私に頼んだので、私はその負債をすべて赦した。33 あなたが、私があなたを憐れんだように、あなたの仲間の僕を憐れむべきではなかったのか」。34 そして、怒りに満ちた、主人は彼を拷問人に引き渡し、彼がその負債をすべて返済するまでそこに留ませた。35 あなたがたも、それぞれ兄弟を心から赦さないなら、天の父もあなたがたに同じようにされるであろう。

ルカ 11:4、マタイ 6:7-15、マタイ 18:21-35、マタイ 5:21-26、マルコ 11:26、ルカ 6:37

3.2.6

悔い改めずに性的罪の中で生きている者は、神とキリストの御国に入ることはできません。

性的不道徳、同性愛、継続的な姦淫の中で生きる人々、そして信仰の兄弟姉妹たちは、神の国と天のエルサレムに入る資格はありません。

聖書では、性的罪が神の裁きを受ける理由として繰り返し挙げられています。コリントの信徒への手紙やヨハネの黙示録にあるような、性的罪やその他の罪に対する教会による懲罰による一時的な裁きには、特にこの世で悔い改めるならば、救いの可能性が残されています。しかし、性的分野において絶えず罪を犯し、悔い改めも改心もしない者は、神の永遠の裁きによっても裁かれるでしょう。

1 コリント 6:9-10

9 不義を行う者は、だれも神の国を相続できないことを知らないのか。惑わされてはならない。不品行な者、偶像礼拝者、姦淫者、好色な者、少年愛者、10 盜人、詐欺師、酒飲み、中傷者、強盗は、神の国を相続することはできない。

黙示録 21:7-8 メン

7 勝利を得る者は、これを相続する。わたしは彼の神となり、彼はわたしの子となる。8 しかし、臆病者、不信仰者、不潔な者、殺人者、不品行な者、魔術師、偶像崇拜者、あらゆる偽り者は、火と硫黄の燃える池、すなわち、第二の死の報いを受ける。

マタイによる福音書 5:27-30 メン

27 あなたがたは、（昔の人々に）『姦淫してはならない』と命じられたことを聞いたことがある。28 しかし、わたしはあなたがたに言う。妻を欲情をもって見る者は、すでに心の中で彼女と姦淫

を犯したのである。29だから、もしあなたの右の目があなたを怒らせるなら、それを引き抜いて捨てなさい。あなたの体の一部が失われるほうが、あなたの全身が地獄に投げ込まれるよりもましである。

1コリント 6:9-10; 默示録 21:7-8; 1コリント 5:13; 2コリント 12:21;
黙示録 2:21; 默示録 22:15; ガラテヤ 5:19-21; 默示録 2:18-29; ヘブライ
13:4; マタイ 5:27-30

3.2.7

神の愛の恵みの場から離れる者は、神から容赦なく見捨てられる

神は御子を惜します、私たちすべてのために彼をお与えになつた。それは、御子とともに、私たちにすべてのものを与えてくださるためである。イエスは栄光を捨て、父に従順であり、死に至るまで従順であった。それは、私たちが命を持つためである。

一方、神は、神から割り当てられた場所から離れる被造物も、神の愛という広大で深い恵みの場から離れるクリスチャンも、容赦しません。しかし、イエスはその愛の中で、私たちが悔い改め、救われることを望んでおられます。私たちがまだ生きていて、イエスがまだ再臨していない限り、イエス様は私たちに愛と恵みの時間を与え、人生の道を進み、その道に留まるか、あるいは転んだ後に再び立ち返るかを決める機会を与えてくださいます。

エペソ 1:10-11 メン

[神は]キリストを頭として、天にあるもの、地にあるもの、すべてを一つのものにまとめようとお考えになった。11私たちは、キリストにおいて、約束の救いの分にあずかる者となった。

ヨハネ 15:6 メン

6わたしにとどまらない者は、ぶどうの木から切り離されて、枯れてしまい、集めて火に投げ込まれ、焼かれてしまう。

2 ペトロ 3:9-15 メン

9 主は、その約束の成就を遅らせているのではなく、ある人々が（その行動に）遅れを見出しているように、あなたがたに対して忍耐を働かせているのです。それは、だれも滅びることなく、すべての人々が悔い改めることを望んでおられるからです。…14 ですから、愛する人たちよ、これらのことを持ち望みながら、平和のうちに、汚れも過ちもない者として、彼の御前に立つように努めなさい。15 私たちの主の忍耐は、救いであると考えてください。

エペソ 1:10-11、ヨハネ 15:6、2 ペテロ 3:9-15、1 ヨハネ 2:28、モーセ3、エゼキエル 28:11-19、2 歴代誌 36:11-21、ルカ 19:21-44、ユダ 1:6; ユダ 1:7; ペトロの手紙一 3:20; ユダ 1:5; ルカ 12:45-46; コリントの信徒への手紙一 9:16; マタイ 25:25; マタイ 18:33-35; ローマ 1:29-32、1 コリント 6:9、ガラテヤ 5:19-21、エフェソ 5:5、黙示録 21:8、黙示録 22:15、ルカ 15:11-32

3.2.8 偽りの福音は人を殺す

福音は、神によって明らかにされた、私たちの永遠の救いへの鍵です。他の鍵は存在しません。

偽りの福音は、それを信じ、それに固執する者たちを靈的に殺します。

唯一の真の福音とは、すべての人々がイエス・キリストを信じることで救われ、滅びることのないようにと願う神の愛についてのメッセージです。福音の核心は、次のとおりです。

- すべての人は罪人であり、失われ、滅びに向かっています。自分の力や功績によって、神のもとに来て、神と和解することは誰にもできません。神の御子イエス・キリストは、私たちの罪への愛のために十字架上で死なれ、私たちの義認のために、肉体をもって死からよみがえられました。神から与えられた、神の御子イエス・キリストへの信

仰によつて、神は私たちを、私たち自身の功績なしに救い、義とし、神との交わりを再び与えてくださいます。イエスを信じることで、私たちは神と和解し、神に愛されるのです。これからイエスに従うすべての人にとって、イエスは彼らの永遠の救いの源です。

これが救いのメッセージ、福音です。この救いのメッセージから逸脱することは、救いから遠ざかることを意味します。私たちを永遠に救うこの福音を、私たちは生涯、偽りなく堅持しなければなりません。私たちは、その終わりまで、そのいかなる点からも逸脱してはなりません。

イエスによる福音には、正義の教えも必ず含まれています。

- 節制の教え
- 禁欲
- 将来の裁き

これらの教えを含まない福音は、偽りの福音です。罪人が自分の罪のために神を恐れることのない福音は、福音ではありません。

イエス・キリストの福音と信仰において神の恵みが出会うところに、救いがあります。そして、救いをもたらす信仰そのものも、神からの賜物なのです。

私たちの救いには、

- 正しいイエスを信じること
- 正しい福音を信じること
- そして、その両方の結果として、唯一の救い主である神の御靈を受けること

イエス・キリストの救いの福音を最後まで堅持する者だけが、永遠の救いを得るのである。

1 コリント 15: 1-2

兄弟たち、私があなたがたに宣べ伝えた福音、あなたがたが受け入れた福音、あなたがたが堅く立っている福音、2 私が宣べ伝え

た、あなたがたが救われる言葉、あなたがたが信じたことが無駄にならないように、それを堅く守ってほしい。

ヨハネ 3:16 Slt

神は、その独り子をお与えになったほど、この世を愛された。それは、彼を信じる者が、だれも滅びることなく、永遠の命を得るためである。

ヘブライ 5:9 Slt

9 そして、完成に達した後、彼は、彼に従うすべての人にとって、永遠の救いの源となった。

ガラテヤ人への手紙 1:6-9 Slt

6 あなたがたが、キリストの恵みによって召された方を、そう簡単に捨てて、別の福音に目を向けることに、私は驚いています。7 別の福音などないのに、ただ、あなたがたを惑わし、キリストの福音を歪めようとする者たちがいるだけです。8 たとえ、私たちや、天からの御使いが、私たちがあながたに宣べ伝えた福音とは別の福音を宣べ伝えたとしても、その者はのろわれるべきである。9 以前にも言ったように、もう一度言う。あなたがたが受けた福音とは別の福音を宣べ伝える者があれば、その者はのろわれるべきである。

1 コリント 15:1-58、ガラテヤ 1:6-9、ヘブライ 5:9、ヨハネ 3:16、マタイ 25:41、ローマ 9:2、エペソ 2:10、ヨハネ 3:36、使徒 24:24-25、ローマ 1-3 ; 1 テサロニケ 1:10; マタイ 9:11-13; マルコ 14:22-2; マタイ 4:17; マタイ 5; マタイ 6; マタイ 7; ローマ 6; ローマ 8:13; 默示録 4:8-10

3.2.9

神の御言葉の中で神が語られていることを疑問視し
・歪曲することは、滅びへと導きます。

神の言葉に従わない者は滅びる。神の言葉を歪める者は、神の言葉に従わない。それは、楽園の蛇のように。

神の言葉を信じ、従う（従わなければならない）ことは、

- 神の靈感による啓示を疑う
- 「聖書は神そのものではなく、神の言葉を含むにすぎない」という恣意的な解釈を容認する
- 神の言葉を過去の文化に限定し、今日の不敬虔な文化に合致するように見えるものだけを受け入れる
- 聖書に従うことを見まないために、聖書を誤って解釈する
- 聖書を文字通り厳格に解釈し、その真意を見失う
- 聖書から何も実行しない。なぜなら、私たちに実行できることはほとんどないと思われるから
- 解釈の余地が複数あることを理由に、自らの責任を放棄する
- 実際に何をすべきかを知っているにもかかわらず、神の言葉に従わない
- 神の言葉を信じ、従う必要がないように、他のあらゆる議論を開く

マタイ 7:24-27 メン

24 だから、わたしのこの言葉を聞いてそれを行なう者は、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている。

25 すると、豪雨が降り、洪水が起り、風が吹き、その家に打ちつけたが、それは岩の上に建てられていたので、倒れることはなかった。26 しかし、わたしのこの言葉を聞いてそれを行わない者は、砂の上に自分の家を建てた愚かな人に似ている。27 すると、豪雨が降り、洪水が押し寄せ、風が吹き、その家に襲いかかった。すると、その家は倒れ、その倒壊は甚大であった。

マルコ 7:6-7

6 この民は、口先だけでわたしを敬うが、その心はわたしから遠く離れている。7 彼らは、人の戒めを教えとしているので、わたしを敬うことは無駄である。

マタイによる福音書 25:14-30 メン

「よくやった、良い忠実な僕よ。あなたはわずかなことに忠実で

あつたから、私はあなたを多くのことに任せつつもりだ。あなたの主人の祝宴に参加しなさい。…悪い、怠惰な僕よ。…28 彼からそのタラントを取り上げて、10 タラントを持っている者に与えなさい。…30 しかし、役に立たない僕たちは、外の暗闇に追い出せ。そこでは、泣き叫んだり、歯ぎしりしたりすることだろう。」

2 ペトロ 1:20-21 メン

20 まず第一に、聖書の預言は、自分の思いのままに解釈してはならないことをよく理解しておかなければなりません。21 預言は、人間の意志によって出たものではなく、聖霊に動かされた人々が、神から受け取ったものを語ったものです。

ヨハネ 1:14 メン

14 そして、その言葉は肉となつた。

ヨハネ 7:16-17 Slt

わたしの教えは、わたし自身から出たものではなく、わたしを遣わした方から出たものである。17 だれでも、その御心を行なうなら、この教えが神から出たものなのか、それともわたしが自分から話しているものなのか、わかるであろう。

2 テモテ 3:14-17 メン

ガラテヤ 3:16 SIt

16 さて、約束はアブラハムとその子孫に与えられました。それ

は、「子孫たち」と複数形ではなく、「あなたの子孫」と単数形で、つまりキリストを指しています。

マタイ 5:18 Slt

まことに、あなたがたに告げます。天と地が滅びるまで、律法のいち字、いち画も、決して滅びることはありません。すべてが成就するまで。

ルカ 24:25 Slt

25 そして、イエスは彼らに言われた、「ああ、無知な者たちよ、預言者たちが語ったことをすべて信じるのに、なぜ、あなたがたの心は鈍いのか。

エズラ 7:10 Slt

10 エズラは、主の律法を研究し、それを実行し、イスラエルに律法と正義を教えることに心を定めていた。

ヨハネ 17:17 Slt

17 あなたの真理によって彼らを聖別してください。あなたの言葉は真理です。

創世記 3:1

1 しかし、蛇は、主なる神が造られた野のすべての獣の中で最も狡猾であり、女に言った、「神は、本当に…と言ったのでしょうか。

サムエル記上 15:23

反抗は占いの罪と同じであり、反抗は偶像崇拜や偶像礼拝と同じである。あなたが主の言葉を拒んだので、主もあなたを拒んだ。

エレミヤ 8:7-8 Slt

しかし、わたしの民は主の法を知らない。8 それなのに、どうして「私たちは賢く、主の律法を持っている」と言えるのか。確かに、それは律法学者たちの偽りの筆によって偽りにされたのだ。

詩篇 33:4 メン

4 主の言葉は真実であり、主の御業はすべて誠実である。

詩篇 119:57 メン

わたしの分は主である。わたしはあなたの言葉を保つことを誓った。

申命記 12:28

28 わたしがあなたに命じるこれらの言葉をすべて守り、行うようにしなさい。そうすれば、あなたと、あなたの後の子孫たちは、主、あなたの神の目に正しいと認められ、喜ばれることを行ふので、永遠に幸いである。

歴代誌上 16:15 メン

主は、その契約を永遠に思い起こし、千世代にわたって命じられた御言葉を覚えておられる。

マタイによる福音書 24:35 Slt

天も地も滅び去るが、わたしの言葉は決して滅びない。

エレミヤ 23:29-31 メン

29 「わたしの言葉は、火のように、岩を碎く槌のように、力強いものではないか」と主は言われる。30 それゆえ、よく知つておきなさい…主は言われる、「預言者たち、その舌を悪用して、神の言葉を告げる者たちよ。

マラキ 2:7 Slt

7 祭司の唇は知識を保ち、その口からは律法を問うべきである。彼は万軍の主の使者である。

マタイ 23:23 Slt

「偽善者たち、律法学者たち、パリサイ人たち、あなたがたは、ミント、アニス、クミンを十分の一献金する一方で、律法の中でより重要な、正義と憐れみと信仰を怠っている。これを行うべきであり、あれを怠ってはならない。

ヨハネ 5:39 Slt

39 あなたがたは、聖書を探求している。それは、聖書の中に永遠の命があると思い込んでいるからだ。そして、聖書は、わたしについて証ししている。

詩篇 119:18

私の目を開いて、あなたの律法の驚くべきことを、はっきりと悟らせてください。

詩篇 119:130 Slt

130 あなたの言葉の啓示は、理解力のない者に悟りを与えます。

黙示録 22:6-7 Slt

6 そして彼は私に言った、「これらの言葉は真実であり、確かなものである。聖なる預言者たちの神、主は、そのしもべたちに、まもなく起こることを示すために、御使いを送られた。7 見よ、わたしはすぐに来る。この書の預言の言葉を守る者は幸いである。

黙示録 22:18-21

8 わたし（ヨハネ）は、この書の預言の言葉を聞く者すべてに証言する。もし、だれでも、この預言の言葉に何か加えるなら、神は、この書に記されている災いをその人に加える。19 また、もし、だれでも、この預言の書から何か取り除くなら、神は、この書に記されているいのちの木と聖なる都へのその人の分け前を取り除く。20 これを証する者が言う。「まことに、わたしはすぐに来る。アーメン、主イエスよ、来てください。21 主イエスの恵みが、すべての人とともにありますように。

ヨハネ 7:17、マタイ 7:24-27、マルコ 7:6-7、マタイ 25:14-30、ペトロの手紙一 1:20-21、ヨハネ 1:14、ヨハネ 7:16-17、テモテへの手紙二 3:14-17、ガラテヤ人への手紙 3:16、マタイ 5:18、ルカ 24:25、エズラ 7:10、ヨハネ 17:17、創世記 3:1、サムエル記上 15:23、エレミヤ 8:7-8、詩篇 33:4、詩篇 119:57、申命記 12:28、歴代誌上 16:15、マタイ 24:35、エレミヤ 23:29-31、マラキ 2:7、マタイ 23:23、ヨハネ 5:39、詩篇 119:18、詩篇 119:130、黙示録 22:6、黙示録 22:18-21

3.2.10 誤った教えや些細な教えは靈的な命を奪う

私たちの救いは、神の働きであると同時に、私たちの信仰にも結びついています。私たちの信仰生活の始まりにおける信仰だけが救いをもたらすのではなく、最後まで私たちを支え、神へと導く、絶え間ない純粋な信仰が救いをもたらすのです。そのためには、イエスに忠実に従い、正しい聖書の福音を信じること、つまり、偽りの教えや歪んだ考えではなく、真のイエスを信じることが必要です。

真の信仰は、純粋な心、良き良心、偽りのない信仰から生まれる、神と人への愛に表れます。しかし、偽りの福音、偽りの預言者、あるいは華やかだが偽りのしるしや奇跡に惑わされる者は、失われるでしょう。同様に、誤った教え、些細な事柄を教える者、教会を分裂させる者、他人を真理から遠ざける誘惑者も同様です。信仰と愛に堅く立つことは、私たちの最終的な救いにとって決定的に重要です。

ヨハネ 3:36 SIt

御子を信じる者は、永遠の命を持つ。

1 コリント 15:1-2 SIt

兄弟たち、私があなたがたに宣べ伝えた福音、あなたがたが受け入れた福音、あなたがたが堅く立っている福音、2 あなたがたが、私が宣べ伝えた言葉に堅く立つならば、あなたがたはそれによつて救われることを、私はあなたがたに思い出せます。

1 テモテ 1:5 SIt

5 しかし、戒めの究極の目標は、純粋な心、良心、偽りのない信仰による愛である。

マタイ 24:4-27 メン

4 イエスは彼らに答えられた、「だれにも惑わされないように気をつけなさい。5 多くの者が、わたしの名によって来て、『わたしは（再臨の）キリストである』と言って、多くの人々を惑わすでしょう。… 11 また、多くの偽預言者たちが現れて、多くの人々

を惑わす。12 不法がはびこるため、ほとんどの人の愛は冷める。
13 しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。

2 ヨハネ 1:5-13 メン

5 そして今、私はあなたにこう言います。私たちは互いに愛し合うべきである、と。6 そして、その愛（神への愛）とは、私たちが神の戒めに従って歩むことです。これは、あなたがたが初めから聞いたとおり、あなたがたが歩むべき戒めである。7 なぜなら、イエス・キリストが肉体をもって現れた（メシア）ことを告白しない多くの誤った教師たちが世に出てきたからである。そこに誤った教師と反キリストが現れる。8 あなたがたは、自分の労苦によってすでに達成したことを失わないように、また、完全な報いを受けるように、自分自身に注意を払いなさい。9 それ以上に進み、キリストの教えにとどまらない者は、神を信じている者ではない。しかし、その教えにとどまる者は、父と子とをともに持っている。

テトス 3:9-11 メン

9 しかし、愚かな調査や系図、律法に関する論争や口論などには関わってはならない。それらは無益で実りのないことだからである。10 分裂を引き起こす者は、一度か二度警告した後、退けなさい。11 そのような者は、誤った道に迷い込み、自分の判断で罪人となっていることを、あなたは知っているからです。

ヨハネ 3:36、ルカ 10:25-27、1コリント 15:1-2、1テモテ 1:3-11、マタイ 24:3-27、2ヨハネ 1:5-13、テトス 1:5-16、テトス 3:9-11、マタイ 22:36-40、マタイ 7:12-13

3.2.11 [誘惑による] 肉欲は致命的である

神は私たちを、真の神の姿で新たに創造された、愛される新しい生き物にしてくださいました。しかし、私たちの「肉」、すなわち、まだ生きている古い人間の部分は、神の律法に反する欲望に満ちたままです。それは神の御心に反し、神の律法に逆らい、神の裁きの下にあります。

しかし、キリストによって、私たちは肉の力から解放されました。もはや肉に従う必要はなく、神の御靈によってその欲望に打ち勝つことができるのです。しかし、以前の欲望に永続的に支配されている者は、神のために実を結ぶことはなく、最終的には滅びてしまいます。

1 ペトロ 4:1-2 Slt

1 キリストが私たちのために肉において苦しみを受けたので、あなたがたも、同じ心構えで武装しなさい。肉において苦しみを受けた者は、罪と決別したのです。2 残りの肉における時間を、人間の欲望に従って生きるのではなく、神の御心に従って生きるためです。

マルコ 4:19 Slt

19 しかし、この世の心配や、富の欺き、その他の欲望が入り込み、御言葉を覆い隠して、実を結ばなくしてしまう。

ガラテヤ 5:19-21 メン

19 しかし、肉の行いは明らかであり、それは、不品行、不道徳、放蕩、20 偶像礼拝、魔術、敵意、争い、嫉妬、不和、利己心、争い、党派争い、21 姦み、酩酊、饗宴などである。これらの（罪）については、以前にも言ったことがあります、もう一度繰り返します。このようなことを行う者は、神の国を相続することはできません。

ローマ 8:12-13 メン

12 ですから、愛する兄弟たち、私たちは、肉に対して、肉に従って生きる義務を負っているわけではありません。13 なぜなら、肉に従って生きるなら、死は確実ですが、御靈によって肉の行いを殺すなら、あなたは生きるからです。

1 ペトロ 4:1-2; マルコ 4:19; ガラテヤ 5:19-21; ローマ 8:5-13; ガラテヤ 5:19-21; ガラテヤ 6:7-8; ヤコブ 1:13-16; マルコ 4:10-20; ローマ 8:12-17; フィリピ 3:17-21; ユダ 1:3-4

3.2.12

人間の教えによってキリストから遠ざかることは、あなたの人生を奪うことになる

神がイエスを通して天から明らかにされた福音だけが、命へと導く。人間による教えや、神との関係に関する戒めは、命ではなく死へと導く。

天の召命という戦いの賞、すなわち永遠の命を失わないために、キリストの追随者は、永遠への道において、・欺かれる・人間の伝統、この世の要素、あるいはキリストや福音に合致しない超自然的な幻など、哲学や空虚な欺きに惑わされる・外見や形式、人間の形式を満たす規定によって、他の人から裁かれることを許してはなりません。それらは、一見知恵のように見えるだけなのです。これらのことは、人間の自己意志であり、真の福音に対する不信仰であり、命ではなく死へと導くものです。

マタイ 15:7-9 メン

7 偽善者たちよ、イザヤはあなたたちについて、次のように預言した。8 「この民は、口先だけでわたしを敬うが、その心はわたしから遠く離れている。9 彼らは、人間の定めた規則を教えとして説くので、わたしを敬うのも無駄である。

ガラテヤ 1:8 Slt

8 たとえ、私たちや、天からの御使いが、私たちがあなたがたに伝えた福音とは別のものを伝えたとしても、その者はのろわれるべきである。

コロサイ 2:4-23 メン

4 しかし、私は、だれも、巧みな話術によって、あなたがたを惑わさないように、こう言うのです。…6 あなたがたが、主キリスト・イエスを受け入れた[1] ように、今、キリストにあって歩んでください。7 キリストにしっかりと根を下ろし、キリストにあって成長し、教えられたとおりに、信仰を堅く保ち、感謝を惜しまないでください。8 だれも、哲学や、人間の伝承、この世の要素に基づく、キリストとは無関係な虚しい欺きによって、あなたが

たを捕らえることのないように、よく注意してください。…18
謙遜な態度や天使への崇拜に満足し、幻を誇り、根拠なく肉欲に
膨れ上がり、19 全身の関節や靭帯によって支えられ、結びつけ
られ、神が定めた成長を果たしている頭に従わない者によつて、
あなたがたが裁かれることがないように。…23 彼らは、自ら選
んだ敬虔さと謙遜、そして肉体に対する容赦のない厳しさによつ
て、特別な知恵を持つと評判ですが、実際には、肉体の満足のた
めにのみ役立つ、何の価値もないものです。

マタイ 15:7-20、ガラテヤ 1:6-12、コロサイ 2:4-23、テモテへの手
紙 14:1-7

3.2.13 容認されたパン種と教会規律の欠如は死をもたらす

会員たちを罪（例えば、淫行や偶像に捧げられた肉を食べるなど）に誘う誤った教師たちを容認する教会は、神の裁きの脅威にさらされています。イエス様は教会に悔い改めるための猶予期間を与えていますが、悔い改めがない場合は、すぐに行動を起こします。イエス様を敵に回すことは決して良いことではありません。イエス様は、その口からの剣をもって、これらの誤った教師たちと戦います。これは、反キリストとその追随者たちとの戦いにも用いられるイメージと同じです。

しかし、神の言葉によって誤った教師たちから身を守ったり、悔い改めや教会の規律によって彼らとはっきり一線を画したりした者は、イエスから永遠のマナ、新しい名前、そして諸国民に対する権威という報いを受ける。これらの約束は、すべての信者が永遠に受ける通常の救いのしるしであり、特別な栄誉ではない。

そのため、パウロも、コリントの信徒たちだけでなく、他のすべての教会でも、他の使徒たちと同様、教会規律と浄化に力強く取り組んだのです。

1 コリント 5:6-13 メン

少しのパン種が、生地全体を酸っぱくすることを知らないのか。

7 古いパン種を取り除き、あなたがたは（完全に）新しい生地と

なるようにしなさい。あなたがたは（クリスチャンとして）すべてのパン種から解放されているのだから。…13…あなたがたの中から、悪い者を追い出してください。

黙示録2:14-16 メン

14 しかし、私はあなたについて少し不満がある。あなたのところには、ピレアムの教えに従う者たちがいるからだ。…16 だから、自分の内面を見つめ直してください。さもなければ、私はすぐにあなたのところにやって来て、私の口の剣で彼らと戦うでしょう。

黙示録2:18-29 メン

20 しかし、私は、あなたがイゼベルという女を容認していることを非難する。彼女は預言者であると偽って、教師として活動し、私の僕たちを誘惑して、淫行を行い、偶像に捧げられた肉を食べさせる。…23 そして、私は彼女の子供たちを疫病で死なせる。そうすれば、すべての教会は、私が心と魂を探る者であることを知るだろう。そして、私は、それぞれの行いに応じて、それぞれに報いる。24 しかし、ティアティラにいる他の者たち、この教えに従わない者たち、彼らが言う「サタンの深淵」を知らなかつた者たち、私はあなたに言う。わたしは、あなたがたにこれ以上重荷を負わせることはしない。25 ただ、わたしが来るまで、あなたがたが持っているものをしっかりと保ちなさい。26 そして、勝利し、わたしの行いを最後まで守り通した者には、異邦人に対する権威を与える。

1 コリント 5:1-13、黙示録 2:12-17、黙示録 2:18-29、テトス 3:9-11、3 ヨハネ 1:9-11

3.2.14 自分の快樂を追い求めることは死をもたらす

私たちに一度だけ与えられ、それを堅持するすべての人を救う信仰があります。この信仰の中心には、私たちの唯一の支配者であり主であるイエス・キリストがいます。しかし、この救いの信仰は、自分の快樂を追求し、神の恵みを悪用し、神を畏れることな

く生き、最終的には神の裁きによる破滅へと至る、放縱な生活とは相容れないものです。

自分の快樂のために生きることは、神のために生きることに正反対です。神のために生きる者は、自制心と神や他者への愛を示します。かつては信者であった者が、贅沢で自己中心的な生活を始めると、神の目には靈的に死んでいるとみなされます。それは、悔い改める前の放蕩息子や、神のために實を結ばず、もはやキリストの行いに生じていない教会と同じです。

この靈的な死の眠りから、時宜を得て目覚め、回心する者だけが、迎えに来る父の腕の中で新しい命を見出すことができる。その回心の道を歩み続けるならば、どんな災いも彼を驚かせたり、打ち負かすことはできないだろう。

使徒 24:25 メン

しかし、パウロが正義、節制、そして将来の裁きについて話すと、フェリックスは不安になり、「今日は行ってよい。私が（後で）時間があるときに、また呼ぶつもりだ」と言った。

ユダ 1:4 Slt

4 なぜなら、この裁きのために、とっくに名簿に記されている者たち、すなわち、私たちの神の恵みを放蕩に変え、唯一の支配者である神と、私たちの主イエス・キリストを否定する不信心な者たちが、こっそり入り込んでいるからです。

1 テモテ 5:5-6 メン

5 しかし、真に孤独な未亡人は、神に望みを置き、昼も夜も絶えず祈りと嘆願を続けている。6 しかし、快樂を追い求める未亡人は、生きているのに死んでいるのと同じである。

使徒 24:25、1 テモテ 5:6、ユダ 1:3-4、2 ペテロ 1:3-11、ルカ 10:27; ルカ 15:32; マルコ 4:19; 默示録 3:1-3; ルカ 5:23-24; エペソ 2:5; ルカ 15:20; 1 テサロニケ 5:4-5

3.2.15

イエスを否定したり、その行動によってイエスへの信仰を否定したりする者は、天国の門でイエスに認められないだろう。

イエスは弟子たちに、魂も体も地獄の滅びに陥れることができる者を恐れるよう、厳しい警告を与えています。この言葉は、イエスに従う者たちに明確に当てはまります。弟子として、言葉と行動でイエスを公に認める者、死に至るまで、永遠の救いを受けるでしょう。しかし、言葉や行動で人前でイエスを否定する者は、滅びてしまうでしょう。

マタイによる福音書 10:28-33

28 体を殺しても魂を殺すことのできない者たちを恐れではなりません。むしろ、魂も体も地獄で滅ぼす力を持つ者を恐れてください。…32 だから、人前でわたしを認める者は、わたしも天の父の前でその者を認める。33 しかし、人前でわたしを否定する者は、わたしも天の父の前でその者を否定する。

2 テモテ 2:12 Slt

12 私たちが堅く耐え忍ぶなら、私たちは共治者となるでしょう。しかし、私たちが否定するならば、彼も私たちを否定するでしょう。

1 テモテ 5:8 Slt

8 しかし、自分の家族、特に自分の家族を養わない者は、信仰を否定した者であり、不信仰者よりも悪い者です。

マタイ 10:28-33; 2 テモテ 2:12; 1 テモテ 5:8; 1 ヨハネ 4:2-3; 1 ヨハネ 4:15;

黙示録 12:11

3.2.16

神の御言葉に耳を閉ざす者は、神の恵みと永遠への扉を閉ざすことになる。

それは、神から背を向け、永遠の救いを失う道である。神の御言葉に耳を閉ざし、神に反抗し、不信仰に心を開き、神に挑戦し、罪を犯し、神の怒りを買い、神の忍耐を試すこと。神の奇跡を常に見ているにもかかわらず、自分の意志に惑わされ、神が私たちを導こうとしている道を見失い、生ける神から背を向け、神への従順を拒み、罪の欺きに陥り、心硬くなること。私たちは、この道から身を守り、内なる反抗によって不信仰の余地を与え、生ける神から背を向かないよう、共に注意を払わなければなりません。私たちは、この人生で「今日」がまだ続き、天国で「永遠」がまだ訪れていない限り、毎日、互いに戒め合うことでそれを実現します。なぜなら、私たちは真にメシアに属し、メシアの所有するすべてのものに分け前を持っているからです。ただし、それは、私たちが最初にもっていた確信を、天国に到達するまで断固として持ち続けることを条件とします。

ヘブライ 3:7-14 メン

7 それゆえ、聖霊の言葉は（私たちに）こう言います。「今日、あなたがたは彼の声を聞くなら、8 荒野で試練を受けた日に（かつて）苦々しく思ったように、9 あなたがたの先祖たちが（私を）試みたように、10 あなたがたの心を硬くしてはならない。彼らは40年もの間、私のわざを見てきたにもかかわらず。11 それゆえ、わたしは彼らを憤り、こう言った。『彼らはいつも、その心で迷っている』と。しかし、彼らはわたしの道を知らなかつた。12 それゆえ、わたしは怒りに満ちて誓つた。『彼らは決してわたしの安息に入ることはない』と。13 愛する兄弟たちよ、あなたがたのうち、だれも、生ける神から離れて、不信仰の邪悪な心を抱かないように気をつけなさい。14 むしろ、「今日」という日が続く限り、毎日、互いに戒め合い、だれも罪の惑わしによつて、その心が硬くならないようにしなさい。

ルカ 13:27 SIt

27 彼は答えるだろう、「あなたがたがどこから来たのか、私は知らない。悪を行う者たち、皆、私から離れ去れ」と。

サムエル記上 15:23 SIt

23 なぜなら、不従順は古いの罪と同じであり、反抗は偶像崇拜や偶像礼拝と同じである。あなたが主の言葉を拒んだので、主もあなたを拒んだのです。

ヘブライ 3:7-14、ルカ 13:27、サムエル記上 15:23、使徒言行録 7:51、ヨハネ 5:39-40

3.2.17

不誠実な者、姦淫を行う者、二心のある者、この世を愛する者は、神の敵であり、永遠の火の中で焼かれる。

不誠実な者、神に対する靈的な姦淫者、この世の友、つまり神の敵は、教会で手紙を聞く人たちにいるかもしれないし、教会自体がその方向に向かって進んでいるなら、教会自体にもいるかもしれない。そのように悔い改めのない生活を送る者は、もはや兄弟姉妹とは呼ばれず、その罪の称号で呼ばれことになる。これは、そのような人々が悔い改めなければ、失われることを明らかにしている。

不誠実な、靈的な姦淫者、この世の友、そして二心のある者は、命に関わるほど遠く離れていた神に再び近づけるよう、回心しなければなりません。すでに神を知っていた者が神から離れてしまった場合でも、真の悔い改めをしたことがない場合でも、命への道は同じです。

- 自分の状態を謙虚に認識し、嘆き、泣き、神の前でそれを告白すること。
- 神に服従する。
- 悪魔に抵抗する。

- 神に近づく。
- 罪人としての自分を清める（手を洗う）。
- 二心のある心を清める。

この道を進む者は、神が自分に近づき、自分を高めてくださるのを感じるでしょう。

ヤコブ 4:1-4 メン

1 争いや争いはどこから來るのか。それは、あなたがたの欲望が、あなたがたの体の中で争っているからではないのか。2 あなたがたは、欲しがるが、手に入れることができない。殺し、うらやむが、その願いが叶うことのない。争いや争いの中で生きながら、祈らないから、手に入れることができない。3 祈っても何も得られないのは、惡意を持って祈っているからであり、それは（祈ったことを）自分の欲望でやり遂げようとしているからです。4 神から離れた者たちよ、世と親しくすることは、神に敵対することであることを知らないのですか。世と親しくしたいと思う者は、神に敵対する者となるのです。

ヤコブ 4:5-10 メン

5 それとも、聖書が「私たちの内に宿る御靈は、嫉妬深い望みを抱く」と書いているのは、空虚な言葉だと思うのか？6 しかし、御靈が与えてくださる恵みは、それ以上に豊かなものである。それゆえ、「神は誇り高い者たちに抵抗し、へりくだった者たちに恵みを与える」と書かれているのだ。7 だから、神に服従し、悪魔に抵抗しなさい。そうすれば、悪魔はあなたから逃げ去るでしょう。8 神に近づきなさい。そうすれば、神もあなたに近づいてくださいます。罪人たちよ、手を清め、心をかたくなな者たちよ、心を聖別しなさい。9 自分の慘めさを悟り、嘆き、泣いてください。あなたの笑いは悲しみに変わり、あなたの喜びは嘆きに変わることでしょう。10 主の前にへりくだりなさい。そうすれば、主はあなたを高くしてくださいます。

1 ヨハネ 2:15-17 メン

15 この世も、この世にあるものを愛してはならない。もし、この世を愛する者があれば、父への愛は、その者にはない。16 なぜ

なら、この世のあらゆるもの、すなわち、肉の欲望、目の欲望、そして誇り高い生活は、父から来たものではなく、この世から来たものだからである。17 そして、この世とその欲望は過ぎ去る。しかし、神の御心を行う者は、永遠に生きる。

2 テモテ 4:10 Slt

10 デマスは、この世の生活が好きになったので、私から離れて、テサロニケへ行ってしまいました。クレセンスはガリアへ、テトスはダルマチアへ行きました。

ヤコブ 4:1-4; ヤコブ 4:5-10; 1 ヨハネ 2:17; ローマ 5:10; ルカ 19:27;
1 ヨハネ 2:15-17; 2 テモテ 4:10; マタイ 18:7; 2 ペテロ 2:20

3.2.18 容赦のない者は、神を失う

神の言葉は、キリストを信じる者たちや敬虔な者たちに厳しい言葉を投げかけている。

福音によって憐れみを得たにもかかわらず、自ら他者に無慈悲であった者たちは、神によって無慈悲に裁かれ、永遠に罰せられるでしょう。しかし、神から憐れみを受けたように、自らも憐れみを実践する者は、その救いに関する裁きにおいて、非難されることはありません。

ヤコブ 2:12-13

12 あなたがたは、（かつて）律法によって裁かれる者たちとして、そのように話し、そのように行動しなさい。13 なぜなら、裁きは、憐れみを示さなかった者に対して容赦なく行われ、一方、憐れみは裁きに対して誇りとなるからです。

マタイによる福音書 25:34-35

「さあ、わたしの父に祝福された者たちよ、世の初めからあなたがたのために用意されている王国を受け継いでください。35 わたしは空腹だったとき、あなたがたはわたしに食べ物を与えてくれた。

『のろわれた者たち、私から離れ、悪魔とその使たちのために用

意された永遠の火の中へ行きなさい。42 わたしは飢えていたのに、あなたがたは食べ物を与えてくれなかつた…46 そして、彼らは永遠の罰を受け、義人は永遠の命に入るであろう。

マタイによる福音書 18:32-35

そこで、主人は彼を呼びつけて言った、「悪い僕よ、あなたが私に頼んだので、私はその負債をすべて赦した。33 あなたが、私があなたを憐れんだように、あなたの仲間の僕を憐れむべきではなかつたのか。34 主人は怒りに満ちて、彼が負債をすべて返済するまで、彼を拷問人に引き渡した。35 あなたがたも、それぞれ自分の兄弟を心から赦さないなら、天の父もあなたがたに同じようするであろう。

ヤコブ 2:12-13、マタイ 25:34-35、マタイ 18:32-35、マタイ 23:23、ルカ 10:36-37

3.2.19 この世を愛して死ね！

この世を心から愛し、キリストを愛さない者は、以前救われていなかつたか、あるいは一度も救われたことがなかつたかに問わらず、救われることはない。

イエスは、弟子たちに、この世との分離と、この世とは異なる生き方を明確に要求しています。それが真の弟子たちの特徴です。この世に適合した生き方をしている者は、真のイエスの弟子になることはできず、したがつて救われることもありません。

ヨハネは、神の御心と神への愛を、この世への愛とは対照的に描いています。そしてヨハネは、すでにキリストを信じている人々に語っています。神を愛し、神の御心を行う者だけが、永遠に生き続けるのです。この世に属し、この世と一体であるものはすべて、消えていく。ヨハネは、読者に愛情を込めて、しかし断固として、この世を愛する道に逸脱しないよう警告している。そうしないと、永遠に生き続けることができないという結果になるからだ。

さらに、イエスを半心半意で信奉する者たちは、日々の心配事や、この世での美しく快適な生活の誘惑に打ち負かされてしまい、結局、彼らの生活は神にとって何の益も生まないものとなってしまいます。彼らは、神のために何の成果も生まない生き方をしており、そのため、失われてしまうのです。ここで強調したいのは、「失われてしまう」という部分です。

ヨハネ 15:18-19 メン

18 「もし世があなたがたを憎むなら、あなたがたよりも先に、わたしを憎んだことを思い起こしてください。19 もしあなたがたが世に属しているなら、世はあなたがたをその一部として愛したでしょう。しかし、あなたがたは世に属していないので、わたしが世からあなたがたを選んだのです。それゆえ、世はあなたがたを憎むのです。

1 ヨハネ 2:15-17 メン

5 世も、世にあるものを愛してはならない。もし誰かがこの世を愛するならば、父への愛は彼の中に住んでいない。16 なぜなら、この世のあらゆるもの、すなわち、肉の欲望、目の欲望、そして誇り高い生活は、父から来たものではなく、この世から来たものだからである。17 そして、この世はその欲望とともに過ぎ去る。しかし、神の御心を行う者は、永遠に生き続ける。

2 テモテ 4:10 Slt

10 デマスは、この世の生活が好きになったので、私から離れて、テサロニケへ行ってしまいました。クレセンスはガリアへ、テトスはダルマチアへ行きました。

マタイ 13:18-23、1 ヨハネ 2:15-17、2 テモテ 4:10、1 ヨハネ 5:4-5、マタイ 13:22、ヨハネ 17:16

3.2.20

靈的に（再び）眠り、目を覚まさない者は、手遅れになったときに天の外で目を覚ますことになる。

福音のメッセージを、信仰生活の初期のように、その召しにふさわしい、イエスを敬う行いで生き、イエスに従うことをやめた者は、その行いを怠り、この世の行いに汚され、再び清められない者は、イエスの目には危険な死の眠りについている、いや、イエスの目には死んでいるのです。そして、死んでいる者はもはや永遠の命を持っていません。イエス様は、その警告と、約束を伴う悔い改めの呼びかけによって、このことを確認しておられます。教会に泥棒のようにやってくるという警告は、聖書では常に、イエスの再臨の際に最終的に失われる者たちについて言及しています。そして、死の眠りからの悔い改め後の約束（）は、悔い改めた者たちの名前が命の書から消されることはありません。なんと恵み深いことでしょう。しかし、かつてキリストの追隨者であった者が、死の眠りから悔い改めなければ、神の前に立ったときに、もはや命の書に記載されることはなくなるでしょう。しかし、その生涯によって永遠の命に値する者であると証明した者には、イエスが永遠の命を約束してくださいます。

1 テサロニケ5:2-11 メン

2 あなたがたは、主の日は、夜中に泥棒が来るよう突然来ることをよく知っている。3 「今は平和で安全だ」と言っているとき、ちょうどそのときに、突然、破滅が、妊婦の陣痛のように彼らを襲い、彼らは決して逃れることができない。4 しかし、愛する兄弟たちよ、あなたがたは、その日が（主の）泥棒のように襲うことのないよう、暗闇の中で生きてはいけません。5 あなたがたは皆、光の子であり、昼の子なのです。私たちは、夜や暗闇とは何の関係もありません。6 ですから、他の人たちのように眠ってはいけません。目を覚まし、冷静でありましょう。7 眠る者は夜、酔う者は夜、酔うのです。8 しかし、私たちは、昼に属する者たちとして、信仰と愛という鎧を身に着け、救いへの希望という兜をかぶり、冷静であり続けましょう。9 神は、私たちを怒り

の裁きに定めたのではなく、私たちの主イエス・キリストによる救いを得るために、私たちを定められたからです。10 キリストは、私たちのために死なれたのです。それは、私たちが（キリストの再臨の時に）目を覚ましている者も、（すでに）眠っている者も、キリストと共にあるようにするためです。11 ですから、あなたがたは、互いに励まし合い、互いに建て上げ合いなさい。あなたがたは、すでにそうしているのです。

黙示録 3:1-6 メン

1 「サルデスの教会の御使にこう書き送れ。七つの御靈と七つの星を持つ方がこう言われる。わたしはあなたの行いを知っている。あなたは生きていると評判だが、実は死んでいる。2 目を覚まし、死にかけている者たちを励ましなさい。わたしはあなたの行いが、わたしの神の前で完全であるとは認めなかつた。3 だから、あなたが（救いの知らせ、すなわち、救い）を受け、聞いたことを思い出し、それを堅く守り、心を改めなさい。しかし、あなたが目を覚まさないなら、私は泥棒のようにやって来て、あなたが私がいつあなたにやって来るか、決して知らないままになる。4 しかし、サルデスの教会には、自分の衣を汚していない者たちがいる。彼らは、そのふさわしい者たちであるから、白い衣を着て、わたしと共に行くであろう。5 勝利を得る者は、白い衣を着せられ、わたしは、その名をいのちの書から決して消し去ることはなく、わたしの父と御使たちの前で、その名を認めるであろう。6 耳のある者は、御靈が教会たちに言うことを聞くがよい。」

マタイによる福音書 24:37-51

40 番には二人の（男性）がいて、一人は連れて行かれ、もう一人は残される。41 手挽き臼で（一緒に）粉を挽いている二人の（女性）がいて、一人は連れて行かれ、もう一人は残される。42 だから、目を覚ましていなさい。主がいつ来るかは、あなたがたにはわからないからだ。43 しかし、あなたがたは、家の主人が、夜中に泥棒がいつ来るかを知っていたら、目を覚まして、自分の家に侵入されるのを防ぐだろうということを、よく知っている。44 だ

から、あなたがたも準備をしておきなさい。人の子は、あなたがたが予想しない時に来るからである。

1 テサロニケ 5:2-11、黙示録 3:1-6、マタイ 24:37-51、エフェソ 5:11、マタイ 24:37-51、マタイ 24:43-51、ルカ 21:29-36、エフェソ 5:11、ペトロ 5:8

3.2.21

靈的な怠惰は滅びの兄弟であり、必然的に死へと導く

怠惰は滅びの兄弟であり、怠惰な者は神の目には悪とみなされ、罰せられる。怠惰の反対は勤勉であり、靈的な進歩は、神から託された財産を忠実かつ積極的に活用することにかかっている。天国への道で勤勉な者は守られ、確実にそこにたどり着く。

しかし、主のために勤勉に働くかしない者は、盲目で近視眼であり、過去の罪の清めを忘れてています。しかし、主のために勤勉に働くことは当然のことではありません。私たちは皆、疲れ、献身が弱まる危険にさらされています。大きな危険は、生きた信仰と奉仕から私たちを遠ざける怠惰にあります。怠惰で怠け者になる者は、永遠の命への入り口に疑問符を付ける道を進むことになります。

マタイによる福音書 25:14-30

「よくやった、良い忠実な僕よ。あなたはわざかなことに忠実であったから、多くのことを任せるつもりだ。あなたの主人の祝宴に参加しなさい」…「悪い、怠惰な僕よ！」…**28** 彼からそのタラントを取り上げて、**10** タラントを持っている者に与えなさい。…**30** しかし、役に立たない僕たちは、外の暗闇に追い出せ。そこで、泣き叫んだり、歯ぎしりしたりすることだろう。」

2 ペトロ 1:10 Slt

10 ですから、兄弟たちよ、あなたがたの召命と選びを確固たるもの

のにするために、なおさら熱心に努力してください。そうすれば、決してつまずくことはありません。

ヘブライ 4:11 *Slt*

11 11 だから、私たちは熱心に努力し (**Strong G4704** - σ π ο ν δάσκω - *spudazo* ギリシャ語 - 勵む、勤勉に努力する) 、、、その安息に入るよう努めましょう。そうすれば、だれも、不信仰の同じ例に倣って、つまずくことがないでしょう。

マタイ 25:14-30; 2 ペテロ 1:5-10; マタイ 25:22-30; ローマ 12:11; 2 ペテロ 3:14; ヘブライ 4:9-11; ヘブライ 6:11-12; ルカ 8:15 マルコ 4:18-19; マタイ 3:10; マタイ 7:19; 黙示録 3:19

3.2.22

救いを失う道は、徐々に進行します。言葉の罪を例に、その前段階と最終段階を見てみましょう。

すべての言葉の罪は、その根源を心の中に持っています。言葉の罪は聖靈を悲しませます。そのため、私たちは、福音やキリストにある私たちの立場に反する態度が生じ、長期的に救いを奪うことのないよう、注意を払うことが求められています。

兄弟姉妹を愛することは、イエスを愛することと並んで、イエスが与えた新しく最高の戒めです。そしてそれは、兄弟姉妹に対する軽蔑的な考え方や無礼な発言とは相容れないものです。

兄弟姉妹について不平を言うことさえ、この人生において神の裁きを私たちにもたらします。兄弟姉妹について不平を言うことで、すぐに救いを失うわけではないかもしれません、私たちは、この致命的な道への最初の危険な前段階に足を踏み入れているのです。

イエス様は、信仰を持つ兄弟姉妹たちに対する誤った、傲慢な言葉による裁きについて、三つの段階があることをご存じです。最後の段階だけが永遠の死をもたらしますが、その前段階もそこへ至るものであり、靈的な地上の裁きの対象となります。ヤコブの

手紙から、私たちが兄弟姉妹たちに対する悪い行いを改め、悔い改めなければ、イエス様ご自身が間もなくこの地上の裁きを行われることを知ることができます。ですから、兄弟姉妹について嘆くのではなく、彼らを祝福しましょう。私たちもそう賢明でありたいものです。さもなければ、この世で主が私たちを裁き、永遠に、兄弟姉妹への愛によって得られるはずだった報いを失うことになるでしょう。

エペソ 4:20-32 メン

29 口からは、腐った言葉を出さないで、必要なときに、聞く者に益となる、祝福をもたらす言葉だけを出しましょう。 30 あなたがたは、救いの日に、神の聖靈によって印を押されたのです。その聖靈を悲しませてはなりません。 31 すべての苦々しさ、怒りや恨み、叫びや侮辱、そしてあらゆる惡意を、あなたがたの間から取り除きなさい。 32 むしろ、互いに親切に、心から思いやりを持つて接し、神がキリストにおいてあなたがたを赦してくださったように、互いに赦し合いなさい。

マタイ 5:22

22 しかし、わたしはあなたがたに言う。兄弟に理由もなく怒る者は、裁きを受けることになる。兄弟に「バカ」と言う者は、最高議会に訴えられる。兄弟に「愚か者」と言う者は、地獄の火に投げ込まれる。

ヤコブ 5:9 Slt

9 兄弟たちよ、互いに不平を言ってはなりません。さもないと、裁きを受けることになります。見よ、裁き主が戸口に立っておられるのです。

エフェソ 4:20-32、マタイ 5:22-25、1ヨハネ 3:15、ヤコブ 5:9-12、マタイ 12:34、ヨハネ 13:34、1ペテロ 1:22、ヤコブ 3:1-12、ヤコブ 4:11-12

3.2.23 疑い：あなたの魂をめぐる戦いが始まった

永遠の火は、信仰に疑いを抱く者たちを貪欲に襲いかかっている。それは、信仰の副次的な真理に疑いを抱く者たちではなく、神の愛とイエス・キリストの犠牲による救いの根本的な真理に疑いを抱く者たちである。彼らには、私たちの深い同情と憐れみを捧げるべきである。私たち自身も、自分の行いによってではなく、恵みによってのみ救われているのです。私たちも彼らと同じ運命をたどる可能性があります。したがって、私たちは、疑念によって救いが脅かされているすべての人々に、愛と慈悲深い思いやりをもって接し、可能な限り彼らを炎から救い出し、自らも陥らないよう努めなければなりません。

疑念に対する解毒剤は、私たちの偉大な模範であるイエス、私たちの父であるアブラハム、ヘブライ人への手紙 11 章に登場する信仰の模範たち、そしてすべての人々の信仰における神の模範であるパウロのように、最後まで信仰を持ち続けることです。

聖書によれば、私たちの信仰にとって最大の試練は苦しみです。愛と憐れみ深い神が苦しみをお許しになることを信じること。神がイエス自身、私、そして他の人たちに苦しみをお許しになることを信じること。イエスに従う者たちにとって、神は創造主として苦しみを受け入れるだけでなく、救い主として、子供たちの生活の中で、愛から苦しみを受け入れ、彼らのためにそれを活用する、そして、義人は多くの苦しみを受ける一方で、多くの不義な者たちは恵まれた生活を送っている、という事実を見失うこととは、大きな課題です。

苦しみに耐える意志と能力のある者だけが、信仰を持ち、疑念を克服することができるのです。そして、神が最後まで自分を愛しておられるという確信によって、神を永遠に見ることができるのです。そのため、イエス様は、苦しみを受け入れる能力に関して、弟子となるための条件を非常に高く設定しています。毎日自分の十字架を背負い、死に至るまで自分の（自分の）命を愛さない者だけが、イエス様の弟子となるにふさわしい者であり、その者だけが永遠の命の約束を受けることができるのです。

その道程では、おそらく私たち全員が躊躇ことになるでしょう。女性から生まれた最も偉大な人物であり、最も偉大な預言者ヨハネ・バプティストでさえ、苦しみの中で疑念を抱いたことがあります。苦しみの中で、私たちはイエスを疑うかもしれません。しかし、まさにその苦しみの真っ只中に、イエスは私たちを探し求め、見つけ出し、イエスとの出会いと命の言葉という贈り物を与えてくださるのです。実際、神ご自身や神の言葉との出会い、そして信仰の兄弟姉妹たちの励ましは、私たちの疑いを癒し、神から遠ざかることから私たちを守ることができる、唯一かつ最善の救済策なのです。

なぜなら、疑念を克服し、イエスとイエスが私たちに対して行うことを長期的に疑うことのない者だけが、祝福され、祝福される者となるからです。

イエス様は、刑務所に収監されている、ご自分の最大の僕である洗礼者ヨハネを、このように励ましています。そして、イエス様について知っていること、聞いていること、そして神の言葉の中で確認できることから、ヨハネが（再び）祝福される信仰を見出せると、イエス様ご自身が信じておられます。

イエス自身は、文字通り疑念を抱いたわけではないものの、深い苦しみの中にあったときに「なぜ、父よ？」という苦渋の疑問を抱いた。

そして、父はイエスにそれを課し、暗い谷の終わりにある光へとイエスを導いたのです。

苦しみや疑いは、私たちの信仰を成長させる大きな機会です。苦しみは、神によって約束されていることもあります。しかし、その背後にある神の目的は、苦しみを通して、信仰の戦いや疑いを乗り越え、信仰を成熟させ、強固なものにすることなのです。信仰と苦しみと疑いを乗り越えた後、最終的にはより強く、より輝かしく、より美しいものになるのです。

マタイ 11:2-11 メン

2 しかし、ヨハネは牢獄の中でキリストの働きを聞いたとき、弟子たちを通してキリストにメッセージを送った。3 そして、「来

るべき方はあなたですか、それとも、私たちは別の誰かを待つべきですか」と尋ねた。

4 イエスは彼らに答えて言われた、「行って、あなたがたが見聞きしたことをヨハネに伝えなさい。6 そして、わたしを妨げない者は幸いである」。

11 本当に、あなたがたに言う。女から生まれた者の中で、バブテスマのヨハネより偉大な者はいない。

ユダ 1:22-23 メン

22 疑いを抱いている者たちには、憐れみを持って接しなさい。23 彼らを火の中から引き抜き、救い出してください。

1 ペトロ 1:7 SIt

7 そうすれば、あなたがたの信仰（それは、火で試される、はない金よりもはるかに尊いものです）が、イエス・キリストの現れとともに、称賛と栄光と誉れをもたらすでしょう。

マタイ 11:2-11、マタイ 28:17、ユダ 1:22-23、ローマ 4:20-25、ルカ 24:36-49、詩篇 73、ルカ 9:23-24、ローマ 8:28、ローマ 8:31-39、ヘブライ 10:38-39; ヨハネ 15:20-27; ヨハネ 16:1; 1 ペトロ 1:7; 2 テモテ 4:7-8; ヨハネ 20:27; ヨブ 34:7-12; ヨブ 42:1-6、ヘブライ 11、1 テモテ 1:16、マタイ 8:10-12、エペソ 2:8、マルコ 16:16

3.2.24

汚れを洗い流さずにいる者は、神の民から滅ぼされる

神の前で汚れているということは、死んでいることを意味します。

神によって清められることは、命を得ることを意味します。

この世で再び汚れて、清めを受けないということは、回心する前よりもさらに死んでいることを意味します。

絶えず清めの道を歩まないキリストの追隨者は、誤った道を歩んでおり、悔い改めと清めなしには天国に到達することはできない。

黙示録 3:1-6 メン

あなたは生きていると評判ですが、実は死んでいます。…4しかし、サルデには、その衣を汚していない者たちがいる。彼らは、私とともに白い衣を着て歩むべきである。彼らはそれにふさわしい者たちである。5勝利を得る者は、白い衣を着せられ、私はその名をいのちの書から決して消し去ることなく、私の父と御使たちの前でその名を認める。

1 ヨハネ 1:9 メン

9しかし、もし私たちが自分の罪を告白するならば、彼は真実で正しい方であるから、私たちの罪を赦し、すべての不義から私たちをきよめてくださる。

1 ヨハネ 3:2-3

2 私たちは、彼がどのようなお方であるかを、そのとおりに見るからです。3 そして、この希望を彼に置く者は皆、彼が（また）清いように、自分自身を清めるのです。

4 民数記 19:20 メン

しかし、もし誰かが汚れて、その罪を清めなければ、その者は会衆から断ち切られなければならない。その者は主の聖所を汚し、清めの水で清められていないからである。その者は汚れている。

2 ペテロ 2:20-22 メン

20なぜなら、彼らは、主であり救い主であるイエス・キリストを知ることで、この世の汚れから逃れたにもかかわらず、再びその汚れにまみれ、それに打ち負かされてしまったからです。その結果、彼らの最後の状態は、最初の状態よりもさらに悪くなってしまった。

黙示録 3:1-6、1 ヨハネ 1:9、ユダ 1:22-23、1 ヨハネ 3:3、使徒 15:9、エペソ 5:26、ヨハネ 13:10、ヘブライ 9:22; 1 ヨハネ 3:3; 2 コ

リント 7:1; ヘブライ 12:14; 黙示録 3:1-6; 4 モーセ 19:20; 2 ペテロ 2:20-22; 默示録 22:10-15; 4 モーセ 19:20

3.2.25

信仰からの離反とは、自発的に救いを捨て去ることを意味します。

神からの背信、あるいは信仰からの背信という言葉は、決して喜ばしい意味合いを持つものではありません。聖書では、この言葉は、神のもとにおった人々が神から離れ、最終的には死と永遠の罰、すなわち永遠の罰が待ち受けていることを表すために一貫して使用されています。

イザヤ書 66:23-24 メン

23 そして、毎月新月、毎週安息日に、すべての肉なる者が私の前に集まって礼拝するようになる」と主は言われる。 24 彼らはまた（町から）出て、わたしから離れた者たちの死体を見に行く。彼らの虫は死なず、彼らの火は消えることがない。彼らはすべての肉にとって忌まわしいものとなる。

ヘブライ 3:12-19 メン

12 愛する兄弟たちよ、あなたがたのうち、だれも、生ける神から離れて、不信仰の邪悪な心を抱かないように気をつけなさい。 13 むしろ、「今日」がまだ続く間、毎日、互いに戒め合い、だれも罪の欺きによって、その心が硬くならないようにしなさい。 14 私たちは、初めからの信仰の確信を、最後まで揺るぎなく持ち続けるならば、キリストの仲間となるのです。

ガラテヤ 1:6-9

あなたがたが、キリストの恵みによって召された方から、すぐに離れて、別の救いのメッセージに目を向けることに、私は驚かざるを得ません。 … 8 たとえ、私たち自身、あるいは天からの御使いが、私たちがあなたがたに伝えたものとは別の救いのメッセージを伝えたとしても、その者はのろわれる。 9 以前にも述べたように、もう一度繰り返します。「あなたがたが（私から）受けた

ものとは別の救いのメッセージを伝える者があれば、その者はのろわれる」と。

2 テサロニケ 2:3 メン

3 だれにも、どんな方法でも、だまされはいけません。まず、背教が起こり、不法の人、滅びの子が現れなければならないからです。

イザヤ 66:24、ガラテヤ 1:6-9、2 テサロニケ 2:3、ヘブライ 3:12-19、2 歴代誌 29:3-11、イザヤ 1:28、イザヤ 31:6、エレミヤ 2:29、エレミヤ 5:23、エゼキエル 2:3、エゼキエル 6:9、エゼキエル 20:38、ホセア 1:2、ホセア 6:7、ホセア 7:13、ホセア 9:1、ゼパニヤ 1:1-6

3.2.26 聖靈に対する罪と死に至る罪—

それを恐れる者は、それを犯していない

そう、イエスを信じる信者たちは、靈的な死、つまり永遠の死に至るような罪を犯すことがあるんだ。

しかし、神にとっては、迷い出た者たちが悔い改めるための扉は常に開かれている。良き羊飼いは、それを私たちに強く示してくれださっている。

いいえ、ヘブライ人への手紙 6 章 6 節にある、信仰から離れた者たちの「不可能性」は、神に起因するものではありません。神に立ち返りたいと思う者は、いつでもそうすることができ、その者は神のもとで門戸を開かれ、天国で喜びの祝宴が催されるでしょう。

「不可能」とは、他の人々を指しています。彼らの内面は、もはや靈的な恵みや力によって感動したり、変化したり、正しい道へと導かれたりすることのないように形成されています。彼らは、神の言葉や天の力に対して冷たく、理解を示しません。

良い知らせは、たとえほんの少しでも、自分がこうした人々の一員ではないかと不安を感じるなら、救いの道への回心は「不可能」ではないということです。神との良好な関係を気にかける人は、神の言葉を受け入れる心を持っていることを証明しています。そして、良き羊飼いは、誠実で、弱く、無力な状態で彼に頼る者を、いつでも、何度でも救ってくださいます。イエスにやってくる者を、イエスは決して追い出したりはしません。

ヤコブは、信仰から迷い出た兄弟姉妹たちを、彼らの魂を死から救うために、再び主のもとへ導き戻すよう私たちに励ましています。また、ユダは、信仰に疑いを抱く兄弟姉妹たちを、憐れみ深い愛をもって火の中から救い出すよう、私たちに強く訴えています。そして、ヨハネはここで、私たちの祈りを通して、同じ働きを行うよう私たちを励ましています。そして、死に至る罪を犯さない兄弟姉妹には、命を与えるでしょう。死に至る罪を犯す者たちは、あらゆる願い、嘆願、戒め、そして愛情に満ちた指導に耳を貸さないことで（そのことを）認識（しなければならない）でしょう。私たちは、神が御言葉に従って私たちを正しく導いてくださることを信じましょう。なぜなら、私たちは（現時点では）誰が死に至る罪を犯しているかを（まだ）知らないからです。そして、神が本当に死に至る罪があることを明らかにされるまで、迷い、道に迷った兄弟姉妹一人ひとりのために祈り続けましょう。聖書の全体的な証は、神が、より近い状況や、聖霊の働きに対する明らかな頑なさを通じて、その人たちに別のことを示すまで、私たちはすべての人に対して常に希望を持ち続けることができる、またそうすべきであると教えています。

ルカ 15:7+10 メン

私と一緒に喜んでください。失われた羊を見つけましたから。**7**あなたがたに言います。同じように、一人の罪人が悔い改めるなら、天でもそれと同じように喜ぶでしょう。

ヤコブ 5:19-20 メン

19 兄弟たち、あなたがたのうち、真理から迷い出た者がいて、誰かがその者を立ち返らせたなら、**20** その者は、罪人をその迷い

から立ち返らせたことで、その魂を死から救い、多くの罪を覆ったことを知るべきである。

1 ヨハネ 5:16-18 メン

16 もし、だれでも、その兄弟が死に至る罪を犯しているのを見たなら、その兄弟のために祈って、その兄弟を生き返らせなさい。死に至る罪を犯していない者たちのために。死に至る罪もあるが、それについては、祈って救うべきではないと私は言う。

ルカ 12:10 メン

10 「人の子に対して何か言う者は、赦される。しかし、聖靈に対して冒涜する者は、赦されない。

ヘブライ 6:6 SIt

[なぜなら、それは不可能だからである…] そして、[それでも] 背いた者たちを、悔い改めに立ち返らせるすることは不可能である。彼らは、自ら、再び神の御子を十字架につけ、嘲笑する者たちであるからだ。

ルカ 12:10、ヘブライ 6:4-6、1 ヨハネ 5:16-18、ルカ 15:11-32、ルカ 15:7+10、ヨハネ 6:37、ヤコブ 5:19-20、ユダ 1:22-23、ヘブライ 6:4-12

3.2.27

他の人々が私によって救いを失うならば、私自身も
救いを失う危険にさらされます。

人々が信仰を受け入れ、イエスを救い主として受け入れ、救われた人々がイエスに留まり、最終的に救われるためには、私の生き様も決定的に重要です。神に栄光を帰し、誰も罪に誘惑しない生き方は、他の人々の信仰を強めることに貢献します。

しかし、イエス様は、私たち信者も、特に信仰を持つ兄弟姉妹に對して、神の裁きを受けるほど罪を犯す可能性があることをはっきりと明らかにしています。これは特に、他の人たちに、自分の良心に反する行動、罪、信仰からの離反を誘う場合に当てはまり

ます。したがって、私たちの生き方は、神と他の人たちに対して大きな責任を私たちに負わせるのです。

マタイによる福音書 18:6

6 しかし、わたしを信じるこれらの小さな者たちのうちのひとりでも、罪を犯すように誘惑する者は、その首に大きな石臼を掛け、海の深みに沈めるほうがましである。

1 コリント 3:17 Slt

神は、神の神殿を破壊する者をすべて滅ぼす。神の神殿は聖なるものであり、それはあなたがたである。

1 コリント 10:31-33

31 さて、あなたがたは、食べるにも、飲むにも、その他何をするにも、すべて神の栄光のためにしなさい。**32** ユダヤ人も、ギリシア人も、神の教会も、誰もつまずかせないようにしなさい。**33** 私も、あらゆる点で、すべての人に喜ばれるように、自分の利益ではなく、多くの人の利益を求めて生きています。それは、彼らが救われるためです。

ヨハネ 13:35 Slt

35 あなたがたが互いに愛し合うならば、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が知るようになる。

1 コリント 10:31-33、マタイ 18:1-17、ヨハネ 13:35

3.2.28 主を愛さない者は呪われる！

基本的に、あるいは自分の救いを得た後、主を愛さない者は、失われた者としての呪いを受ける。

主を愛するとは、主の戒めに従うことを意味する。イエスの言葉に従う者は、イエスを愛している。イエスの言葉に従わない者は、主を愛していない。

しかし、愛とは強制したり、買ったりできるものではないのではないでしょうか。私たちは、好きな人を自由に愛することができるのではないでしょうか。

神に関してはそうではありません。神の恵みと聖霊によって、真に生まれ変わったすべての人々は神を愛することができます。そして、彼らにはそうする十分な理由があります。イエスが彼らのために命を捧げたことで、彼らの罪と過ちから救われ、父の愛を知り、体験することができ、創造主であり、すべての良い賜物を与える、生きた希望を与える神を知ることができ、神は私たちの生活の中ですべてのことを最善のために用いてくださり、イエスを通して、神が与えることができるすべてのものを私たちに与え、最も偉大で貴重な約束を与えてくださいました。この素晴らしい主、神を心から愛すべきではないのでしょうか？この素晴らしい愛の神を愛さない（愛し返さない）者は、神の愛と恵みを悪用し、滅びてしまうでしょう。

そう、主を愛することは難しいことではありません。

なぜなら、神は

- あなたの創造主であり、神なしにはあなたは存在しえないからです。
- すべての良い賜物の与え主であり、あなたがそれに値するかどうかに関係なく
- あなたを愛する方
- あなたを深く愛して、あなたのために最も残酷な死を受け入れた主
- あなたの人生をすべて最善の方向に導き、あなたが素晴らしい永遠を過ごすようにしてください方

主を愛さないことは、9.11に燃え盛るツインタワーから私を救い、その過程で自ら命を落とした私の救世主を軽視し、侮辱することと同じです。それは、献血によって私の命を救ってくれた献血者に唾を吐きかけ、平手打ちをするようなものです。

したがって、主をそれほど深く愛してくださった主を愛さない者は、聖書によれば、呪われるべきである。

1 コリント 16:22 メン

22 主を愛さない者は、のろわれる。マラナタ！

ヤコブ 1:12 メン

12 試練に耐え抜いた人は、幸いである。試練に耐えた後、その人は、愛する者たちに約束された、勝利の冠を受けるからである。

ヨハネ 14:23-24 メン

「わたしを愛する者は、わたしの言葉を守る。そして、わたしの父もその人を愛し、わたしたちは彼のところに行き、彼とともに住む。24 わたしを愛さない者は、わたしの言葉も守らない。

1 ヨハネ 3:14 メン

愛さない者は、死の中に留まる。

黙示録 2:4-7 メン

4 しかし、私は、あなたが最初の愛を捨てたことを非難する。5 だから、あなたがどこから落ちたかを思い出し、悔い改めて、最初の行いに戻れ。そうしなければ、私があなたの上に臨み、あなたの燭台をその場所から取り除いてしまう。…7 それを克服する者には、神の楽園にある命の木の実を食べさせる。

1 コリント 16:22、ヨハネ 14:23-24、1 ヨハネ 3:14、黙示録 2:4-7、

ヤコブ 1:12、ヨハネ 14:23-24

3.2.29

まとめ：私たちが神から離れ、神から離れ、救いを失う方法

ここでは、私たちが神から離れ、その結果として救いを失う可能性のあるいくつかの言葉や方法を、完全ではないものの、いくつか挙げてみます。

- 信仰から離れる 1 テモテ 4:1
- 良心を傷つけ、信仰を損なう 1 テモテ 1:19
- 偽りの靈や惡魔の教えに耳を傾ける 1 テモテ 4:1
- 退いて滅びに至る ヘブル 10:39
- 真理から迷い去る ヤコブ 5:19
- 死に至る罪を犯す 1 ヨハネ 5:16
- 兄弟を憎み、殺す者となる 1 ヨハネ 3:15
- 聖靈に対して罪を犯す マルコ 3:29
- イエスが言うことを行わない ルカ 6:46-49
- イエスを信じる小さな者たちを罪に誘う マタイ 18:6
- 自分の目、手、足によって悪に誘惑される マタイ 18:7-9
- 信仰にたどり着くことが無駄になる 1 コリント 15:2、ガラテヤ 3:4、ピリピ 2:16
- 命の書から消される 黙示録 3:5
- キリストを失う 1 コリント 15:18
- 恵みから落ちる ガラテヤ 5:4
- 目標を通り過ぎてしまう ヘブライ 2:1
- 勝利の冠を奪われる コロサイ 2:18
- イエスにとどまらない ヨハネ 15:6
- いのちの言葉に固執しない ピリピ 2:16
- 再び弱く貧しい要素（この世のもの）に立ち返り、それらに仕える ガラテヤ 4:9
- サタンに自分の心を満たさせ、聖靈に嘘をつく 使徒 5:3
- 神を侮る者になる 1 テサロニケ 4:8
- 永遠の命を自分の中に保たない ヨハネ 5:38
- 戦いの賞を失う。 コロサイ 2:18
- イエスに腹を立てる／イエスに惑わされる ルカ 7:23
- もはやイエスと共に行かず、イエスに従わない ヨハネ 6:66

3.2.30 まとめ：「肉」の道は、救いから裁きと滅びへと続
く

神の恵み - 無視してはならない賜物

神は、その計り知れない愛をもって私たちを呼び、イエス・キリストを通して、純粋な恵みによって救ってくださった。しかし、この恵みは、肉的な生活にとどまるための免罪符ではない。罪にふける者、この世を愛する者、福音を薄める者は、神の愛を軽んじるだけでなく、それを悪用し、自分の救いを危険にさらしている。真のイエスの弟子たちは、神の恵みの中に留まり、イエスに固執し、御靈によって変えられる。

神の恵みを忘れるこの致命的な危険

私たちの信仰とキリストへの奉仕は、私たちがそれを堅持する限り、無駄になることはありません。しかし、真の福音から背を向け、悔い改めのない生活を送る者は、神の恵みを無駄にしてしまうのです。聖書は、神の愛と恵みを忘れて、再び肉の行いに陥ることを強く警告しています。絶え間ない清めと聖化のない信仰は、死んだものです。

意識的に罪にふけり、悔い改めない者は、神の恵みを大切にしていないことを示している。イエス様は私たちを救ってくださったが、私たちがイエス様にとどまることを期待しておられる。神の御靈に導かれるのを拒み、肉の道を選ぶ者は、結局、かつて自分を救ってくださった愛を拒絶することになる。

深刻な警告：生ぬるさと意識的な罪は、神から人を引き離す

イエスと歩みを始めることは可能ですが、その目標に到達することはできないかもしれません。生ぬるくなり、悔い改めをしない者は、イエスによって吐き出されます。イエスに従うには、特に試練の時、警戒と不屈の精神が必要です。この世に目を向け、この世を追いかけて、神の戒めを無視する者は、自分を救った愛を軽んじ、救いを危険にさらすことになります。

特に致命的となるのは、意識的な継続的な罪です。古い生活と決別する用意がなく、神とその戒めを背景に押しやっている者は、いつの日か、自分が神の恵みから遠ざかっていることに気づくでしょう。かつて自分を救った愛は軽んじられ、最終的には悪用さ

れてしまいました。イエスは、意識的に自分に反抗して生きる者たちとは交わりを持ちません。

真の報酬：自分のためではなく、神のために生きる

神は、神への愛のために生き、神の御心にとどまる者たちに報いを与えます。主のために自分の才能を捧げ、苦難の中でも堅く立ち、無私無欲に奉仕する者は、天国で大きな報いを受けるでしょう。しかし、自分の名誉のためだけに行動したり、神から与えられた可能性を活用しなかったりした者は、報いを受けるどころか、永遠の命さえも失うことになるでしょう。

真のイエスの弟子たちは、自分の人生は自分自身のものではなく、神のものであることを理解しています。再びこの世の欲望に囚われる者は、神の戒めに反するだけでなく、もはや神の愛を尊ばないことを示しているのです。自分のための人生は、神に背く人生なのです。

肉欲的な生活による破壊

神はキリストにおいて私たちを新しくしてくださいましたが、肉は依然として私たちを引き戻そうとする敵です。肉に屈し、自分の欲望を神よりも優先する者は、靈的に死ぬことになります。聖書は、肉に従って生きる者は神の国を相続しないことを明らかにしています。したがって、意識的に神の御靈に背く者は、神の導きを拒むだけでなく、かつて自分を救った恵みを侮辱することになります。

イエス様は、私たちが毎日自分の十字架を背負い、自分を否定して、イエス様に従うことを期待しています。その代わりに、肉の生活を選ぶ者は、かつて自分を救った計り知れない愛を忘れ、結局、自分の目的のためにそれを利用することで、その愛を悪用してしまうのです。

誘惑と偽りの福音の危険性

偽りの福音は人を殺します。純粋で偽りのないイエス・キリストの福音だけが、命へと導きます。誤った教えや世俗的な哲学に惑

わされる者は、神から離れてしまいます。福音を薄め、神の聖さを無視することは、特に危険です。悔い改めも、聖化も、キリストへの従順もない福音は、福音ではありません。他のものを固執する者は、真理を軽視し、滅びてしまうのです。

この世への愛は滅びへと導く

「だれも、ふたりの主人に仕えることはできない」。この世を愛する者は、永遠の命を失います。聖書は、この世の欲望に惑わされることの危険性を強く警告しています。金銭欲、名声欲、快適さ、自己実現は、神から目をそらすような、欺くような罠です。これらのこととイエスよりも優先する者は、かつて自分を救った愛を軽んじ、この世とともに滅びてしまうでしょう。

多くの人々はキリストから始めますが、この世の心配事が彼らの信仰を窒息させてしまいます。人生の誘惑、所有物への執着、承認欲求により、多くの人々は真の宝を見失ってしまうのです。しかし、結局重要なのはただひとつ、最後まで忠実であり続ける者が救われるということです。

結論：警戒を怠らず、神の愛を敬う

私たちの命は、イエスの血によって買い取られた、神からの賜物です。罪にふける、あるいは肉の道を選ぶことで、神の愛を軽んじてはなりません。神に背く者は、かつて自分を救った恵みを悪用し、永遠の未来を危険にさらすことになります。

ですから、警戒を怠らず、キリストに固執し、何よりも神を愛しましょう。最後まで信仰を貫いた者だけが、いのちの冠を受けるのです。神の愛は誠実ですが、私たちにも誠実であることが求められているのです。

3.3 キリストの追隨者たちが、命と冠へと確実に歩むために

フィリピ 3:13-14 Slt

私は、後ろにあるものは忘れ、前にあるものに手を伸ばし、キリ
400

スト・イエスにある神の天の呼びかけの賞を得るために、目標に向かって走り続けています。

目標に向かって走るーそして確信を持って

新約聖書では、イエスに従うことは、走りや戦いとして描かれています。しかし、この道は恐怖ではなく、確信によって特徴づけられています。真の回心と再生によってイエスと歩みを始めた者は、その道を歩み続け、その道から逸脱しない限り、すでに永遠の命を得ているのです。

イエスご自身がこう言わわれている。信じる者は永遠の命を持ち、死から命へと移ったのだ（ヨハネ5:24）。ヨハネもこう確認している。信じる者は、自分たちが永遠の命を持っていることを知っている（1ヨハネ5:13）。

この歩みは、救いを獲得しようとする試みではなく、キリストとの生きた関係を表すものです。聖化と忍耐の成果は、真の救いのしるしです。パウロがローマ人への手紙で書いているように、その目標は永遠の命なのです（ローマ6:22）。

朽ちることのない勝利の冠

弟子たちは、朽ちる賞ではなく、永遠の命の勝利の冠を求めて走っています。彼らは、義務だからではなく、愛しているから、意識的に放棄し、規律を持って戦い、その道を進み続けています。

1コリント9:24-25 Slt

それを手に入れるために走り続けなさい！…しかし、私たちは朽ちることのない冠を目指して走っています。

そのルールに従って走る者は冠を受ける（2テモテ2:5）、最後まで忠実である者は命の冠を受ける（黙示録2:10）。

私たちが走る理由：愛のため

弟子たちは、自分自身を証明するために走るのではなく、最初に彼らを愛してくださった方のために走るのです。イエス様は、私

たちの信仰の創始者であり、完成者であり、自ら私たちの前に全行程を走ってくださった方です（ヘブライ 12:1-2）。

イエスの永遠の栄光への呼びかけが私たちを引き寄せ、イエスの愛が私たちを駆り立て、イエスの御靈が私たちを励まし、正してくれます。イエスは、私たち一人ひとりがそれぞれの道を歩むことができるよう導いてくださるコーチです。どんな道も難しそうなことはなく、どんな試練も耐え難いほどではありません。イエスは常に脱出の道を与えてくださいます（1コリント 10:13）。

ゴールは予期せぬときに訪れる—準備をしておこう

死によって、あるいはイエスの再臨によって、その走りがいつ終わるかは誰にもわからない。しかし、耐え忍ぶ者は救われる（マタイ 24:13）。そして、パウロは、その生涯の終わりに、義の冠が彼、そしてイエスの再臨を愛するすべての人たちを待っていると述べることができた（2テモテ 4:7-8）。

勝利者の栄光

黙示録 21:7 Slt

勝利者はすべてを受け継ぎ、わたしは彼の神となり、彼はわたしの子となる。

この栄光は、業績に対する報酬ではなく、忠実さに対する賜物である。黙示録は、勝利者に対する多くの約束を列挙している。

- 命の木へのアクセス（黙示録 2:7）
- 第二の死からの解放（黙示録 2:11）
- 新しい名前の刻まれた白い石（黙示録 2:17）
- キリストとの権威（黙示録 2:26）
- 命の書から名前が消されないこと（黙示録 3:5）
- 神の宮における確かな地位（黙示録 3:12）
- キリストの御座に（黙示録 3:21）

結論：愛と確信をもって、冠を得るまで

イエスの追隨者たちは、恐れではなく、深い確信と大きな憧れを持って歩んでいます。彼らは今、命を持ち、忠実さをもってその目標に向かって歩んでいます。彼らは、愛されているから、イエスを愛しているから、そしてイエスに近づけることが最大の報酬であるから、歩んでいるのです。

1 コリント 9:24 Slt
走れ、そうすれば、それを得るだろう！

4 天国での報酬と位階

天国での報酬は、イエス・キリストによって恵みによって救われた者たちにのみ与えられます。救われていない者たちは、失われるだけでなく、その罪によって永遠の怒りを積んでいるのです。彼らの過ちの程度によって、永遠の負の報酬の程度が決まります。

恵みによって救われ、キリストとともに、キリストのために生きる者たちには、次のことが当てはまります。永遠の命は、神を愛し、その愛を、神への奉仕と人生を通して示す者たちへの報酬です。ここで重要なのは、私たちの内なる動機です。愛と神の栄光のために行うすべてのことは、神によって報われるのです。

キリストのために、あるいは正義のために苦しみ、敵を愛する行動をとった、自分の才能を神のために寛大かつ忠実に用いた信者たちは、永遠の命において大きな報いを受けるでしょう。しかし、主にではなく、主に認められたいという動機から行った行動は、報いをもたらすことはありません。

神から与えられた可能性を主のためにまったく活用しない者は、報いを受けるどころか、永遠の命も失い、不信仰者たちと同じ運命をたどることになる。また、神に仕えているにもかかわらず、神よりも自分自身に奉仕する者も、救われてはいないし、救われることもない。

ローマ 2:4-8 メン

4 それとも、神の慈しみ、忍耐、寛容の豊かさを軽んじて、神の慈しみがあなたを悔い改めに導こうとしていることを悟らないのか。5 しかし、あなたの頑なさと悔い改めのない心によって、あなたは怒りの日、神の義の裁きが現れる日に、自分自身に怒りを積んでいるのです。6 それぞれの行いに応じて報いるであろう。7 すなわち、善行に堅く立ち、栄光、誉れ、不朽を追い求める者たちには、永遠の命を与えるであろう。8 一方、頑固で、真理に

従わず、不義に仕える者たちには、怒りと憤りを与えるであろう。

2コリント9:6 メン

6 種をまかない者は、収穫も少なく、種をたっぷりまいた者は、収穫も多くなる。

1コリント3:14-15 メン

14 もし、その人がその上に建てた働きが（火の中で）耐えるならば、その人は報いを受ける。15 しかし、もしその人の働きが焼けてしまうならば、その人は損害を負担しなければならない。その人自身は救われるが、それは火を通ったようなものになる。

1コリント4:5 メン

5 ですから、主が来て、隠されていることも明らかにし、心にある思いも明らかにされるまで、何も早まって判断してはなりません。そうすれば、それぞれの人に、神からふさわしい称賛が与えられるでしょう。

マタイ6:1 メン

1人々の前で、人々に認められるために、自分の義を行わないよう気をつけなさい。そうしないと、天の父から報いを受けることができない。

コロサイ3:23-25 メン

23 あなたがたは、すべてのことにおいて、人に対してではなく、主に対して、喜んで行いなさい。24 あなたがたは、主から（天の）御国を報いとして受けることを知っているからです。あなたがたは、キリストに僕として仕えているのです。25 しかし、不正を行う者は、その不正を行ったことに対する報いを受ける。そこでは、人を差別することはない。

ルカ6:22-23+35 メン

敵を愛し、善を行い、見返りを求めずに貸してやりなさい。そうすれば、あなたの報いは大きいでしょう。

ルカ19:16-19 メン

16 最初に、その一人が来て言った、「ご主人様、あなたの1ポン

ドは、さらに 10 ポンドの利益をもたらしました」。17 ご主人様は彼に答えて言われた、「よくやった、良い僕だ。小さなことに忠実であったから、10 の町の管理を任せることもありだ」。

マタイによる福音書 25:25-30 メン

25 …私は…あなたの才能を地中に隠しておきました。ここに、あなたの金があります。26 すると、主人は彼に言った、「悪い、怠惰な僕よ！ …28 だから、その才能を取り上げて、十の才能を持つ者に与えなさい。…30 しかし、役に立たない僕たちは、外の暗闇に追い出せ。そこでは、泣き叫んだり、歯ぎしりしたりすることだろう。」

マタイ 7:21-23 メン

21 「わたしに向かって『主よ、主よ』と言う者すべてが、天の国に入るわけではない。わたしの天の父の御心を行う者だけが、そこに入る所以である。22 その日、多くの人々がわたしに向かって言うだろう、『主よ、主よ、私たちはあなたの御名によって預言し、あなたの御名によって悪霊を追い出し、あなたの御名によって多くの奇跡を行ったではありませんか』と。23 しかし、わたしは彼らにこう言うだろう、『わたしはあなたがたをまったく知らない。不法を行う者たち、わたしから離れ去れ』と。

ローマ 2:4-7、ルカ 19:16-19、マタイ 25:25-30、2 コリント 9:6、マタイ 6:1、マタイ 20:20-28、1 コリント 4:5、黙示録 22:11-12、ルカ 6:22-23 + 35; コロサイ 3:23-25; 1 コリント 3:11-15; マタイ 7:21-23

5 永遠の救いへの道における私の保護

イエス・キリストへの信仰によって、私たちは救われます。イエスを信頼することだけで救われるのです。しかし、救いの道は一度きりの出来事ではなく、イエスへの愛とイエスに従うこと、忍耐、献身、そして警戒を必要とする生涯にわたる道なのです。

この道を歩み続けるためには、どうすればよいのでしょうか？以下の章では、永遠の救いへの道における守りを理解し、実践するのに役立つ聖書の真理を紹介します。

信仰を堅持し、困難を乗り越え、神の愛と真理によって力を得て、永遠に神とともに完成される人生を送る方法を発見してください。

5.1 神による保護

次の章では、私たちの救いの道において、神の守りの力がどれほど重要かが明らかになります。神は、誘惑の時に私たちを力づけ、危機の中で私たちを支え、その愛の中で私たちを保ってくださる、忠実な錨なのです。しかし、神の保護は、私たちの献身と警戒と密接に関連しています。これらの章では、神の忠実さの深さを発見し、神が永遠への道で絶えず私たちを保護してくださることを理解するよう誘います。

5.1.1 神は私たちを守ってくださる—私たちは神の御手の中にいる

私たちの主は、私たちを守り、天国に安全に導く力をお持ちです。私たちの救いに対する主の関心は、私たち自身の関心よりもさらに大きいのです。主は、私たちが道から逸れることなく、目標に到達するよう見守ってくださいます。

神は、私たちを栄光への道にしっかりと留めておき、正しい道へと導いてくださいます。神の守りは、多くの場合、祈りと密接に関連しています。なぜなら、祈りを通して、私たちは神の臨在と導きを体験するからです。同時に、神は、手遅れになる前に、立ち返って、私たちの生活を神に向け直すための時間をも与えてくださいます。

ユダ 1:24 SIt

24 しかし、あらゆるつまずきからあなた方を守り、その栄光の御前に、非難されるところのない、喜びにあふれた姿で立たせてくださる方に。

詩篇 16:1

神よ、私を守ってください。私はあなたに避難するからです。

詩篇 56:14 メン

14 あなたは私の魂を死から救い、私の足をつまずきから救い、私が神の御前に、生ける者の光の中で歩むことができるようにしてくださいました。

2 ペテロ 3:9 SIt

9 主は、ある人々が遅れていると思うような約束の実現を遅らせているのではなく、私たちに対して忍耐強く、だれも滅びることなく、すべての人が悔い改める機会を持つことを望んでおられるのです。

ユダ 1:24、詩篇 16:1、詩篇 56:14、2 ペテロ 3:9

5.1.2

神の恵みが私たちを支えている—私たち自身の力ではない

神は、その贖われた民に恵み深く、その支配を恵みに基づいて築き上げられます。私たちが神のために生きる能力は、もっぱら神の恵みから生じます。神が私たちの生活の中で許されるすべての苦しみでさえ、その背後には、すべてを永遠の計画に組み込む、

恵み深い神がおられます。神は、その恵みによって、御自分の民である、救われた一人一人を、永遠に支えてくださいます。私たちが救われたこと、そしてこれからも救われ続けることは、もっぱら神の恵みによるものです。神は恵み深いことを喜ばれるのです。

使徒 15:11 SIt

11 むしろ、私たちは、主イエス・キリストの恵みによって、彼らと同じように救われると信じている。

ローマ 5:21 SIt

21 罪が死によって支配したように、恵みも、私たちの主イエス・キリストによる義によって、永遠のいのちをもって支配するのです。

1 ペトロ 5:10

10 しかし、すべての恵みの神、すなわち、キリストにおいて、私たちをその永遠の栄光に召してくださった方は、短い苦難の後に、あなたがたを完全に整え、強め、堅くし、確立してくださるでしょう。

使徒 15:11、ローマ 5:21、1 ペテロ 5:10、ヘブライ 13:9、2 ペテロ 3:9、2 テモテ 1:16-18

5.1.3

私たちの大祭司イエスが私たちのために執り成してくださいます！

キリストが天で行っている職務は、その恵みと誠実さの豊かさを私たちに示しています。

- 彼は、その民の罪を贖います。
- 御父の前に私たちのために執り成してくださいます。
- 誘惑に陥った者たちを助けてくださいます。

これは素晴らしいメッセージです。それは、神が私たちに罪のない完全さを求めておられないことを示しています。私たちが基本的に神に従順で、神に従っているにもかかわらず罪を犯した場合、キリストは私たちの罪を贖い、神との関係を回復してくださいます。キリストの大祭司としての働きは、私たちが神に救われた者としての立場を保証してくださいます。

同時に、イエス様は、私たちが必ずしもあらゆる誘惑に負けるわけではないことを保証してくださっています。イエス様ご自身があらゆる誘惑にさらされましたが、罪を犯すことなくそれを克服されました。イエス様が克服されたからこそ、私たちも自分の誘惑に耐え、無傷でそれを乗り越えることができるのです。

イエス様は、御自身を通して神のもとに来るすべての人を完全に救うことができます。なぜなら、イエス様は彼らのために永遠に生きておられるからです。

ヘブライ 7:25 メン

25 それゆえ、イエス様は、御自身を通して神に近づく者たちに、完全な救いをもたらすことができるのです。なぜなら、イエス様は、彼らのために（神の前で）執り成すために、永遠に生きておられるからです。

ヨハネ 17:8-26 メン

9 わたしは彼らのために祈ります… 15 わたしは、彼らをこの世から取り去ってくださることを願っているのではなく、悪から守ってくださることを願っています。… 17 あなたの真理によって彼らを聖別してください。あなたの言葉は真理です。… 20 わたしは、彼らだけのために祈っているのではなく、彼らの言葉によつてわたしを信じるようになる者たちのためにも祈っています。

ヘブライ人への手紙 4:14-18

14 さて、私たちは、天を通じて行かれた大祭司、神の御子イエスを持っているのですから、その告白を堅持しましょう。私たちは、私たちの弱さを思いやることができない大祭司がいるのではなく、あらゆる点において（私たちと同じように）試練を受けた、ただ罪のない大祭司がいるのです。16 だから、喜びをもつ

て、恵みの御座に近づこう。そうすれば、憐れみを受け、恵みを得て、必要な助けを得ることができる。…18 なぜなら、彼自身が試練を経験したからこそ、試練にある者たちを助けることができるのだ。

ヘブル 7:25、ヨハネ 17:8-26、ヘブル 4:14-18、1 ヨハネ 2:1

5.1.4

神は、その忠実さによって、選ばれた者たちを守つ
てくださる

イエス様は、私たちの永遠の救いは神の誠実さによって保証されていると教えています。たとえ私たちが自分の能力を超えて試練に直面していると思うことがあっても、神はその誠実さをもって、そのようなことは決して起こらないことを保証してくださいます。神は、私たちが試練に耐えることができるように、また耐えることができるよう、あらゆる状況を導いてくださいます。

たとえ私たちが陥って罪を犯しても、神は忠実であり続けます。私たちが自分の罪を告白すれば、神は私たちを赦し、すべての不義から私たちを清めてくださいます。神はあらゆるレベルで、私たちを守ることをお約束されています。

- **個人的なレベル:** 私たちと神との個人的な関係において、神は私たちが誘惑を乗り越えることができるよう導いてくださいます。
- **共同体として:** 教会というレベルでは、神は御自分の民を守り、強めるために働いておられます。
- **世界史的レベル:** 神は、選ばれた者たちがキリストにある永遠の栄光を得ることを確実にするために、世界史に介入されます。

神は誠実であり、その誠実さをもって、私たちを現在の苦難、そして最終的には永遠の命へと導くためにあらゆることをしてくださいます。

2 テサロニケ 3:3 メン

しかし、主は真実な方であり、あなたがたを強め、悪から守ってくださいます。

1 ヨハネ 1:9 Slt

9 しかし、私たちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しい方であるから、その罪を赦し、すべての不義から私たちをきよめてくださいます。

2 コリント 1:18 Slt

18 しかし、神は真実な方であるから、私たちのあなたがたに対する言葉は、イエスとノーとではなかったのです。

1 コリント 10:13 Slt

13 これまで、あなたがたは人間的な試練に遭遇してきただけである。しかし、神は真実な方である。あなたがたが耐えることができる以上の試練に遭遇することはない。試練とともに、それを乗り越える道も備えてくださる。

2 テサロニケ 3:3、1 ヨハネ 1:9、2 コリント 1:18、1 コリント 10:13、1 ペテロ 5:10-11、1 テモテ 1:15-16、マタイ 24:22

5.1.5 神の教育は私たちを守るためである

神は、神を知る者たちの生活の中で働いておられます。なんと励みになる真実でしょう。神の教育は時に苦痛を伴うこともあります、それは神の愛と配慮から生じているものです。それは私たちを正しい道へと導き、私たちが神の子供であることを確認させてくれます。たとえ神が私たちに困難なことを課す場合でも、それは良い目的のために行われます。神は私たちのために最善を尽くし、一歩一歩、永遠の救いへと導いてくださるのです。神の働きは、常に愛と恵みに支えられています。

ローマ人への手紙 8:28 Slt

28 しかし、神を愛する者たち、すなわち、その御旨に従って召された者たちには、すべてのことが益となることを、私たちは知っています。

ヘブライ人への手紙 12:7-8 Slt

7 あなたがたが憲らしめを受けるなら、神はあなたがたを息子として扱っておられるのです。なぜなら、父によって憲らしめられない息子などいるでしょうか。8 しかし、あなたがたが皆が受けるべき憲らしめを受けていないなら、あなたがたは偽りの者であり、息子ではないのです。

2 コリント 7:10

10 神が望まれる悲しみは、救いにつながる悔い改めをもたらし、その悔い改めを（後で）後悔することはありません。しかし、この世の悲しみは死をもたらします。

ローマ 8:28、ヘブライ 12:6-8、2 コリント 7:10、黙示録 2:22、1 コリント 11:31+32

5.1.6

神は私たちを堅固にし、目標に到達させてくださる
。

神は、子供たちが永遠への道程において、確実に到達できるほど確固たる信仰を育むよう、彼らの信仰を強めたいと願っておられます。神は、その誠実さをもって、私たちを強めてくださいます。

- 私たちにふきわしくないほど強さを与え、あらゆる状況の中で支えてくださる恵みによって、
- 私たちを導き、励まし、確固たる基盤となる御言葉によって、
- 私たちを形作り、正し、神に近づける教育。

神の働きは、神が私たちを確実に目標に導くために、たゆまぬ努力をされていることを示しています。

2コリント 1:21 *Slt*

1しかし、私たちをキリストにあって堅く立ち、私たちに油を注がれたのは、神である。

使徒20:32 メン

32さて、私は、あなたがたを神とその恵みの言葉、すなわち、聖なる者たちすべてに力を与え、その遺産を授ける力のある御言葉に委ねます。

ヘブル 13:9 メン

9…なぜなら、恵みによって心が強められることは良いことだからである。

ヘブル 12:11、ヘブル 13:9、1コリント 1:7-9、2コリント 1:21、使徒 20:32

5.2 神の言葉による私たちの保護

神の言葉は、天国への道における「恵みの手段」です。それは生き生きとして効果があり、私たちの真の動機を示してくれます。神の言葉を通して、神は私たちに正しい道を示し、神の永遠の安息への道に留まるように導いてくださいます。

マタイ 4:4 メン

4しかし、イエスは彼（サタン）に答えられた、「『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出るすべての言葉によって生きる』と書いてある。

2テモテ 3:16 *Slt*

16聖書はすべて、神の靈感によって書かれたもので、教えと、罪の指摘と、矯正と、義の訓練と、17人のすべてを、神の御心に適う、善い行いに備わる者とするために、有益である。

使徒20:32 メン

使徒 20:32; マタイ 4:4; 詩篇 119:9; ヘブライ 4:12-13; 2 テモテ 3:16;
マタイ 22:29; マタイ 4:4; 1 コリント 1:18; ルカ 8:21; 詩篇 119:9; ヨ
ハネ 10:35、詩篇 130:5、使徒 20:32、ローマ 6:3、ローマ 7:1、1 コ
リント 5:6、1 コリント 6:2、1 コリント 6:15、1 コリント 6:16、1
コリント 6:19、1 コリント 9:13、ヤコブ 4:4、1 ペトロ 1:18、2 ペ
トロ 3:17、ユダ 1:5、

5.2.1 神の言葉に忠実な者は守られる

神の御言葉に注意を払い、それを守り、従う者は、悪から守られ、命への道を進むことができる。

ヨハネ 8:51 メン

まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしの言葉を守る者は、永遠に死を見ることはありません。

詩篇 119:11 Slt

11 わたしはあなたの言葉を心に留めて、あなたに対して罪を犯さないようにします。

1 テモテ 4:16 メン

16 自分自身と教えに注意を払い、それを堅持しなさい。そうすれば、自分自身と、あなたの聞き手たちを救うことになるでしょう。

詩篇 19:8-12 メン

8 主の律法は完全であり、魂を生き返らせ、主の証は真実であり、愚かな者を賢くする。9 主の命令は正しく、心を喜ばせ、主の戒めは清く、目を明るくする。10 主を畏れることは純粋であ

り、永遠に続く。主の裁きは真実であり、すべて公正である。¹¹ それらは、金や、多くの純金よりも貴重であり、蜂蜜や、蜜の滴よりも甘い。¹² あなたのしもべも、それらによって戒めを受け る。それらに従うことは、豊かな報いである。

2 テモテ 3:15-17 メン

ヨハネ 8:51 メン

まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしの言葉を守る者は、永遠に死を見ることはありません。

ヨハネ 8:51、詩篇 119:11、テモテへの手紙 I 4:16、詩篇 19:8-12、
テモテへの手紙 II 3:15-17

5.2.2 善き羊飼いの声に耳を傾ける者は、安全である。

神の召された者として、イエスについての良いたよりを聞き、イエスを遣わした方を信じる者は、永遠の命を持ち、裁きを受けることはなく、死から命へと移される。

イエスを愛し、その声に耳を傾け、イエスに従う者は、イエスから永遠の命を得る。その者は決して滅びることがない。イエス様の手から、眞の弟子たちを奪い取る者は誰もいません。なぜなら、彼らをイエス様に与えたイエス・キリストの父は、この世にあるあらゆるものよりも偉大だからです。そう、創造物の中で、神に選ばれ、召された私たちを、私たちの主であるキリスト・イ

エスに保証されている神の愛から引き離すものは、何一つないのです。

ヨハネ 5:24 Slt

まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしの言葉を受け入れ、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠の命を持ち、さばきを受けることはなく、死から命へと移ったのです。

ヨハネ 10:27-29

27 わたしの羊はわたしの声に聞き従う。わたしは彼らを知っており、彼らはわたしに従う。28 わたしは彼らに永遠の命を与える。彼らは永遠に滅びることなく、だれもわたしの手から彼らを奪うことはできない。29 彼らをわたしに与えたわたしの父は、すべての人よりも偉大であり、だれも父の手から彼らを奪うことはできない。

ローマ 8:28,39 Slt

28 しかし、神を愛する者たち、すなわち、その御旨に従って召された者たちには、すべてのことが益となることを、私たちは知っています。…[全創造物の中で、私たちを] 39 …私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から引き離すことができるものは、何一つありません。

ヨハネ 10:27-29; ヨハネ 5:24; ローマ 8:28-39; 1 ヨハネ 5:13

5.2.3

神の言葉による救いの修正が守ってくれる一だまさ
れてはいけない！

イエスを信じる信者であっても、救いに関する基本的な問題について誤りを犯すことがあります。そのため、神は御言葉の中に、召された者たち、選ばれた者たちすべてに対する有益な修正を組み込んでおられます。新約聖書には、「惑わされてはいけません」、「誤ってはいけません」、「知らないのですか」といった警告が繰り返し登場します。神に受け入れられていると信じなが

らも、重大な誤りを犯して生きていることはあり得る。その理由は、常に罪の中に留まり、神の意志よりも自分の意志を優先し、イエスに近づき、警戒を怠っている生活にある。しかし、神は御言葉によって私たちをそこから守り、正しい道に導いてくださる。

1 コリント 6:9-10 Slt

9 不義な者は、神の国を相続できないことを知らないのか。間違えないでほしい。不品行な者、偶像崇拜者、姦淫者、男色者、10 盗人、強欲な者、酒飲み、侮辱者、強盗は、神の国を相続できない。

1 コリント 9:24 メン

24 競技場で走る者は皆走るが、ただ一人だけが優勝の冠を受けることを、あなたがたは知らないのか。あなたがたは、それを得るように走っているのだ。

ヤコブ 4:4 Slt

4 姦淫を行う者たちよ、世と親しくすることは、神に敵対することであることを知らないのか。世と親しくしようとする者は、神に敵対する者となるのだ。

ガラテヤ 6:7-8

7 間違えないでください。神は侮られることは決してありません。人は、自分が蒔いたものを刈り取ることになるのです。8 自分の肉に蒔く者は、肉から滅びを刈り取り、御靈に蒔く者は、御靈から永遠のいのちを刈り取ります。

1 コリント 6:9、1 コリント 9:24、ヤコブ 4:4、マルコ 12:24、ガラテヤ 6:7-8、ヤコブ 1:13-16、ユダ 1:5

5.2.4 あらゆることに備える一歩えとなる希望！

神は、永遠の栄光の中でイエスとともに永遠の命を約束してくださいます。この約束は、私たちが今、イエスとともに生き、イエスに従う道を歩み、その約束が成就するのを辛抱強く待ち望む動

機となります。永遠の希望に満たされた者は、今この瞬間を正しく生き、正しい道に留まり、神に守られます。その者は、忍耐し、目標を達成するために必要な力を与えられます。

ヨハネ 11:25 SIt

イエスは彼女にこう言われました。「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。

ルカ 21:28 SIt

28 しかし、これらのが起こり始めたら、立ち上がって、頭を上げて、あなたがたの救いが近づいていることを知ってください。

コロサイ 1:27 SIt

キリストがあなたがたのうちにおられる、栄光の希望である。

ローマ 8:25 メン

しかし、まだ（実現していない）ことを望んでいるなら、私たちは忍耐をもってそれを待ち望むのです。

黙示録 3:12 SIt

勝利する者を、わたしの神の神殿の柱とし、二度とそこから出て行くことはない。そして、わたしの神の名と、わたしの神、天から降って来る新しいエルサレムという都の名、そしてわたしの新しい名を、その者に記す。

ヨハネ 11:25、ルカ 21:28、コロサイ 1:27、ローマ 8:25、黙示録 3:12、黙示録 2:10

5.2.5

イエス様は、私たちが堅く立つことができるようにな
る、警告してくださっています。

イエスへの信仰は、私たちの救いの鍵です。イエスはその誠実さをもって、弟子たちが信仰を堅持し、救われるよう導きます。イエスはそのために、弟子たちにこれから起こることをあらかじめ

告げます。そうすることで、弟子たちは準備を整え、イエスにしっかりと立ち、信仰を堅持することができ、それが最終的には彼らの救いを確実にするのです。

ヨハネ 14:29 *Slt*

29 さて、それが起こる前に、あなたがたに話しておいたのは、それが起こったときに、あなたがたが信じるためである。

マタイ 24:23-24

23 だから、だれでも『キリストがここにいる』とか『あそこにいる』とか言う者がいても、それを信じてはいけません。24 偽キリストや偽預言者が現れて、大きなしるしや不思議を行うため、もし可能なら、選ばれた者たちさえも惑わそうとするからです。

2 ペトロ 3:17+18 メン

7 愛する者たちよ、あなたがたは、あらかじめこのことを知っているのですから、不義な者たちの迷いによって、自分の確固たる信仰から引き離されないように、用心してください。18 むしろ、私たちの主であり救い主であるイエス・キリストの恵みと知識において、成長してください。

ヨハネ 13:19、ヨハネ 14:29、ペトロの手紙二 3:17+18、マタイ 24:23-27、ヨハネ 16:1-4

5.3 キリストへの完全な献身による今この瞬間の救い

神との永遠の交わりへの道は、信仰の問題だけでなく、今この瞬間、キリストに献身し続けることでもあります。このセクションのサブチャプターでは、完全な献身が私たちの生活に影響を与え、信仰を強め、天国への道であるキリストに従うことを行ってくれることを示しています。この献身は負担ではなく、誘惑に打ち勝ち、挫折を乗り越え、狭い道に忠実であり続けるための力と喜びの源なのです。

5.3.1 神は、神に属し、神に仕える者たちを保護する

神は、特に神に属し、神に仕える者たちを、特別な方法で識別し、守り、警告し、保護します。

黙示録 7:3

3 そして彼は言った、「わたしたちの神の僕たちの額に印を押すまで、地も海も木も、決して害を与えてはならない。」

黙示録 18:4

4 そして、私は天から別の声が言うのを聞いた、「私の民よ、そこから出て行きなさい。その罪にあづかることのないように、その災いに見舞われることのないように。」

ユダ 1:24-25

24 しかし、あなたがたをあらゆるつまずきから守り、その栄光の御前に、非難されるところのない、喜びにあふれた者たちとして立たせることのできる方、25 私たちの主イエス・キリストによって、私たちの救い主である唯一の神、その方に、栄光と威厳、力と権威が、世の初めから、今も、そして永遠に、あるように。アーメン。

黙示録 7:3、黙示録 18:4、ユダの手紙 1:24-25

5.3.2

神は、これまで忠実に従ってきた者たちを特に守ってくださる

神は、これまで忠実に従ってきた者たちを特に守ってくださる。

黙示録 3:10 詩篇

10 あなたは、わたしを堅く守って、忍耐し続けたから、わたしも、全世界に臨む試練の時が来る前に、あなたを守って、地に住む者たちが試練を受けるようにする。

ヘブライ 6:9-10 メン

9 しかし、愛する者たちよ、私たちは、このように言うものの、あなた方に関しては、よりよいことを確信しています。それは、救いに最も密接に関係することなのです。10 神は、あなたがたが聖なる務めを果たし、今もなお果たしている、その御名のために示した働きと愛を、忘れるような不義な方ではないからです。

2 ペテロ 2:9 SIt

9 主は、神を畏れる者たちを誘惑から救い出し、不義な者たちを裁きの日に罰するために留めておかれることを知っておられる。

黙示録 3:10、ヘブライ 6:9-10、2 ペテロ 2:9

5.3.3

今日のあなたの献身は、明日の神の誠実さを経験する

今、真の従順があり、今、キリストへの愛があり、今、真の回心の果実があるところには、忠実な神が今、その子供たちを最後まで守り、導いてくださるという確信を持つべき理由があります。

神を畏れる者とは、今、神を畏れ、その畏れに従って生きる者です。主は、そのような者たちを（永遠の）命に関わる誘惑から救い出し、永遠の命へと導いてくださることを約束されています。

なんと慰めのあることでしょう。キリストの弟子である私たちのあらゆる失敗に対して、愛に満ちた主イエス・キリストの赦しがあるのです。しかし

神は、私たちが今どのように生きているかを気にかけています。

私たちが今、キリストとともにどのように生きるかは、困難な状況、つまり試練の時が来たときに、神が私たちとともにいてくださるかどうかにも直接影響します。私たちが今、自分の持てる力を最大限に活用し、ランプに油を注ぐかどうかは、将来、イエス

が再臨されるまで、私たちが耐え抜くことができるかどうかを決定する重要な要素となります。そして、私たちがいつでも、私たちの主イエスに忠実にすべてを捧げ、そのうえで最初の愛さえも保つことは、イエスの目にはむしろ当然のことなのです。そう表現すれば、それはポジティブな表現になります。

この真実を否定的に表現すると、イエスとの関係を常に怠り、自己愛や世界への愛に目を向け、さらにはそれらを受け入れてしまう者は、大きな誘惑が訪れ、キリストの助けを必要としたときに、イエスがすぐに駆けつけてくれることを期待することはできない、ということになります。それどころか、その人が事前に悔い改め、罪の眠りから目覚めなければ、キリストはその人の罪のために意図的に見捨てるでしょう。あなたが神の前で人生が損なわれることを恐れる必要がないのは、あなたが今、イエスに与えることができるすべてを与えるときだけです。それ以上必要なことは何もありません。

大きな危機が訪れる前に、イエス・キリストの弟子として、今、心から神を求める者は、危機が訪れたときに、より無傷で切り抜けることができるでしょう。なぜなら、その者はイエスとより強固に結ばれ、神の助けを期待することができるからです。形式的な信者ではなく、誘惑の力によって全人類が直面する誘惑に打ち勝つ者だけが、永遠の遺産を所有するのです。イエスに奉仕する中で眠り、偉大なる主、師に奉仕することを怠った者たちにとって、イエスは泥棒のように、つまり救いではなく災いをもたらす者として再びやってくるでしょう。

私たちの永遠の救いは、2つの要素に基づいています。

1. 神の誠実さ
2. 今この瞬間における私たちの眞の献身と、神への絶え間ない奉仕

そして、1. 神の不变の忠実さは、2. 私たちの献身と結びついています。

神に忠実な者は、神の忠実さを期待することができます。

ルカ 12:34-35 メン

34 あなたの宝のあるところには、あなたの心もあるからです。35 腰に帯を締め、ろうそくをともし続けておきなさい。

フィリピ 1:20-21 メン

20 私は、決して恥じることはなく、いつもそうであったように、今も、私の体において、キリストが明らかに栄光をお受けになることを、確固たる期待と喜びにあふれた希望をもって抱いている。それは、私が生き続けることであろうと、私の（証しの）死によってであろうと。21 なぜなら、私にとって、キリストはいのちであるから、死ぬことは私にとって益である。

ヨハネ 6:67-69 メン

7 そこで、イエスは十二弟子たちに、「あなたたちも去って行くつもりですか」と言われた。68 すると、シモン・ペテロが答えた、「主よ、私たちは、だれのもとに行くべきでしょう。あなたは、永遠のいのちの言葉をお持ちです。69 私たちは、あなたが神の聖なる方であることを信じ、知っています。」

2 歴代誌 6:14 Slt

14 …主、イスラエルの神よ、天にも地にも、あなたのような神は他にありません。あなたは、心を尽くしてあなたの前に歩む僕たちに、契約と恵みを保ってくださる方です。

マタイによる福音書 25:3-4

愚かな（乙女たち）は、ランプは持ったものの、油は持っていないかなかった。しかし、賢い者たちは、ランプに加えて、瓶に油も持っていた。

ピリピ 1:20-21、ヨハネ 6:67-69、歴代誌第二 6:14、ピリピ 1:3-6、黙示録 3:10、ペトロの手紙二 2:9、ヘブライ 6:7-10、黙示録 2:2-5; 默示録 3:1-3; マタイ 13:44-46; 詩篇 145:20; マタイ 10:37-39; ルカ 12:34-35; マタイ 25:3-4

5.3.4

私たちは、神の御言葉を保ち、行うことによって守られるのです。

大きな危機が来る前に、弟子として心からイエスと神の御心を求める者は、危機が来たときに無傷で乗り切ることができる可能性が高くなります。なぜなら、その者はイエスとより強固に結ばれ、神の助けを期待することができるからです。形式的な信者ではなく、誘惑の力によって全人類が直面する試練を克服した者だけが、永遠の遺産を所有するのです。しかし、フィラデルフィアの教会のように、すでにイエスに完璧に従っている者たちには、永遠のいのちの勝利の冠が事実上、すでに用意されているのです。

イエスに献身し、イエスを非常に大切にして、イエスの御言葉を守り、イエスが非難することのないように御言葉を守る者は、イエスによって特別に守られる。したがって、イエス、イエスの御心、そしてイエスの御言葉に完全に献身することが、私たちが想像できる最善の保護である。

黙示録3:8、10、11 Slt

8 …あなたは…わたしの言葉を守った…10 あなたが、わたしを堅く待ち望むという言葉を堅く守ったから、わたしも、全地の上に臨む試練の時が来る前に、あなたを守ろう。…11 …あなたが持っているものをしっかりと保ちなさい。だれも、あなたの冠を奪うことがないように。

マタイによる福音書7:24-27

24 だから、わたしのこの言葉を聞いてそれを行う者は皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている。25 激しい雨が降り、洪水が押し寄せ、風が吹き、その家にぶつかったが、それは岩の上に建てられていたので、倒れることはなかった。

26 しかし、わたしのこの言葉を聞いてそれを行わない者は、砂の上に自分の家を建てた愚かな人に似ている。27 すると、豪雨が

降り、洪水が押し寄せ、風が吹き、その家に襲いかかった。すると、その家は倒れ、その倒壊は甚大であった。

箴言 19:16

6 戒めを守る者は自分の魂を守るが、その道に注意を払わない者は死ぬ。

黙示録 3:7-13、マタイ 7:24-27、箴言 19:16、箴言 3:21-26、詩篇 145:20、箴言 4:5-6

5.3.5 神への畏れによる守られ

ピリピ 2:12-13 メン

12 ですから、愛する人たち、あなたがたは、私があなたがたのところにいたときと同じように、いつも従順であったように、私があなたがたから離れている今も、なおさら、恐れと震えをもって、自分の救いを成し遂げるよう努めてください。13 なぜなら、あなたがたの中で、その意志と実行とを働かせ、神に喜ばれるようにするのは、神であるからです。

フィリピの信徒たちは、パウロがフィリピの信徒への手紙第2章12節で強調しているように、キリストに従順な信徒たちでした。そして、彼らは改宗以来、ずっとそうであったのです。フィリピの信徒への手紙には、コリントの信徒への手紙のように罪の不正や、ガラテヤの信徒への手紙のように誤った教えに陥る危険については一切記載されていません。フィリピの信徒たちは、使徒パウロの証言によれば、聖書に忠実で、使徒たちに忠実で、非の打ちどころのない人々でした。

それにもかかわらず、彼らはまだ最終的な救いを手中に収めてはいらないため、「恐れと震えをもって」それを成し遂げなければならないとされています。ここで、私たちの一般的な神像が大きく揺らぎます。私たちは神を恐れ、神を恐れるべきなのでしょうか？たとえ私たちが神の愛される子供たちであり、あらゆることに従順であるとしても、何のために震え、恐れる必要があるのでしょうか？

ここで使われている「恐れ」という言葉を詳しく見てみましょう。

Φόβος phobos (Strong G5401)

- 恐れ
- 恐怖
- 懸念
- (死の) 恐怖

私たちは、**恐れ** [Φόβος phobos] と震えをもって、自分の救いを達成すべきだと、神は御言葉の中で述べています。

「震え」という言葉は、それだけでもかなり明確です。新しい福音主義訳が訳している「畏敬の念」という単なる意味には当てはまりません。本当に恐れている人は震えます。しかし、ここで意味されているのは、本当にそのような恐怖や恐れなのでしょうか？

ここで恐怖を表すために使用されている単語 Φόβος phobos は、例えば以下の箇所でも使用されています。

- マタイ 14:26 メン 弟子たちは…幽霊だと思い、恐怖[Φόβος phobos] で大声で叫んだ。
- マタイによる福音書 28:4 メン 彼（天使）を恐れて（Φόβος phobos）、見張りたちは震え、死人のようになった。
- ヘブライ 2:15 メン [イエス] は、死への恐怖[Φόβος phobos] によって生涯を奴隸として過ごしてきたすべての人々を、自由の身にするためでした。

聖書で使用されている Φόβος phobos の用法は、私たちがそれを聞きたくないとしても、神に対する恐怖と恐れ、神の救いと聖なる御業の偉大さに対する**敬虔な真剣さ**を持つべきであることをはっきりと示しています。それは、私たちの最終的な救いを実現し、成し遂げるためです。

これは、これらの聖書箇所だけに当てはまることではあります。イエスと使徒たちは、この点について驚くほど一致しています（以下の例を参照）。

しかし、この要求に私たちだけが直面しているわけではありません。私たちは、神の愛と配慮と助けを信頼し、必要な動機と力を神から与えていただけることを信じることができます。

フィリピの信徒への手紙 2:12-13

12 ですから、愛する人たちよ、あなたがたは、私の前ではもちろんのこと、私がいない今も、いつも従順であったように、恐れ（φόβεω、phobeō）と震えをもって、自分の救いを達成してください。13 なぜなら、神は、あなたがたの中で、その御心に適うことを、望むことも、行うことも、すべて行なってくださるからです。

ルカ 12:5 Slt

[イエスが弟子たちに言う] しかし、あなたがたが誰を恐れるべきかを教えましょう。殺した後、地獄に投げ込む力を持つ者を恐れなさい[φόβεω、phobeō]。そう、あなたがたは、その者を恐れなさい。

ローマ 11:20-21 メン

20 そのとおりだ。彼らは不信仰のために切り落とされ、あなたは信仰によって（彼らの代わりに）立っている。高慢になることなく、用心しなさい。21 神が、生来の枝を容赦しなかったならば、あなたをも容赦しないだろう。

ユダ 1:5 メン

5 しかし、私は、あなたがたに、その事実をすべてすでに知っているとはいえる、主が（最初に）イスラエルの民をエジプトの国から救い出されたが、二度目に、信じなかった者たちを滅ぼされたことを思い出させたい。

黙示録 3:3-5 メン

3 だから、あなたが（救いの知らせ、あるいは救い）を受け、聞いたことを思い出し、それをしっかりと守り、**自分の内面を見つ**

めなさい。しかし、あなたが警戒しないなら、私は泥棒のようにやって来て、あなたが私がいつあなたのところにやって来るのか、決して知ることができないでしょう。4しかし、サルデには、自分の衣を汚していない者たちがいます。彼らは、そのふさわしい者たちであるから、私とともに白い衣を着て歩むであろう。5勝利を得る者は、白い衣を着せられ、私はその名をいのちの書から決して消し去ることはなく、私の父と御使たちの前でその名を認めるであろう。6耳のある者は、御靈が教会たちに言うことを聞くがよい。

フィリピ 2:12-13、ルカ 12:5、ローマ 11:20-21、ユダ 1:5、黙示録 3:3-5

5.3.6 積極的な愛による保護

一方では神の赦し、他方ではキリストの追随者としての私たちの罪に対する必要な神の罰は、まったく別のものである。神は御自分の民の罪を裁かれます。私たちが神について知っていること、すなわち、隣人を自分と同じように愛すべきであるということと、私たちがそれを自分の人生で実践していることの間に不均衡があるところでは、神の裁きが始まります。イエスが教会に送った手紙にあるすべての警告が、そのことを証しています。

主は聖なるお方です。「私はそれを明確に知らなかった」という言い訳は、主の聖なる視線には耐えられないでしょう。私たちは、新約聖書にある主の聖なる戒めのすべての細則を、あらかじめ知ったり、暗記したりする必要はありません。重要なのは、その基本を知っていることです。神と、自分の隣人を自分と同じように愛すること。このことを心に留めて、自ら進んで生活の中で実践すれば、私たちは正しい道を歩んでいるのです。受動的に、牧師たちが神の意志を銀の皿に乗せて、私たちがどのように生きるべきかを教えてくれることを期待するだけでは不十分です。イエスは、成熟した弟子たちを求めています。

5.3.7 勤勉による保全

怠惰は破滅の兄弟です。怠惰な者は、神の目には邪悪であり、罰せられるでしょう。

怠惰の反対は勤勉です。靈的な進歩は、神から授かった財産を勤勉に活用することに基づいています。

天国への道を進む勤勉な者は守られ、天国に到達する。

主のために勤勉に働く者は、盲目で近視眼であり、過去の罪の清めを忘れているのです。

主のために勤勉に働くことは、天国への道において当然のことではありません。私たちは皆、疲れて勤勉さを怠ってしまう危険にさらされています。大きな危険は、怠惰になることです。信仰とイエスへの奉仕において怠惰になり、怠ける者は、永遠の命への入り口の前に疑問符が立つ道へと踏み出してしまうのです。

マタイ 25:14-30 メン

「よくやった、良い忠実な僕よ。あなたはわざかなことに忠実であったから、多くのことを任せるつもりだ。あなたの主人の祝宴に参加しなさい」…「悪い、怠惰な僕よ！」…28 彼からそのタラントを取り上げて、10 タラントを持っていいる者に与えなさい。…30 しかし、役に立たない僕たちは、外の暗闇に投げ出せ。そこで、泣き叫んだり、歯ぎしりしたりすることだろう。」

2 ペトロ 1:10 Slt

10 ですから、兄弟たちよ、あなたがたの召命と選びを確固たるものにするために、なおさら熱心に努力してください (Strong G4704 – σ π ο ν δάξω – spudazo ギリシャ語 – 熱心に努力する、勤勉に励む)。そうすれば、決してつまずくことはないでしょう。

ヘブル 4:9-11 Meng

11 ですから、私たちは、その安息に入ることを熱心に追い求めましょう [Strong G4704 – σ π ο ν δάξω – spudazo ギリシャ語 –

熱心に努力する、勤勉に励む]。そうすれば、だれもつまずくことなく、不従順の同じ警告の例を示すことがないでしょう。

マタイ 25:14-30; 2 ペテロ 1:5-10; マタイ 25:22-30; ローマ 12:11; 2 ペテロ 3:14; ヘブライ 4:9-11; ヘブライ 6:11-12; ルカ 8:15 マルコ 4:18-19; マタイ 3:10; マタイ 7:19; 黙示録 3:19

5.3.8 神との「チームワーク」による保護

私たちの永遠の救いは、主とのチームワークによって実現します。それは、神の恵みと私たち側の責任との相互作用です。その中では、神の側がより強く、優勢です。イエスによる神の恵みなしには、誰も救われることはありません。それは、小さな子供がママやパパを「助ける」ようなものです。実際の働きは、父である神が行います。しかし、神は私たちの貢献を非常に真剣かつ重要だと考え、私たちの「協力」を真の愛の証として受け止め、永遠の救いという素晴らしい結果をもって私たちを称えてくださいます。そうです、神は永遠の救いを得ることを、救われた者たちがその一部として関わるように、私たちの役割も不可欠であるように仕組まれたのです。こうして、神の恵みと人間の責任は、素晴らしい全体として補完し合うのです。それは、花婿が花嫁を気遣うことと、花嫁の喜びと意欲が相まって、最終的には二人の幸せな結婚へとつながるのと同じです。

選ばれた者たちの永遠で不滅の希望を実現する道は、神と私たちのチームワークです。・神は私たちに再生を与えてくださる・そのように備えられた私たちは、神を信頼することができる・神への信仰によって、神は私たちに力を与えてくださる・神から与えられた力によって、私たちの信仰は試練や苦難の中で証明される・そのように証明された私たちの信仰によって、神は私たちに計り知れない喜びを与えてくださる・神への喜びによって、永遠を最終的に達成するという私たちの希望は確固たるものとなり、育まれる・そして、永遠への希望が大きくなるほど、私たちはより強く、より備わり、よりやる気が湧いて、永遠への道を歩み続け、その道に留まることができるようになります。これらすべて

は、私たちの希望、すなわち私たちの魂の救いが成就するまで、相互に作用し合っています。

1 ペトロ 1:3-9 メン

3 私たちの主イエス・キリストの父である神を賛美しましょう。神は、、その深い憐れみによって、イエス・キリストの死からの復活によって、私たちに生き生きとした希望をもって新たに生まれ変わらせてくださったのです。5 あなたがたは、神の力によつて、信仰によって救いへと守られているのです。6 それゆえ、たとえ今は、しばらくの間、さまざまな試練によって悲しみに沈むこともあるかもしれません、それでも喜びなさい。7 それによつて、あなたがたの信仰の真価が証明され、朽ちる金よりも価値のあるものとなり、火によってその真価が試され、イエス・キリストの現れとともに、あなたがたの称賛、栄光、誉れとなるのです。8 あなたがたは、彼を見たことがないにもかかわらず、彼を愛している。今、彼を見ることができないにもかかわらず、彼を信じている。そして、言葉では言い表せない、輝かしい喜びをもって、彼を迎えるようとしている。9 なぜなら、あなたがたの信仰の最終目標、すなわち、あなたがたの魂の救いを得ようとしているからである。

1 ペトロ 1:3-9; 黙示録 7:13-14; ヤコブ 1:21-22; 2 ペトロ 3:9-15

5.3.9

祈りは、私たちと神をつなぐものです。今日、神を求める者は、明日、試練に耐えることができるでしょう。

イエス様は、苦難や試練の中で神様が私たちを救ってくださるよう、時宜にかなった祈りを捧げるよう私たちに勧めています。そうする者は、救いを経験するでしょう。

そして、イエス様ご自身もそうされました。誘惑の前に、神の助けを祈ったのです。そして、誘惑の中で、それを乗り越えるために必要な助けを得ました。

こうして、イエス様は、恵みの御座から、その誠実さをもって私たちを救い、救いの道に留めてくださるのです。

マタイによる福音書 26 章 41 節

41 誘惑に陥らないように、目を覚まして祈ってなさい。靈は熱意にあふれているが、肉は弱い。

ルカ 21:36 メン

6 だから、いつも目を覚まして祈って、これから起こるすべてのことを逃れ、人の子の前に立つ力を受けるようにしなさい。

ヘブライ 5:7 メン

7 イエス様は、この世におられた間、死から救うことができる方に、大声と涙をもって祈りと嘆願をささげ、その願いが聞き入れられ（その苦しみから解放され）ました。

ヘブライ 4:11-16 メン

11 ですから、私たちは、その安息に入ることを熱心に求めましょう。だれも、同じ不従順の警告の例をたどって、つまずくことがないように。…16 ですから、私たちは、喜びと確信をもって、恵みの御座に近づき、憐れみを受け、時宜にかなった助けとなる恵みを受けましょう。

マタイ 26:41、ルカ 21:36、ヘブライ 5:7、ヘブライ 4:11-16、ルカ 22:43-44、詩篇 30:7-12

5.4 靈的な恵みの手段を用いることによって守られる

私たちの救いの道において、神は靈的な恵みの手段、すなわち私たちを強め、導き、守る力強い道具を与えてくださいました。このセクションの「」の章では、信仰を強く保ち、永遠への道を忠

実際に歩むために、これらの助けをどのように意識的に活用できるかを示しています。

5.4.1 清くあり続ける－清める－毎日新たに生まれ変わる

イエス様は、この人生で清められ、清く保たれ、汚れたときに再び清められる、永遠の救いの輝く衣を、その人に与えてくださいます。

福音のメッセージを、信仰の生活始めた頃のように、その召しにふさわしい、イエスを敬う行いで生き、イエスに従うことやめた者、その行いを怠り、この世の騒ぎに汚され、再び清めようとしない者は、イエスの目には、その信仰と靈的な生活は死んでいるのです。

神に自分の持てる力をすべて捧げない者は、自動的に神に捧げなかつたものをこの世に捧げ、それによって自らを汚すことになる。その反対の好例は、「汚れない」、つまり清く保つ者たちである。彼らはイエスの目には生きており、悔い改める必要がない。彼らは最初の行いを続けていく。イエスは、彼らがその道を歩み続けると信じて、天国で白い衣と永遠の命を与えると約束している。彼らは、イエスの目には永遠に生きる価値があるのだ。

しかし、イエスとの道程の中で汚れてしまった者は、いつでも再び清められ、イエスとの交わりを新たにし、それを維持することができます。そして、主による永遠の命への希望を心の中に生き生きと保っている者は、まさにそれを絶えず行うでしょう。

1 ペテロ 1:22 メン

22 あなたがたは、真理に従うことで、偽りのない兄弟愛をもって自分の魂を清めたのですから、心から互いに深く愛し合いなさい。

黙示録 3:4 メン

4 しかし、サルデには、自分の衣を汚していない者たちがいる。

彼らは、私とともに白い衣を着て歩むべきである。彼らはそれにふさわしい者たちである。

1 ヨハネ 1:9 メン

9 しかし、私たちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しい方であるから、その罪を赦し、すべての不義から私たちをきよめてくださる。

1 ヨハネ 3:2-3 メン

私たちは、彼がどのようなお方であるかを、そのまま見るでしょう。3 そして、この希望を彼に置く者は皆、彼が（また）清いように、自分自身を清めるのです。

1 ペテロ 1:22、黙示録 3:4、1 ヨハネ 1:9、1 ヨハネ 3:2-3、テトス 3:5、民数記 19:13、レビ記 7:19-21 マタイ 23:27; ヘブライ 12:14; 1 ヨハネ 3:2-3; 黙示録 22:12-14

5.4.2

祈りの生活を通して、神は私たちを守ってくださる

。

祈りは、人生の重要な瞬間に神に忠実であり続けるための決定的な鍵です。

祈りは私たちを主と結びつけ、私たちの中にある神の御靈による祈りは、私たちをキリストの御前に留めておくのです。

放蕩な生活や人生の悩みは、靈的に致命的だ。でも、警戒して祈ることで、突然襲ってくる罠から逃れ、イエスの前に堂々と立つことができるんだ。

イエス様は、ご自身が最も困難な状況にあるときに、弟子たちに、靈的に生き残るための神から与えられた手段、すなわち（目を覚まし）祈って誘惑に打ち勝つことを強く指摘されました。イエス様は祈りによって人生最大の戦いを乗り越えられました。それは、永遠の栄光へと至る道における私たちの道でもあります。

悪から守られるよう、互いに祈り合うことは、キリストの救いを共に達成するための重要な要素のひとつです。

2 コリント 13:7 メン

7 しかし、私たちは、あなたがたが何も悪いことをしないよう、神に祈っています。

マタイ 6:13 メン

13 私たちを誘惑に会わせないで、悪から救い出してください。

ルカ 21:34-36 メン

36 だから、目を覚まして、いつも祈って、これらのこと�이すべて起こるのを逃れ、人の子の前に立つことができるようになさい。

ルカ 22:40-41 メン

40 だから、誘惑に陥らないよう祈ってなさい。41 それから、イエスは彼らから石を投げるほど離れたところに立ち、ひざまずいて祈られた。

2 コリント 13:7、マタイ 6:13、ルカ 21:34-36、ルカ 22:40-41、ユダ 1:20-21

5.4.3 信仰－保護の鍵

キリストの憐れみを信じる信仰によって、私たちは救われました。キリストの憐れみを信じる信仰を堅持することによって、私たちは救われるのです。そうです、神の愛の恵みと保護の空間は確かに存在します。そして、キリストによって、私は信仰をもつてその空間の中で永遠の命に至るまで生きることができます。

1 ペテロ 1:5-9 メン

5 あなたがたは、神の力によって、信仰によって、救いについて守られているのです。その救いは、終わりの時に明らかにされるために（すでに）用意されています。…6 それゆえ、たとえ今は、さまざまな試練によって、しばらくの間、悲しみと苦しみと

苦難に直面しているとしても、それを喜びとしましょう。それによって、あなたがたの信仰の真価が証明されるのです。

ユダ 1:20-21 メン

20 しかし、愛する者たちよ、あなたがたは、聖なる信仰の土台の上に立ち、聖靈によって祈り、21 それによって、私たちの主イエス・キリストの憐れみを待ち望む、神の愛のうちに、しっかりと保たれてください。

ヘブライ 10:39 Slt

39 しかし、私たちは、滅びへと臆病に退く者たちではなく、魂の救いを信じる者たちです。

1ペトロ 1:5-9; ヘブライ 10:39; ユダ 1:20-21; ヨハネ 5:11-13; ヨハネ 3:36

5.4.4 忍耐し、イエスを待つこと—堅く立つ術

イエスと新約聖書の言葉には、「キリストを待つこと」が、キリストの弟子としての主な使命と美德の一つであると繰り返し述べられています。積極的に主を待つ者は、イエスによる将来の救いを保ち、永遠への道において内なる力を強めるのです。

イエスを絶えず待ち望むことは、私たちを神に喜ばれる正しい状態へと導きます。そして、意識的にイエスを待ち望むことは、恵みの御座と恵みの賜物への扉を開くのです。

イエスを待つことは、決して受動的なものであってはなりません。イエスが来られたときに、純粋で、非の打ちどころがなく、内なる平安をもってイエスの前に立つことができるよう、あらゆる努力を尽くすべきです。

また、私たちがイエスを待つ間、最終的にはイエスの憐れみが永遠への扉を開いてくれることを知っておくべきでしょう。

ヘブライ 9:28 メン

28 同様に、キリストも、多くの人の罪を取り除くために、一度だ

け犠牲として捧げられた後、二度目は、罪とは（関係なく）彼を待つ者たちの救いのために現れるのです。

ルカ 12:35-46

35 「腰に帯を締め、ランプをともし続けていなさい。36 あなたがたは、主人が婚礼の宴から帰って来るのを待つ人々に似ているべきである。主人が帰って来て、戸を叩いたら、すぐに開けてあげなさい。37 主人が帰って来たときに、目を覚まして待っていた僕たちは、幸いである。まことに、わたしはあなたがたに言う。主人は、自分の衣をたくし上げ、彼らを食卓に着かせ、彼らに仕えるであろう。38 たとえ、主人が夜中の二番目か三番目の番に帰ってきて、彼らがそのようにしているのを見つけたとしても、彼らは幸いである。…44 本当に、私はあなたに言う。主は、その僕をすべての財産を管理させるであろう。45 しかし、そのような僕たちが、心の中でこう思うならば、『主人はまだ来る気配もない』と思い、そして、僕や女中たちを殴り、ごちそうを食べ、酒を飲み、酔っぱらうようになつたら、46 そのような僕たちの主人は、彼らが予想もしない日に、彼らが知らない時間にやって来て、彼らを斬り殺し、不信仰な者たちの場所に彼らを置かせるであろう。[o. 「不信仰者たち」] の間に置かせるであろう。

ルカ 12:35-48、ヘブライ 9:28、マタイ 24:45-51、1 テサロニケ 1:9-10、テトス 2:11-14、2 ペテロ 3:13-15、ユダ 1:21

5.4.5 靈的な戦い－悪に対する抵抗による保護

私たちが栄光を得るまで置かれている靈的な戦いに打ち勝つために、神の武具を身につけましょう。

- 救いの確信：私は救われています。神は真実であり、私を完全に救おうと望んでおられ、また救ってくださいます。それが救いの兜です（エペソ 6:7）。
- 赦しの確信：私は赦されており、神は真実であり、私の告白に応じて私の罪を赦してくださる（ヨハネの手紙一 1:9）。

- 神は、私を怒りに定めたのではなく、私たちの主イエス・キリストによる救いを得るために定めたのです（1テサロニケ5:9）。
- 神は私のためにいてくださる—誰が私に敵対できるでしょうか（ローマ8:31）！
- 私たちが不誠実であっても、神は誠実であり続けてくださいます。なぜなら、神はご自身を否定することはできないからです（2テモテ2:13）。
- わたしは永遠の愛をもってあなたを愛し、わたしの手にあなたを刻んだ（エレミヤ31:3）。
- 神に近づきなさい。そうすれば、神もあなたに近づきます。悪魔に抵抗しなさい。そうすれば、悪魔はあなたから逃げ去ります（ヤコブ4:7）。

そして、神の恵みによって、勝利の終わりまで神の戦いを戦い抜こう。節制し、忍耐強く、悪を善で打ち負かそう。

1 コリント9:25 Slt

25 競技に参加する者は皆、あらゆることに節制している。彼らは朽ちる冠を得るために、私たちは朽ちない冠を得るために。

エペソ6:10-19

10 最後に、主にあって、また、主に内在する力強い力によって、強くありなさい。…13 ですから、悪の日に抵抗し、すべてに打ち勝ち、戦いに勝利することができるよう、神の完全な武具を手に取りなさい。

ローマ12:21 メン

21 悪に打ち勝たれることなく、善をもって悪に打ち勝ちなさい。

黙示録3:21 Slt

21 勝利する者に、わたしも、わたしが勝利して、わたしの父のもとにある王座に座ったように、わたしの王座に座ることを許そう。

エペソ 6:7; 1 ヨハネ 1:9; エペソ 6:16; 1 テサロニケ 5:9; ローマ 8:31;
2 テモテ 2:13; エレミヤ 31:3; 1 コリント 9:25; エペソ 6:10-19; ローマ 12:21; 黙示録 3:21

5.4.6 試練と証明－試練によって強められる

誰かがイエス・キリストに対する正しい信仰を本当に持ち、イエスが本当にその人の中に宿っていることは、その信仰の試練によって明らかになります。それは外部からも見ることができますが、当事者である私自身も確認することができます。そのため、悪を行わないように、そして完全になるように祈ることが非常に重要なのです。なぜなら、それらは私たちの信仰の試練を促進するからです。真の信仰は、試練によって明らかになります。そして、試練は、試練に耐えた者を守ります。

2 コリント 13:5 *Slt*

5 あなたがたは、自分が信仰にあるかどうかを自ら吟味し、自らを試みなさい。イエス・キリストがあなたがたのうちにおられることを、あなたがたは自ら知らないのですか。あなたがたが偽りの者でない限りは。

黙示録 3:10

あなたが、わたしを待ち続けるというみことばを守ったから、わたしも、全世界に臨む試練の時が来る前に、あなたを守ってあげよう。

1 テモテ 3:13 *Slt*

13 なぜなら、彼らがその務めをよく果たすならば、キリスト・イエスへの信仰において、良い地位と大胆さを得るからです。

ピリピ 1:27-28 メン

27 …私は、あなたがたが、救いの福音を信じる信仰のために、心を一つにして、一致団結して戦うことで、一つの靈に堅く立つことを願っています。28 敵対者たちに、いかなる点でも脅かされな

いでください。それは、彼らにとっては滅びの兆しであり、あなたがたにとっては、神からの救いの兆しなのです。

黙示録 3:10、2コリント 13:5-9、フィリピ 1:27-28、ルカ 8:15、1ペトロ 1:7、テトス 1:16、ローマ 5:4、ルカ 11:28、ヨハネ 8:51; ヨハネ 17:6; 1テモテ 6:14; 2テモテ 3:8; 1ヨハネ 5:18; 默示録 2:26; 默示録 3:8; 默示録 3:10; 默示録 22:7

5.5 悔い改めと時宜を得た回心による救い

新約聖書では、神の救いにとどまるためには、タイムリーな回心が必要であると繰り返し強調されています。マタイ 5:23-24 で、イエスは弟子たちに、神を礼拝する前に、他の人々と和解するよう求めています。もし、あなたが祭壇に供え物を持ち込み、そこで、あなたの兄弟があなたに対して何か恨みを持っていることを思い出したなら、その供え物を祭壇の前に置いて、まず行って、あなたの兄弟と和解し、それから戻って、その供え物をささげなさい。この和解の呼びかけは、神の前に立つ前に、迅速に行動し、紛争を解決することの緊急性を示しています。これは、和解と悔い改めの機会は限られているかもしれないため、日常生活の中で悔い改めに注意を払い、待つべきではないという必要性を示す例です。

ペトロの手紙二 3:9 でも、誰も滅びることを望まず、すべての人々に悔い改める機会を与える神の忍耐が強調されている。主は、ある人々が考えるように、その約束を遅らせているわけではない。それどころか、主はあなたがたに忍耐を尽くしておられる。なぜなら、主はだれも滅びることを望まず、すべての人々が悔い改めることを望んでおられるからだ。神は、すべての人間の救いを切望しておられるため、その恵みによって私たちに悔い改めの時間を与えてくださいます。しかし、この時間は無制限ではないため、神が私たちに悔い改め、その恵みの中に留まる機会を与えてくださっていることを軽々しく見過ごしてはなりません。

しかし、神が悔い改めの余地を与えてくださるのと同じように、新約聖書は遅れることの危険性について警告しています。黙示録2-3で、イエスは七つの教会に語りかけ、悔い改めるよう繰り返し求められています。黙示録2:5には、次のように書かれています。「あなたが、どこから落ちたかを思い起こし、悔い改め、最初の行いをしなさい。悔い改めなければ、わたしはすぐにあなたのところに来て、あなたの燭台をその場所から引き抜こう。悔い改めようとしない教会は、悔い改めの時間が限られているため、救いを失う恐れがあります。これは、神との交わりを保つために、時機を逃さずに行動することがいかに重要かを示しています。

もう一つの警告は、マタイによる福音書25:1-13に載っている、十人の乙女のたとえ話で、彼女たちは警戒を怠ったために、ランプの火を灯し続けていなかった。準備をして、時間内に油を買い足した賢い五人の乙女だけが、花婿と共に行った。準備の機会を逃した他の乙女たちは、手遅れになって、もう入ることができなかつた。イエス様ははっきりとこう言われます。「だから、目を覚ましていなさい。その日、その時は、あなたがたにはわからないからです」。この物語は、遅れたり、悔い改めの時間を軽々しく扱ったりしないことが、いかに重要かを明らかにしています。

ヘブライ人への手紙12:15では、信者は、神の恵みを逃したり、信仰を脅かす「苦い根」や「不品行」が生じてしまわないようにと警告されています。ここで著者は、悔い改めの時機を逃し、その結果、「涙ながらに悔い改めようとしたが、その機会を見出せなかつた」エサウの例を挙げています（ヘブライ人への手紙12:17）。エサウは、悔い改めを遅らせたり、悔い改めを軽視したりすると、救いを失う可能性があることを示しました。

新約聖書の明確なメッセージは、悔い改めのために与えられた恵みを軽々しく頼りにすべきではないということです。悔い改めの機会を利用せず、警戒と準備を怠ると、永遠に神から離れてしまう危険があります。その瞬間を逃したら、悔い改める機会は二度と訪れません。神が私たちに与えてくださる靈的な責任は大きいものです。信仰をもって生きる者は恵みの中に留まるでしょう

が、悔い改めから背を向ける者はその結果を背負わなければなりません。福音書や使徒の手紙にある警告は明確です。今日、この瞬間、悔い改めの呼びかけに耳を傾けなければなりません。なぜなら、この地上の自分の人生が終わる時、あるいはキリストが再臨する時がいつ来るかは、誰にもわからないからです。

永遠の未来を振り返ったとき、私たちは、逃してしまった悔い改めの呼びかけに応えていればよかったと後悔するかもしれません。しかし、その時にはもう手遅れであり、私たちが置かれている状況は、永遠に確定してしまうでしょう。それは、絶え間ない悔い改めと信仰による永遠の救いであるか、あるいは、悔い改めの機会を利用せず、靈的な警戒を怠った結果、神から永遠に隔てられることであるか、のいずれかです。

最も効果的な恵みの源であり、同時に、救いにおける弟子たちとして私たちを守る唯一の確実な姿勢は、絶えず悔い改める用意と、自分の過ちをタイムリーに悔い改めることです。

以下は、修正された聖書箇所と、正しく設定されたクリック可能なリンク、および希望する形式の聖書テキストです。

マタイ 5:23-24 SIt

もし、あなたが祭壇にささげ物を持ち込み、そこで、あなたの兄弟があなたに対して何か恨みを持っていることを思い出したなら、そのささげ物を祭壇の前に置いて、まず行って、あなたの兄弟と和解し、それから戻って、ささげ物をささげなさい。

2 ペトロ 3:9 SIt

主は、ある人々が考えるよう、その約束を遅らせているわけではない。それどころか、主はあなたがたに忍耐を尽くしておられる。なぜなら、主はだれも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めることを望んでおられるからだ。

黙示録 2:5 SIt

あなたがどこで墮落したかを思い返し、悔い改め、最初の行いをしなさい。さもなければ、悔い改めなければ、私はすぐにあなたの上に臨み、あなたの燭台をその場所から押し倒す。

マタイによる福音書 25:1-13 SIt

だから、目を覚ましていなさい。あなたがたは、その日、その時刻を知らないからです。

ヘブライ 12:15 SIt

だれも、神の恵みに欠けることがないように、また、苦い根が生えて、害を与え、多くの者を汚すことのないように、注意しなさい。

ヘブライ 12:17 SIt

あなたがたは、彼がそれを望んだにもかかわらず、悔い改める余地を見出せず、涙ながらにそれを求めたにもかかわらず、拒絕されたことを知っているからです。

5.6 キリストの教会による保護

救いの道は孤独な道ではなく、神が私たちに共同体の中で歩むことを許してくださった道です。キリストの教会は、単なる集会の場以上の存在であり、私たちの信仰を励まし、正し、強めてくれます。ここでは、喜びや重荷を分かち合い、神の御言葉を聞き、弱っているときは支えられます。この章では、教会が、永遠への巡礼の旅において、私たちが神に忠実であり続け、互いに守り、強め合うための、神聖な手段としてどのように役立っているかを示しています。

5.6.1 励ましと戒めによる保護

外的な状況や内的な試練によって、キリストの追隨者たちは実際に誘惑者に誘惑され、使徒たちの働きが無駄になってしまうほど堕落してしまうことがあります。そして、その働きは、信者たちが（もはや）信仰の中で生き、救われることがなくなった場合にのみ無駄になります。しかし、それは防ぐことができます。そのためには、他の兄弟姉妹たちによる励ましが非常に重要な役割を果たします。励ましの重要性は、使徒たちの伝道旅行から学ぶ

ことができます。使徒たちは、最初に教会を設立した後、2度、3度と教会を訪れ、信者たちを励まし、主のもとで揺るぎない決意を持ち続けるよう戒め、彼らの救いと信仰を強固なものにしたのです。

重要なのは、戒めと励ましの適切なバランスです。イエス様はそれを私たちに示しています。ある瞬間には私たちを戒め、次の瞬間には、その戒めを受け入れができるよう、私たちを励みます。神の御言葉が私たちを戒め、また励ますのであれば、現在の信仰の教師たちからも、この二つの恵みの賜物をバランスのとれた形で受ける必要があるでしょう。

また、私たち自身の主に対する忠実さも、言葉なくして、他の信仰の兄弟姉妹たちに、信仰に忠実であるよう励ますことになるのです。

結局のところ、私たちの永遠の救いは、私たちが互いに戒め合い、励まし合う（励まされる）かどうかにかかっているのです。

マタイ 10:28-33 メン

28 体を殺しても、魂を殺すことのできない者たちを恐れではなりません。むしろ、魂も体も地獄で滅ぼす力を持つ者を恐れてください。 - ……30 しかし、あなたがたは、頭の毛さえも、すべて数えられているのです。31 だから、恐れではなりません。あなたがたは、多くの雀よりも価値がある。……33 しかし、人前でわたしを否定する者は、わたしも天の父の前でその者を否定する。

1 テサロニケ 3:2-5

テモテは…あなたがたを励まし、信仰を強めるべきである。3 現在の苦難の中で、だれも揺らぐことがないように。あなたがたもご存じのように、私たちはそのために召されているのだ。…5 それゆえ、私は…（使者を）あなたがたのところへ遣わし、あなたがたの信仰の状態について知らせを得るために、また、試練者があなたがたを誘惑して、私たちの働きが無駄にならないようにするためである。 テモテは…あなたがたを励まし、信仰について慰めを与えるべきである。

使徒 15:32 メン

32 預言者であったユダとシラスも、多くの説教によって兄弟たちを励まし、彼らを（信仰において）強めた。

マタイ 10:28-33、1 テサロニケ 3:2-5、使徒 15:32、使徒 14:21-22、
1 テサロニケ 3:7-8、使徒 23:11

5.6.2 困難な時期における慰めと励ましによる保護

確かに、主は私たちを、困難な状況を通して教育されます。しかし、その動機は常に愛です。そして、私たちは、信仰の兄弟姉妹たちが、その生き方や励ましや戒めの言葉を通して、そのことを繰り返し思い出させ、天国への道を進み続けるために、それをしっかりと心に留めておかなければなりません。

したがって、信仰の兄弟姉妹たちによる励ましと戒めは、永遠の救いを得るために重要な要素なのです。

1. テサロニケ 5:11 メン

ですから、あなたがたは、互いに戒め合い、励まし合い、助け合いなさい。

使徒 14:22 Slt

22 彼らは弟子たちの魂を強め、信仰を揺るぎないものとし、多くの苦難を経て神の御国に入ることを（彼らに）告げた。

2 コリント 1:4 メン

[神は] 私たちのあらゆる苦難の中で私たちを慰めてくださる。それは、私たち自身が神から慰められているのと同じように、あらゆる苦難にある人々を慰めることができるようにするためである。

ヘブル 3:13 メン

むしろ、「今日」がまだ続く間、毎日、自分自身に戒めを与えない。そうすれば、あなたがたのうち、だれも罪の欺きによって、心が硬くなることはないでしょう。

1. テサロニケ 5:11、使徒 15:32、2. コリント 1:4、ヘブライ 3:13、
1. テサロニケ 4:18、2. テサロニケ 2:17、コロサイ 4:8、2. コリント 1:6、使徒 20:2

5.6.3

あなたの信仰による従順は、他の人々にとっての救いとなります。

私の生きた証は、人々が信仰を受け入れ、イエスを救い主として受け入れ、救われた人々がイエスに留まるために重要な役割を果たします。それは、神を敬い、神に招くものであり、誰も罪に誘惑せず、他の人々の救いを求めるものでなければなりません。

1 コリント 10:31-33 メン

31さて、あなたがたは、食べるにも、飲むにも、その他何をするにも、すべて神の栄光のためにしなさい。32ユダヤ人も、ギリシア人も、また神の教会も、誰もつまずかせないようにしなさい。
33私も、あらゆる点で、すべての人に喜ばれるように、自分の利益ではなく、多くの人の利益を求めて生きているのです。それは、彼らが救われるためです。

1 テモテ 4:16 メン

16自分自身と教えに注意を払い、それを堅持しなさい。そうすれば、自分自身と、あなたの聞き手たちの両方を救うことになるでしょう。

ユダ 1:22-23 メン

22疑いを抱いている者たちには、憐れみを持って接しなさい。23彼らを火の中から引き抜き、救い出してください。

1 コリント 10:31-33、1 テモテ 4:16、ユダ 1:22-23、マタイ 18:15、
1 コリント 4:16、ユダ 1:22-23、1 ヨハネ 5:16、1 テサロニケ 3:7

5.6.4 教会による懲らしめによる保護－

誤った道からの保護

イエス様は、靈的な誠実さを保ち、天国に備えるために、罪を犯す体の一部から徹底的に離れるよう私たちに求められています。イエス様は、完全な誠実さを体現しておられるため、絶えず罪を犯す自分の体の部分を取り除くでしょう。イエス様は、病気の部分を癒そうとする一方で、癒しが不可能な場合や、罪が癌のように広がっている場合は、体全体を保護するためにその部分を取り除くでしょう。純度を保つためにパン種を完全に取り除く必要があるのと同じように、教会による懲らしめも、この目的のためにあります。イエス様は、良き羊飼いの癒しと回復を故意に拒む、ご自身の体の一部を容認されることはありません。教会による懲らしめは、私たちのものでも、イエス様のものでも、その場での癒しの効果だけでなく、他の信者たちが同様の過ちを犯すことを防ぐ警告の機能も持っています。

マタイ 18:15-18

15 あなたの兄弟が過ちを犯したら、行って、彼と二人きりでそれを指摘しなさい。彼があなたの言うことを聞いたら、あなたはその兄弟を得たことになる。16 しかし、彼が聞かないなら、一人か二人の（兄弟）を連れて行き、二、三人の証人の証言によって、すべての事柄が確かめられるようにしなさい。17 それでも聞く耳を持たないなら、教会に報告しなさい。教会にも聞く耳を持たないなら、その人を異邦人や徵税人と同じように扱いなさい。18 まことに、あなたがたに告げます。あなたがたが地上で結ぶものは、天でも結ばれ、あなたがたが地上で解くものは、天でも解かれるのです。

1 テモテ 5:20 メン

20 罪を犯した者は、すべての（長老たち）の前で戒め、他の（長老たち）も恐れるようにしなさい。

1 コリント 5:6-7 メン

6 あなたの誇り（「自慢」）は美しくない！ほんの少しのパン種

が、生地全体を酸っぱくしてしまうことを知らないのか？ 7 古いパン種を取り除き、あなたがたは（完全に）新しい生地となるようになさい。あなたがたは（クリスチャンとして）すべてのパン種から解放されているのだから。私たちの過越の羊、すなわちキリストが屠られたのだから。

マタイ 18:15-18、テモテへの手紙 I 5:20、コリントの信徒への手紙 I 5:6-7、コリントの信徒への手紙 I 12:27、コリントの信徒への手紙 I 6:15、マルコによる福音書 9:43-47、マタイ 18:15-18、1 コリント 1:2、黙示録 2:16、黙示録 2:18-27

5.6.5 相互の警戒による保護

信仰の兄弟姉妹として、私たちは互いに気を配り、愛をもって接し、互いに励まし合うよう召されています。この注意深い交わりは、罪に流されるのを防ぎ、イエスとともに歩み続ける助けとなります。互いに気遣い、思いやり、励まし合うことで、誰も取り残されることなく、共に永遠の目標に到達することができるのです。

ヨハネ 13:34-35

34 「わたしは、あなたがたに新しい戒めを与える。あなたがたは、わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合うべきである。35 あなたがたが互いに愛し合うならば、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が知るようになる。

ユダ 1:22-23 メン

22 疑いを抱いている者たちには、憐れみを持って接しなさい。23 彼らを火の中から引き抜き、救い出してください。

ヘブライ 3:12-13 Slt

12 兄弟たちよ、あなたがたのうち、だれも、生ける神から離れていくような、邪悪で不信仰な心を持たないように、注意してください。13 むしろ、「今日」という間、毎日、互いに励まし合い、

だれも、罪の惑わしによって、頑なになってしまわないようにしてください。

ヨハネ 13:34-35、ユダ 1:22-23、ヘブライ 3:12-13、ユダ 1:22-23、
ヘブライ 4:1、マタイ 18:15

5.6.6 靈的な指導者に従順であること

私たちは、神に従順であるだけでなく、私たちに対して靈的な責任を持つ人々にも従順であるべきです。神の最後の審判では、その両方が話題になり、重要になるでしょう。

人生において、自分の魂を見守る、神によって任命された指導者に従順で、その言葉に耳を傾ける人は、賢明な行動をとっており、自分自身のために良いことをしていることになります。それは、今この瞬間だけでなく、永遠に続くものです。

世俗の権威に反抗する者たちが神から裁きを受けるならば、神によって任命された靈的責任者に反抗する者たちはなおさらのことである。

靈的指導者が悪を行う、あるいは神の御心に反して行動しようとする場合、従順には当然の限界があります。そのような場合、私たちは神の御心を行う自由を保ち、少なくとも2人の証人の支援を得て、その指導者を裁き、その過ちを公に指摘するよう求められます。

ヘブライ 13:17 *Slt*

17 あなたがたの指導者たちに従い、彼らに服従しなさい。彼らは、いつかその責任を問われる者として、あなたがたの魂を監視しているからです。彼らがそれを喜びをもって行うように、嘆きをもって行わないように、それはあなたがたにとって良いことはないからです。

1 コリント 16:16 メン

16 だから、あなたがたも、そのような人たちに、また、協力し、労苦しているすべての人たちに、従いなさい。

1 ペトロ 5:5 メン

5 同様に、若い人たちも、年長者たちに服従しなさい。しかし、皆が互いに接する時には、謙遜の衣を着てください。なぜなら、「神は誇り高い者を拒み、謙遜な者に恵みを与える」からです。

1 テモテ 5:19-20 メン

19 長老に対する訴えは、二、三人の証人の証言がない限り、受け入れてはならない。20 罪を犯した者は、他の長老たち全員の面前で戒め、他の長老たちも恐れるようにしなさい。

ヘブル 13:17、1 コリント 16:16、1 ペテロ 5:5、ヘブル 13:17、1 コリント 16:16、1 ペテロ 5:5、ローマ 13:2、ヨハネ 1:9-11、1 テモテ 5:19-20

5.6.7 神の御言葉に基づく健全な教えと教師による保護

神の御言葉を愛し、それを理解し、それに基づいて生き、神の民に教える、靈的な心を持つ指導者を育成することは、教会を永遠への道に導き、保護するための最も重要な手段の一つです。

回心後、神を聖なる畏敬の念を持って生きることは、自動的に実現するものではありません。この生き方が開花するためには、神の御言葉を知り、それに基づいて生きる靈的な教師たちによる良き教えと戒めが必要です。良い知らせは、神が私たちに、御言葉と説教者たちを通して、常に正しい道へと導いてくださる時間を与えてくださることです。

1 テモテ 4:16 Slt

16 あなたは、自分自身と教えに注意を払い、それを絶えず守ってください。そうすれば、あなたは自分自身と、あなたの教えを聞く者たちを救うことになるでしょう。

テトス 1:7-9 Slt

7 監督者は、神の執事として、非難されるところのない者でなければなりません。横暴ではなく、短気でなく、酒に溺れず、暴力的ではなく、卑しい利益を求めず、8 むしろ、もてなしの心があり、善を愛し、慎み深く、公正で、聖く、自制心のある者でなければなりません。9 教義にかなった、信頼できる言葉に従う者であり、健全な教えをもって戒め、また、反論する者を論破することができる者である。

ダニエル書 12:3 Slt

3 賢明な者は、天の広がりの輝きのように輝き、多くの人々を義に導く者は、星のように、永遠に輝き続ける。

ダニエル書 12:3、テモテへの手紙 14:16、テトスへの手紙 1:5-16、マタイによる福音書 5:19、ローマ人への手紙 16:17-18

5.6.8 良い手本による保護

キリストの追隨者たちは皆、模範となる人物を必要としています。信仰において良き模範を持つ者は幸いである！それは彼/私たちにとって、その模範を模倣し、目標に到達するのに役立つでしょう。

身近に人間的な良き模範がいない人でも、それでもなお、最高の模範、すなわちイエス様ご自身がいます。私たちは、信仰の道においてイエス様に自分たちを同一視することができ、またそうすべきであり、そうしてもよいのです。そうすることで、天の故郷への憧れがイエス様の御前にあって非常に大きくなり、天の故郷への道、すなわち私たちの競争のコースを、よく走り、その道に留まることができるようになるのです。

ヨハネ 13:15 Slt

15 わたしは、あなたがたに模範を示しました。それは、わたしがあなたがたにしたように、あなたがたもそうするようになるためです。

ヘブライ 12:1 Slt

1さて、このような多くの証人たちを私たちの周りに持っているのですから、あらゆる重荷と、私たちを縛る罪とを捨てて、忍耐をもって、私たちの前にある戦いを走り続けましょう。

ヘブル 13:7 Slt

7あなたがたは、神の言葉を語った指導者たちを思い起こし、彼らの歩みの終わりを見、彼らの信仰を模範とせよ。

フィリピ 3:17-19

17兄弟たちよ、あなたがたは、わたしの模範に従いなさい。わたしたちを模範とする者たちを見習いなさい。 18私が何度も言ったように、また今、涙ながらに言うように、多くの者は、キリストの十字架の敵として歩んでいる。 19彼らの終わりは滅びであり、彼らの神は腹であり、彼らは自分の恥を誇り、この世的な考え方を持っている。

ヨハネ 13:15、ヘブライ 12:1、ヘブライ 13:7、ピリピ 3:17、ヘブライ 12:1-3、1テサロニケ 1:7、1テモテ 1:16

5.7 キリストの教会を守る

キリストの教会－その保護とそれを脅かす危険

1. キリストの花嫁としての教会の召命と完成

キリストの教会は、神によって召されたイエス・キリストの花嫁であり、神はそれを自分のために清く、傷のないものとして備えておられます。

エペソ 5:25-27 メン

25キリストが教会を愛し、教会のためにご自身を捧げ、 26教会を、御言葉による水浴によって清めた後、 27教会を、ご自分のために、汚れやしわ、その他の欠点のない、聖なる、非の打ちどころのない、輝かしい美しさのあるものとしたように。

教会は、地上のキリストの体として、決して滅びることはなく、最終的にはキリストとともに天に到達し、キリストとともに御国を受け継ぎ、永遠に支配するでしょう。

マタイ 16:18 SIt

しかし、わたしもあなたに言う。あなたはペトロである。この岩の上に、わたしの教会を建てよう。死の門も、それを打ち破ることができない。

黙示録 19:7-8

7 喜び、喜び、彼に栄光を帰しましょう。子羊の婚礼の日が来て、その花嫁は準備を整え、8 輝くような白い亜麻布を着ることを許されました。この亜麻布は、聖徒たちの正しい行いを意味します。

2. 地元のイエスの教会 - 分かれ道に立つ弟子たち

しかし、個々の地方教会はどうでしょうか？その永遠の存在と靈的な生活は、決して保証されているわけではありません。

イエス様は、地方教会レベルでの聖化と教会規律、すなわち、悔い改めずに罪に留まる者たちからの分離（マタイ 18:17、ルカ 9:60）を求めています。そうしなければ、罪が教会全体に浸透してしまうからです（1コリント 5:6-7）。さらに、イエスは、地方教会が最初の愛を捨て、純粹な教えを守らず、教会規律を放棄した場合の結果を、はっきりと明らかにしています。それは、靈的な死の脅威、教会の燭台が取り除かれること、そして最終的には教会が彼の口から吐き出されてしまうことです（黙示録 2:4-5、黙示録 3:16）。

黙示録 3:1-2 メン

1 「サルデスの教会の御使にこう書き送れ。七つの御靈と七つの星を持つ方がこう言われる。わたしはあなたの行いを知っている。あなたは生きていると評判だが、実は死んでいる。2 目を覚まし、死にかけている者たち（教会員たち）を力づけなさい。わたしは、あなたの行いが、わたしの神の前で完全であるとは認めなかつた。

黙示録 2:4-5.7 メン

4 しかし、私は、あなたが最初の愛を捨てたことを非難する。5 だから、あなたがどこから落ちたかを思い出し、悔い改めて、最初の行いに戻れ。そうしなければ、私があなたの上に臨み、あなたの燭台をその場所から取り除いてしまう。…7 耳のある者は、御靈が教会たちに言うことを聞くがよい。勝利を得る者には、神の樂園にある命の木の実を食べさせる。」

黙示録 3:16 Slt

だから、あなたは生ぬるく、冷たくも熱くもないで、私はあなたを私の口から吐き出そう。

3. 救いの道における地方教会の保護

a) 偽りの福音による誘惑からの保護

最初の教会でさえ、誘惑と闘わなければならなかった。パウロは、イエス・キリストによる真の救いを宣べ伝えない偽りの福音が教会を滅ぼす恐れがあると警告している。

ガラテヤ 1:6-9

6 あなたがたが、キリストの恵みによって召された方から、そもそも早く離れて、別の救いのメッセージに目を向けることに、私は驚かざるを得ません。7 他の（救いのメッセージ）は存在しないのです。ただ、ある人々が、あなたがたを惑わし、キリストの救いのメッセージを歪めようとしているだけです。8 たとえ、私たち自身や、天からの御使いが、私たちがあなたがたに宣べ伝えたものとは別の救いのメッセージを宣べ伝えたとしても、その者はのろわれる。

保護: 長老たちや指導者たちは、救いをもたらす教えを監視し、それを偽りなく教え、模範的な生き方をもって実践しなければならない。（テトス 1:9）

b) 畏的な眠りと冷淡さからの保護

畏的な生ぬるさは深刻な危険です。

黙示録 3:16 詩篇

だから、あなたは生ぬるく、冷たくも熱くもないで、わたしの口から吐き出そう。

保護: 教会は警戒し、最初の愛を保たなければなりません（黙示録 2:4-5）。

c) 罪と教会規律の欠如からの保護

個人の生活における罪は、教会全体を汚し、神から引き離す可能性があります。

1コリント 5:6-7

あなたがたの誇ることは良くない！少しのパン種が、生地全体を酸っぱくすることを知らないのか？だから、あなたがたは、新しい生地であるように、古いパン種をすべて取り除きなさい。あなたがたは、種入れぬパンであるのだから。私たちの過越の羊、キリストは、私たちのために屠られたのだ。

保護: 聖なる生活と教会規律は必要なものです（2テモテ 4:2）。

d) 靈的指導による保護

弱い指導者は、しばしば背教の始まりとなります。

使徒 20:28 Slt

だから、聖霊があなたがたを監督として任命した群れ全体を、よく見守ってください。聖霊は、ご自分の血で買い取った神の教会を、あなたがたに守らせようとしているのです。

保護: 指導者は御言葉を愛し、模範的な生活を送らなければなりません（1テモテ 3:1-7、1テモテ 4:16）。

結論

キリストに打ち勝ち、キリストに忠実であり続けた教会全体は、永遠に存続するでしょう。しかし、それぞれの地方教会は、生死をかけた靈的な戦いに直面しています。イエスへの絶え間ない

愛、警戒心、健全な教え、教会規律、靈的な指導は、地方教会が永遠の救いの道に留まるための鍵です。

5.8 試練に打ち勝つ – 狹い道に堅く立つ

救いの道では、神への忠誠心を試すような困難や試練に遭遇します。しかし、神は私たちが堅く立つために必要な手段を与えてくださいます。神の言葉、祈り、聖霊は、誘惑、疑い、抵抗を克服するための私たちの武器です。

この章では、神の力と約束によって、あらゆる試練に打ち勝つことができることを示しています。試練を、信仰を成長させ、永遠への道をしっかりと歩み続ける機会と捉えるよう、私たちを励ましています。

5.8.1 神の愛は私たちの盾

神の愛は私たちの盾

神様の私たちへの愛は、私たちに慰め、安心、そして保護を与えてくれる、聖書の中心的な真理です。それはつかの間の感情ではなく、私たちの救いと未来への希望に表れている、神様の本質の一部なのです。

黙示録 1:4-6 では、神の愛が私たちの救いの源であり、私たちを王と祭司にしたことを見ることができます。この愛は、私たちの救いだけでなく、神の子供としての私たちのアイデンティティにとっても決定的なものです。

「父がわたしを愛してくださったように、わたしもあなたがたを愛してきた。わたしの愛のうちにとどまりなさい」（ヨハネ 15:9）は、イエスがどれほど私たちを愛しておられるかを示し、この愛にとどまるよう私たちに求めています。この愛にとどまるならば、それは私たちを保護し、困難な時に力を与えてくれるでしょう。

エペソ 2:4-5 でも、神の愛は私たちの救いの源として描かれています。私たちが罪の中で死んでいたにもかかわらず、神の愛は私たちを生き返らせ、罪の力から解放してくださったのです。

ヨハネの手紙一 3:1 では、神の愛が私たちを神の子供たちにしたことがわかります。それは私たちに特別な安心と安らぎを与えてくれます。

しかし、神の愛は私たちにも応答を求めています。黙示録 3:19 では、神の愛は私たちに悔い改めと聖化を求め、それが私たちを守り、強めてくれると語られています。

最後に、テサロニケ人への手紙第二 3:5 は、神の愛が私たちの心を整え、敵の攻撃から私たちを守ることを強調しています。

要約すると、神の愛は、罪、この世の不確実性、敵の攻撃から私たちを守ってくれます。それは、私たちが立つ確かな基盤であり、私たちを前進させる力なのです。

ヨハネ 15:9 Slt

9 父がわたしを愛してくださったように、わたしもあなたがたを愛しています。わたしの愛のうちにとどまりなさい。

2 テサロニケ 3:5 Slt

5 主が、あなたがたの心を**神の愛**とキリストの忍耐とへ向けさせてくださいますように。

黙示録 3:19 Slt

19 わたしが**愛する者たち**すべてを、わたしは懲らしめ、戒める。だから、熱心に悔い改めなさい。

黙示録 1:4-6、ヨハネ 15:9、エペソ 2:4-5、1 ヨハネ 3:1、2 テサロニケ 3:5、黙示録 3:19

5.8.2 主にある喜びは私たちの力である

主にある喜びは私たちの力です

主にある喜びは、私たちの力の最大の靈的源の一つです。神が私たちの喜びであるならば、私たちの生活は神にしっかりと根ざし、最高の靈的保護を受けることができます。この喜びは、外的な状況によって左右されるものではなく、揺るぎない神の愛と忠実さによってもたらされるものです。

旧約聖書のネヘミヤ記 8:10 には、「主を喜ぶことが、あなたがたの力である」と書かれています。この言葉は、真の喜びは神の中にのみ見出され、その喜びが困難を乗り越えるために必要な力を私たちに与えてくれることを示しています。

新約聖書のヨハネによる福音書 15:11 では、イエスが「私があなたがたに言ったのは、私の喜びがあなたがたのうちにあるためであり、あなたがたの喜びが完全になるためである」と語って、この真実を確認しています。イエスご自身のこの喜びが私たちの中にあれば、私たちは強く、完全になるのです。

また、ピリピ 4:4 でも、「主にあって、いつも喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい」と私たちに呼びかけられています。この主にあっての喜びは、人生のあらゆる状況において堅く立つ力を与えてくれる、絶え間ない状態なのです。

主にある喜びは、私たちを神に近づけるだけでなく、困難や試練の中でも堅く立つ力を与えてくれる、私たちの最善の保護です。それは、人生の嵐から私たちを守り、あらゆる状況の中で私たちを保ってくれます。

ネヘミヤ記 8:10 メン

主にあっての喜びは、あなたの力です。

ピリピ 4:4 Slt

4 主にあって、いつも喜びなさい。繰り返しますが、喜びなさい。

ヨハネ 15:11 詩篇

11 わたしは、わたしの喜びがあなたがたのうちにとどまり、あなたがたの喜びが満たされるために、このことをあなたがたに話したのです。

ネヘミヤ記 8:10、ヨハネによる福音書 15:11、フィリピの信徒への手紙 4:4、ローマ人への手紙 14:17、テサロニケの信徒への手紙 5:16-18、ヘブライ人への手紙 12:2

5.8.3

恐れることはありません。私たちは自分の力ではなく、彼によってそれを成し遂げるのであります。

イエス様は、最後の恐ろしい時が短縮されなければ、誰も救われることはないと言っています。これは、自分の力だけでは達成できないことを示しています。私は、神の愛と保護、つまり、私が神のもとにとどまることができるよう、神が私の人生を導いてくださることに完全に依存しています。そして、まさにそれが神様の約束です。神様は誠実であり、私たちの能力以上の試練を与えないでしょう。

しかし、神の誠実さは、私たちが安楽な生活を送れることを意味するわけではありません。神は、血を流すほどまで罪に抵抗するよう私たちに求められます。神の守りは、罪や信仰からの離反との戦いの炎の中で実現するのです。すべての栄光は、神のみに属します。

マルコ 13:20 Slt

20 主がその日を短縮されなかつたら、だれも救われることはなかつたでしよう。しかし、主は、ご自分の選んだ者たちのために、その日を短縮されたのです。

1 コリント 10:13 メン

13 あなたがたは（これまで）人間的な試練以外の試練に遭遇したことではなく、神は真実な方である。あなたがたが耐えることができる以上の試練をあなたがたに与えない。試練とともに、それを乗り越えることができるような出口も備えてくださる。

ヘブライ 12:3-6 メン

…4 なぜなら、これまで、あなたがたは、罪との戦いにおいて、
血を流すほどまで抵抗したことはなかったからです…

ユダ 1:24-25 Slt

24 あらゆる過ちからあなた方を守って、あなたの栄光の前に、傷
のない、喜びにあふれた姿で立つことができる方、25 私たちの主
イエス・キリストを通して、私たちの救い主となられた、唯一無
二の神、、その方に、栄光、威厳、力、権威が、永遠の昔、今
も、そして永遠に、ありますように。アーメン。

マルコ 13:20、1 コリント 10:13、ヘブライ 12:3-6、2 コリント 1:1-
11、ローマ 8:28-39、1 テモテ 1:16、2 ペテロ 3:9

5.8.4 誤った誇りと非難からの保護

神と人々に自分の行いを誇るのは、失われた者たちの特徴です。
私たちの行ういかなる行いも、私たちを救ったり、神との癒され
た関係に導いたりすることはできません。それは、私たちのため
に死んで復活された主イエス・キリストの恵みによってのみ可能
となるのです。

恵みによって救われた者の行いは、愛から生まれます。なぜな
ら、私たち自身が神から限りなく愛され、恵みを受けたからで
す。しかし、神の愛に応え、救い主への愛を返さなければ、私た
ちは永遠の救いを得ることはできません。

神の子供たちとして、私たちは自分の成果を誇りに思い、他人と
比較し、非難し、神の恵みを忘れてしまう危険にさらされていま
す。そのような行動は、常に正されなければなりません。なぜな
ら、誇りは私たちを神から引き離す一方で、謙遜は私たちを神に
近づけるからです。

目標であり、唯一の健全な道は、純粋な心、良心、偽りのない信
仰からの愛です。

1 ヨハネ 4:19 Slt

19 私たちは、神がまず私たちを愛してくださったから、神を愛するのです。

ヤコブ 4:6 Slt

神は高ぶる者を拒み、へりくだつた者に恵みを与えます。

1 コリント 4:7

誰があなたに特権を与えたのか。あなたが持っているものは、あなたが受け取っていないものなのかな。もし受け取ったのなら、なぜ受け取っていないかのように自慢するのか。

ルカ 17:10 Slt

10 あなたがたも、命じられたことをすべて行ったなら、「私たちは役に立たない僕たちです。すべきことをしただけです」と言うべきである。

1 ヨハネ 4:19、ヤコブ 4:6、1 コリント 4:7、ルカ 17:10、ルカ 18:14、ローマ 1:3、1 テモテ 1:5

5.8.5 敵に対する勝利—敵に立ち向かう

私たちの敵である悪魔は、現実の脅威です。彼は、私たちを靈的に弱体化させ、さらには殺して、永遠への道から遠ざけることを目的として、公然と、あるいは密かに私たちの信仰を攻撃します。しかし、神への畏敬と謙遜、神の御言葉の知識と守りの実践、その御言葉の力による惡への明確な対応、そして私たちの積極的な信仰によって、私たちは彼の計画を見抜き、勝利をもって彼に立ち向かうことができるのです。

マタイ 4:3-4 メン

3 すると、試みる者が彼に近づき…4 しかし、彼は答えて言った、「『…と書いてある』」。

マタイ 4:3-4; 2 コリント 11:13-14; ヤコブ 4:7; エペソ 6:16; ヨハネ 10:10; 創世記 3:1-13; 1 歴代誌 21:1; 創世記 3:1-13; 歴代誌上 21:1; ヨ

ブ 1:9-11; ゼカリヤ 3:1+2; マタイ 4:1-11; ペトロの手紙一 5:8+9; テサロニケの信徒への手紙一 3:5; マルコ 8:33; コリントの信徒への手紙一 7:5; コリントの信徒への手紙二 2:10-11; 1 テモテ 5:14-15、2 コリント 11:13-14、エペソ 4:25-27、ヤコブ 4:7、ルカ 10:17-20、ルカ 22:31、コロサイ 2:13-15

5.9 まとめ：永遠の救いへの道における私の保護

キリストに忠実であり、勝利を収めた教会全体は、永遠に存続するでしょう。しかし、それぞれの地方教会は、生死を賭けた靈的な戦いに直面しています。イエスへの絶え間ない愛、警戒心、健全な教え、教会規律、靈的な指導は、地方教会が永遠への救いの道に留まるための鍵となります。

神は、その揺るぎない忠実さと恵みによって、永遠への道を進むキリストの肢体である私たちを守ってくださいます。私たちの救いは、私たち自身の行いに基づくものではなく、イエスの愛と犠牲に基づくものです。イエスは、完璧さを求めるのではなく、御自分に従順であり、御近くに生きる心を求めています。イエスの恵みは、私たちに悔い改める機会を与え、困難な時にも堅く立つ力を与えてくださいます。

神は御言葉、祈り、教育、そして靈的な指導者たちを用いて、私たちを正しい道に導いてくださいます。御言葉を真剣に受け止め、それに従って行動する者は、悪から身を守ることができる。しかし、保護は自動的に行われるものではなく、私たちの積極的な献身が必要だ。靈的な警戒心、良き教え、そして戒めが重要だ。怠惰と不注意は私たちの救いを危険にさらすが、聖なる畏敬の念を持って生きることは、私たちを確実に目標へと導いてくれる。

クリスチヤンの最大の強みは、謙遜さと、イエスによって絶えず新たにされる心にあります。神を信頼する者は、たとえつまずいても、神が私たちを支えてくださることを知ることができます。イエスへの真の愛は、私たちが自分の人生をイエスに委ね、イエ

スの御心に従って行動すること、つまり、恐れからではなく、イエスへの喜びからそうすることにある。罪は困難かもしれないけど、神の助けがあれば、私たちは無力じゃない。神は、罪に抵抗する力を与えて、私たちを自由へと導いてくれる。神に完全に信頼する人は、今日、そして永遠に、神の恵みの中で守られるんだ。

私たちは、互いに気を配り、愛し合い、強め合い、共に永遠の栄光に到達するよう召されています。教会を守る上で決定的なのは、神の御言葉を愛し、それを守り、教える靈的指導者を育成することです。長老や指導者は、唯一の真の福音の救いの教えを見守り、それを教え、模範的な生活を送るという責任ある任務を負っています。一つの真の福音の核心から離れ、言葉と実践において偽りの福音に目を向ける教会は、ガラテヤ人への手紙のように、神の恵みから落ち、救いを失います。そのため、外見上はイエスの教会のように見えるが、実際には死んでいる教会があり、イエスによってその口から吐き出されてしまうでしょう。

イエスが命じた教会規律は、私たちの癒しと警告のためにあります。それを注意深く忠実に実行する教会は、主の裁きから身を守り、戒められた者たちが永遠への道を進むことを助けます。しかし、そのような事態から決定的に守られること、あるいはすでに墮落してしまった後の回復は、悔い改めと、イエス・キリストにある神の恵みの真の福音への回心にかかっています。そのためには、罪、傲慢、そして自分の高みを目指すことを避ける、神を畏れる姿勢が必要です。その代わりに、イエスへの最初の愛を再発見し、自分の人生をイエスへの献身に合わせることが大切なのです。罪を犯した指導者や信仰の兄弟姉妹たちは、愛をもって、戒めと明確な言葉によって回心へと導かれなければなりません。そういうことで、教会はキリストの体として、真実と純潔と忠実さを保ち続けることができるのです。

神の誠実さは私たちの安全です。神は、私たちの力を超える試練を与えず、悔い改める機会を与えてくださいます。同時に、神は私たちに警戒し、祈り、神の再臨を積極的に待ち望むよう求めら

れます。神のそばに留まる者は、特別な方法で神の守りの恵みを体験するのです。

靈的な戦いは現実のものです。敵は私たちの信仰を損ない、それによって私たちを靈的な死へと導こうとします。しかし、神の言葉と祈り、そして謙遜さによって、私たちは敵の攻撃に抵抗することができます。神の武具は私たちを守り、祈りは私たちをキリストのそばに留めてくれます。

結局のところ、神の保護と私たちの献身は密接に関連している。私たちの救いは神の愛と誠実さに基づいているが、神にとどまり、清められ、神の御言葉を守ることは私たち次第である。イエスにとどまり、イエスに従い、イエスの声に耳を傾ける者は、確実に目標、すなわち永遠の栄光に到達するだろう。

6 救いの境界領域

救いの道の限界は、難しい疑問を投げかけます。人は信仰から離れるとどうなるのか？ 救いは実際に失われることがあるのか？ 神の憐れみと個人の責任は、どのように結びついているのか？

各サブセクションでは、背教、回復、救いの確実性などのテーマに関する聖書の基礎を明らかにしています。難しい信仰の問題についても、神の愛、正義、誠実さをよりよく理解するのに役立ちます。この入門編は、聖書の中で方向性を見出し、救いの難しい側面をより明確に理解するための手助けとなるでしょう。

6.1

「安っぽい」恵みなど存在せず、眞の恵みは命を犠牲にするものです。

神は私たちを愛し、その恵みを惜しみなく与えてくださり、私たちをその子供として受け入れてくださいます。通常、私たちは神

に愛されていることで、神のために実を結ぶという反応を示します。神の恵みは、私たちが神の御心を行うという形で、私たちの生活に実を結ぶのです。しかし、神には安っぽい恵みなどありません。私たちが救われることで、救いは無償で与えられますが、その代償として、私たちは自分の意志を捨て、あらゆる事において神の御心を行うという新たな決意をしなければなりません。この道に従う者は、永遠の救いを得ます。神の恵みが自分の人生に実を結ばない者は、恵みから落ち、救われることはできません。

ルカ 14:26-27 メン

26 だれでも、わたしのもとに来る者は、その父、母、妻、子供、兄弟、姉妹、さらに自分の命さえも嫌わないなら、わたしの弟子になることはできません。27 自分の十字架を負ってわたしに従わない者は、わたしの弟子になることはできません。

ローマ 6:15-16 メン

15 それでは、どうでしょうか。私たちは、律法の下ではなく、恵みの下にあるからと言って、罪を犯してもいいのでしょうか。決してそうではない！ 16 あなたがたは、誰かのしもべとして従順であるならば、その人のしもべであり、その人に従順でなければならぬことを知っている。それは、死に至る罪のしもべであるか、あるいは（神に対する）従順のしもべであるか、それによつて（命を与える）義に達するかのどちらかである。

2 コリント 6:1 Slt

1 しかし、私たちは、神の恵みを無駄に受けないよう、協力者としてあなたがたに勧告します。

ルカ 13:6-9 メン

6 それから、彼は彼らに次のたとえ話をした。「ある人が、自分のぶどう園にいちじくの木を植えていた。彼はその木に実がなるかどうか見に来たが、何も見つからなかった。7 そこで、彼はぶどう園の管理人に言った、『見よ、私は三年間もこのいちじくの木に実がなるかどうか見に来ているが、何も見つからない。それを切り倒せ。なぜ、その木が場所を取っているのか』と言った。8 すると、園丁は答えた、「ご主人様、今年だけはそのままにし

ておいでください。もう一度、その周りの土を掘り返して、肥料を与えてみます。9 そうすれば、これから実を結ぶかもしれません。もし、それでも実を結ばないなら、その木を切り倒してください」。

ローマ 6:15-16、ローマ 5:17、ルカ 7:41-43、2 コリント 6:1、ユダ 1:4、ヘブライ 6:7-8

6.2 神の愛と計り知れないほど広い恵みの領域

たとえ一時的に罪を犯し、墮落しても、私たちは神の大きな恵みの空間の中で安全である。しかし、聖書の多くの箇所で証されているように、この恵みの空間にも限界がある。例えば、私たちの良心、恵みへの信仰、不公正な考え方や行動、そしてイエスにとどまることなどに關してである。具体的には以下の通りである。

聖書には、信仰を持つ兄弟姉妹が、恵みの領域からますます遠ざかり、最終的には恵みの領域から離れることになる、いくつかの段階が記されています。

その例をいくつか挙げてみましょう（恵みの領域の境界は、それぞれ下線で示しています）。

イエスに従って、信仰の兄弟姉妹たちとの話し方や接し方（マタイ 5:22）

- 兄弟に怒る者は、法廷に立つべきである。
- しかし、兄弟を「愚か者」と呼ぶ者は、最高議会に裁かれるべきである。
- また、彼に「愚か者」と言う者は、地獄の火に投げ込まれる。

軽率な行動によって、信仰の兄弟たちの良心を傷つけ、彼らにとって致命的な行動や模倣へと誘惑すること（マタイ 18:6、ローマ 14:21、1 コリント 3:17、ローマ 14:15）。

これらは、墮落の段階です。

- 悲しむ/内なる苦しみをもたらす
- 怒りを感じる / 怒る / 倒れる
- 罪を犯すように仕向けられ、それによって神の裁きを受ける
- 墮落する
- 破壊される

あるいは、コリントの信徒たちのように、兄弟姉妹に対して不正を行う例もあります（1コリント 6:1-11）。

コリントの信徒たちは、互いに訴訟を起こしています。これは、神の目には、さまざまな段階の悪化として映っています。

1. 聖徒としてふさわしくない行動をとる。
2. 愛さないことによって、将来の報いを受けられない
3. 積極的に不正を行うことによって救いを失う

他の兄弟姉妹に対して積極的に不正を行う者は、不義な者です。そして、不義な者は神の国を相続することなく、つまり救われることはありません。

ガラテヤ人たちの危険なほど揺らぐ信仰（ガラテヤ 1-3）。

ガラテヤの人々は、イエス・キリストの父の恵みを完全に信じるようになって初めて、再びイエス・キリストの靈的な子供たちとなるのです。神の恵みを信じず、神に受け入れられるために律法の遵守に頼るならば、彼らは恵みから落ち、もはやキリストは彼らにとって何の役にも立たないです。彼らが（再び）神の恵みを信じる信仰にしっかりと根を下ろして初めて、キリストは再び彼らの中に姿を現し、彼らの中にキリストを見出すことができるのです。彼らは、キリストの恵みを信頼すべきか、それともその恵みを自分の努力で獲得すべきか、まだ揺れている間（）、両方の可能性を残した危険な中間状態にあり、その状態には「無駄にならないでください！」という警告の看板が掲げられています。

イエスにとどまらないには、2つの方法があります。

時折イエスにとどまらない場合でも、イエスの到来時に恥をかくことはあっても、神の救いは失われることはありません。

しかし、イエスに留まらない状態が継続すると、私たちはイエスの恵みの領域の外側に追いやられ、靈的な死に至ります。

この本では、他にも多くの例が紹介されています。例えば、最初は順調なスタートを切ったにもかかわらず、後に再びこの世を愛し、神のために実を結ばなくなり、唯一の真の救いの福音から迷い出て、罪に陥り、悔い改めず、和解も赦しもできないままになる、などです。

マタイ 5:22

22 しかし、わたしはあなたがたに言う。兄弟に理由もなく怒る者は、裁きを受ける。兄弟に「バカ」と言う者は、最高議会に裁かれる。兄弟に「愚か者」と言う者は、地獄の火に投げ込まれる。

ローマ 14:15-20

15 なぜなら、あなたの兄弟が（あなたによって）食べ物のために悲しみに陥るならば、あなたはもはや（愛という）戒めに従って歩んでいるとは言えないからです。あなたの食事によって、キリストが死なれた方を滅ぼしてはなりません！ …19 ですから、平和と互いの建て上げに役立つことに注意を払おうではありませんか。20 食べ物のために、神の働きを台無しにしてはならない。確かに、すべてのものは清い。しかし、心の中で不安を抱いてそれを楽しむ者にとっては、それは災いとなる。

1 コリント 6:1-11 メン

1 あなたがたのうち、互いに争いのある者が、聖なる者たちの前でではなく、不義な者たちの前で争うことを選ぶ者がいるのか？…あなたがたのうち、兄弟と兄弟の間を裁くことができる賢い者が、まったくないのか？6 むしろ、兄弟が兄弟と争い、それも不信者たちの前で争っているのだ！7 あなたがたが互いに争いを持つこと自体が、すでに間違いである。むしろ、不当な扱いを受けても、なぜそれを甘受しないのか。むしろ、不当に扱われ

ても、なぜそれを甘受しないのか。8 それなのに、あなたたちは、兄弟たちに対し、不当な扱いをして、不当に扱っている。

9 不義な者は、神の国を相続できないことを知らないのか。

間違えないでください。不品行な者、偶像崇拜者、姦淫者、男色者、男と寝る者、10 盗人、貪欲な者、酒飲み、侮辱者、強盗は、神の国を相続することはできません。

ガラテヤ 4:19 メン

19 私の愛する子供たちよ、キリストが（ついに）あなたがたの中で形作られるまで、私は今また、産みの苦しみにあえいでいるのです。

1 ヨハネ 2:28 メン

さて、子供たちよ、あなたがたは、彼が現れるときに、私たちが大胆に彼のもとに行くことができ、彼が再び来られる時に、彼の前に恥じることがないように、彼にとどまりなさい。

ヨハネ 15:6 メン

6 わたしにとどまらない者は、ぶどうの木から切り離されて、枯れてしまします。そして、集めて火に投げ込まれ、焼かれてしまうのです。

マタイ 5:22、ヨハネ 15:6、1 ヨハネ 2:28、ローマ 14:15-20、1 コリント 6:1-11、ガラテヤ 4:19、ヨハネ 15:6、

6.3 聖霊を悲しませる生活、あるいは救いを失う生活

聖書によれば、言葉による罪にはさまざまな重さがあります。その内容は、信仰の兄弟姉妹に対する軽蔑や怒りの言葉、あるいは聖なるもの、例えば性などに対する軽薄で無礼な言葉などです。最も軽い言葉の罪は、私たちの中にある聖霊を悲しませますが、私たちは神の救いの中に留まります。最も重い言葉の罪は、私たちの言葉、そしてさらにその言葉の背後にある態度について、すぐに悔い改めを行わない限り、確実に救いを失うことを意味します。すべての罪、そして言葉の罪も、私たちには赦されることができます。私たちの言葉の罪によって傷ついた人に対して、和解

する用意があることが、神から赦しを受けるための条件です。聖書は、私たちの救いを危険にさらさないために、悔い改めを非常に緊急に求めています。

2 テモテ 2:11-13 メン

11 「私たちは、もしキリストとともに死んだなら、キリストとともに生きるようになる。12 もし、忍耐強く耐え忍ぶなら、キリストとともに支配するようになる。もし、キリストを否定するならば、キリストも私たちを否定する。13 もし、私たちが不誠実であっても、キリストは誠実である。なぜなら、キリストはご自身を否定することはできないからである。

1 ヨハネ 1:8 Slt

8 もし、私たちに罪がないと言うなら、私たちは自分を欺いており、真理は私たちのうちにはありません。

エペソ 4:20-32 Meng

26 怒っても罪を犯してはならない。怒りを抱いたまま、その日が終わるまで怒りを抱いていてはならない。27 また、悪魔に隙を与えてはならない。…29 口からは、悪い言葉ではなく、必要なときに、聞く者に恵みをもたらす、良い、建設的な言葉だけを発しなさい。30 また、あなたがたが贖いの日のために封印された、神の聖靈を悲しませてはなりません。

マタイによる福音書 5:21-26

21 「あなたがたは、先祖たちに『殺してはならない。殺した者は裁判にかけられる』と言われたことを聞いたことがあるでしょう。22 しかし、わたしはあなたがたに言う。兄弟に怒る者は、裁判にかけられるべきである。兄弟を『愚か者』と呼ぶ者は、最高議会に訴えられるべきである。また、彼に『バカ』と言う者は、地獄の火に投げ込まれる。23 だから、祭壇に供え物を持ち込むとき、そこで、あなたの兄弟があなたに対して何か恨みを持っていふことに気づいたら、24 その供え物を祭壇の前に置いて、まず兄弟と和解しなさい。それから戻って、供え物をささげなさい。

マタイ 5:25+26 メン

25 敵と（裁判官のもとへ）道中にある間は、遅滞なく和解する用

意をしておきなさい。そうすれば、敵が裁判官にあなたを引き渡し、裁判官が執行官に（引き渡し）、あなたが牢に入れられることがない。26 まことに、あなたが最後の1ペニーを支払うまで、そこから決して出られないだろう。

1 ヨハネ 3:15 メン

15 兄弟を憎む者は皆、人殺しである。そして、人殺しは永遠の命をその内に持つことは決してないことを、あなたがたは知っている。

エペソ 5:3-11 メン

3 あらゆる種類の淫行や不品行、あるいは金銭への貪欲は、聖徒にふさわしいこととして、あなたがたの間では、その名さえも口にしてはならない。4 同様に、下品な行動や下品な冗談、軽薄な冗談も、あなたがたにはふさわしくない。その代わりに、感謝をささげるべきである。5 あなたがたは、不品行や不道徳、金銭欲（それは偶像崇拜と同じ意味である）を行う者は、キリストと神の御国を相続する者ではないことをよく知っている。6 だれにも、空虚な言葉によってだまされてはならない。なぜなら、そのような事柄のために、神の怒りは不従順な者たちに下るからである。7 だから、あなたがたは、彼らと仲間になってはならない。

マタイ 5:29-30

だから、もしあなたの右の目があなたを怒らせるなら、それを引き抜いて捨てなさい。あなたの体の一部が失われるほうが、あなたの全身が地獄に投げ込まれるよりもましたからです。30 また、もしあなたの右手があなたを怒らせるなら、それを切り取って、あなたから遠ざけなさい。あなたの体の一部が失われるほうが、あなたの全身が地獄に投げ込まれるよりもましである。

2 テモテ 2:11-14、1 ヨハネ 1:8、エペソ 4:20-32、マタイ 5:21-26、マタイ 5:25+26、1 ヨハネ 3:15、エペソ 5:3-11、マタイ 5:29-30

6.4

信仰（および信仰に基づく行い）が永遠の救いに必要であるならば、永遠の救いに「十分な」ものは何でしょうか？

私たちの救いは、人生における正しい基盤にかかっています。まず、この人生において、私たち自身の行いによらず、イエス・キリストによって救われなければなりません。そして、救われた後は、天国に到達するために、基本的に神の御心を行う必要があります。その道でつまずいたとしても、私たちはいつでも神に立ち返ることができ、神は私たちを赦し、裁き、再び立ち上がらせてくださいます。しかし、基本的に、神の御心を行うこと、それに忠実であり続けること、そして常に回復されることに注意を払い、その道を進む者だけが、最終的には救われるのです。天国で私たちが受ける報いは、最終的には、私たちがどのような動機で神の御心を行ったか、すなわち、神の栄光のためか、それとも自己の誇りのためかによって決まります。

自分の行いで、救われていない者が神の前で立ちたいと望むなら、その者はまったく救われることではなく、神との救いの関係に入ることもありません。

また、救われた者であれ、救われていない者であれ、基本的に神の御心を行わない者は、救われることはできません。

山上の説教でキリストが明らかにしているように、誤った基礎の上に人生の家を建てた者は、救われることはありません。その者の墮落は甚大であり、キリストは最後の審判においてその者を認めないでしょう。では、キリストに従って、正しい基礎の上に人生の家を建てた者とは誰でしょうか？ それは、山上の説教の言葉を実行する者たちです。基本的に神の御心を行う者だけが救われるのです。そのためには

- 自分自身が罪人であり、自分の行ないではなく、恵みによってのみ救われることを認める謙虚さ

- 神の言葉を、一見些細なことまで真剣に受け止めること
- 塩の力、つまり、思考、言葉、行動における罪に対する抵抗を持つこと
- 兄弟愛、つまり思考や言葉のレベルにまで及ぶ愛
- 兄弟姉妹や他人々に対する寛容さ
- 神に仕え、神を信頼し、金銭的な考えに支配されないと。
- 隣人を、私たちが彼らにしてもらいたいことを彼らにしてあげるほど愛すること
- イエス・キリストの父なる神の御心を行うという良い実を結ぶこと。

天国で特に報われるもの、つまり、神の目には金、銀、宝石のように貴重なものは

- イエスのために迫害や嘘に遭遇し、それを耐え忍び、イエスに忠実であり続けること
- 神の御言葉を自ら注意深く実行し、教え、その戒めを少しでも破らないこと
- 敵を愛し、イエスのために私たちを迫害する者たちのために祈ること

正しいことを間違った、自己顕示欲の高い動機でやるのは、イエス様の目には木や干し草やわらのように映るもので、その日には報酬を台無しにするほど燃え尽きるよ。特にこれには以下が含まれるよ。

- 見られるために与えること
- 見られるために祈る
- 見られるために断食すること
- その結果、神だけでなく、人々からも称賛を得るための、あらゆる敬虔な行動

また

- 小さなことにおいて神の言葉を真剣に受け止めないこと

基本的に、私たちの「敬虔な行い」によって自分自身を高め、神に栄光を帰さないものはすべて、焼き尽くされるでしょう。

天国への王道は、イエスによって自分の罪と自分の無駄な行いを贖われ、その後、救い主への愛をもって生き、純粋な動機だけで、最後まで神に栄光をもたらす御心を行なうことです。

- 自分の行いで神の前で自分を高く評価することは、救いを妨げるものです。
- 神の御心を行わないことから解放され、それ以降、神の御心を行うことは、救いを保つことです。
- 神の意志を（もはや）行わないことは、救いを破壊する。
- 神の意志を、しかし誤った動機から行なうことは、報いを破壊する。

マタイ 5:20

20 あなたがたに言う。もし、あなたがたの義が、律法学者やパリサイ人たちの義をはるかに超えないなら、あなたがたは決して天の国に入ることはできない。

マタイ 7:21 S/t

21 わたしに向かって『主よ、主よ』と言う者すべてが、天の国に入るわけではない。天におられるわたしの父のみこころを行う者だけが、そこに入るのである。

マタイ 6:1

1 あなたがたの義（「慈善」）を、人々にみせびらかすために、人前でそれを行なってはならない。そうしないと、天におられるあなたがたの父から、報いを受けることができない。

コロサイ 3:23-24 メン

23 あなたがたは、すべてのことにおいて、人に対してではなく、主に対して、喜んで行なさい。24 あなたがたは、主から（天の）御国を報いとして受けることを知っているからです。あなたがたは、キリストに僕として仕えているのです。

ルカ 9:24 メン

自分の命を救おうとする者は、それを失う。しかし、わたしのために自分の命を失う者は、それを救う。

1 コリント 3:11-15 メン

11 なぜなら、すでに築かれた土台は、イエス・キリスト以外の誰も築くことができないからです。12 しかし、この礎の上に、金、銀、宝石、あるいは木、草、わらで建て続ける者がいるならば、13 それぞれの働きは（やがて）明らかになる。それは、火によって明らかにされる審判の日が、それを証明するからである。それぞれの働きがどのようなものであるかは、火によって試される。14 もし、その上に建てた自分の働きが（火の中で）耐えるなら、その人は報いを受ける。15 しかし、もし自分の働きが焼けてしまうなら、その人は損害を負担しなければならない。その人は救われるが、それは火を通ったようなものになる。

マタイ 7:21、マタイ 6:1-4、1 コリント 3:11-15、マタイ 5:20、コロサイ 3:23-24、ルカ 9:24

6.5 救いの保証 – 救いの確信

生まれ変わった者は、聖霊によって、私たちの相続財産の頭金として、また、私たちが今イエスに属していることの完全な救いの保証として、封印されます。

私たちが確実に知ることができるのは、回心した瞬間から、イエスに従う限り、私たちの名前はすでに天国に記されているということです。私たちは天国を勝ち取る必要はありません。私たちは、自分が救われているかどうか、正しい道を進んでいるかどうかを知ることができます。神の御霊が私たちの心の中でそれを確認してくださるのであります。

真に救われた者たち

- イエスの声を聞く・イエスに知られている・イエスに従う・イエスから永遠の命を得る・決して失われることはない・誰もイエ

スの手から引き離すことはできない・誰も父の手から引き離すことはできない。なぜなら、誰も父の手から引き離すことはできないからだ。

そう、良き知らせを広めるために戦い、それに応じて生きる者たちは皆、命の書に記載されています。彼らの現在の生活は、彼らが真に救われた者たちであることを裏付けています。

エペソ 1:2-14 メン

3 私たちの主イエス・キリストの父である神を賛美しましょう。神は、天にある靈的な祝福をすべて、キリストにおいて私たちに与えてくださったのです。4 なぜなら、神は、世界が創られる前から、私たちが御前に聖く、非難されるところのない者となるよう、キリストにおいて私たちを選んでくださったからです。5 そして、キリスト・イエスによって、愛をもって、私たちを御子として、あらかじめ定めてくださったのです。

ヨハネ 10:26-30

27 わたしの羊はわたしの声に聞き従う。わたしは彼らを知っています、彼らはわたしに従う。28 わたしは彼らに永遠の命を与える。彼らは、永遠に滅びることがなく、だれもわたしの手から彼らを奪うことはできない。29 彼らをわたしに与えたわたしの父は、すべての人よりも偉大であり、だれも彼らをわたしの父の手から奪うこととはできない。

1 ヨハネ 4:13 メン

13 しかし、私たちが彼の中に、また彼が私たちの中にいることは、彼が私たちに（賜物として）御靈を与えてくださったことからわかります。

エペソ 1:2-14、ルカ 10:20、エペソ 1:13、ヨハネ 11:23-27、ローマ 8:29-39、1 ヨハネ 4:13、ピリピ 4:1-4、ヨハネ 10:26-30

6.6

救いを失い、再び得る：再び見つかった息子、再び見つかった娘

神から離れ、時宜にかなった悔い改めをしない者は、神の目には靈的に死んでいるとみなされ、失われる。しかし、良い知らせは、神はすべての人を探しておられるということだ。すべての人は、いつでも天の父のもとに戻り、新しい人生を見つけることができる。天の父は、悔い改めた帰還者を、両手を広げて、大きな喜びをもって迎えてくださる。

そして、その人がこの人生で間に合うように考え方を変え、悔い改め、新しい人生を取り戻すとき、天国にはどんな喜びが満ち溢れることでしょう！

ヤコブ 4:4-10

4 神から離れた者たちよ、世と親しくすることは、神に敵対することであることを知らないのか。世と親しくしたいと思う者は、神に敵対する者となる。5 聖書が「私たちのうちに住まわれる御靈が、私たちに熱心に望んでおられる」と書いてているのは、空虚な言葉だと思うのか。6 しかし、神の恵みは、それ以上に豊かなのです。それゆえ、「神は、高ぶる者を敵視し、へりくだつた者に恵みを与える」と書かれています。7 ですから、神に服従し、悪魔に抵抗してください。そうすれば、悪魔はあなたから逃げ去ります。8 神に近づきなさい。そうすれば、神もあなたに近づいてくださいます。罪人たちよ、手を清め、二心のある者たちよ、心を聖別しなさい。9 自分の慘めさを悟り、嘆き、泣いてください。あなたの笑いは悲しみに、喜びは嘆きに変わるでしょう。10 主の前にへりくだりなさい。そうすれば、主はあなたを高めてくださいます。

ルカ 15:6-7 メン

「私と一緒に喜んでください。失われた羊（息子と娘）を見つけたからです。」7 あなたがたに言います。天では、悔い改める一

人の罪人よりも、悔い改める必要のない九十九人の義人よりも、より大きな喜びがあるでしょう。

ヤコブ 5:19-20 メン

19 兄弟たち、もしあなたがたのうちの誰かが真理から迷い出て、誰かがその人を立ち返らせたなら、20 その人は、罪人をその迷いから立ち返らせた者は、その人の魂を死から救い、多くの罪を覆い隠したということを知るべきである。

ルカ 15:6-7; ルカ 15:6-7; ヤコブ 5:19-20; ルカ 15:7+9-10, 31-32; 1 ヨハネ 5:16-18

6.7 真に救われた者の特徴

真に救われたイエスの弟子たちの特徴は、神の戒めを守ること、信仰の兄弟姉妹やすべての人々への愛によって表される、神への愛です。そのいずれかを欠いている者は、もはやイエスの弟子ではない。そして、神への愛は、次のように正確に定義することができる。神を愛する者は（基本的に）神の戒めを守り、信仰の兄弟姉妹を愛する。これが、新たに生まれ変わった者たちの特徴である。イエスへの信仰と新たに生まれ変わることを通して、イエスの弟子は、この世と罪に打ち勝つ力を得る。

ヨハネ 15:9-11

9 父がわたしを愛してくださったように、わたしもあなたがたを愛してきた。わたしの愛のうちにとどまりなさい。10 あなたがたがわたしの戒めを守るなら、わたしの愛のうちにとどまることができる。わたしも父の戒めを守って、父の愛のうちにとどまっているのと同じである。11 私があなたがたにこれらのことを持ったのは、私が持っている喜びが、あなたがたにも（ある）ように、そして、あなたがたの喜びが完全になるためである。

1 ヨハネ 4:20-21 1 ヨハネ 5:1-5 Meng

4:20 「私は神を愛している」と言いながら、兄弟を憎む者は、偽り者です。なぜなら、目に見える兄弟を愛さない者が、目に見えない神を愛することは、絶対にできないからです。21 私たちは、

神を愛する者は兄弟も愛すべきであるという戒めを、神から受けました。…5, 11 イエスが神に油そそがれた方であると信じる者は皆、神から生まれた者であり、その父を愛する者は皆、その子供たちも愛する。2 私たちが神を愛し、その戒めを守るなら、私たちは神の子たちを愛していることを知る。3 神を愛することは、神の戒めを守ることであり、神の戒めは重くない。4 神から生まれた者は皆、世を克服する。そして、世を克服した勝利の力は、私たちの信仰である。5 イエスが神の子であると信じる者以外、誰が世を克服することができるだろうか。

1 テモテ 5:24-25 メン

24 ある人々には、その罪が明らかに表に出て、あらかじめ裁きを受けることになるが、ある人々には、その罪は後になって初めて明らかになる。25 同様に、良い行いも明らかに表に出て、そうでない行いは（長期的には）隠れたままではいられない。

ヨハネ 15:9-11、1 ヨハネ 4:20-21、1 ヨハネ 5:1-5、1 テモテ 5:24-25、1 ヨハネ 5:18、黙示録 13:8-10、黙示録 19:4-5、黙示録 21:27

6.8 聖靈に対する罪

聖書は、聖靈に対する罪という深刻な主題について、いくつかの箇所で言及しています。そこでは、神の働きに対する特定の心の態度であり、最終的な背教につながり、もはや悔い改める意思がないことが明らかになっています。この罪は、この世でも、来たるべき世でも、赦されることはありません。

1. 福音書

マタイ 12:31-32 メン

31 「だから、私はあなたに言う。どんな罪や冒涜も、人に赦される。しかし、御靈に対する冒涜は赦されない。32 人の子に対して不適切な言葉を口にした者も、赦される。しかし、聖靈に対して不適切な言葉を口にした者は、この世でも、来たるべき世でも、決して赦されない。

マルコによる福音書3:28-30 メン

28 まことに、あなたがたに言う。人子は、どんなに多くの罪を犯しても、またどんなに多くの冒涙を口にしたとしても、その罪は赦される。29 しかし、聖靈を冒涙する者は、永遠に赦されることはなく、永遠の罪を犯すことになる」—30（イエスがこう言ったのは）彼らが、イエスが汚れた靈に取りつかれていると主張したからである。

ルカ 12:10 Slt

人の子に対して一言でも言う者は、赦される。しかし、聖靈を冒涙する者は、赦されない。

イエスは、聖靈に対する冒涙について強く警告しています。これは無知からではなく、より良い知識があるにもかかわらず行われるものです。

パリサイの人たちは、イエスの奇跡が神の御靈によるものであることを知っていたにもかかわらず、それを悪魔の仕業だと決めつけました。この態度は、聖靈の働きに絶えず抵抗する、頑なな心を表しています。ここでは、悔い改める意思がまったく見られないため、もはや赦しは不可能です。しかし、神の働きに謙虚に心を開き、自分の罪を認識する者は、赦される希望があります。

ヘブライ人への手紙

ヘブライ 6:4-6 メン

4 なぜなら、一度啓示を受け、天の賜物を味わい、聖靈に分け与えられ、5 尊い神の言葉と来たるべき世の力を味わった者たちが、6 それでもなお背いたならば、再び心を変え、彼らは、自分たちにあって、神の御子を再び十字架につけ、彼を侮辱にさらすからです。

ヘブライ 10:26-29 メン

26 なぜなら、真理を知った後で故意に罪を犯すならば、もはや罪のためのいけにえは残されていないからです。27 ただ、裁きを恐れて待ち、反抗する者たちを焼き尽くす火を恐れるだけなのです。

ヘブライ人への手紙は、神との眞の実体験（啓示を受け、聖靈に参与し、神の良き御言葉を味わった）を持ちながら、それでも背き去った人々について述べています。ヘブライ 6:6 は、悔い改めへの更新は「不可能」であると述べています。それは、神が赦すことを望まなかったからではなく、その者たちが悔い改めに無関心になったからです。ヘブライ人への手紙 10 章は、この見解を裏付け、次のように明確に述べています。真理を知った後も故意に罪の道を歩み続ける者は、キリストの犠牲と「恵みの御靈」を軽んじているのです。その者は、契約の血を踏みにじっているのです。

3. ヨハネの手紙一

ヨハネの手紙一 5:16

もし、だれでも、その兄弟が死に至る罪を犯しているのを見たら、祈るべきである。そうすれば、死に至る罪を犯していない者たちには、神は命を与えてくださる。死に至る罪がある。その罪については、祈るべきではないと私は言う。

ヨハネは、死に至る罪と、祈るべき罪とを区別している。死に至る罪については、祈ることを勧めない。この区別は、神に対する深い頑なさを表す罪があり、そのような罪については、他の人の祈りでさえも効果がないことを示唆している。

結論：聖靈に対する罪は、一度きりの過ちではなく、明確な認識にもかかわらず、意識的かつ執拗に神の真理を拒絶する行為である。神の働きを軽視し、歪曲し、冒涜する者は、悔い改めを不可能にする。それは、神がもはや赦そうとしないからではなく、その者があくまで悔い改めの気持ちを持たないからである。悔い改めのない者は、神から赦されることなく、また赦されることもありません。この境界線を越えることをまだ恐れている者たちは、希望があります。なぜなら、眞の悔い改めがあるところには、神の恵みが常に働くからです。そのため、新約聖書は、心が罪によって硬くならないように、絶えず警戒し、謙虚であり、早い段階で悔い改めるよう呼びかけているのです。

6.9 要約：救いの境界領域

1. 神の不变の愛と救いの限界

救いは、神の愛に基づく神の賜物である。神は、だれも滅びることを望んでおらず（ペトロの手紙二 3:9）、すべての人が悔い改め、永遠の命を得ることを望んでおられる。それにもかかわらず、狭い人生の道を進むことは、一人ひとりの責任である。

- **言葉による罪とその結果:** 軽率な言葉が聖霊を悲しませることがあるが、神は忠実であり、赦す用意がある（1ヨハネ 1:9）。
- **意識的な背教による救いの喪失:** 永続的に心を硬くする者は、救いを危険にさらします。しかし、悔い改める用意がある限り、神の御手は差し伸べられたままです。
- **神は忠実である:** 私たちが不誠実であっても、神は忠実であり続ける（2テモテ 2:13）。神の恵みは私たちの弱さよりも大きく、私たちが失われることのないよう、神は私たちのために戦ってくださる。

2. 神の恵みの空間とその広い境界

神は、信仰の道において、子供たちに悔い改める余地と忍耐を与えてくださいます。神は私たちの闘いを知っておられ、私たちが意識的に神を拒絶しない限り、私たちを見捨てません。

- **墮落の段階:** 信者がつまずいても、神の恵みは彼らを支えます。悔い改める意志がある限り、神は彼らを立ち直らせてくださいます。
- **聖書からの例:**
 - ガラテヤの人々は信仰に揺らいでいましたが、神は彼らを見捨てようとはされなかつたため、パウロは彼らのために奮闘しました。

- コリントの人々は混乱した生活を送っていましたが、神はパウロを通して彼らの回復のために働くされました。
- **キリストにとどまる：**神は、私たちがキリストにとどまることができるよう、私たちを強めてくださいます。しかし、意識的に、そして決定的にキリストから離れる者は、神の救いの恵みから脱却することになります。しかし、最後の息を引き取るまで、神は彼らに回心するよう呼びかけ続けておられます。

3. 救いの確信と責任 - 私たちの救いに対する神の関心

神の最大の関心事は、私たちの救いです。神を信頼する者は、神が一度だけ救うだけでなく、守ってくださることを確信することができます（ヨハネ 10:28-29）。

- **神の御心を行うこと：**重荷としてではなく、神への愛から（マタイ 7:21）。
- **救いに必要な実：**信仰の兄弟姉妹への愛、謙遜、赦し、忠実さ。
- **私たちを支えているもの：**私たちの功績ではなく、神の忠実さ。たとえ私たちが倒れたとしても、私たちが神の救いの働きを故意に拒絶しない限り、神は私たちを持ち上げてくださる。

4. 放蕩息子 - 帰還者に対する神の開かれた腕

たとえ誰かが神から離れても、神の父なる心は愛に満ちたままです。

- **神は誰も軽々しく見捨てたりはしません。**神から離れた者は靈的に死んでいるのですが、神はその者を捜し求めます。

- **帰ってきた者一人一人に対する天の喜び：**「私と一緒に喜んでください。、失われた羊を見つけましたから」（ルカ 15:6-7）。
- **限りない恵み：**神の憐れみにとって深すぎる深淵などありません。

5. 救いの確信 - 神の揺るぎない忠実さ

私たちの救いは、不安定なものではありません。神とともに生きる者は、自分が守られていることを知ることができます。

- **神は御自分の子供たちを守ってくださいます。**誰も神の手から彼らを奪うことはできません（ヨハネ 10:28）。
- **聖霊の印：**私たちの救いはキリストによって保証されている（エフェソ 1:13）。
- **神ご自身が私たちの中で働いておられます。**神は、私たちが人生の道に留まる力を与えてくださいます（ピリピ 2:13）。

6. 真に救われた者の識別記号 - 愛を基礎とする

救われた者の真のしるしは、完全さではなく、愛です。

- **神への愛は従順によって表現されます。**神を愛する者は、神の戒めを守ります。
- **兄弟愛は不可欠です。**神を愛する者は、信仰の兄弟姉妹も愛します。
- **神の力は世を克服します。**私たちの信仰は、神の恵みにとどまるための鍵なのです。

7 まとめ、展望

7.1 失われた、見かけ上、あるいは本当に救われた？

すべての人は、本来、神から離れて生きており、その本来の目的、すなわち、創造主である神を愛し、神に仕え、神を礼拝することを失っています。この状態にある人々は、神から離れているだけでなく、実際に犯した罪のために、永遠の滅びに向かっています。救いは、真の神であり真の人間としてこの世に生まれて、私たちのために生き、十字架で死なれ、三日目に死からよみがえられた、神の御子イエス・キリストによってのみもたらされます。イエス様は今、天の父の右座におられます。イエス様を通してのみ、私たちは赦しを得て、神との健全で和解した関係に入ることができます。

イエス・キリストへの真の回心は、人の人生における決定的な転換点です。それは、単に祈りを唱えたり、教会に所属したりすること以上のものです。それは、心全体をイエスを主であり救い主であると再認識することである。聖書が「新生」と表現するこの再認識がなければ、たとえ自分がクリスチャンであるとしても、その人は靈的に死んでいるまま、永遠に失われたままとなる。新約聖書は、次のように明確に述べている。「主よ、主よ」と言う者すべてが神の国に入るのではなく、父の御心を行う者だけが神の国に入るのだ。敬虔であると自負し、教会の活動にも積極的に参加している人々でさえ、最終的にはイエスの前に立ち、その衝撃的な言葉を聞くことになるかもしれません。「私はあなたがたをまったく知らない。私から離れなさい！」

イエスにあって真に生きる生活と、靈的に死んでいる名ばかりのクリスチヤンとの違いは、その人が本当に神の愛に捕らえられ、自分の罪を認識し、自分の人生をイエスに委ねたかどうかにある。この真の回心を経験した人は、赦し、聖霊、そして新しい心を受け取る。その人は内面から変えられる。それは、神と人への愛の高まり、聖化への渴望、そして犠牲を払ってもイエスに従う

姿勢に表れます。この新しい人生の方向性は、真の救いの特徴である。それは目に見えないままではなく、人生における実りとして目に見えるものとなる。それは完璧さではなく、神の御心を求める認識できる努力である。

一方、死んだ信仰は、外見上は、教会への出席、キリスト教の伝統、おそらくは道徳的な生活など、生きている信仰とよく似ているため、見分けるのが難しい場合が多い。しかし、決定的な要素、すなわち、愛、従順、信頼によって表される、イエスとの生きた関係が欠けている。宗教的な業績や、一度きりの告白、あるいはキリストとの最初の体験だけに頼っている人は、自己欺瞞の中で生きている。救いの核心は常に恵みですが、この恵みは人を変えます。真に恵みを受けた人は、罪と無関心の中に留まることなく、変化をもたらす神の力を経験するのです。

したがって、真の救いは、イエスを一度受け入れることだけでなく、イエスとの交わりを保ち続ける人生も含まれます。この交わりは、祈り、聖書を読むこと、そして励ましや修正を受ける教会での生活によって養われます。なぜなら、イエスに従うということは、その狭い道に留まることを意味するからです。それは簡単な道ではありません。試練、挫折、疑念があります。しかし、この道に留まる者は、神様の守りの恵みを経験します。この恵みは、あらゆる弱さを支えてくれますが、私たちが道に迷ったときには、常に悔い改めを呼びかけます。

特に危険なのは、外見的なことに固執して、誤った安心感に浸っている場合です。「私は洗礼を受けています」、「教会に通っています」、「私は良いことをしています」など。しかし、心がイエスへの真の愛と献身に満ちていないなら、こうしたことは無価値のままです。聖書は、イエス様の御名によって奇跡を行っても、イエス様との関係が欠けているならば、最終的には失われることを強く示しています。

したがって、重要な問題は、どれほど頻繁に祈るか、どれほど多くの献金をするか、教会でどのような肩書きを持つかではなく、イエスを知っているか、イエスの愛に基づいて生きているか、と

いうことです。たとえそれが自分に犠牲を伴っても、私は神に従順であるか？私はイエスを愛しているか？これらの質問は、私たちを不安にさせるためではなく、私たちの心を誠実に吟味するためにあるのです。なぜなら、イエスご自身が「わたしにとどまりなさい。そうすれば、わたしもあなたがたにとどまります」とおっしゃっているからです。この結びつきの中で生きる者は、神の恵みがその人を目標に導いてくれることを確信できるのです。

イエスによる真の救いとは、イエスを主として受け入れることです。それは理論上だけでなく、実践的にもそうです。それは、罪から離れ、イエスに従うことの意味します。それは、イエスの御言葉に耳を傾け、それを日常生活で実践することの意味します。そのように生きる者は、恵みの確かさを経験します。しかし、自分の行いや教会の伝統に頼る者は、危険な生活を送っているのです。新約聖書は、救う信仰とは、行動し、従順な信仰であることを見らかにしています。それは恵みによって養われますが、生活の中で実践されることで現れます。

7.2

救いは、行いのない信仰によって「今」もたらされ
、永遠の救いは、行いによって表れる信仰によっても
たらされます。

新約聖書では、救い（G4991 - σωτηρία - soteria）と救われる（G4982 - σωζω - sozo）を表すギリシャ語のキーワードとその派生語は、キリストによって私たちの回心によってすでに成された救いと、将来の救いの両方に等しく頻繁に使用されています。この将来の救いは、イエスが再臨し、私たちがこの誘惑に満ちた地上の生活から、罪も死もない、イエスとの完全な復活の交わりに入る時に実現する。この将来の救いは、この本では「永遠の救い」と呼ばれている。

最初の救いを受けた後、私たちは、この2番目の永遠の救いに向けての道のりを歩んでいます。キリストは私たちを贖い、また贖

ってくださいます。キリストは私たちを救い、また救ってくださいます。この最終的な救いの前払いとして、キリストは、最初の救いの際に、私たちの将来の完全な救いの保証として、御靈を私たちに与えてくださいました。

第2章で救いに関する545箇所の聖句をすべて調査した結果、最初の救いに関する約250箇所の聖句は、常に神の愛、神の恵み、神の受容に関することがわかりました。一方、2番目の永遠の救いに関する約250箇所の聖句は、常に、信仰の行いや行動に表れる、私たちの継続的な信仰に関するものです。

恵み - もちろん、もちろん、そしてまたもちろん！しかし、この恵みから、神の栄光のために人生を構築するという人間の責任も同様に、もちろん、もちろん、そしてまたもちろん！

福音は、私たちを救う神の愛についての良き知らせだけではありません。それは同時に、イエスが主であるから、これから神に従うよう神が呼びかけていることもあります。神の愛を受け入れ、信仰をもってイエスを自分の人生に主として迎え入れる者は、イエスを愛する者です。そして、イエスを愛する者は、イエスのために何かをする者です。なぜなら、神の愛の言語は行動だからです。

神の愛を経験しながら、冷たく無関心なままである人、あるいは後で再び無感覚になる人は、恵みを悪用する道を進むことになります。しかし、神は自分の恵みを悪用させることは決してありません。

永遠の命を得るかどうかを決定する最後の審判では、常に行いや問題となります。しかし、それは不釣り合いな恵みに基づくものです。

それでは、福音は効力を失うのでしょうか？結局、パウロはローマ人への手紙、特に第1章から第3章で、すべての人は罪人であり、自分の行いで救われる人はいないことを証明しています。確かに、自分の行いで救いを得ることは不可能です。これは、私た

ちの最初の救い、つまり神との和解した関係に入ることに当てはまります。

しかし、最終的な、永遠の救いに関しては、パウロはローマ人への手紙の中で次のように述べています。

ローマ2:6-8 メン

[神]6 それぞれの行いに応じて報いる方、7 すなわち、善行に堅く立ち、栄光、誉れ、不滅を求める者たちには、永遠の命を与える、8一方、頑なで真理に従わず、不義に奉仕する者たちには、怒りと憤りを与える。

これはどう整合するのでしょうか？結局、私たちは行いで救われるのでしょうか？永遠の命は、イエス・キリストを信じる者にのみ与えられるのではないのでしょうか？

はい、それは整合しています。イエス・キリストを信じる者たちは、信仰に従順な者たちです（ローマ1:5）。彼らの生活は、決定的な特徴によって特徴づけられています。彼らは、善を粘り強く行い、神の栄光、誉れ、不滅を追い求めるのです。

これは、福音の中で神の呼びかけを聞き、神の恵みによって義と認められ、救われ、永遠への道を歩み続ける者たちの特徴です。神は彼らの行いに応じて、彼らに永遠の命を与えるでしょう。しかし、これらの行いが彼らの救いの原因ではありません。彼らの救いは、イエス・キリストと福音への信仰のみに基づいています。しかし、彼らは心を変え、悔い改め、信仰に従順な心で神に従っています。彼らの信仰に基づく行いは、救いの信仰の結果であると同時に、彼らが目標に到達するための条件でもあります。良い始まりだけが救いをもたらすのではなく、最後まで忠実に歩み続けることが救いをもたらすのです。

イエスご自身がそれを明らかにしています。滅びへと導く門は広く、その道は広く、そこを多くの人が通っています。しかし、命へと導く門は狭く、その道は狭いのです。門だけでは不十分であり、その道も常に必要となります。

ヤコブもこれを確認しています。行いのない信仰は死んでいる。そのような信仰は救うことはできません。真の信仰は、行いによって初めて生き生きとした、完全なものとされるのです。

信仰の行いは、それ自体では私たちを救うものではありません。しかし、真に救う信仰は、信仰の行いに表れ、その行いが私たちの救いを確認するのです。

この2つの節によると、イエス・キリストにある神の恵みは、私たち信者にとって4つの効果と目的を持っています。そのすべては、私たちに永遠の命を与えるという神の計画の一部です。私たちの回心によってこの道が始まり、**神の恵みは私たちを**

- 生けるまことの神に仕え、
- 不信仰と世俗的な欲望を否定し、
- この世で慎み深く、正しく、神を畏れる生活を送ること、
- 私たちの偉大なる神であり救い主であるイエス・キリストの栄光の現れと祝福に満ちた希望を待ち望むことを教えてくれます。

この主を待つことは、本当に救いに必要なことなのでしょうか？はい、それは神によって定められた、私たちの救いの重要な要素です。

キリストの御言葉を聞いて信じる者は、すぐに永遠の命を受け取ります。その人は、受け入れられるために何の行いも示す必要はありません。その人はすぐに神との正しい関係に立ち、死ぬときに神のもとに行くのです。

しかし、神の子の声を聞こうとしない者は、悪の道を歩み、最終的には破滅の宣告を聞くことになるでしょう。

ここで明らかなのは、聖書的な意味での「聞く」とは、単に耳を傾けることではなく、常に従うために聞くことだという点です。信じる者は従い、従わない者は信じていないのです。そのため、新約聖書では「信仰による従順」についてしばしば言及しています。

イエスを真に信じることは、人格全体を捉えるものであり、明確な影響をもたらします。それは、私たちが神に耳を傾け、善を行うことに表れています。神と人への愛から善を行うことは、救いをもたらす信仰の、神による基準です。この姿勢で生きる者は、その信仰の真偽を証明し、真に信じているからこそ、救われ続けるのです。しかし、悪を行う者は、イエスを信じておらず、滅びてしまうのです。こうした人々は、イエスの呼びかけを聞いたことがないか、それを無視したのです。

ヨハネ 5:24 Slt

[イエス・キリストが語る] 24 まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしの言葉を受け入れ、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠の命を持ち、裁きを受けることはなく、死から命へと移ったのです。

ヨハネ 5:28-29 メン

28 これを不思議に思うことはない。墓の中で眠っている者たちが皆、その声を聞く時が来るからだ。29 善を行った者は、いのちへの復活のために、悪を行った者は、さばきへの復活のために、それぞれ出て来る。

イザヤ書 50:4-5 メン

4 主なる神は、疲れた者を励ますために、弟子たちの舌を私に与えてくださった。主は毎朝、私を目覚めさせ、私の耳を開いて、弟子たちの言葉に注意を向けさせる。5 主なる神は私の耳を開いてくださった。私は抵抗も、後退もしなかった。

マルコ 12:28-31 F

イスラエルよ、聞け。主は私たちの神、主はただひとりである。あなたは、心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛し、あなたの隣人をあなた自身のように愛さなければならぬ。

3 ヨハネ 1:11 メン

愛する者たちよ、悪を模範とせず、善を模範としなさい。善を行う者は神から出た者であり、悪を行う者は神を見たことがない。

ヤコブ 2:17 Slt

17 信仰もそれと同じである。行いが伴わない信仰は、それ自体、死んでいる。

ヘブライ 9:28 メン

28 同様に、キリストも、多くの人の罪を取り除くために、一度だけ犠牲として捧げられた後、罪とは無関係に、彼を待ち望む者たちのために、二度目に救いをもたらすために現れる。

ローマ 3:28 Slt

28 こうして、私たちは、行ないによるのではなく、信仰によって義と認められるという結論に達するのです。

ローマ 2:6-8 メン

[神] 6 それぞれの行いに応じて報いる方、7 すなわち、善行に堅く立ち、栄光、誉れ、不滅を追い求める者たちには、永遠の命を与える、8一方、頑なで真理に従わず、不義に奉仕する者たちには、怒りと憤りを下す方である。

ローマ 8:13 Slt

13 なぜなら、あなたがたが肉に従って生きるなら、死ぬことになるが、御靈によって肉の行いを殺すなら、生きるようになるからです。

ローマ 2:6-11; ローマ 3:28; ローマ 5:1; ローマ 8:13; ローマ 6:20-23;
使徒 5:32; ローマ 1:5; ヘブライ 5:9; 1ペテロ 4:17; マルコ 16:16; ローマ 2:8;
ガラテヤ 5:7; 2テサロニケ 1:8; 1ペテロ 4:17; マタイ 7:14;
ヤコブ 2:14-26; イザヤ 50:4-5、マルコ 12:28-31、ヨハネ 5:24、ヘブライ
5:9、ヘブライ 11:8、ヘブライ 13:17、ローマ 1:5、使徒 6:7、
ヤコブ 2:17、3ヨハネ 1:11

7.3

永遠の救いも、神の恵みと誠実さと憐れみによってのみもたらされる。

神の恵みと誠実さ、そしてそれによって私の救い後に私の中で生み出された信仰（の行い）が、私を救いの中で守ってくれますが、それはかつては完全に恵みによってのみ与えられ、また完全に与えられ続けるものです。

そうでなければ、その日（永遠）にキリストの恵みをどうして期待できるだろうか（1ペテロ 1:13）。そして、パウロが本当に生まれ変わったと評価しているオネシフォロス（フィレモン 1:10）は、最善の知識と良心をもってキリストに完璧に奉仕しているにもかかわらず、なぜ「その日」に主から「憐れみ」を見出さなければならぬのでしょうか？その答えは、結局のところ、永遠への移行において、キリスト自身の恵みと憐れみだけが、黄金のように確かな信仰を救うのだということです。結局のところ、自分の功績によって天国に入る者は誰もいません。その基礎は、依然として、受けるに値しない恵みなのです。しかし、神は、私たちの役割（信仰（の行い））と、神の力とその恵みという神の役割とを、その全体としてのみ効果を発揮し、目標を達成する、分解不可能な全体として織り交ぜておられます。

永遠の救いは、自由に与えられた恵みを悪用せず、その恵みにふさわしい行動を取り、その恵みを神の栄光のために用いる者たちに与えられます。そして、それを決定するのは、慈悲深い、しかし聖なる私たちの主です。

1 ペトロ 1:13 Slt

13 だから、心を整え、冷静になり、イエス・キリストの現れによって与えられる恵みを待ち望んで、希望を固く持ち続けなさい。

2 テモテ 1:16-18

16 主は、オネシフォロの家にも憐れみを示してください。彼は、しばしば私を励まし、私の鎖を恥じなかったからです。17 彼はローマに着いてから、熱心に私を探し求め、見つけ出しました。18

主（イエス）が、その日に（神）主のもとで、彼に憐れみをお与えになりますように。エフェソスで彼が（私たちに）どれほど多くの重要な働きをしたかは、あなた自身が最もよくご存じでしょう。

ローマ 5:21 Slt

21 罪が死によって支配したように、恵みも、私たちの主イエス・キリストによる義によって、永遠のいのちをもって支配するのです。

1ペトロ 1:13、2テモテ 1:16-18、ローマ 5:21、フィレモン 1:10

7.4 従うことの報酬

恵みと責任

聖書は、永遠の命は、神の恵みによる不当な賜物であると同時に、イエスに従う忠実で従順な生活に対する報酬でもあると教えています。この二つの側面、すなわち恵みと責任は、切り離せない関係にあります。

真の信仰は目に見える

真に信じる者は、キリストを愛し、キリストに仕えます。これらの行いは、信仰を確認し、その信仰が本物であることを証明します。救いをもたらす信仰は、常に行動によって表れます。

賜物と報いの約束

したがって、永遠の命は、イエスを心から信頼するすべての人への賜物であると同時に、報酬の約束とも結びついています。地上で信者が示した忠実さと献身が、天での報酬の程度を決定するのです。愛と従順をもって神に忠実に仕えた者たちは、豊かな報いを受けるでしょう。一方、救われるものの、その行いに永続的な価値がなかったため、特別な報いを受けることはない者もいます。しかし、神から授かった可能性を活かせず、靈的に怠惰なま

まの者は、最終的には拒絶され、失われる可能性があるという厳しい警告もあります。

タラントのたとえ

イエス様は、このことを、たとえ話「タラント」などで示しています。自分に託されたものを増やした者は報われ、永遠に大きな責任を授かるでしょう。しかし、受け取ったものを何にも活用しなかった者は、不信者たちとともに、外側の暗闇に投げ出されます。

パウロによる試練と報酬

パウロは、クリスチャンの働きは、最終的には火によって試されると述べています。キリストに忠実に築き上げた者は、その働きが残り、報いを受けるでしょう。しかし、誤った動機や無関心で生きてきた者は、その働きは焼き尽くされます。その者は救われるかもしれません、それは火を通るようなもので、特別な報いはありません。

心の姿勢が決め手

神のために行ったすべての行いが自動的に報われるわけではありません。山上の説教で、イエス様は、心の姿勢が決め手であると教えています。人々に喜ばれるためではなく、キリストへの愛から奉仕する者は、神から豊かな報いを受けます。しかし、人々の称賛を求める者は、この世で既に報いを受けており、永遠には何も得られないでしょう。

奉仕による真の偉大さ

神の御国における真の偉大さは、奉仕にある。自らを低くし、愛をもって他者に奉仕する者は、永遠に高められ、豊かな報いを受ける。

天国における偉大さへの道

確かに、私たちは天国で偉大でありたいと願ってもよいのですが、その道は奉仕、つまり、私たちが言うことや教えることを自

ら実行し、キリストのために苦しむことです。それでも、私たちにはまったくリラックスして、見せかけの権力争いに巻き込まれる必要はありません。天国の序列は、最終的には天の父が定めたものになるのです。

まとめ：報いをもたらす信仰

要約すると、新約聖書は、永遠の命は、信仰をもってイエスに信頼を置くすべての人への恵みの賜物であることを明らかにしています。しかし、この救いの信仰は、愛と奉仕と忠実な生活の中で常に現れます。そのように生きる者は、永遠の命を受け継ぐだけでなく、永遠に豊かな報いを受けるでしょう。しかし、受けた恵みを無関心で利己的に悪用する者は、最終的には永遠に空っぽの手で立ち尽くすか、あるいは救いさえも失う危険にさらされる。

7.5

これは厳しい言葉ですが、誰がそれを聞くことができるでしょうか？神の教育法と、私たちの現在の説教のバランスについて

この本の結論とメッセージにまったく同意できない、あるいはまったく同意できない？ヨハネの福音書では、イエスも、その説教について、多くの信者たちから非難されました。問題は、この「厳しい言葉」が正しいか間違っているかということです。

それについて、読み進める前に、あなたに宿題を出します。少し時間と労力、注意が必要ですが、この宿題をこなしてから読み進めるのが理にかなっています。

1. マタイによる福音書だから、神とイエスによるすべての約束と励ましの聖句をすべて書き留めるか、マークを付けてください。

このことについて、これまでにいくつの説教を聞いたことがありますか？

2. 次のステップでは、マタイによる福音書にある、イエスによるすべての警告や脅しについて、書き留めるか、マークを付けてください。

そして、それについて、これまでにいくつ説教、礼拝、聖書研究を聞いたことがあるか、比較してみてください。

他の人から聞いた神の言葉は、イエスが語ったことをバランスよく反映しているでしょうか？ そうでない場合、あなたは一方的なイエスについて教えられ、イエスについて歪んだイメージを持っていることになります。

励ましと要求－バランスが取れた福音？

私は、例として、マタイによる福音書を詳しく調べました。そのために、すべての文章を4つの分野に分類し、色分けして、最後に評価しました（詳細については、ウェブサイトの「概要」をご覧ください）。その結果は次のとおりです。

マタイによる福音書を例にとると、神の励ましと要求の間に顕著なバランスが見られます。

テキストの約15%は、信者としての私たちの行動に関する要求であり、13%は励まし、約束、神の愛を強調しています。しかし、最大の割合である約32%は、警告、結果、裁きを告げるイエスの厳しい言葉に割かれています。テキストの約40%は中立的な内容です。

この比重は、私たちに課題を与えています。私たちは、イエス様の真実のすべてを受け入れているのでしょうか？ それとも、そのメッセージの心地よい側面だけを取り上げているのでしょうか。

今日の説教の世界では、福音派でも、神の慈愛と憐れみがほぼ独占的に強調されています。神の聖さと、信者たちにも向けられた厳しい要求は、しばしば軽視されています。その結果は？ 神を一方的に表現し、神を真に、その全体として知らず、真摯に従うことのない信者を生み出す、歪んだ福音です。しかし、聖書は、神

の聖性は神の愛と同じくらい重要であることをはっきりと示しています。

これは、マタイによる福音書だけでなく、新約聖書の他の書物にも当てはまります。しかし、神は、私たちがイエス・キリストの信者として何よりも多くの励ましを必要としていることを知っている、優れた教育者でもあります。そのため、神は、非常に深刻な事実を、教育的に敏感に、そして私たちにとってより受け入れやすい形で表現することがよくあります。

手紙からの例 - 励ましと明確な境界線

使徒たち、そしてイエスご自身も、そのメッセージの中で、励ましや勇気づけに包まれた、困難ではあるが必要な真実をしばしば強調しています。

1. 純潔と聖さ - 「不品行を避けなさい！」（1コリント 6:15-20）

パウロはコリントの信徒たちに、キリストに属していることを自覚し、清らかさをもって神を敬うよう呼びかけています。ここでは、脅しをかけることなく、前向きな姿勢で接しています。しかし、他の箇所（）では、不品行を続ける者は神の国から追放されると明確に述べられています。前向きな励ましと明確な警告、その両方が必要なのです。

2. 真のキリストへの献身 - 「他のイエスはない！」（2コリント 11:2-4）

パウロは、教会に、惑わされないよう愛情を込めて警告しています。彼はこれを、靈的な死に至ったエバの誘惑と比較しています。警告の結果はほのめかされているだけですが、そのメッセージは明確です。すなわち、私たちの永遠の救いは、真のキリストと真の福音への絶え間ない献身にかかっているのです。

3. 生き方 - 「神の国を相続することはない！」（エペソ 5:3-11）

パウロは、イエスに従う者たちは別の生き方をすべきだと強調しています。積極的な励ましと、継続的な罪による救いからの排除という明確な結果とが、密接に関連しています。神を敬うよう呼びかける言葉には、不敬虔な生活に対する厳しい警告が付け加えられています。

4. 精神的な強さ - 「神の武具を身に着けなさい！」（エペソ 6:10-13）

パウロは、精神的な戦いに打ち勝つために、神の武具を身に着けるよう勧めています。そうしなかった場合に何が起こるかは述べていませんが、それはおそらく、勝利への道に焦点を当てたいためでしょう。しかし、この道に代わるものではなく、敗北した場合は、キリストによる回心と回復が必要であることは明らかです。

結論

バランスのとれた福音を宣べ伝える

聖書のメッセージは、励ましと要求という相反する要素を併せ持っています。私たちの説教文化では、神の全体性を宣べ伝えるために、この両者のバランスを保つことが重要です。愛だけ、あるいは裁きだけを強調するといった一方的な強調は、神像の歪みと誤った信仰生活につながります。

私たちの救いは、キリストとの絶え間ない信仰関係にかかっています。そのためには、愛に満ちた救い主であり、公正な裁判官であるキリストの全体像を知ることが必要です。そうして初めて、私たちはキリストに忠実であり続け、畏敬の念を持ってキリストに接し、目標に向かって人生の道を歩むことができるのです。

7.6 結論

信仰、行い、そして永遠の救い

新約聖書にある救いと信仰に関する数多くの聖句を考察すると、永遠の救いへの道は、一度の告白だけで完結するものではないこ

とが明らかになります。むしろ、聖書は、救いを、回心から始まり、信仰による従順な生活を通して最後まで完成される道として描いています。

1. 救いをもたらす信仰とは、従順で、行動的な信仰です。分析によると、真に救いをもたらす信仰は、常に人格全体に影響を及ぼします。それは、神の言葉への従順と善行に表れます。聖書的な意味での「御言葉を聞く」とは、受動的に聞くことではなく、積極的に実行することを意味します。信じる者は従います。信じる者は善行を行います。信じる者は狭い道を進みます。

イエスご自身が、神の御心を行い、善を行う者たちの目標は永遠の命であり、悪を行う者たちは裁きを受けると述べています（マタイ 7:15-28、ヨハネ 5:28-29）。パウロは、永遠の救いを受ける者たちの生活を、善を行い、悪から離れることによって、神様の栄光を絶えず求め、追求する生活と要約しています（ローマ 2:7、ローマ 8:13）。ヤコブは（ヤコブ 2:17-26）、行いのない信仰は死んでいることを明らかにしています。イエスへの信仰は始まりですが、日々の継続的な従順と忠実さによって、その信仰が本物であることが証明されるのです。

2. 救いは恵みであるにもかかわらず、最後まで忠実であることが求められます。聖書は、あらゆる救いの基礎となる神の恵みを強調しています。誰も行いで義と認められることはありません。しかし、人間は、この恵みを人生で効果的に発揮する責任があります。新約聖書は、最終的な救いは、信仰の行いで表現される持続的な信仰と結びついていることを示しています。これらの信仰の行いは、救いの原因ではありませんが、信仰が本物であることを証明するもののです。

パウロはローマ人への手紙 2:6-8 で、最終的には神が各人の行いに応じて報いる、と述べています。忍耐強く善を行う者は、永遠の命を得るでしょう。この文章は恵みと矛盾するものではなく、神の恵みによって形作られた人生の結果を表しています。

3. その道は、始まりと同じくらい救いに必要なものです。イエスは、救いへの道を狭く困難な道だと表現しています。狭い門から入ることが始まりです。しかし、その道そのものが、最終的な救いへと導くのです。始めで立ち止まってしまう者は、目標に到達することはできません。救いをもたらす信仰は、その信仰が持続することによって明らかになります。恵みは従順になる力を与えますが、その従順は必要なものです。
4. **希望と聖化は救いの一部です。**聖書は、キリストを待ち望むことと聖化を追求することが、信仰の道の重要な要素であることを明らかにしています。ヘブライ人への手紙 9:28 は、キリストは、キリストを待ち望む者たちに救いをもたらす、と述べています。この待ち望む姿勢は受動的なものではなく、献身と聖化の人生に表れています。

聖書（テトス 2:11-13）は、神の恵みは私たちを救うだけではなく、神を畏れる生活へと導いてくれることを示しています。キリストの再臨を待つことは、聖化において私たちを強めしてくれます。したがって、最終的な救いは、キリストへの希望と罪からの分離の中で送られる生活と密接に関連しているのです。

5. **最後の審判は、人生の実りを評価する：**終わりの日の審判は、行いを明らかにする。イエスと使徒たちは、これは救いの新しい根拠ではなく、信仰の現実が明らかになると強調している。行いは、信仰が本物だったかどうかを示す。信仰を捨てた者、恵みを悪用した者、罪に留まっている者は、滅びるだろう。
6. **恵みの保証：**私たちは神の恵みによって救われます。神の恵みによって、たとえ道中でつまずいても、救いは失われることはありません。私たちが狭い道で何度もつまずいても、神は私たちが再び神に立ち返るなら、いつでも私たちを受け入れてくださいます。
7. **恵みの乱用に対する警告：**この研究の中心的な結論は、恵みを誤って理解することに対する警告です。恵みは罪を犯

そのための免罪符ではありません。恵みを乱用する者は、その価値を損なうことになります。聖書は、恵みを放蕩に変えることに対して警告しています。恵みは聖化をもたらします。聖化から離れる者は、恵みの道から離れることになります。

8. **恵みと責任は一体である：**聖書は、恵みと責任の緊張関係を維持している。人間は恵みによってのみ救われる。しかし、この恵みは人生に作用する。恵みにとどまる者は救われる。しかし、不信仰、罪、あるいは生ぬるさによって恵みを離れる者は、救いを失う。人間の責任は、恵みにとどまることである。

結論：この調査の結果は、明確かつ挑戦的な結論につながります。救いは、信仰によって受け取る恵みの賜物である。しかし、この信仰は、最後まで続く、従順で積極的な信仰である。、信仰をやめ、従順をやめ、自分の人生を神の御心に従って生きない者は、救いの賜物を台無しにしてしまう。

真の恵みは安っぽいものではなく、私たちの生涯を捧げることを要求します。しかし、その恵みは、この道を歩み、キリストとの永遠の栄光という目標に到達するための力も私たちに与えてくれます。

7.7

(緊急に) 推奨される、忠実で救いを保つための実践的なステップ－個人とキリストの体にとって

個人として、また教会として、イエスに忠実に、救いを得るために従うことを促進し、確実にするために、以下の実践的なステップを強くお勧めします。このリストは、すべてを網羅しているわけではありません。

1. 信仰における個人の強化

- **希望を強める:** 神の言葉は、イエスの再臨と永遠の栄光について私たちに思い出させてくれます。
- **模範となる伝記:** 最後まで信仰を貫いたクリスチャンの生涯を読む。
- **苦難の神学:** イエスと使徒たちの約束に従って、苦難と迫害について再発見し、教えましょう。
- **忍耐力と責任感の育成:** スポーツ、責任ある取り組み、模範となる人物による教育を通じて。
- **励ましと戒め:** 個人の成長と信仰の確立の鍵。
- **毎日の聖書研究:** 自ら聖書を読むことは、表面的な教えから身を守り、信仰を深める。

2. 教会レベルでの取り組み

- **説教と教え:** 聖書に基づく明確な説教を通して、イエスへの献身と世俗的なものからの離脱を促進する。
- **祈りの教材:** 救いと従順について聖書の真理を伝える、より深い本や祈りの本を開発する。
- **芸術とメディア:** 永遠の命への道を明らかにする、現代的なキリスト教芸術（絵画、演劇、映画など）を活用する。特に、「広い道と狭い道」の絵を現代風に再創造する。
- **文化的感受性:** 礼拝と生活における形式と内容の違いについての教え。
- **教会規律:** 増大する個人主義への対応として、聖書的な教会規律を再発見し、実践する。
- **説教の内容:** 神への畏敬の念と真の悔い改めを促進するために、神の愛と聖きのバランスをとる。

3. 重要な教え

- **悔い改めの正しい実:** 真の弟子としての必要なしであり、救いの前提条件。
- **恵みと忠実さによる救い:** 救いは恵みによって与えられますぐ、継続的な信仰と献身によって保たれます。
- **時間と責任:** より大きな認識と資源は、神に対するより大きな責任を意味します。同時に、ごくわずかな忠実さも神に見られ、称賛されます。
- **神を畏れる教育:** 文化的影響と聖書の真理を区別するための訓練。
- **神とのチームワーク:** 救いへの道における、神の恵みと人間の責任の協力関係。
- **模範による励まし:** イエスを究極の模範とする、靈的な模範による従順の促進。

結論

信仰を保ち、イエス・キリストの教会として永遠への道を歩み続けるためには、バランスのとれた教え、個人的な献身、そして共同体の関与が不可欠です。深く効果的な従順を促進するには、個人と共同体の両方の取り組みが必要です。

付録 反論と聖書からの答え

1

反論：「救いは信仰によってのみ、行いによってではない」

救いは信仰によってのみ可能であり、行いによってではないと反論する人もいるだろう。新約聖書全体がこの証に満ちている。そしてそれは正しい。この世で失われた罪人、つまり生まれながらにして私たち全員がそうである、は、神との関係を修復しなければ救われることはできない。誰もがまず、神に敵対する自分の人生と本質から救われ、神の言葉による再生によって神の子供とならなければなりません。そしてそれは、自分の罪と神の恵みを自覚することによって、意識的に行われなければなりません。何が起こっているのかわからない赤ちゃんたちの、見せかけの救いは、聖書全体を通してどこにも見られません。誰かが自分の罪から救われるなら、それは意識的に、今ここで起こります。そして、この救いは、自分の行いによるものではなく、恵みによってのみ起こります。再生によって、神は私たちに、私たちの素晴らしい救い主イエス・キリストと父なる神への愛、そして兄弟姉妹への愛を与えてくださいます。神は、私たちの中に宿る御靈によって、神と信仰の兄弟姉妹を愛し、神の戒めに従う力を与えてくださいます。

そしてここから、神を愛し、神から授かった才能を最大限に活用するという、私たち自身の責任が始まります。生まれ変わった神の子供たちは、神の無償の愛によって恵まれた後、その救いの成果として、自分の理解力と能力の範囲内で神に愛を返すことによってのみ、永遠の救いを受けることができます。それは、救い（一時的な救い）を受けた後に、神のために行う信仰の行いです。

矛盾は、時間的な救い、つまりまず神と和解することなしに、時間的な救いまたは永遠の救いのための行いをしようとした場合にある。そのような古い人間の行いは、神に喜ばれるものではない。なぜなら、それらは、不純な罪人が、自己義と自己救済の試みの中で行う、な死んだ行いであり、私たちを神の前で義とすることはできないからだ。

したがって、新約聖書で、神との和解を経ずに、行いで救われようとした罪人たちは、常に失敗し、聖書は、自分の力だけで神の前で義となろうとする彼らの試みを非難していると読むことができます。

「これとこれをしなければ、救われることはできません」（使徒15:1による）

このような（誤った）主張は、天国ではなく、今この瞬間ににおける神との救いの関係について言及している。使徒たちは、今この瞬間ににおける神との基本的な救いの関係は、（そのような、あるいはその他の）形式的な条件を満たすことによるものではないことを明らかにしています。また、永遠の救いも同様です。形式的な条件を満たすだけでは、誰も救われることはありません。神への回心によってのみ、神の愛が与えられ、永遠の救いによってのみ、私たちの神への愛が与えられるのです。

使徒たちは、形式的な条件を満たすことを前提とする誤った福音に対して、全力を尽くして戦っています。

私たち自身の行いによって、救われた神との関係も、天国も得られないのです。しかし、使徒たちは

- ・ 福音への信仰によって、行いを伴わない、神の前での現在の救われた立場と、
- ・ キリストの贖いの恵みを信じ続けること、そして神の中で、神のために行われる信仰の行いによって得られる、将来の永遠の救いを区別しています。

一方、神の言葉は、自分が生まれ変わり、神を愛していると主張する者は、

信仰による行い、すなわち、神への愛を表現する行いなしには、救われることはない、神の御言葉は明確に証言しています。

救いは、行ないによる救いと行ないのない救いの両方に、どれほど密接に関連しているように見えるか見てみましょう。

聖書で、行いによる救いについて述べられている場合、私たちが常に自問すべき質問は、

その人物は、そもそも神と和解しているのだろうか？

そうでない場合、どんな行いも、神に受け入れられ、一時的かつ永遠の救いを得るために無意味です。

もしそうであるならば、信者たちにとって重要なのは、神に愛を返し、信仰による行いでそれを表現することである。

この区別を常に念頭に置きながら、このことに関する聖書の箇所をいくつか見てみましょう。

まず、神に救われる前に、自然界の市民として行う行いに注目しましょう。

ヨハネ 7:7

7 世はあなたがたを憎むことはできませんが、わたしを憎んでいます。それは、わたしが、世のすべての行いが悪であると証ししているからです。

マタイ 23:3 メン

3 彼らが言うことはすべて、実行し、従いなさい。しかし、彼らの行いに倣ってはならない。彼らは言うだけで、実行しないからである。

マタイ 23:5 メン

5 彼らは、人々に認められるために、あらゆることをしている。

ヨハネ 3:19 メン

19 しかし、裁きは、光がこの世に来たにもかかわらず、人々は光

よりも闇を愛した、すなわち、彼らの行いが悪かったために、光よりも闇を愛したことになります。

ローマ 3:20 メン

20 なぜなら、律法の行ないによって、だれも神の前で義と認められる事はないからです。律法は（ただ）罪の認識をもたらすだけなのです。

ローマ 3:28 メン

28 私たちは、人は律法の行ないによらず、信仰によって義と認められるものと考える。

使徒 26:20 メン

むしろ、私はまずダマスカスで、次にエルサレムで、そしてユダヤ地方全体と諸国民の中で、悔い改め、神に立ち返り、悔い改めにふさわしい行いをすべきだと宣べ伝えたのです。

ヘブル 6:1 メン

1 ですから、キリストの教えの初步的な事柄はさておき、完全な成熟へと進みましょう。死んだ行いを捨て、神への信仰によって心を変えたことを、もう一度基礎から築き直す必要はありません。

考察した聖書の箇所から明らかなように、自然の人間は、神に喜ばれるような行いをしないか、あるいは悪い行いをする。死んだ行いは、神に立ち返り、信仰によって救われることなく、神に喜ばれようという無駄な試みである。神はそのような行いを受け入れない。

まず、悔い改めと、神とその恵みへの信仰があり、それから初めて、イエス・キリストを通して、私たちの生活の中で神に喜ばれる行いが生まれるのであります。

ヘブライ 9:14 メン

永遠の御靈の力によって、ご自身を神に捧げた、傷のないいにえであるキリストの血は、なおさら、私たちの良心を死んだ行ないから清め、生ける神に仕える者とするでしょう。

テトス 3:5 メン

5 それは、私たちが自分の行ないによる義ではなく、彼の憐れみによって、聖靈の再生と更新の洗いによって救われたからです。

マタイ 5:16 メン

16 同様に、あなたがた（救われた弟子たち）の光も、人々の前に輝いて、彼らがあなたがたのよい行いをみて、天におられるあなたがたの父を賛美するようにしなさい。

ローマ 2:6-8 メン

6 [神は] それぞれの行いに応じて報いるであろう。7 すなわち、善行に堅く立ち、栄光と誉れと朽ちることのないものを求める者たちには、永遠の命を与えるであろう。8 一方、頑なで真理に従わず、不義を行う者たちには、怒りと憤りを与えるであろう。

ヤコブ 2:17,26 メン

17 信仰も同様である。行いが伴わない信仰は、それ自体、死んでいる。…26 靈のない体は死んでいるのと同じように、行いのない信仰も死んでいる。

エペソ 2:10、テトス 2:14、テトス 1:16、黙示録 3:1-3、黙示録 2:26、ローマ 2:6-8、黙示録 22:12、ヨハネ 7:7、マタイ 23:3、マタイ 23:5、ヨハネ 3:19、ローマ 3:20、ローマ 3:28、使徒 26:20、マタイ 5:16、ヘブライ 6:1、ヘブライ 9:14、テトス 3:5、エペソ 2:10、テトス 2:14、テトス 1:16、ヤコブ 2:17、26、黙示録 3:1-3、黙示録 2:26、ローマ 2:6-8、黙示録 22:12

2

反論：「私たちは聖靈によって封印されており、その封印を破ることができるのはイエスだけであり、イエスもそれを破ることはしないでしょう」。

神がご自分の恵みによって私たちに与えてくださった御靈は、神が最終的にキリストとともに私たちを復活させてくださることを保証するものです。その道程で御靈を失わなければ、私たちは救

われるでしょう。一度受け取った御靈を、再び失うことなどあり得るのでしょうか？私たちは、回心したときに聖靈を受けただけでなく、聖靈によって封印もされています。そして、神の封印は、神の子羊自身（黙示録 5:5）以外の誰も触れることも、破ることもできません。

新約聖書における聖靈による封印は、旧約聖書における割礼に相当します。

どちらも、神の民に属していることのしるしであり、現実です。旧約では、割礼を受けていても、神の民に属していることを失うことがあったのでしょうか？はい、パウロはローマ人への手紙第2章でそれを示しています。

そして、新しい契約において、私たちはどのようにして靈的な割礼を受け、聖靈を受けるのでしょうか？ローマ人への手紙3章でアブラハムについて学んでいるように、それは神から与えられた信仰による義によってです。

割礼は、アブラハムが神から授かった信仰による義の印でした（ローマ 4:11）。その原因は信仰であり、印は実践された信仰を確認するだけです。原因がなくなれば、印も無効になります。印が内容を持つのではなく、内容が印をもたらすのです。これは、神の印が再び取り消される可能性があり、その結果、私たちは神の靈を再び失う可能性があることからもわかります。

旧約聖書には、聖靈を失った例があります。

私たちは、サウルのような生き方をすべきではありません。サウルは、イスラエルの王となるために、まず聖靈に満たされました。しかし、後に彼の罪のために、神の御靈は彼から離れました（サムエル記上 15+16）。

さて、それはすべて旧約聖書の話であり、新約聖書では私たちの救いはより完全である、と反論する人もいるかもしれません。しかし、新約聖書は別のことと語っています。旧約聖書は、新約聖書における私たちの模範となるべきものです。そこでは、新約聖書では目に見えないが、より現実的な靈的な真理が、生き生きと

描かれています。旧約聖書と同じではなく、旧約聖書よりもさらに強化されたものが、新約聖書のモットーなのです。

1 コリント 10:10-12 メン

…10 また、彼らの一部がそうしたように、不平を言うこともあってはなりません。そうすれば、滅びの者によって死に至るでしょう。11 これらのこととはすべて、彼らに起こったことであり、私たち、世の終わりが近づいている者たちへの戒めとして、書き記されているのです。12 ですから、自分が立っていると確信している者は、倒れないように気をつけなさい。

ヘブライ人への手紙 4:2-11

2 なぜなら、救いの知らせは、彼らにも私たちにも等しく伝えられたからです。しかし、彼らには、その知らせを聞いたときに、それを信じる心がなかったため、その知らせは何の役にも立ちませんでした。…11 ですから、私たちは、その安息に入ることを熱心に追い求めましょう。だれも、同じ不従順の警告の例をたどって、つまずくことがないように。

そして、新約聖書では、同じ基準ではなく、さらに厳しい基準が適用されています。ヨハネはこう述べています。

1 ヨハネ 3:15

15 兄弟を憎む者は皆、人殺しであり、人殺しは永遠の命をその内に持つことはできないことを、あなたがたは知っている。

物理的な殺人だけでなく、信仰の兄弟たちに対する邪悪な思いさえも、悔い改めを続けないならば、新しい契約における救いを失う理由となります。

そう、イエス様は私たちを命の書から削除する可能性があります（黙示録 3:5）。

そう、私たちは死に至る罪を犯す可能性があります（1 ヨハネ 5:16）。

そう、信仰に疑いを抱く者は、すでに火の縁に立っているのです（ユダ 1:22-23）。

そう、私たちは故意に罪を犯し、救いを失う可能性があります（ヘブル 10:26）。

そう、私たちは信仰から背を向け、キリストのない、昔の汚れた生活に戻ってしまう可能性があります（ペトロの手紙二 2:22）。

そして、要約すると、神は御自分の印を破ることができる。そして、神は不正を行う者たちの印を破る。私たちは、私たちの救いの保証である聖霊を失う可能性がある。

エペソ 1:13 メン

13 あなたがたも、真理のことば、すなわち、あなたがたの救いの福音を聞いて、信じたとき、約束の聖霊によって、その印を押されたのです。

2 テモテ 2:19 Slt

19 しかし、神の堅固な基礎は残っており、その印は「主は自分のものを知つておられる」と「キリストの御名を呼ぶ者は、不義から離れよ」というものです。

エレミヤ 22:24

24 わたしは生きている、と主は言われる。たとえ、ユダの王ヨハキムの子コンヤが、わたしの右手の指輪であったとしても、わたしはそれを引き抜くだろう。

エゼキエル 28:12-16 メン/Slt

[ルシファーを象徴するティルス王] あなたは、完全さの象徴（文字通り：印）であり、知恵と完璧な美しさに満ちていました。13 あなたは、エデンの園、神の園にいました。15 あなたは、創造のその日から、罪があなたの中に見出されるまで、その道において完全でした。16 あなたの多くの取引によって、あなたの内面は不義に満ち、あなたは罪を犯した。それゆえ、わたしはあなたを神の山から追い出し、守護のケルビムであるあなたを、燃える石の中から滅ぼした。17 あなたの心は、あなたの美しさによって高慢になり、あなたは、あなたの輝きのために、あなたの知恵を損なった。それゆえ、わたしはあなたを地上に投げ落とし、王たちの前であなたを見世物にした。18 あなたの多くの悪行、あなたの取

引の不正によって、あなたはあなたの聖所を汚した。それゆえ、わたしはあなたから火を放ち、あなたを焼き尽くし、あなたを見たすべての者の目の前で、あなたを地上の灰とした。 19 諸国民の中であなたを知る者たちは皆、あなたを恐れて、あなたは恐怖の対象となり、永遠に滅びた。

エレミヤ 22:24、黙示録 5:5、エペソ 1:13、エレミヤ 22:24、エゼキエル 28:12-16、ローマ 4:9-11、ローマ 2:25、2 テモテ 2:19、1 コリント 10:10-12、ヘブル 4:2-11; 1 ヨハネ 3:15; 默示録 3:5; 1 ヨハネ 5:16; ユダ 1:22-23; ヘブル 10:26; 2 ペテロ 2:22

3

反論：「旧約聖書における救いは不完全でしたが、新約聖書では、私たちが失われることのないほど完全なものとなっています」

新約聖書は、神の行動原則は普遍的であることを証しています。神は、天国の天使たち、律法以前の信者たち、律法後の信者たち、そして新しい契約の信者たちを、同じ原則に基づいて裁かれます。神から離れ、その結果として神との関係を失った者たちの事例は、私たちが同じことをして同じ運命をたどらないよう、警告として役立っています。新約聖書には、たとえ私たちが神から離れても、新しい契約における特別な地位によって救いを保つことができるとはどこにも書かれていません。キリストがもたらした救いは確かに完全です。しかし、その救いは、救い、すなわちキリストの救いの領域、そしてキリストとの結びつきにとどまる者にとって完全なものです。神は試練を通して、その民を救います。それは神側からは完全なのですが、神は、取り返しのつかない一度きりの行為によってその民を救うわけではありません。

ヘブライ 2:1-3 メン

1 それゆえ、私たちは、聞いたことをより堅く守らなければなりません。そうしなければ、それを失ってしまうからです。2 なぜなら、天使たちによって伝えられた言葉さえも、揺るぎないもの

であり、あらゆる違反や不従順は、当然の報いを受けたのですから。3 それなのに、このような偉大な救いを無視して、どうして（罰を）逃れることができるでしょうか。

ユダ 1:5 メン

5 しかし、私は、あなたがたに、その事実をすべてすでに知っているとはいえ、主が（最初に）イスラエルの民をエジプトの国から救い出されたが、二度目に、信じなかった者たちを滅ぼされたことを思い出させたいと思います。

ヘブライ 2:1-3 メン

1 それゆえ、私たちは、聞いたことをしっかりと守らなければなりません。そうしなければ、それを失ってしまうからです。2 なぜなら、天使たちによって伝えられた神の言葉（）は、決して破られることはなく、あらゆる違反や不従順は、当然の報いを受けたからです。3 それなのに、このような偉大な救いを無視して、どうして（罰から）逃れることができるでしょうか。

ヘブライ 10:26-32 メン

26 なぜなら、真理を知った後で故意に罪を犯すならば、もはや罪のためのいけにえは残されていないからです。27 ただ、裁きを恐れて待ち、反抗する者たちを焼き尽くす火を恐れるだけなのです。28 モーセの律法を破棄した者は、2人または3人の証人の証言によって、容赦なく死を宣告されなければならない。29 それならば、神の御子を踏みにじり、聖別された契約の血を無価値とみなし、恵みの御靈を侮った者は、どれほど厳しい罰を受けるか、考えてみてください。30 私たちは、「復讐は私のもの、私が報いる」と述べた方、また別の箇所では、「主は御自分の民を裁かれる」と述べた方を知っています。31 生ける神の御手に陥ることは、恐ろしいことです。

2 ペトロ 2:4-10 メン

4 神は、罪深い天使たちに対しても容赦せず、彼らを深い淵に投げ込み、暗やみの鎖で縛って、裁きの日まで閉じ込めておられます。5 また、神は、不義な人間たちに大洪水をもたらしたとき、義の使徒であるノアと、他の七人だけを救い、古い世界は滅ぼしました。6 同様に、ソドムとゴモラも灰と化し、滅ぼし、将来の

不義な者たちへの戒めとしました。7しかし、不道徳な者たちの放蕩な生活様式にひどく苦しんでいた義人口トは、神によって救われた。8なぜなら、彼らの中に住んでいた義人は、日々、不法な行いを目にし、耳にしなければならなかつたため、その義なる魂は苦しみを受けたからである。9このように、主は、試練の中から敬虔な者たちを救い出し、一方、不義な者たちは、罰を受けるために、裁きの日まで留めておくことをよくご存じである。10とりわけ、肉欲に従つて、汚れを求める者たち、そして、自分たちに主である者を認めない者たちを。

ヘブライ 2:1-3、ユダ 1:5、ペトロの手紙二 2:4-10、ヘブライ 10:26-32

4

反論：「キリストの御業は完全である—私たちに何か追加すべきこと、あるいはしなければならないことがあるのか？

キリストの御業：完全性と責任

十字架におけるキリストの贖いの働きは完全であり、私たちの救いの基礎となっています。それに追加できるもの、追加すべきものは何もありません。同時に、キリストは、その後継者たちのために執り成し、彼らを守って、大祭司としての働きを続けています。しかし、私たちの救いは、この働きだけに依存しているわけではありません。それは、私たちの継続的な従順と忠実さを必要とします。

選民と従順

神は、終わりまで救われる選ばれた者たちを知っておられます。しかし、私たちにはそれは見えません。私たちは、神の御心に従つて生きる場合にのみ、選ばれた者であると見なすことができます。絶えず罪の中で生きる者は、選ばれた者ではないことを示しています。聖書は、最初の回心と罪からの完全な救いは、最終的

な救いを保証するものではないことを強調しています。それは、キリストの弟子たちが、彼らの完全な主であるイエス・キリストに対して絶えず忠実であるかどうかによって決まるのです。

課題と安全

誰も、自分がまだ堕落しないという保証はありません。私たちの安全は、完全な大祭司として私たちのために執り成し、私たちを守り、私たちの能力以上の試練に遭わないようにしてくださるイエスにあるのです。しかし、この安全は、私たちがイエスの守りを喜んで受け入れ、イエスに従うかどうかによって決まります。

聖書からの例

イエスによる完全な贖いにもかかわらず、私たちが現在神の救いの中にいるならば、次のことが当てはまります。

- **終わりの時と試練:** 父なる神は、選ばれた者たちが克服できるように、苦難の期間を短縮されます。克服できない者は、選ばれていなかったことを示すことになります。私たちの信仰生活の始まりにおける完全な救いも、この事実を変えることはできません。
- **獣の礼拝:** 獣を礼拝する者は、子羊の命の書に記載されたことがないことを証明している。ここでも、キリストによる完全な初期の救いではなく、克服することが重要となる。

いずれの場合も、キリストによる救いがどれほど完全であっても、それはイエスに一貫して従うという私たち自身の責任から解放するものではないことが明らかです。

しかし、良い知らせは、

- **神の誠実さによる励まし:** 神は、私たちの能力を超える試練を与えません。神は、私たちがそれを乗り越えることができるよう、見守ってくださいます。

結論

救いは、キリストの恵みと誠実さに基づく継続的なプロセスです。私たちの安全は、イエスによって一度で永遠に完全に救われるという、一度きりの信仰体験にあるのではありません。むしろ、私たちの安全は、私たちを愛し、大祭司として私たちを守り、私たちが自分の能力で最後までイエスに従うことができるよう、私たちの状況のために特別に整えてくださる、完全な救い主との日々の関係にあるのです。その力と愛によって、私たちを確実に目標へと導いてくださる方に、栄光がありますように。

ヘブライ 9:12 *Slt*

[キリストは] 12 雄山羊や子牛の血ではなく、ご自身の血をもつて、一度だけ聖所に入り、永遠の贖いを得られた。

ヘブライ 5:9 *Slt*

9 そして、キリストは、完成に達した後、御自分に従うすべての人にとって、永遠の救いの源となられた。

ヨハネ 10:27-28 *Slt*

27 わたしの羊はわたしの声に聞き従う。わたしは彼らを知っている、彼らはわたしに従う。28 わたしは彼らに永遠のいのちを与える。彼らは永遠に滅びることなく、だれもわたしの手から彼らを奪うことはできない。

1 コリント 10:13 メン

神は眞実である。あなたがたが耐えることができる以上の試練を、あなたがたに与えない。試練とともに、それを乗り越えることができるような道も備えてくださる。

ヘブル 9:12、ヘブル 5:7-9、ヨハネ 10:27、ヘブル 7:25、1 コリント 10:13

反論：「神の神殿はここにあります、神の神殿はここにあります！」

旧約における神の御前に、約束の地に住む神の民の存在と、新約における信者の救いは、神の御靈による神の臨在、すなわちの神殿と不可分です。神の殿は、その存在自体、永続的な不可侵性や安全性を決して有していません。神の神殿は、神殿の民が神を畏れる生活を送っている場合にのみ存続する。民が神の御心に従つて生活せず、不法に生き、悪を行なうならば、主はその神殿を離れ、それを破壊に委ねる。これは神の原則である。

1. 旧約聖書では、神はまず多くのことを耐え忍び、民が悔い改めたならば、民を赦し、再び民を回復させます。しかし、罪を犯しそぎることもありました。そうした場合、神は民の残虐行為のために神殿から立ち去り、神殿を破壊に委ねます。
2. 新約聖書も、聖靈の神殿、すなわち新約聖書の信者たちは、罪と罪への誘惑によって破壊される可能性があることを保証しています。そして、新約聖書でそれについて使用されているギリシャ語 (G2647 - καταλύω - kata-lyo) は、新約聖書で外的な神殿の破壊について使用されているものと同じです。

1コリント 3:16-17

16 あなたがたは、自分が神の神殿であり、神の御靈が自分のうちに宿っていることを知らないのですか。17 だれでも、神の神殿を破壊する者は、神によって滅ぼされます。神の神殿は聖なるものであり、それはあなたがたなのです。

エレミヤ7:1-15 メン4 「主の神殿、主の神殿、主の神殿はこれだ」と言って、偽りの言葉に信頼を置かないでください。5 あなたがたが、自分の行いやすべての行いを真剣に改めるならば、… 7 そのときだけ、わたしはあなたがたをこの地、わたしがあなたがたの先祖たちに与えたこの国に住まわせる。永遠に。

1コリント 3:16-17、2歴代誌 7:17-22、エレミヤ 7:1-15、エゼキエル 8、エゼキエル 9、ローマ 14:20、ルカ 21:6

6 反論：「救われた者は、一度で永遠に聖別される」

神は、聖なる者たちを永遠に完全なものとするために、犠牲を払われた。彼らは赦され、神は二度と彼らの罪を思い出さない。これらの真理は、ヘブライ人への手紙の著者がここで提示しているように、永遠で揺るぎないもののように聞こえる。

しかし、この記述では、救いの事実は静的に固定されているだけではありません。ヘブライ人への手紙の著者は、そのことも私たちに確認しています。

それらは、私たちのものとなり、そしてこれからも私たちのものとなるのです。

- イエスとその犠牲を信じ、
- 私たちの信仰による要求によって。

神によって聖別された者たちが、たとえ以前には完全に聖別されていたとしても、神から背を向ければ、破滅へと向かってしまうのです。

キリストの弟子としての私たちの新しい立場、すなわちキリストに聖別された立場は、完全なものであり、必ず救いを得るものであります。そして、この立場にあって、イエスに従うことと、私たちの生活の中で実践的な聖化に従うことを結びつけていくならば、私たちは救いも経験するでしょう。

ヘブライ 10:14-18 メン

10 そして、この（神の）御心によって、私たちは、イエス・キリストの体のささげ物によって、一度だけ、永遠に聖別されたのです。…14 なぜなら、彼は、ただ一つのささげ物によって、聖別される（ことを望む）者たちを、永遠にその目的へと導いたからです。

ヘブライ 10:23-39 メン

23 希望を告白することを、揺るぎなく堅持しましょう。約束をされた方は、真実な方だからです。…28 モーセの律法を破棄した者は、2人または3人の証人の証言によって、容赦なく死を宣告されなければならない。29 それならば、神の御子を踏みにじり、聖別された契約の血を無価値とみなし、恵みの御靈を侮った者は、どれほど厳しい罰を受けるか、考えてみよ。

ヘブライ 12:12-14 メン

14 すべての人と平和を保ち、聖なるものとなるよう努めなさい。
それなしには、だれも主を見ることはできないからです。

ヘブル 10:14-18; ヘブル 10:23-39; ヘブル 12:12-14

7 反論：焼かれた行い、それでも救われた

イエス・キリストの福音を信じ、その教えに従うことで、私たちは将来の救いのための正しい人生の基礎を築くことができます。しかし、天国への道では、私たちはキリストに従う度合いや善行の程度がさまざまであり、その基礎の上に金、銀、宝石を積む者もいれば、木、わら、藁を積む者もいます。そして、その行いに応じて、天国で相応の報酬を受けるか、あるいは報酬を受けられないかのどちらかになります。天国で報酬を最も損なうのは、間違った動機で正しいことを行うことです。イエスに奉仕することで自らを高める者は、その報酬を受け取ることができず、イエス・キリストという基礎の上に築いた人生（）は焼けてしまうでしょう。火の中から救われたにもかかわらず、神の裁きによってその生涯の成果がすべて焼かれてしまい、報酬をまったく受け取ることができない人は、それでも命を救う基礎は持っていたのです。それは、イエスが山上の説教で、私たちの命の家を維持するために救いに必要であると定義した、少なくとも以下のことを行うほど、真にキリストを信じる信仰です。

これには、心から神の御心を行うこと、思いと行いの清さ、他者

への赦し、そして命へと続く狭い道を進む用意があることが含まれます。これらの戒めを無視し、良い実を結ばない者は、神の御心を行っていないことを示しており、したがって永遠の命に入ることはできません。

1 コリント 3:11-15 メン

11 なぜなら、すでに築かれた土台は、イエス・キリスト以外の誰も築くことができないからです。12 しかし、この礎の上に、金、銀、宝石、あるいは木、草、わらでさらに建築する者がいるならば、13 それぞれの働きは（やがて）明らかになる。それは、審判の日に、火によって明らかにされるからである。それぞれの働きがどのようなものであるかは、火によって試される。14 もし、その上に建てた人の働きが（火の中で）耐えるならば、その人は報いを受ける。15 しかし、もしその人の働きが焼けてしまうならば、その人は損害を負担しなければならない。その人自身は救われるが、それは火を通ったようなものになる。

マタイ 7:21-23 メン

21 わたしに向かって『主よ、主よ』と言う者すべてが、天の国に入るわけではない。天におられるわたしの父のみこころを行う者だけが、そこに入るのである。

マタイ 7:12-13 メン

12 あなたがたが人々に望むことを、あなたがたも同様に人々にしなさい。それが、律法と預言者たちの（成就）である。 - 13 狹い門から（神の国へ）入りなさい。滅びへの門は広く、その道は広くて、そこに入る者は多い。

マタイによる福音書 7:24-27

24 だから、わたしのこの言葉を聞いてそれを行う者は皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている。

マタイによる福音書 6:1

1 あなたがたの義（「慈善」）を、人々に認められるために、人前で誇ったりしてはいけない。そうしないと、天におられるあなたがたの父から、報いを受けることができない。

反論：「行いを誇ることの危険性、比較することの危険性、裁くことの危険性、絶望することの危険性、落胆することの危険性」

自分の行いを誇りに思う危険をどのように回避できるでしょうか？

聖書は、私たち信者たちの間のあらゆる比較の考えを厳しく禁じています。

イエス様の奉仕の模範を見ることは、私たちを癒やし、不適切な比較や裁きの考えから守り、死に至るまで、私たち自身の奉仕の姿勢を保ち続けてくれます。

最も献身的なクリスチャンでさえ、結局のところ、神に負っている義務と、イエス様の愛にふさわしいことをしているに過ぎません。そして、そのことを認識することが、魂の救いなのです。

しかし、神は私たちのあらゆる劣等感も取り除いてくださいます。私たちは皆、神の愛と赦しと恵みに依存しています。そして、神は折れた葦を折らず、くすぶっている灯心を消さないでしょう。今、イエスに清めてもらえば、イエスは私たちを赦し、あらゆる不義から清めてくださり、私たちはイエスの目に愛され、尊ばれます。

重要なのは、自分の人生でイエスのためにできることを最大限にすることだけです。そのためには、私たちはお互いを必要とし、お互いを助け合うことができます。

自分の靈的な成果について話すことは、特に自己顯示や他人より優位に立つことを目的とする場合、靈的に危険です。しかし、他の人々の信仰を育むことに関しては、聖書では、神が自分の人生を通して成し遂げてくださったことを、謙虚に伝えることがごく普通のこととして扱われています。

さらに、兄弟姉妹を偉そうに見下すことなく、謙虚に彼らを支え、助けようとするためには、恵みによる自分の救いと、自分が誘惑に弱く、陥りやすいことを常に意識することが非常に重要であり、また有益です。

そうすれば、私たちはこう考えたいと誘惑されるかもしれません。信仰の行いによってのみ永遠の救いを得るなら、どれだけの信仰の行いが十分なのか？その結果、キリストにある自由ではなく、恐れが生まれてしまうでしょう。

イエス様は、ペテロを例に挙げて、それを防いでいます。まず第一に重要なのは（信仰の）行いではなく、イエス様を愛しているかどうかです。

私たちが愛するのは、イエスがまず私たちを愛してくださったからです。私たちが信仰の行いをすることは、恵みによって私たちを救ってくださった方を信じているからです。まず自ら神の愛と恵みを経験した者だけが、神に愛を返すことができ、神の救いの場にとどまることができるのです。私たちはすでに神の救いの場にいるので、安堵することができます。なぜなら、天国をまず獲得しなければならないわけではないからです。それは私たちから不愉快なプレッシャーを取り除いてくれます。私たちは、まず神に何かを与える必要なく、自分たちが経験した愛から生きるだけでよいのです。

しかし、キリストによって救われておらず、神をまったく知らない人の行いは、その人を天国に連れて行くことはできません。たとえ、救われていない人の行いが、救われた人の行いに非常に似ているように見えても、それは変わりません。罪の赦しと、それ以前に受けた神の愛がなければ、救いも救済もありません。まず、神に対する私たちの生来の敵意から和解を得ることなしには、私たちの行いはすべて死んだ行いに過ぎません。私たちが救われるのは、恵みによるだけであり、それは信仰、つまり、心、腕、足に届く真の信仰によるものであることに変わりはありません。そして、自ら経験した神の愛に基づいて、この世で神と人々に尽くすのです。

「どれだけの行いが十分か」と問うのではなく、「自分が愛されたように愛しているかどうか」と自問してください。

ヨハネ 21:17 メン

ヨハネの息子シモン、あなたはわたしを愛していますか？

そして、その後に初めて、イエスのための使命と働きが続くのです。私たちは、マリアのように、イエスの足元に座ってよいのです（ルカ 10:40-42）。

私たちを深く愛してくださったイエスへの愛から、ただイエスを愛し返したいと思うという動機は、私たちの生活と聖書の中で、イエスに完全に従うという最も重要な最大の部分です。

その後に初めて、聖なる、厳粛な戒めの言葉が続くのです。

私たちが、神への愛、イエスへの愛から行動するならば、私たちはすべて正しいことをしていることになります。そしてそれは、あらゆる種類の不適切な動機から私たちを守ってくれるでしょう。

黙示録 1:5-6 メン

5 私たちを愛し、その血によって私たちの罪を贖い、 6 私たちを王の民とし、その神、父のための祭司とした方に、栄光と力とが、永遠にありますように。アーメン

ヨハネ 21:17 メン

ヨハネの息子シモン、あなたはわたしを愛していますか？

ピリピ 2:1-11 メン

1さて、キリストにある勧告、愛に満ちた励まし、靈の交わり、深い思いやりと憐れみ、2それゆえ、あなたがたが心を一つにし、同じ愛を持ち、同じ目標に向かって一致団結して進むことによって、わたしの喜びを完全なものにしてください。3自己主張や虚榮心から行動するのではなく、謙遜に、互いに自分よりも相手を高く評価し合い、4各自が自分の利益だけでなく、相手の利益も考えるようにしてください。5キリスト・イエスにあるようなその思いが、あなたがたのうちにもあるように。6キリスト

は、神の御姿であるにもかかわらず、神と等しい者であることを強奪すべきものとは考えなかつた。7 むしろ彼は（その栄光から）自らを無にされ、しもべの姿をとり、人間として完全に人間となり、その肉体において人間として見出されました。8 彼は自らを低くし、死に至るまで、十字架の死に至るまで従順でした。9 それゆえ、神は彼を高く上げ、他のすべての名よりも優れた名をお与えになった。10 それは、天、地、地下にあるすべての者が、イエスの名によってひざを曲げ、11 すべての口が、イエス・キリストが主であることを告白し、父なる神の栄光のために、そうなるためである。

ルカ 17:10 Slt

10 同じように、あなたがたも、命じられたことをすべて行ったなら、『私たちは、ただ自分の義務を果たしただけの、みじめな僕たちです』と言ってよいのです。

ルカ 22:25-27 メン

25 しかし、イエスは彼らに言われた、「諸国の王たちは、民を暴力で支配し、権力者たちは『恩人』と呼ばれている。26 しかし、あなたがたはそうであってはならない。あなたがたのうちで、最も偉い者は、最も若い者になり、最も高い地位にある者は、仕える者になります。27 なぜなら、食卓に座る者と、それを仕える者と、どちらが偉いのか。食卓に座る者だろう。しかし、わたしはあなたがたの間では、仕える者のような者である。

1 コリント 15:10 メン

10 しかし、神の恵みによって、私は今ある者となりました。そして、彼の私に対する恵みは、無駄にはなりませんでした。私は、彼らすべてよりもはるかに多くのことを成し遂げました。しかし、それは私ではなく、私とともにあった神の恵みによるものです。

ガラテヤ 6:4 メン

4 各自は自分の行いを吟味し、それによって自分だけ、他の人に

対してではなく、自分だけに対して誇ることができるようにしない。
さい。

マタイ 6:1 メン

1 自分の義（「慈善」）を人々に誇示して、彼らに見られるようなことをしないように気をつけなさい。そうしないと、天の父から報いを受けることができない。

マタイによる福音書 23:11-12

11 あなたがたのうちでいちばん偉い者は、あなたがたの僕であるべきである。12 自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされる。

ヨハネ 21:21-22 メン

21 ペテロはこれを見て、イエスに「主よ、この人はどうなるのですか」と尋ねた。22 イエスは彼に答えて言われた、「わたしの来る時まで（生きて）いることを、わたしが望むなら、それはあなたに関係があることか。あなたはわたしに従いなさい」。

マタイによる福音書 12:20

彼は、折れた葦を折らず、煙る灯心を消さない。

マタイ 6:1-4、ルカ 17:10、ヨハネ 21:17、マタイ 23:11-12、ピリピ 2:1-11、ルカ 22:25-27、1コリント 15:10、ガラテヤ 6:4、黙示録 1:5-6、コリントの信徒への手紙二 1:12、ヘブライ人への手紙 13:18、コリントの信徒への手紙二 12:19、ガラテヤの信徒への手紙 6:1、ユダの手紙 1:22-23、マタイによる福音書 12:20、イザヤ書 57:15、ヨハネの手紙一 1:9、ヨハネによる福音書 21:21-22

答え：「私たちの救いは、常に、そしてもっぱら『キリストにある』ものです。あなたが『キリストにある』ならば、あなたは安全です」

信仰によって、私たちはイエス・キリスト「の中に」、そして「キリストの中に」、さらに神の愛と保護と約束の領域「の中に」いるので、神へのアクセスと、神による確信を得ることができます。

(ただ) キリストの中にいる者だけが、救われ、救われ続けるのです。

どうすれば「イエスの中」に入ることができるのか?

私たち側からはイエスへの信仰によって、神側からは新生によつてです。私たちはイエスへの信仰によってイエスと結びつき、イエスへの信仰によってイエスとの関係を維持しています。

私たちの救いはどこにあるのでしょうか? キリストの中にあります。神の約束のすべては、キリストの中に実現しています。神が約束されたすべてのものに参加するためには、私はキリストの中にいなければなりません。

そして、神の愛がどこにあるか、神の保護がどこにあるか、神の救いがどこにあるかを見るのは興味深いことです。

それらは常にイエス・キリストの中にあります。あなたがキリストの中にいるなら、あなたは安全で救われています。キリストから離れることは、永遠の命と救いの源から離れることです。ですから、キリストの中に留まり、キリストのもとに戻ってください。なぜなら、キリストの中にのみ、今そして永遠に命があるからです。

エペソ 1:7 Slt

7 私たちは、キリストの血によって、その豊かな恵みによって、罪の赦しを受け、救われたのです。

ローマ 8:38-39 F

私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すものは何もありません。

ヨハネ 15:5-6 メン

5 わたしはぶどうの木、あなたがたは枝である。わたしにとどまり、わたしもその人にとどまる者は、豊かな実を結ぶ。わたしから離れでは、あなたがたは何もできない。6 わたしにとどまらない者は、枝のように捨てられ、枯れてしまう。そして、集めて火に投げ込まれ、焼かれてしまう。

エペソ 3:11-12、ヨハネ 15:5-6、ローマ 8:38-39、2コリント 1:18-21、エペソ 1:7、エペソ 3:12

10 まとめ：反論と神の言葉による答え

信仰のみによる救いに対する反論とその反駁

反論 1：救いは信仰によってのみもたらされ、行いによってもたらされるものではない

議論：救いは恵みによってもたらされるものであり、自分の行いによってもたらされるものではない（エペソ 2:8-9）。回心前の行いは「死んだ行い」であり、神に喜ばれるものではない（ヘブライ 6:1）。救いをもたらす信仰は、一度きりの行為であり、過程ではない。

反論：信仰は必然的に行いを生み出す（ヤコブ 2:17、26）。イエスは、真の弟子たちは神の御心を行うべきだと教えている（マタイ 7:21-23）。良い行いは、真の救いのしるしである（エペソ 2:10）。

反論 2：私たちは聖霊によって封印されており、その封印は誰も破ることができない

論拠: 信者は聖霊によって封印されている（エフェソ 1:13）。誰もイエス様の手から彼らを引き離すことはできない（ヨハネ 10:27-29）。

反論: 聖書には、不従順のために神がその印を取り消した例が示されている（エレミヤ 22:24）。イエスは、自分に従う者たちだけに安全を約束している（ヨハネ 10:27）。

反論 3: 旧約聖書における救いは不完全であったが、新約聖書では完全である

論拠: 新約における救いは、イエスの完全な犠牲に基づくものであるため、最終的なものである（ヘブライ 7:25）。

反論: 神への忠実さの原則は、両方の契約において変わらない（ユダ 1:5）。キリストにとどまらない者は、救いを失う（ヨハネ 15:6）。

反論 4: キリストの業は完全であり、私たちには何もできない

議論: イエスが救いを成し遂げた（ヨハネ 19:30）ので、それを疑う者は、イエスの犠牲を軽んじていることになる。

反論: 聖書は、救いの基礎と、その中に留まる必要性を区別している（マタイ 7:24-27）。

反論 5: 神の神殿はここにあります、神の神殿はここにあります！

議論: 信者は聖霊の神殿（1コリント 3:16）であり、神はそれを破壊することはありません。

反論: 神の宮は、罪によって荒廃し、見捨てられることがある（エゼキエル書 8:6-7）。

反論 6: 救われた者は、一度で永遠に聖別される

論拠: 一度聖化された者は、聖なるままである（ヘブライ 10:14）。

反論: 聖化は、完了した状態ではなく、プロセスである（ヘブライ 10:19-22）。

反論7: 焼かれた働き、しかし救われた

反論: コリントの信徒への手紙一 3:15 には、「もし、だれかの働きが焼けてしまったら、その人は損害を被るでしょう。しかし、その人自身は、火によって救われるでしょう」と書かれています。このことから、たとえ不十分な働きや悪い働きがあったとしても、救いは失われることはないという結論が導き出されます。

反論: パウロはこの箇所で、教師や宣教師の責任について語っています。「働き」とは、彼らの教える活動を指しており、すべての信者の行いを一般的に指しているわけではありません。この箇所は、働きは試され、場合によっては焼かれることもあるが、それが自動的にその人の救いを保証するわけではないことを示している。他の箇所では、誤った安心感について警告している（ヘブル 10:26-27）。イエスは、信じる者は永遠の命を持つと語っている（ヨハネ 5:24）。

反論: 最後まで信仰を貫いた者だけが救いを得る（ヘブライ 3:14）。

反論8: 行いを誇りに思う危険性、比較する危険性、裁く危険性、落胆する危険性

議論: 善行が救いに必要であると見なされると、自分の業績を誇りに思うようになる可能性があります。同様に、善行を強調すると、他人と比較したり、他人を裁いたりする結果になる可能性があります。十分な善行を行うことができないと感じる人は、落胆するかもしれません。

反論: 聖書は、善行は信仰から生じるものであり、誇りの理由ではないことを強調している（エペソ 2:8-10）。人はそれぞれ異なる賜物を持っているため、比較は不適切である（ローマ 12:4-6）。イエスは、他人を裁かないよう教えている（マタイ 7:1-2）。救いは、行いの量ではなく、神の恵みによるものである

（ピリピ 1:6）。真に生まれ変わった者は、忠実であり続ける（1ヨハネ 2:19）。

反論：信仰から離れた人々の例があります（ペトロの手紙二 2:20-22）。

答えと結論

私たちの救いは、常に、そもそもキリストにあるのです。あなたがキリストにあるなら、あなたは安全なのです。

私たちの救いは、私たち自身にあるのではなく、キリストのみにある。キリストは、その変わることのない愛をもって私たちを支えてくださる（ヨハネ 10:28-29）。しかし、イエスはこう警告している。「わたしにとどまらない者は、ぶどうの木から切り離されて、枯れてしまう」（ヨハネ 15:6）。

神は、すべての人が悔い改めることを望んでおられます（ペトロの手紙二 3:9）。父は、迷える息子を喜んで迎え入れます（ルカによる福音書 15:20-24）。ですから、私たちは自信を持ってこう言うことができます。「私たちは、後退する者たちではなく、魂の救いを信じる者たちなのです」（ヘブライ人への手紙 10:39）。

イエス様は私たちの良き羊飼いである（ヨハネ 10:11）。たとえ私たちが揺らいだとしても、イエス様は忠実であり続ける（2テモテ 2:13）。イエス様は、私たちがイエス様にとどまるために必要なもの、すなわち御言葉、御靈、そして恵みをすべて与えてくださる。私たちが失敗しても、赦しの扉は開かれたままである（1ヨハネ 1:9）。今、イエスに従う者は、キリストにとどまります。そして、キリストにある者は、深い喜びと確信をもって、今日、明日、そして永遠に生きることができます。

